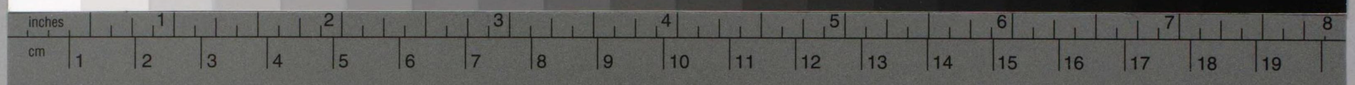
Kodak Gray Scale

© Kodak, 2007 TM: Kodak

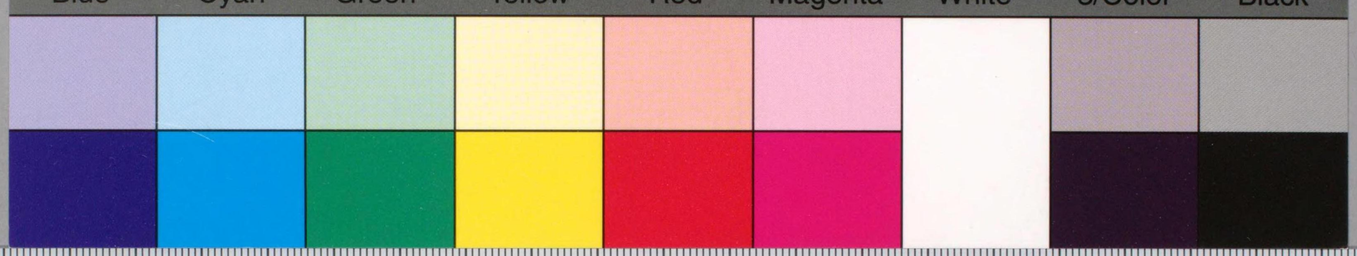
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



サイ4-76

法律関係雑誌記事索引

INDEX TO LEGAL PERIODICALS

第5号　昭和33・34年

No. 5　1958・1959

法務図書館編

Ministry of Justice Library

Tokyo Japan

June 1960

法律関係雑誌記事索引

INDEX TO LEGAL PERIODICALS

第5号　昭和33・34年

No. 5　1958・1959

法務図書館編

Ministry of Justice Library

Tokyo Japan

June 1960

329.39
H617z
(A111)

国立国会
35.7.13
図書館

524409

凡　　例

（1） 収録の範囲

この索引は，昭和33年１月から昭和34年12月までの間に発行された定期刊行物及び記念論文集であつて，法務図書館収蔵のものを主とし，その法律関係の記事について作つた。また，前号に漏れた記事についても収録した。なお，記念論文集については本号から新たに加えたが，利用の便宜上昭和30年発行分までさかのぼつて収録した。

（2） 構　　成

この索引は，事項別索引及び執筆者別索引の二編に編集し，末尾に収録雑誌一覧を載せた。なお，執筆者別索引には座談会等は除かれている。

（3） 排　　列

事項別索引の各項目中の論題並びに執筆者別索引の執筆者名及び論題の排列は五十音順とし，同じ読み方をする同一の頭字を一カ所に集め字画順とした。

（4） 記載順序

各編の記載は次の順序に従つた。

（イ） 事項別索引

(1) 論題　(2) 執筆者　(3) 誌名　(4) 巻号　(5) 発行年月

例・　(1)
超法規的正当化原理の批判的考察
木村龜二　法学新報　66—6（'59—6）
(2)　(3)　(4)　(5)

（ロ） 執筆者別索引

(1) 執筆者　(2) 論題　(3) 誌名　(4) 巻号　(5) 発行年月

例・　(1)
四宮和夫（しのみや・かずお）
(2)　(3)
不正競争と権利保護手段——不法行為法の理論を中心として：法律時報
31—2（'59—2）
(4)　(5)

（5） 省略用語

記入上の省略は次のとおりである。

10—1 ……10巻１号

20—1/2 ……20巻 1,2号合併号

30—1～3……30巻１号から３号まで

('58—1)……1958年１月

総　目　次

事項別索引 …… 1

事項別索引目次 …… 3

本　　文 …… 9

執筆者別索引 …… 163

執筆者別索引目次 …… 165

本　　文 …… 177

収録雑誌一覧 …… 296

事項別索引

事項別索引目次

法　律　学……9
法　制　史……17
憲　　法……23
行　政　法……35
司法制度……52
民　事　法……56
商　事　法……77
刑　事　法……88
民事手続法……105
刑事手続法……111
経済産業法……121
無体財産権……127
農業・漁業法……129
労　働　法……130
社会厚生法……144
文　化　法……145
国　際　法……146
政　　治……154

法　律　学

法哲学・法律学史・法思想史……9
法律学一般・解釈学・法学教育……10
比較法学……12
法社会学……12
実態調査報告……12
立法・立法学……13
外国法律学……13
雑　　集……15
伝記・追悼……16
国会概観……16
国際会議……16
外国事情……16

法　制　史

法制史一般……17
ローマ法……17
日本法制史……17
上　　世……17
中　　世……18
近　　世……19
明　　治……20
中国法制史……21
東洋法制史……22
西洋法制史……22
古代法制史……23
慣　習　法……23

憲　　法

公法一般・国法学……23
憲法一般……24
日本国憲法……25
日本国憲法一般……25
日本国憲法前文……25
第一章　天　　皇……25
第二章　戦争の放棄……26
第三章　国民の権利義務……26
第四章　国　　会……28
第五章　内　　閣……28
第六章　司　　法……28
第七章　財　　政……28
第八章　地方自治……29
第九章　改　　正……29
第十章　最高法規……29
憲法裁判……29
憲法と条約問題……30
憲法調査会・憲法問題研究会……30
皇　室　法……31
外国憲法……31
国　会　法……34
選挙法・政党法……34
選挙違反……35
外国国会法・選挙法……35

行　政　法

行政法一般……35
行政機構……36
公務員法……36
行政作用法……37
行政訴訟法……37
国家賠償法……38
土地・治水・災害関係法……38
土地関係法……38
河川関係法……39
海岸法……39
災害関係法……39
警察行政……39
警察法一般……39
警察実務・取締……40
治安問題……41
警察官職務執行法……41
自衛隊……42
出入国管理……42
財政法……42
税　　法……43
税法一般……43
租税特別措置法……43
課税・徴収……43
滞納・差押……44
租税犯……45
法人税法……45
所得税法……45
関税法……45
相続税法……45

地方税法……46
酒税法……46
入場税法……46
諸　　税……46
地方自治法……46
地方立法・条例……47
地方公務員法……48
交通・運輸・通信法……48
道路交通関係法……48
鉄道関係法……48
海上関係法……49
航空関係法……49
郵便電波関係法……49
外国行政法……49

司　法　制　度

司法制度一般……52
司法試験・法曹教育……52
裁判批判問題……53
訴訟促進問題……53
裁　判　所……53
裁　判　官……54
検　察　庁……54
弁　護　士……55
公　証　人……55
外国司法制度……55

民　事　法

民事法一般……56
民法総則……56
物　　権……58
入会権・水利権……58
担保物権……59
債　　権……59
総　　論……60
契　　約……60
売　　買……61
消費貸借・賃貸借……61
請　　負……61
不当利得・不法行為……61
親族・相続……63
親族・相続一般……63
親族法改正問題……63
婚　　姻……63
離　　婚……64
親子・親権・後見……65
養　　子……66
扶　　養……66
相　　続……67
遺　　言……68
家族制度……68
民事特別法……68
借地・借家法……68
各種登記法……69
各種抵当・担保法……71
供託法……71
信託法……72
戸籍法……72
電話加入権質……73
印鑑制度……73
其の他の民事特別法……73
外国民事法……73

商　事　法

商事法一般……77
商法総則……78
会社法……78
会社法一般……78
株　　式……79
会社の機関……80
会社の計算……81
社　　債……82
定　　款……82
合　　併……82
商行為法……82
保険法……82
海商法……83
有価証券法……84
商事特別法……86
証券取引法……86
資本充実・資本組入法……86
外国商事法……86

刑　事　法

刑事法一般……88
沖縄刑法……88

刑法総論……89
刑法総論一般……89
構成要件該当性……89
違法性……90
責任……90
未遂……91
共犯……91
罪数論……92
刑……92
執行猶予……92
保安処分……92
恩赦……92
刑法各論……93
斡旋収賄罪……94
不動産窃盗罪……94
暴力取締法……95
刑事学……95
少年問題・犯罪……97
行刑・更生保護……98
少年保護その他……99
仮釈放・保護観察……99
更生保護……100
刑事特別法……100
行政刑法……100
経済刑法……100
労働刑法……101
治安関係法……101
売春防止法……101
外国刑事法……102

民事手続法

民事手続法一般……105
手形訴訟……105
民事訴訟法……105
民事訴訟法一般……105
当事者……106
訴・訴訟手続一般……106
訴訟物……106
証拠……107
裁判・既判力……107
上訴……107
強制執行・保全訴訟法……107
人事訴訟法……108
非訟事件手続法……109
行政事件訴訟特例法……109
特別手続法……110
破産法……110
競売法……110
各種調停法……110
外国民事手続法……110

刑事手続法

刑事手続法一般……111
判決前調査制度……112
刑事裁判事件……112
松川事件……112
砂川事件……114
菅生事件……115
八海事件……115
駐留軍関係事件……115
其の他の事件……115
刑事訴訟法……116
刑事訴訟法一般……116
捜査……116
証人尋問・鑑定・証拠……117
自白……117
公訴・告訴・公判……118
訴因……118
上訴……118
再審・非常上告……119
陪審法……119
少年法……119
刑事補償法……120
外国刑事手続法……120

経済産業法

経済産業法一般……121
原子力関係法……121
下請代金支払遅延等防止法……121
独占禁止法……122
企業法……123
鉱業関係企業法……123
工業関係企業法……123
中小企業関係企業法……124
貿易関係企業法……124
金融関係法……125
日本銀行法……126

外国為替管理法……126
外国経済産業法……126

無体財産権

無体財産権一般……127
工業所有権法……127
工業所有権法一般……127
特許法……128
実用新案・意匠・商標法……128
著作権法……128
外国無体財産権……129

農業・漁業法

農業法一般……129
農業法人……129
農業関係団体法……129
農地法……129
森林法……130
漁業法……130
外国農業法……130

労働法

労働法一般……130
国際労働条約（ＩＬＯ）……132
労働基準法……133
労働基準法一般……133
懲戒・解雇……133
賃金……133
労働時間・休暇……134
就業規則……134
臨時工……134
労働関係団体法……135
労働委員会……135
労働組合……135
団結権・団体交渉権……135
不当労働行為……136
労働協約……136
労働争議……137
労働者災害補償……138
失業補償……139
特殊労働法……139
公労法とＩＬＯ条約……140
日教組問題……140
船員法……141
労働裁判問題……141
外国労働法……142

社会厚生法

社会厚生法一般……144
売春問題……144
社会福祉法……144
公衆衛生法……144
社会保険法……144
国民年金……145
外国社会厚生法……145

文化法

文化法一般……145
宗教法……145
教育関係法……146
新聞・映画・放送関係法……146
外国文化法……146

国際法

国際公法一般……146
平時国際法……147
公海・領海・大陸棚……147
領空……149
条約機構……149
安保条約・行政協定……149
漁業問題……150
国際紛争処理法……150
戦時国際法……151
第二次大戦……151
沖縄問題……151
国際犯罪……152
国際連合……152
国際私法……153
国籍法……153

政治

政治学……154
政治思想……154
政治史・政治事情……156
日本……156

アメリカ …… 157
イギリス …… 157
ソヴェト …… 157
中　　国 …… 157
ドイツ …… 157
フランス …… 158
其の他の諸国 …… 158
政党・選挙 …… 158
　政　　党 …… 158
　選　　挙 …… 158
議　　会 …… 159
行　　政 …… 159
　地方行政 …… 159
国際政治・外交史 …… 160

法　　律　　学

法哲学・法律学史・法思想史

イェーリング「法における目的」
潮見俊隆　法学セミナー　28（'58—7）

ヴイコ「すべての法の一つの源と目的」を中心として
杉山茂顕　人文学報　18（'58—3）

オースティンと自然法
八木鉄男　同志社法学　10—4（'59—2）

カール・エンギッシの「法学的思考入門」
五十嵐　清　法哲学年報　1958年（'59—4）

学界回顧　1958年——法哲学
阿南成一　法律時報　30—12（'58—12）

学界回顧　1959年——法哲学
松尾敬一　法律時報　31—13（'59—12）

ギリシヤ・ローマ及び中世の法理観——法と正義との関係
楠　正純　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　（'56—7）

近代主権国家の生成の時代に於ける法哲学
山中康雄　法経論集（愛知）　25（'59—1）

グュンター・シュトラーテンヴェルト「事物の本性」の法理論的問題【紹介】
内藤　謙　法学協会雑誌　75—3（'58—10）

ケルゼン「純粋法学」
阿南成一　法学セミナー　42（'59—9）

ケルゼン・正義とは何か
西村克彦　法律のひろば　11—4（'58—4）

ケルゼン「正義論集」【紹介】
松尾敬一　神戸法学雑誌　8—4（'59—3）

ケルゼンのヴィシンスキー法理論批判について
木田純一　法経論集（愛知）　21/22（'58—3）

経済行為論の自然法的原型——ロックの人間悟性論と統治論をむすぶ環
久保孝一郎　商経法論叢　8—2（'57—9）

権利の基礎——ジャン・ダバンのばあい
水波　朗　法政研究　25—2/4（'59—3）

古代及び中世の正義観
大原長和　法政研究　25—2/4（'59—3）

構造の概念と構造論の方法
千葉正士　人文学報　18（'58—3）

最高法規の思想——成文化への過程
井上　茂　法哲学年報　1957年（'58—3）

シャルモン「自然法の再生」
三代川潤四郎　法学セミナー　32（'58—11）

市民社会とは何かということについての法哲学史的考察
山中康雄　九州大学法学部創立30周年記念論文集（'57—12）

自然法思想の生誕とその発展
川西　誠　法学紀要　1（'59—5）

自然法と最高裁判所
宮沢俊義　歴史教育　6—9（'58—9）

自然法における自然の概念について
阿南成一　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

自然民権法学の由来——日本における法学発達史の一断面
中村吉三郎　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

思考方法と法理論——思想史的考察
井上　茂　綜合法学　2—7（'59—7）

上部構造としての法
森田義之　哲学会誌　9（'58—12）

正義の内容なき定式とその機能
松尾敬一　国民経済雑誌　100—5（'59—11）

制度理論における法人格論
小西美典　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

聖トマス・アクィナスの刑罰思想
金沢文雄　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

聖トマス・アキナスの法思想
鱸　正太郎　静岡大学文理学部研究報告社会科学 6（'57—12）

戦後日本の法と法思想について
恒藤　恭　季刊法律学　25（'58—1）

適法性の論理——カントにおける法律学の道徳哲学的基礎づけ
山下太郎　倫理学年報　8（'59—2）

党派と人倫——ヘーゲルの法哲学をめぐつて
山高竜男　福岡学芸大学紀要　8（'58—12）

道徳経験と法経験
飛沢謙一　法哲学年報　1958年（'59—4）

ナポレオン法典と註釈法派——フランス法思想史の一断面
飛沢謙一　法と政治　10—3（'59—10）

フェヒナー「法哲学」【書評】
阿南成一　法学雑誌　5—1（'58—7）

フリードリッヒ・カール・フォン・サヴィニー
蓼沼謙一　一橋論叢　41—4（'59—4）

フランク「法と近代精神」
鵜飼信成　法学セミナー　45（'59—12）

プラグマティズム法学の批判的考察——とくに「法は仮説である」とする立場について
下山瑛二　山之内先生追悼論文集　（'59—10）

プラトンの法律哲学
高尾正男　八幡大学論集　10—1（'59—10）

福田恒存氏に答える——法と道徳について
田中耕太郎　心　10—11（'57—11）

ヘーゲル刑罰理論の本質　<1>

木村慎造　フィロソフィア　34（'58—6）

ヘーゲルにおける政治的イデオロギーの概念について——法哲学における Parteilichkeit の問題
山下太郎　静岡大学文理学部研究報告人文科学　8（'57—12）

ヘーゲルの法哲学
鱸　正太郎　静岡大学文理学部研究報告社会科学　7（'58—12）

ヘーゲルの市民社会について——法哲学を中心として
渡辺安夫　哲学論叢　20（'58—3）

ヘーゲル「法哲学綱要」
小林直樹　法学セミナー　29（'58—8）

ホッブス自然法思想の近代性解釈をめぐつて——とくにウオリンダー氏の所論を中心として
田中正司　横浜大学論叢　10—3/4（'59—5）

法を超越する法——自然法の理念
川西　誠　会田博士喜寿記念論文集　（'57—5）

法感情についての一ノート
大橋智之輔　法学（近大）　7—2/4（'59—2）

法感情の概念の本質——リーツレルの法心理学的考察の研究
朝川伸夫　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

法哲学的相対主義と世界観の決定
橋本辰夫　哲学会誌　9（'58—12）

法哲学と法価値論の現実的基礎<1>
海原裕昭　社会科学論集（高知）　6（'57—12）

法哲学の起源——ソローンの法思想<1, 2>
古林祐二　法学論叢（福岡）　3—3（'58—10）; 3—4（'59—1）

法哲学の現代的課題に関する問題の提起
八木鉄男　三重法経　2（'54—3）

法と道徳
川島武宜　法哲学年報　1957年（'58—3）

法と道徳の構造論的考察
小林直樹　法哲学年報　1957年（'58—3）

法と道徳の問題おぼえがき
竹内一雄　高知女子大学紀要人文社会科学　7—3（'58—12）

法と道徳の問題について
恒藤　恭　法哲学年報　1957年（'58—3）

法と人間とに関する一考察——「法における人間」の論理構造とその歴史的変遷
真田芳憲　哲学会誌　8（'57—12）

法と論理——法原理の論理的構造　<1〜4完>
Stoljar, S. J.　判例タイムズ　10—6〜8, 11（'59—6〜8, 11）

法における正義の展開
中村彌三次　上智法学論集　1—1（'57—12）

法の解釈のトマス主義的基準に関する研究
高坂直之　北海道学芸大学紀要　8—1（'57—7）

法の概念をめぐる若干の問題について
加藤新平　法哲学年報　1956年（'57—4）

法の精神について
恒藤　恭　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）

法の理念について
星　光　福島大学学芸学部論集　9—2（'58—3）

法は道徳に非ず
福田恒存　心　10—10（'57—10）

法民族学の基本的課題——原始血縁共同態の構造原理
江守五夫　山之内先生追悼論文集　（'59—10）

法理学史の独立性
中谷敬寿　綜合法学　1—1（'58—6）

法理論における「法的前提」設定の意味——J. コーラと R. パウンドとの比較において
佐藤節子　青山法学論集　1—1/2（'59—11）

法律学における理論
井上　茂　ジュリスト　188（'59—10）

法律の論理　<2>
立石竜彦　法律論叢　31—5（'58—2）

北欧のリアリズム法学——ロス「法と正義について」から
西村克彦　法律のひろば　12—8（'59—8）

マルクス主義法理論における「法と道徳」の問題
天野和夫　法哲学年報　1957年（'58—3）

モンテスキューにおける法と道徳　<1, 2完>
佐竹　寛　法学新報　65—1, 2（'58—1, 2）

ラードブルッフと悪法論
八木鉄男　三重法経　4（'55—3）

リアリズム法学
鵜飼信成　法学セミナー　24（'58—3）

ルナール「制度理論」と「制度哲学」
小林珍雄　法学セミナー　41（'59—8）

若きロックの思想形成について——自然法論を中心にして
中村恒矩　一橋研究　4（'58—3）

B. マリノウスキーの「原始法」学説について　<1, 2>
江守五夫　法律論叢　32—4, 6（'59—1, 4）

法律学一般・解釈学・法学教育

因果関係論
西村克彦　岡山大学創立10周年記念論文集　上（'59—10）

ヴィーアッカー「理性法の時代」訳　<3>
鈴木禄彌　季刊法律学　25（'58—1）

ヴィノグラドフ「法の論理」
末包留三良　法学（近大）　6—2/3（'57—11）

尾高朝雄著「法律の社会的構造」1956年【紹介】
碧海純一　国家学会雑誌　72—7（'58—7）

ギールケ「ドイツ団体法」
戒能通孝　法学セミナー　40（'59—7）

近代市民法の論理
川崎武夫　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—3）

近代法の法源と法解釈学
川崎武夫　法政論叢　7（'57—11）

経済学と法学——憲法学者の感想
長谷川正安　経済評論　7—4（'58—4）

「経済学批判」と法学および政治学
鈴木安蔵　法経論集（愛知）　29（'59—12）

経済・国家および法の相関関係
峯村光郎　法哲学年報　1956年（'57—4）

工学としての法学
宮崎俊行　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

公法と私法——わが国の実定法における公法と私法の区別
田中二郎　法学セミナー　29（'58—8）

国家と法について
高橋正臣　徳島大学学芸紀要　7（'58—2）

市民的実用法学とその科学性——実用法学と法社会学との架橋　<1〜3完>
川島武宜　法学セミナー　23〜25（'58—2〜4）

市民法秩序と国家権力　<1〜4>
渡辺洋三　ジュリスト　169, 173, 175, 177（'59—1, 3〜5）

市民法と社会法
戒能通孝　法律時報　30—4（'58—4）

市民法と社会法——市民法・社会法・行政法を中心として
渡辺洋三　法律時報　30—4（'58—4）

市民法と社会法について【アンケート】
石本雅男, 他　法律時報　30—4（'58—4）

市民法の生成と解体　<1〜5完>
宮川　澄　立教経済学研究　11—2（'57—11）; 11—3（'58—2）; 12—2, 3（'58—10, 12）; 13—1（'59—6）

私法と公法における通説（通説の法社会学的考察）
戒能通孝　法律時報　31—8（'59—7）

実定法の妥当根拠について
高根義三郎　判例時報　157（'58—8）

社会主義的合法性の諸問題——社会主義的合法性の原理　<1>
畑中和夫　立命館法学　31（'59—12）

社会的法治国家の本質
市川秀雄　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

社会変革と法
末川　博　立命館法学　29/30　（'59—9）

政治の動きと法
末川　博　法学セミナー　43（'59—10）

ダイシー「法と世論」
伊藤正己　法学セミナー　34（'59—1）

田畑忍博士著「法と政治の実践」を読んで
八木鉄男　三重法経　3（'55—1）

団体とその意思決定の仕方
清水平吉　青山経済論集　11—2/3（'59—11）

「通説」の法社会学的考察——問題の所在
唄　孝一　法律時報　31—8（'59—7）

通説について
田畑　忍　同志社法学　11—1（'59—6）

討論の紹介と感想（通説の法社会学的考察）
石村善助　法律時報　31—8（'59—7）

独占段階における法の危機——抵抗権の法理を中心に
熊倉　武　山之内先生追悼論文集　（'59—10）

日本的順法精神
家永三郎　法学セミナー　33（'58—12）

日本の法学と法学教育——日本の印象
Gellhorn, W.　ジュリスト　176（'59—4）

「日本の法学と法学教育」から何を学ぶか【対談】
田中二郎, 鵜飼信成　ジュリスト　176（'59—4）

日本における社会法理論の展開
丹宗昭信　法律時報　30—4（'58—4）

判例の理解のしかた　<1, 2完>
井上正治　法律時報　30—6, 8（'58—6, 8）

文明概念としての法律学
立石竜彦　法哲学年報　1958年（'59—4）

ホームズ＝コンモンロー
道田信一郎　法学セミナー　31（'58—10）

法学入門　<9〜21>（通信講座）
赤塚政夫　民事研修　9〜31（'58—1〜'59—11）

法学の基礎【座談会】
升本喜兵衛, 小出康二, 宮崎澄夫, 川西　誠, 山本正太郎, 一又正雄　綜合法学　2—5（'59—5）

法学の性格
山中康雄　山之内先生追悼論文集　（'59—10）

法と国家
恒藤武二　理想　302（'58—7）

法と商品交換——私の従来の研究をかえりみて
山中康雄　法経論集（愛知）　29（'59—12）

法における因果関係　<1〜3>
Hart, H. L. A., 西村克彦訳　判例タイムズ　9—1, 3, 4（'58—1, 3, 4）

法の解釈と裁判
末川　博　季刊法律学　28（'59—10）

法の体系と法学の種別——法の総体的考察の試みの一つとして
盛　秀雄　経済研究（大阪府大）　6（'58—3）

法の適用の論理と法理
一円一億　法哲学年報　1958年（'59—4）

法律解釈の方法論に関する一考察
仲井間宗成　琉大法学　1（'58—6）

法律学をどう学ぶべきか——新入学生のために【座談会】
加藤一郎, 石川吉右衛門, 雄川一郎, 三ケ月　章, 金沢良雄, 矢沢　惇　ジュリスト　151（'58—4）

法律学をどう学ぶべきか——新入学生のために【座談会】
石川吉右衛門, 雄川一郎, 加藤一郎, 金沢良雄, 平野竜一, 三ケ月　章, 矢沢　惇　ジュリスト　176（'59—4）

法律学・政治学用語の選定と調整（法令昨今）
野間　繁　時の法令　291（'58—9）

法律学という殻
小松茂夫　法学セミナー　35（'59—2）

法律学に所謂「自由な意思」について
須永　醇　法文論叢　10（'58—11）

法律学のアポロギア
小林直樹　法学セミナー　36（'59—3）

法律感覚の渦
出射義夫　時の法令　309（'59—3）

法律的なるものと政治的なるもの
原田　鋼　綜合法学　17（'59—12）

法律と法律家の社会的性格
千葉正士　自由と正義　10—6（'59—6）

「法律による行政」と形式的法治国
高田　敏　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　（'56—7）

法律は曲解できる——しかし警職法を飴細工の如く自由に曲げられては困る
植松　正　文芸春秋　36—13（'58—12）

M. E. マイヤーの文化規範説
竹田直平　法学（近大）　6—2/3（'57—11）

比　較　法　学

〔具体的比較法はそれぞれの項目を見よ〕

欧米諸国の比較法研究所——附・世界比較法研究所関係年表
水田義雄　早稲田大学比較法研究所紀要　1（'57）

第5回比較法国際会議出席の記
谷口知平　比較法研究　19（'59—10）

比較法国際会議の系譜
水田義雄，佐々木信一　比較法研究　18（'59—4）

比較法的にみたドイツとアメリカ
山田　晟　法律時報　31—9（'59—8）

比較法とは何か
水田義雄　綜合法学　1—3（'58—8）

法の解釈方法としての比較法
高木　武　東洋法学　2—2（'58—11）

法　社　会　学

新しい学問としての法社会学
末川　博　季刊法律学　26（'58—6）

浦安漁民騒動の法社会学的考察
川島武宜　ジュリスト　159（'58—8）

エールリッヒ「法社会学の基礎理論」
磯村　哲　法学セミナー　38（'59—5）

岡松参太郎博士の台湾旧慣調査と華北農村慣行調査における末弘厳太郎博士
福島正夫　東洋文化　25（'58—3）

カール・レンナーの法社会学の方法——法の概念について
細野武男　立命館法学　27（'58—12）

学界回顧　1958年——法社会学
潮見俊隆　法律時報　30—12（'58—12）

学界回顧　1959年——法社会学
潮見俊隆　法律時報　31—13（'59—12）

漁村の村落と家族構造
中尾英俊　法経論集（佐賀）　7—1/2（'59—12）

共同体をめぐる法的秩序——共同体における裁判権の存在形態研究序説
染野義信　法学紀要　1（'59—5）

共同体の法構造——法社会学的視角からの一試論
江守五夫　法律論叢　33—3（'59—11）

社会規範としての年中行事
千葉正士　法学志林　57—2（'59—9）

前婚姻的自由交渉慣行について——その本質と諸規範原理
江守五夫　法社会学　9（'57—4）

村落構造の一考察——構造の型に関連して
高橋統一　法社会学　10（'57—6）

村落の法秩序と国家法
中尾英俊　法経論集（佐賀）　5—2（'58—5）

農村問題と法社会学
稲子恒夫　季刊法律学　26（'58—6）

ボイテルの実験法学について——法社会学的視角よりの一考察
及川　伸　法と政治　10—4（'59—11）

法学と実態調査
渡辺洋三　季刊法律学　26（'58—6）

「法」現象の経験科学的考察——法社会学の課題への視角
及川　伸　東北法学会雑誌　9（'59—11）

法史学と法社会学
熊谷開作　季刊法律学　26（'58—6）

法社会学的「法」概念による現実分析について——法社会学の中範囲的理論への視角
及川　伸　法と政治　10—2（'59—6）

法社会学の成立と課題
飛沢謙一　綜合法学　1—7（'58—12）

法心理学と法社会学
西村克彦　季刊法律学　26（'58—6）

「マックス・ウェーバーの法社会学」ノート——「法社会学」の主題を方法と問題動機を中心として　<1>
川村泰啓　ジュリスト　155（'58—6）

祭の法社会学——その序説　<2>
千葉正士　法学志林　55—4（'58—3）

渡辺洋三著「法社会学と法解釈学」【書評】
加藤新平　法律時報　31—10（'59—9）

実態調査報告

入会農用林野の解体といわゆる共同体的所有について
小栗　宏　地理学評論　31—7（'58—7）

近江五個荘における山割制度
原田敏丸　彦根論叢　43（'58—5）

近畿の山村における入会および財産区に関する調査報告
法と政治　10—2（'59—6）

滋賀県五個荘町における山割慣行
原田敏丸　彦根論叢　50（'58—11）

信州伊奈郡野池山の入会慣行の成立とその展開　<1〜4>
平沢清人　信濃　10—2〜4, 6（'58—2〜4, 6）

摂津の一農村における山割方法——谷田部郡奥平野村
原田敏丸　彦根論叢　52（'59—2）

村落共同体の解体と再構成に関する事例研究——広島県山県郡木東原部落の実態
八木佐市　政経論叢（広島）　8—2（'58—9）

村落における家と同族的構成および身分階層制——人工灌漑用水による三村落の調査報告
千葉正士　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）

中国旧慣の調査について【座談会】
天海謙三郎，安藤鎮正，幼方直吉，小沼　正，仁井田　陞，旗田　巍，福島正夫，前田勝太郎　東洋文化　25（'58—3）

東北山村における親族扶養の実態——宮城県刈田郡七ヶ宿村横川部落の場合
及川　伸　法社会学　10（'57—6）

農村選挙実態調査報告——一部落における町会議員選挙
足立忠夫，及川　伸，加藤一明　法と政治　10—3（'59—10）

部落有林の存在型態——東京都西多摩郡桧原村の組共有地について
石村善助　法社会学　10（'57—6）

宮崎県臼杵郡における相続形態と経済的基礎
上野裕久　法社会学　10（'57—6）

立　法・立　法　学

あいまいな法律用語　<1, 2>
清水　新　財政経済弘報　683, 688（'58—3, 4）

誤訳考
植松　正　法学セミナー　34（'59—1）

公布の時と施行の時
佐藤達夫　ジュリスト　166（'58—11）

サヴィニー「現時における立法及び法学の任務」
高柳真三　法学セミナー　26（'58—5）

司法過程における立法的契機
早川武夫　法哲学年報　1958年（'59—4）

主要立法動向——審議状況と新年の課題
上田明信，堀内　仁，宮脇幸彦，塩崎　潤，坂根哲夫，舟木　凌，松田登夫，稲畑　穣　商事法務研究　161（'59—12）

戦後における立法および法律学の変遷【座談会】
我妻　栄，鵜飼信成，戒能通孝，木村亀二，田中二郎，辻　清明，野村平爾，松田二郎，宮沢俊義，村上朝一　法律時報　30—12（'58—12）

ベンタム「立法の原理」
長谷川正安　法学セミナー　27（'58—6）

法文書き雑感——これからの法律とその用語
植松　正　時の法令　302（'59—1）

法律公用文の横書
千種達夫　判例時報　192（'59—8）

法律制定の実態
黒田了一　法律公論　7—5（'58—5）

法律と政令　<1>
山本浩三　同志社法学　10—1（'58—5）

法律とその過・不足
高橋勝好　財経詳報　141（'58—1）

法令公布の時
千種達夫　判例時報　166（'58—11）

法令上「外国」とみなすことの意味
時の法令　323（'59—8）

法令の解釈等について
林　信一　学校経営　3—2（'58—2）

法令の公布と施行の時期——最高裁判決を読んで
林　修三　自治研究　35—1（'59—1）

法令の公布と施行の時期に関する注目すべき新判例　<上，下>
時の法令　299, 300（'58—12）

法令の公布について——判例を中心として
中谷敬寿　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）

法令の効力発生の時点——最高裁判例の研究
高橋勝好　財経詳報　230（'59—4）

飜訳の法律
鵜飼信成　時の法令　287（'58—8）

昔の法制審議会などの思い出
横田正俊　法曹　93（'58—7）

立法過程における法制審議会の役割【座談会】
我妻　栄，安倍　恕，斎藤朔郎，林　修三，真野　毅，村上朝一　法律時報　30—7（'58—7）

立法過程の問題点——その理論的研究の序説
小林直樹　法律時報　30—7（'58—7）

立法学
鵜飼信成　法律時報　31—7（'59—6）

立法整備の宿題
高辻正巳　自治研究　34—7（'58—7）

立法と立法批評
松尾敬一　法哲学年報　1956年（'57—4）

立法・法令の民主化について
鮫島真男　民事研修　30（'59—10）

外　国　法　律　学

諸　　国

アーサ・T. ヴァンメーレン「大陸法」【紹介】
道田信一郎　法学論叢　64—3（'58—8）

欧米の法学教育の実態——日本の法学教育の問題点はどこにあるか【座談会】
久保正幡，伊藤正己，田辺公二，野田良之，三ケ月　章，山田幸男　法律時報　30—5（'58—5）

学界回顧　1958年——外国法
伊藤正己　法律時報　30—12（'58—12）

学界回顧　1959年——外国法
伊藤正己　法律時報　31—13（'59—12）

ラテン・アメリカ事情
佐野泰彦　法律時報　31—4（'59—4）

ラテン・アメリカにおける法思想
西　　賢　季刊法律学　25（'58—1）

アメリカ

アメリカにおける社会法の発達——資本主義と法の発展
鵜飼信成　法律時報　30—4（'58—4）

アメリカにおける戦後法思想の発展——特に実験主義法学の主張について
早川武夫　季刊法律学　25（'58—1）

アメリカにおける法学教育
不破勝敏夫　山口経済学雑誌　9—4（'58—12）

アメリカの法学教育と市民生活における法意識 【座談会】
川島武宜，小堀憲助，平　良，田中英夫，谷川　久
ジュリスト　177（'59—5）

アメリカの法学生——ハーバード大学の学生生活から 【座談会】
エンカー，A.，安倍治夫，松本　博，隅野隆徳　法学セミナー　35（'59—2）

アメリカ法社会学の動向
及川　伸　季刊法律学　26（'58—6）

アメリカ法入門
塚本重頼　綜合法学　2—3（'59—3）

最近のアメリカにおける法思想——自然法論を中心として
稲垣良典　法哲学年報　1958年（'59—4）

イ　ギ　リ　ス

イギリス Jurisprudence における「法と道徳」
八木鉄男　法哲学年報　1957年（'58—3）

イギリスにおける社会化の所有権法的構造　<1>
菅原勝伴　学園論集　3（'58—3）

イギリスにおける社会法の理念——福祉国家の展開
伊藤正己　法律時報　30—4（'58—4）

イギリスにおける法典化運動の一展開——その法思想と実用性の問題
水田義雄　法哲学年報　1958年（'59—4）

イギリス法入門
守屋善輝　綜合法学　1—4（'58—9）

英国衡平法の淵源——アングロ・サクソン期における主権の特質　<2, 3>
海原文雄　金沢法学　4—1, 2（'58—5, 10）

英法を学ぶために
英米法学　10（'59—4）

英法の孤立性について——英国比較法学の史的背景
水田義雄　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)

外国書講読——イギリス法　<1〜5>
内田力蔵　法学セミナー　37, 39, 40, 42, 44（'59—4, 6, 7, 9, 11）

先例拘束性との Distinguishing 機能　<1>
新井正男　法学新報　65—11（'58—11）

長谷川元吉著「イギリス法学入門」【書評】
裏　得郎　青山経済論集　10—3（'58—12）

フランシス・ベーコンの法律改革提案について
水田義雄　早稲田法学　35—3/4（'59—8）

イ　タ　リ　ア

イタリー法入門
矢田一男　綜合法学　1—7（'58—12）

イタリアの法思想——その歴史と特色
阿南成一　季刊法律学　25（'58—1）

最近のイタリアにおける自然法論の動向
阿南成一　法哲学年報　1958年（'59—4）

イ　ン　ド

19世紀印度法典化の顛末
水田義雄　早稲田法学　33—1/2（'58—3）

戦後インドの法思想
黒木三郎　季刊法律学　25（'58—1）

ソ　ヴ　ェ　ト

「経済学批判」とソヴェト法理論
木田純一　法経論集（愛知）　29（'59—12）

社会主義的所有と市民法
藤田　勇　山之内先生還暦記念論文集　('58—9)

社会主義的所有の二形態とその発展について
富岡　裕　法経論集（愛知）　23/24（'58—11）

社会主義法の現在的な諸問題　<下>
福島正夫　思想　410（'58—8）

ソヴェト法と現代
稲子恒夫　法学セミナー　23（'58—2）

ソヴェト法入門　<1〜8>
福島正夫　法学セミナー　37〜42, 44, 45（'59—4〜9, 11, 12）

ソヴェト法入門
松下輝雄　綜合法学　2—6（'59—6）

ソヴェト法の存在構造
木田純一　山之内先生還暦記念論文集　('58—9)

ソヴェト法理論——スターリン時代，そしてそれ以後
稲子恒夫　季刊法律学　25（'58—1）

ソ同盟最高ソヴェト幹部会令について——社会主義的合法性と関連して
畑中和夫　立命館法学　29/30（'59—9）

ソ同盟における新しい法類型の形成
松下輝雄　山之内先生還暦記念論文集　('58—9)

ソ連の裁判制度をのぞく——革命40年記念式典に招かれて【対談】
長野国助，鍛冶利一　法律新聞　83/84（'58—1）

パシュカーニス「法の一般理論とマルクス主義」
稲子恒夫　法学セミナー　43（'59—10）

パシュカーニス法理論批判
柳　春生　法政研究　25—2/4（'59—3）

中　　国

新しい中国の法と道徳——中国の旅の印象
仁井田　陞　歴史学研究　236（'59—12）

新中国における法思想
平野義太郎　季刊法律学　25（'58—1）

新中国の法律制度——思想の改造は刑罰を軽減する　<6>
新井正男　法律新聞　86（'58—1）

中国における戦後の法思想
小岩井　浄　季刊法律学　25（'58—1）

中国の俗信と法思想
増田福太郎　岡山大学創立10周年記念論文集　上（'59—10）

中国の法と社会 【座談会】
福島正夫，野村平爾，仁井田　陞，吉井　晃，小島成一
法律時報　31—12（'59—11）

中国の法律制度を聴く——中国法律家代表団との懇談会
法律新聞　94（'58—5）

ド　イ　ツ

ドイツにおける社会法の発展
峯村光郎　法律時報　30—4（'58—4）

ドイツの法学教育について
三ケ月　章　司法研修所報　21（'58—9）

ドイツ法的考え方と法学のあり方
山田　晟　ジュリスト　162（'58—9）

ドイツ法的考え方と法学のあり方
山田　晟　比較法研究　16（'58—4）

ドイツ法入門——ゲルマン法思想を中心として
石尾芳久　綜合法学　1—5（'58—10）

フランツ・ヴィーアッカー「ドイツにおけるヨーロッパ的法学の継受」訳　<2〜4>
鈴木禄弥　国家学会雑誌　72—3, 5, 6（'58—3, 5, 6）

フ　ラ　ン　ス

最近のフランス法理論——自然法論を中心として
小西美典　法哲学年報　1958年（'59—4）

フランスの法学教育の一断面
石崎政一郎　大学資料　12（'59—1）

フランスの法社会学
恒藤武二，海原裕昭　季刊法律学　26（'58—6）

フランス法における社会法の概念——その学説的変遷
飛沢謙一　法律時報　30—4（'58—4）

フランス法入門
大野実雄　綜合法学　1—6（'58—11）

フランス法入門　<1〜10>
野田良之　法学セミナー　25〜33（'58—4〜12）；34（'59—1）

其　の　他

イスラエル共和国の法律制度
赤井　節　法と政治　9—4（'58—12）

インドネシア法系の成立——民族的考察　<1, 2>
増田福太郎　法経学会雑誌　28, 31（'59—3, 12）

雑　　集

永続する平和
高根義三郎　判例時報　137（'58—2）

からだの処分（法令昨今）
山本進一　時の法令　293（'58—10）

現下諸問題の反省と指針 【シムポジウム】
我妻　栄，宮沢俊義，鈴木竹雄，田中二郎，兼子　一，石井照久　ジュリスト　168（'58—12）

憲法と人生——ある戦争責任
中村　哲　法学セミナー　23（'58—2）

最近の世相と法律——暴力まかり通る 【座談会】
大宅壮一，小津茂郎，神近市子，野村正男，三戸岡道夫，宮沢俊義　ジュリスト　160（'58—8）

「裁判」ドラマの生まれるまで
大津皓一　法学セミナー　41（'59—8）

司法研修所の記念論文集について
村松俊夫　法律時報　30—10（'58—10）

人権擁護局
我妻　栄　ジュリスト　190（'59—11）

人工衛星の法律学
林　修三　時の法令　266（'58—1）

戦後の国内法令集の概観
レファレンス　100（'59—5）

戦後の法律政治関係図書の概観
レファレンス　100（'59—5）

小さな町の裁判官
菊地　博　法学セミナー　45（'59—12）

小さな町の地方検事——トレイヴァー「小さな町の地方検事」によせて
平出　禾　法学セミナー　45（'59—12）

通信教育制度——その理想と現実
菊井維大　法学セミナー　38（'59—5）

ドラマになつた私の「裁判」
吉田　久　法学セミナー　41（'59—8）

年間回顧　1958年——制定法・判決・主要事件
芦部信喜，雄川一郎，加藤一郎，金沢良雄，兼子　仁，小島和司，佐藤　功，真田秀夫，鈴木重武，団藤重光，寺沢　一，花見　忠，西沢哲四郎，平野竜一，矢沢　惇
ジュリスト　168（'58—12）

判決文の「つづり方教室」——判決文はわかりやすく書く必要はないものか
大久保忠利　法学セミナー　38（'59—5）

日の丸談義
佐藤達夫　時の法令　266（'58—1）

文学士と法学士の対話——子だけを生残しておけない心理
中川善之助　判例時報　136（'58—1）

法学——1958年の収穫 【アンケート】
法律時報　30—12（'58—12）

法学生と六法全書——悪魔の聖書としないために
山主政幸　法学セミナー　38（'59—5）

法制に関係ある隅田川両岸の名所旧蹟
滝川政次郎　綜合法学　2—7（'59—7）

法の日制定運動におもう
高梨公之　時の法令　337（'59—12）

法文作りの立場——大久保氏の診断を読んで
林　修三　法学セミナー　36（'59—3）

法令用語を診断すれば
大久保忠利　法学セミナー　35（'59—2）

法律家の論理　<1, 2>
加藤子明　法学セミナー　43, 44（'59—10, 11）

窓口（民法断想）
中川善之助　法律時報　30—2（'58—2）

民商法四半世紀
末川　博　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）

眼の銀行（民法断想）
中川善之助　法律時報　30—1（'58—1）

わが体験をとおして——法律的判断力の育成，法律研究のさまざま<2, 3>
真野　毅　判例時報　135, 145 ('58—1, 4)

伝記・追悼

ある私大教授の死
大輪盛登　法学セミナー　29 ('58—8)
梅謙次郎——日本の法学を創つた人々
中村吉三郎　法学セミナー　45 ('59—12)
織田万博士の追憶
佐々木惣一　公法研究　18 ('58—3)
カール・シュミットとの再会
鵜飼信成　法律時報　31—4 ('59—4)
回想の法学者　<1, 2>
滝川幸辰　綜合法学　16, 17 ('59—11, 12)
金森さんのこと　<1, 2>
佐藤達夫　時の法令　321, 322 ('59—7)
検事・弁護士・裁判官——ある法曹の半生
高木常七　法学セミナー　30 ('58—9)
児島惟謙（日本の名裁判官）
手塚　豊　法学セミナー　34 ('59—1)
裁判官としてのカルドーゾ　<1, 2>
桜田勝義　法学　23—1, 3 ('59—3, 10)
ジョルジュ・リペエル教授逝く
野田良之　法学協会雑誌　75—4 ('58—12)
ジョン・ヘンリイ・ウィグモア——その晩年の業績（1936〜43）
平　良　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部 ('58—11)
人権を守つた人々——布施辰治を中心に
平野義太郎　法学セミナー　44 ('59—11)
田村博士の学問と法律学
一円一憶　法と政治　10—4 ('59—11)
田村博士の行政学
長浜政寿　法と政治　10—4 ('59—11)
玉乃世履（日本の名裁判官）
手塚　豊　法学セミナー　36 ('59—3)
寺島　直（日本の名裁判官）
手塚　豊　法学セミナー　40 ('59—7)
ドイツ公法学界の人々
佐藤立夫　ジュリスト　180 ('59—6)
バーゲンシュテツヘルの死を悼む
高根義三郎　判例時報　142 ('58—3)
バウンド先生余聞
早川武夫　法学セミナー　26 ('58—5)
パピニアーヌスを想う
木村亀二　時の法令　321 ('59—7)
花井卓蔵【対談】
島田武夫，山主政幸　法学セミナー　44 ('59—11)
穂積八束——日本の法学を創つた人々
長谷川正安　法学セミナー　44 ('59—11)
法学博士米谷隆三君とその業績——一つの評伝
山中篤太郎　一橋論叢　41—2 ('59—2)
法改革のたたかい——バンダービルト長官の死をいたむ
服部高顯　司法研修所報　21 ('58—6)
三宅正太郎（日本の名裁判官）
伊能幹一　法学セミナー　37 ('59—4)
山之内君を憶う
杉之原舜一　法律時報　31—11 ('59—10)
横田秀雄（日本の名裁判官）
手塚　豊　法学セミナー　35 ('59—2)
リペール教授逝く
小町谷操三　法学　22—4 ('59—1)
J. H. ウイグモア博士関係文献目録
平　良　法学研究　31—2/3 ('58—3)
L. H. モーガン——在野の学者の一つの典型
大道安次郎　法学セミナー　32 ('58—11)

国会概観

第28国会の概観と政治状況（国会と立法過程）
戒能通孝　法律時報　30—7 ('58—7)
第28国会立法概説——附・通過新法律成立経過一覧
野木新一，吉国一郎　法律時報　30—7 ('58—7)
第29国会立法概観
野木新一　法律時報　30—8 ('58—8)
第29回特別国会
大井民雄　ジュリスト　159 ('58—8)

国際会議

〔個々の会議はそれぞれの項を見よ〕
アジア・アフリカ法律家会議に出席して
小岩井　浄　ジュリスト　148 ('58—2)
アジア・アフリカ法律家会議の立役者
長谷川正安　法学セミナー　26 ('58—5)
国際裁判官連合第1回総会その他
入江俊郎　時の法令　301 ('58—12)
国際法曹委員会のデリー宣言——法の支配の観念は変つた
平野竜一　ジュリスト　176 ('59—4)
二つの国際法律家会議
平野義太郎　法律時報　30—1 ('58—1)

外国事情

イギリス人の法生活
有泉　亨　社会科学研究　10—2/3 ('58—11)
インドとセイロンの印象
安倍治夫　法学セミナー　42 ('59—9)
コートとトライビューナル
有泉　亨　時の法令　288 ('58—8)
中共の文字改革と日本の法令
宮沢俊義　時の法令　273 ('58—3)
中国の法律家たち——中国法律家訪日代表団随行記
潮見俊隆　法律時報　30—7 ('58—7)
ドイツ便り　<1>
団藤重光　ジュリスト　192 ('59—12)
ドイツの法学生【対談】
三ケ月　章，W. レール　法学セミナー　28 ('58—7)
トルコの印象　<1, 2>
高橋貞三　同志社法学　10—6 ('59—3); 11—1 ('59—6)
西ドイツの学生生活——政治と学問
清水　誠　法律時報　30—6 ('58—6)
ハンブルグ通信
近藤完爾　判例タイムズ　10—6 ('59—6)
ヨーロッパの旅から——イタリア通信　<1, 2>
団藤重光　ジュリスト　178, 179 ('59—5, 6)
ライン氏を囲んで【座談会】
内藤頼博，他　法の支配　1 ('59—6)

法　制　史

法制史一般

学界回顧　1959年——法制史
高柳真三，武藤智雄　法律時報　31—13 ('59—12)
教材法史学　<1, 2>
西本　穎　名城法学　8—1, 2 ('58—6, 10)
メイトランド法史学の発足　<3完>
水田義雄　早稲田法学　34—1/2 ('58—9)

ローマ法

コリ教授「ウムブリヤ人の公法とエウグビネ表」【紹介】
矢田一男　法学新報　66—2 ('59—2)
古代ギリシヤ法とローマ法との関係について
古林善祜　法学論叢（福岡）　3—2 ('58—7)
古代ローマにおける家族態容の変化の過程について——「最近宗族」の形成に続く過程
吉野　悟　勝本正晃先生還暦記念論文集　下 ('59—5)
古代ローマにおける「最近宗族」の法的地位の形成過程について
吉野　悟　専修大学論集　20 ('59—6)
古代ローマにおける自力救済制限の萌芽
明石三郎　岩崎教授在職35周年記念論文集 ('58—2)
古代ローマの或る日（法史夜話）
田中周友　法学セミナー　39 ('59—6)
信託遺贈と意思の抬頭
武藤智雄　阪大法学　30 ('59—2)
テオドシウス法典における奴隷婚をめぐる問題
弓削　達　史学雑誌　67—3 ('58—3)
テオドシウス法典における奴隷の刑罰
弓削　達　歴史評論　101 ('59—1)
テオドシウス法典における奴隷の司法的地位
弓削　達　研究（神戸大）　19 ('59—3)
なやみは同じ（法史夜話）
武藤智雄　法学セミナー　45 ('59—12)
不当徴収返還請求アキリア法大要　<1>
矢田一男　法学新報　66—12 ('59—12)
ユスチニアヌス帝学説彙纂第20巻邦訳　<1〜3>
京大西洋法史研究会　法学論叢　63—6 ('58—2); 64—1, 2 ('58—4, 8)
ユスチニアヌス帝学説彙纂第21巻邦訳　<1〜6>
京大西洋法史研究会　法学論叢　64—3〜5 ('58—8, 10, 12); 64—6 ('59—2); 65—2, 3 ('59—5, 6)
ユスチニアヌス帝学説彙纂第22巻邦訳　<1—4>
京大西洋法史研究会　法学論叢　65—4 ('59—7); 66—1〜3 ('59—10〜12)
ローマの窃盗あれこれ（法史夜話）
船田享二　法学セミナー　42 ('59—9)
ローマ法における寄与過失の問題
石本雅男　小池隆一博士還暦記念論文集 ('59—6)
ロマニストのプロフィル（法史夜話）
武藤智雄　法学セミナー　36 ('59—3)
Repetundae の端緒
矢田一男　法学新報　66—6 ('59—6)
Uti Possidetis 特示命令に関するガイウス文(Gai. 4, 148)におけるインテルポラティオの可能性について<2〜4>
小菅芳太郎　国家学会雑誌　72—4, 6, 10 ('58—4, 6, 10)

日本法制史

上世

イネと古代法　<1>
鍋田　一　法律論叢　32—2 ('58—10)
イモ・セの用語からみた家族・婚姻制度
品川滋子　文学　27—7 ('59—7)
延喜・天暦期の天皇と貴族
上横手雅敬　歴史学研究　228 ('59—2)
桓武朝における政治権力の基盤
直木孝次郎　歴史学研究　228 ('59—2)
監臨主守盗について
利光三津夫　滝川博士還暦記念論文集　2 ('57—7)
記紀・古風土記・萬葉集等に見える古代物権とその対抗要件
奥野彦六　会田博士喜寿記念論文集 ('57—5)
古代権力強化の国際的契機——道鏡即位の意志がうまれた地盤についての一考察
藤間生大　歴史学研究　228 ('59—2)
古代法の成立について
石母田　正　歴史学研究　229 ('59—3)
皇親官僚制成立の意義

高橋富雄　歴史学研究　228（'59—2）

婚姻と嬬歌会
高梨公之　日本法学　35—3/5（'59—10）

西凉及び両魏の戸籍と我が古代戸籍との関係——附・課役問題の現状
曾我部静雄　法制史研究　7（'57—3）

死亡者の口分田収法についての大宝令条文の復元について
喜田新六　日本歴史　114（'57—12）

蘇我倉山田石川麻呂の事件について——大化改新の研究第一部　<1>
北山茂夫　立命館法学　28（'59—3）

賊盗，闘訟律の異文について
利光三津夫　日本上古史研究　2—4（'58—4）

大化改新と天皇権力
関　　晃　歴史学研究　228（'59—2）

大宝・養老令に於ける口分田の収授規定
虎尾俊哉　法制史研究　7（'57—3）

帳内資人考——律令における主従制の研究
大曾　亮　法経学会雑誌　30（'59—9）

天平の廟堂と官人構成の変化
林　陸朗　歴史学研究　228（'59—2）

名成立の歴史的前提——律令制解体期における口分田と墾田について
村井康彦　歴史学研究　215（'58—1）

奈良時代の婚姻についての一考察　<1, 2完>
伊東すみ子　国家学会雑誌　72—5（'58—5）；73—1（'59—6）

奈良時代の利息附消費貸借法——月借銭の研究
細川亀市　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）

難波と東国防人制
滝川政次郎　政経論叢（国学院）　7—1（'58—7）

難波の水上の関所「津」について
滝川政次郎　政経論叢（国学院）　6—3（'58—3）

日唐軍防令の比較研究
石尾芳久　岩崎教授在職35周年記念論文集　（'58—2）

日唐律の比較研究
石尾芳久　法学論集　8—3（'58—11）

日本古代贖罪制度考
牧　英正　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

日本古代の刑罰体系　<1, 2完>
石尾芳久　法学論集　8—1, 2（'58—9, 10）

日本古代の親族組織　<1, 2完>
大曾　亮　法経学会雑誌　25, 26（'58—6, 9）

日本の官位令と唐の官品令
宮崎市定　東方学　18（'59—6）

ハラヘ考
杉山晴康　早稲田法学　33—1/2（'58—3）

法制に関する古典籍目録解題　<1, 2>（日本古代法制書目の研究）
武藤和夫　三重法経　3（'55—1）；5（'56—1）

万葉集にみえた婚姻法——序説
高梨公之　日本法学　24—5（'58—12）

ミソギ考
杉山晴康　早稲田法学　34—3/4（'59—3）

養老律五条について　<上，下>
利光三津夫　日本上古史研究　3—2, 3（'59—2, 3）

養老律叢残
利光三津夫　史学雑誌　68—10（'59—10）

律と醫——令の食膳制と医制との研究　<1, 2>
滝川政次郎　政経論叢（国学院）　8—1, 2（'59—8, 11）

律令国家と天皇制の特集に当つて
歴史学研究　228（'59—2）

律令時代における淀川河畔の牧場
滝川政次郎　政経論叢（国学院）　6—1（'57—7）

律令時代の相続制
亀田隆之　法社会学　7/8（'56—7）

律令身体障者保護法の実施——わが古代の救恤法　<2>
利光三津夫　東洋法学　2—1（'58—5）

律令賤民法の一考察
大曾　亮　岡山大学創立10周年記念論文集　上（'59—10）

律令制の変質化と大学寮教育の消長
村上唯雄　熊本大学教育学部紀要　7（'59—2）

律令における小作法
橋川　渡　農業法研究　1（'58—9）

律令における私田の地主権
細川亀市　滝川博士還暦記念論文集　2（'57—7）

律令の民事訴訟法
滝川政次郎　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

令義解の序文について
布施彌平次　法学紀要　1（'59—5）

令制に於ける親族
布施彌平治　沼博士古稀記念論文集　（'58—2）

令制に於ける年令による刑事無責任について
布施彌平治　日本法学　35—3/5（'59—10）

令制下における浮浪，逃亡，浮浪人について　<上>
喜田新六　歴史教育　6—6（'58—6）

わが国における古代刑法の成立
杉山晴康　綜合法学　2—2（'59—2）

我が国に舶載された唐律の註釈書とその逸文
利光三津夫　史学雑誌　67—11（'58—11）

我が位階制度に於ける初位と外位
曾我部静雄　歴史地理　89—2（'59—6）

中　　世

鎌倉幕府の没収刑の一考察——幕府の没収刑と律令の贖銅制の関聯について
牧　英正　法学雑誌　5—2（'58—11）

9〜13世紀における私領の形成と鎌倉幕府法——山野未開地所有の問題を中心として
島田次郎　史学雑誌　67—10（'58—10）

公家領荘園における領主権の構造
永原慶二　一橋論叢　40—6（'58—12）

郷司の成立について
松岡久人　歴史学研究　215（'58—1）

庄園制の崩壊過程——室町時代の東寺領太良庄
井ケ田良治　同志社法学　9—5（'58—1）

荘園制解体期の農民層と名の性格——東大寺領美濃国大井荘について
大石直正　歴史学研究　215（'58—1）

中世の相続制
新田英治　法社会学　7/8（'56—7）

中世武家女性の一期譲与
辻村輝雄　信州大学教育学部研究論集　9（'58—3）

日本中世法にみえる用益権——一期分について
隈崎　渡　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

年序法成立の歴史的背景
小川清太郎　滝川博士還暦記念論文集　2（'57—7）

秀吉前後の人身売買法　<1, 2完>
牧　英正　法学雑誌　5—1（'58—7）；6—2（'59—11）

文治2年の守護地頭停止について——吾妻鏡の本文批判の試み　<2>
石母田　正　法学志林　56—1（'58—7）

武家法時代に於ける強制履行
小野村資文　法学（近大）　7—2/4（'59—2）

近　　世

会津藩「刑則」考
手塚　豊　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

生き返つた死刑囚とその処置（法史夜話）
手塚　豊　法学セミナー　30（'58—9）

伊勢・伊賀・志摩・紀伊の諸藩に於ける近世五人組制度の研究
武藤和夫　三重法経　7（'58—3）

家質の研究
石井良助　国家学会雑誌　73—3（'59—10）

一審制の裁判（法史夜話）
高柳真三　法学セミナー　43（'59—10）

江戸期長崎の刑事裁判——長崎奉行所「犯科長」を通してみた世態人情
宮坂　宏　刑政　69—10（'58—10）

江戸時代前期における少年保護について
丸目　透　法政史学　10（'57—12）

江戸時代における出版取締
布施彌平治　東博士古稀記念論文集　2（'58—9）

江戸時代における農民の家とその相続形態について
大石慎三郎　法社会学　7/8（'56—7）

江戸時代の出版（法史夜話）
高柳真三　法学セミナー　23（'58—2）

江戸時代の農民の「家」
北島正元　法社会学　7/8（'56—7）

江戸時代の保全手続
春原源太郎　自由と正義　10—7（'59—7）

江戸時代農民相続論の展開
熊谷開作　阪大法学　29（'58—12）

江戸城の大奥（法史夜話）
石井良助　法学セミナー　37（'59—4）

女名前三年
春原源太郎　滝川博士還暦記念論文集　2（'57—7）

加賀藩家法の性格
服藤弘司　金沢大学法文学部論集法経篇　5（'58—2）

株仲間法の型態と効力——近江八幡株仲間作法帳を中心に
中埜喜雄　法と政治　10—4（'59—11）

斟酌と御用捨
滝川政次郎　法学セミナー　24（'58—1）

飢饉には婚を多くす（法史夜話）
熊谷開作　法学セミナー　40（'59—7）

近世大阪の先訴，後訴，同日願
春原源太郎　法制史研究　6（'56—3）

近世債権法上における証書の様能　<1, 2>
服藤弘司　金沢法学　4—2（'58—10）；5—2（'59—12）

近世大名の家訓——藩法研究の一問題
伊東多三郎　歴史地理　89—1（'58—12）

近代的自由刑の誕生
細川亀市　専修大学論集　18（'58—9）

慶安御触書考
榎本宗次　歴史評論　106（'59—6）

公家新制と武家新制の関係
水戸部正男　日本法学　25—2（'59—6）

小林一茶と相続問題（法史夜話）
熊谷開作　法学セミナー　28（'58—7）

古法漫筆——江戸時代　<1〜14完>
石井良助　時の法令　266〜279（'58—1〜5）

御公令謹身録　<1, 2>
布施弥平治　日本法学　24—1, 2（'58—6, 7）

西宮記の法制史的価値
宮城栄昌　法制史研究　8（'58—3）

猿飼，茶筅，夙および乞胸——江戸時代賤民の位置附に関する一つの試み
石井良助　国家学会雑誌　72—9（'58—9）

三善清行の意見12条
会田範治　綜合法学　1—7（'58—12）

事発日記——庁例における証拠法の発達
滝川政次郎　法制史研究　6（'56—3）

質物奉公
加藤行吉　自由と正義　10—3（'59—3）

酒狂の罪
高柳真三　法学セミナー　35（'59—2）

新庄藩の徒刑
手塚　豊　法学研究　31—9（'58—9）

親族扶養のこと（法史夜話）
大竹秀男　法学セミナー　44（'59—11）

摂津職の補任について
利光三津夫　法学研究　32—2/3（'59—3）

仙台藩における武家相続法
籏田　浩　法学　21—4（'58—2）

続古法制雑考　<1>
石井良助　国家学会雑誌　72—6（'58—6）

徳川時代における庶民の遺言
藤井　幸　日本法学　24—3（'58—11）

徳川時代の捨子禁令　<中，下>
碓井隆次　社会問題研究　7—4（'57—11）；8—1

('58—2)

徳川幕府刑法における共犯　<1, 2>
石塚英夫　法政研究　26—1, 2 ('59—7, 12)

徳川幕府刑法における贓物罪
石塚英夫　法政研究　25—2/4 ('59—3)

徳川幕府法における「婚姻の成立」——武家と庶民の場合の比較　<1, 2完>
山中永之佑　阪大法学　27, 28 ('58—7, 10)

名古屋・御城下
林　董一　法学研究（愛知）　1 ('58—10)

長岡藩の寄場と松山（高梁）藩の徒刑所——西洋近代的自由刑の移入を問題として
手塚　豊　法学研究　31—5 ('58—5)

長崎奉行の犯科帳——日本法制史上の宝典
滝川政次郎　法学セミナー　29 ('58—8)

日本刑法の歴史的変遷と未遂・不能犯——明治以前の法制について
西山富夫　名城法学　9—1 ('59—6)

日本庶民団体法史論覚書
前田正治　法と政治　10—3 ('59—10)

日本弁護士前史「公事宿」の研究——公事宿編述「秘下会」の紹介
滝川政次郎　早稲田大学比較法研究所紀要　8 ('59)

抜荷罪雑考
服藤弘司　法制史研究　6 ('56—3)

売買と賃貸借および質入（法史夜話）
石井良助　法学セミナー　22 ('58—1)

幕末期における専売制度の性格とその機能
吉永　昭　歴史学研究　218 ('58—4)

旗本の刑罰権
平松義郎　法制史研究　9 ('59—3)

藩法研究会「藩法集1，岡山藩　上」【紹介】
高柳真三　国家学会雑誌　73—4 ('59—12)

藩法研究会編「藩法集1，岡山藩　上」
中埜喜雄　法と政治　10—2 ('59—6)

避文に関する考察
平山行三　法制史研究　5 ('55—6)

武士相続に関する藩法資料——宇和嶋藩
大竹秀男　神戸法学雑誌　8—2 ('58—10)

再び牧，高柳両博士の教えに接して　<3完>
石井良助　国家学会雑誌　71—11 ('57—11)

法曹至要抄とその著者
坂本太郎　法制史研究　6 ('56—3)

苗字（法史夜話）
石井良助　法学セミナー　31 ('58—10)

昔の政府ひぼう罪の二，三について
布施弥平次　時の法令　319 ('59—6)

門屋，庇附出入——美濃国日野新田
春原源太郎　法制史研究　9 ('59—3)

遊女の起請文（法史夜話）
滝川政次郎　法学セミナー　32 ('58—11)

歴史的に見た恩赦（法令昨今）
布施弥平次　時の法令　309 ('59—3)

明　　治

愛知県春日井郡における地租改正の施行過程
近藤哲生　経済科学　7—2 ('59—10)

新たなる身上証書法律案
向井　健　法学研究　32—10, 12 ('59—10, 12)

植木枝盛自筆の日本憲法
井上和夫　法制史研究　5 ('55—6)

江藤主催司法省民法会議における相続論争
向井　健　法学研究　32—4 ('59—4)

旧民法人事編元老院提出案，審査会案，議定案および内閣修正案　<3完>
石井良助　国家学会雑誌　72—2 ('58—2)

近代日本刑事立法史の研究　<1>
夏目文雄　法経論集（愛知）　26 ('59—4)

五榜と太政官日誌——明治法制の総合研究　<4>
石橋　信　警察研究　29—1 ('58—1)

左院の民法草案
石井良助　法律時報　30—2 ('58—2)

四民平等ということ
中村吉三郎　早稲田法学　35—3/4 ('59—8)

司法省指令の形成をめぐる明治寮の役割
沼　正也　日本法学　24—4 ('58—11)

自由党福島事件と高等法院
手塚　豊　法学研究　32—11 ('59—11)

図説・明治民法制定史——明治11年民法草案　<1, 2>
石井良助　法律時報　30—4, 6 ('58—4, 6)

黙阿弥の「散切物」に見えたる明治初年の法制　<1〜3>
向井　健，岩田正彦　法学研究　31—4〜6 ('53—4〜6)

大政奉還の深因——明治法制の総合研究の基礎　<1, 2>
石橋　信　警察研究　29—10 ('58—10)；30—7 ('59—7)

ボアソナード氏稿「日本民法草案財産篇」　<1, 2>
石井良助　法律時報　30—10, 11 ('58—10, 11)

ボアソナードの「家督相続見込」について
向井　健　法学研究　32—5 ('59—5)

封建的土地所有解体に関する研究ノート
大石慎三郎　社会科学研究　9—3 ('57—11)

マリア・ルーズ号事件
菊地　博　法学セミナー　32 ('58—11)

民法口授小考
向井　健　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部 ('58—11)

民法編纂局の開設
石井良助　法律時報　30—9 ('58—9)

無家戸籍考
新見吉治　滝川博士還暦記念論文集　2 ('57—7)

明治期の逆縁婚
山中永之佑　法制史研究　7 ('57—3)

明治11年民法草案編纂前後の一考察
手塚　豊　滝川博士還暦記念論文集　2 ('57—7)

明治15年「戸籍規則」の原案——附・戸籍改製順序，戸籍管理規則
向井　健　法学研究　32—7 ('59—7)

明治初期における地方議会の発達——府県会規則の制定以前　<1, 2>
渡部英三郎　自治研究　34—4, 7 ('58—4, 7)

明治初期の行政区画について——「郡区町村編制法」以前の状態　<上, 下>
渡部英三郎　地方自治　126, 127 ('58—6, 7)

明治初年における旧藩解体過程——一統評議（庄屋会議）について
杉谷　昭　法制史研究　8 ('58—3)

明治初年における地方軽犯罪法制の研究　<1>
神谷　力　愛知学芸大学研究報告社会科学　8 ('59—2)

明治初年の東京府刑法——附・明治3年東京府行刑人員表
手塚　豊　法学研究　31—7 ('58—7)

明治前期堺県家族関係法令　<1〜3>
山中永之佑　阪大法学　31〜33 ('59—7, 10, 12)

明治前期長野県家族関係法令　<2, 3完>
熊谷開作，山中永之佑，久貴忠彦　阪大法学　26, 27 ('58—2, 7)

明治前期における入会権の内部的変化と村方体制の変質過程について——とくに村持入会地の帰属関係をめぐる問題を中心として
神谷　力　法制史研究　9 ('59—3)

明治前期における土地所有権の確立——転村庄屋と地租改正
杉谷　昭　法制史研究　7 ('57—3)

明治前期の死刑廃止論（法史夜話）
手塚　豊　法学セミナー　26 ('58—5)

明治前半期における財産の家産的性格について　<1, 2完>
長尾治助　山梨学院法経研究　2—1 (　)

明治民法起草者の養子制度観——民法における養子縁組の性格をたずねて
山畠正男　勝本正晃先生還暦記念論文集　下 ('59—5)

明治民法典における損害賠償諸規定の形成
福島正夫　我妻先生還暦記念論文集　上 ('57—12)

明法博士中原章貞と明法博士中原範貞
布施弥平治　法制史研究　7 ('57—3)

明法寮についての再論
沼　正也　日本法学　25—6 ('59—12)

中　国　法　制　史

一条鞭法の創行について
山崎武治　立命館文学　152 ('58—1)

王安石の保甲法
曾我部静雄　東北大学文学部研究年報　8 ('57—12)

漢書刑法志雑記
内田智雄　同志社法学　10—2 ('58—8)

漢代贖刑考
八重津洋平　法と政治　10—4 ('59—11)

漢唐間の法典についての二，三の考証
滋賀秀三　東方学　17 ('58—11)

韓非子喩老篇の所謂楚邦之法について
増淵竜夫　一橋論叢　40—6 ('58—12)

魏の屯田制——特にその廃止問題をめぐつて
西嶋定生　東洋文化研究所紀要　10 ('56—11)

魏律「序略」について二，三の問題　<上>
内田智雄　同志社法学　11—3 ('59—11)

元代行省の成立過程について　<1, 2>
丹羽友三郎　三重法経　3, 4 ('55—1, 3)

元代の自話碑文とそれを通してうかがわれる元代中国の上部構造について
丹羽友三郎　三重法経　6 ('57—3)

元明時代の村の規約と小作証書など——日用百科全書の類二十種の中から
仁井田　陞　東洋文化研究所紀要　8 ('56—3)

行省の原初的形態について
丹羽友三郎　三重法経　2 ('54—3)

古代中国の刑政について二，三の問題——死刑・肉刑・労役刑
宮坂　宏　刑政　69—11 ('58—11)

周礼を中心として見た中国上代の訴訟制度
会田範治　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)

新出土史料による渤海国官制補説
島田正郎　法律論叢　31—4 ('58—1)

清代に於ける辺疆への罪徒配流について——清朝の流刑政策と辺疆　<1>
川久保悌郎　人文社会（弘前）　15 ('58—3)

西涼及び両魏の戸籍と我が古代戸籍との関係——附・課役問題の現状
曾我部静雄　法制史研究　7 ('57—3)

前漢時代における尊賢使能思想と選挙制度
横松　宗　八幡大学論集　9—1 ('58—10)

宋代の圩田と荘園制——特に江南東路について
周藤吉之　東洋文化研究所紀要　10 ('56—11)

宋代の典小作制
周藤吉之　法制史研究　7 ('57—3)

達魯花赤に関する一考察——とくにその任務と設置の理由とについて
丹羽友三郎　三重法経　5 ('56—1)

中国の絞刑と凌遅処死（法史夜話）
仁井田　陞　法学セミナー　41 ('59—8)

中国の同族又は村落の土地所有問題——宋代以後のいわゆる「共同体」
仁井田　陞　東洋文化研究所紀要　10 ('56—11)

唐の律令および格の新資料——スタイン敦煌文献
仁井田　陞　東洋文化研究所紀要　13 ('57—11)

唐律研究　<1>
布目潮渢　立命館文学　163 ('58—12)

東洋法制史と中国法制史（法史夜話）
内田智雄　法学セミナー　38 ('59—5)

敦煌発見戸制田制関係文書15種
山本達郎　東洋文化研究所紀要　10 ('56—11)

敦煌発見の奴隷解放文書（法史夜話）
仁井田　陞　法学セミナー　34 ('59—1)

南宋郷都の税制と土地所有

周藤吉之　東洋文化研究所紀要　8（'56—3）

二十四孝（法史夜話）
仁井田　陞　法学セミナー　24（'58—4）

フルセウエ「漢律拾遺第1巻」【書評】
内田智雄　同志社法学　9—6（'58—3）

勞喜斎本唐律疏議の刊行年代
内藤乾吉　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

訳註晉書刑法志　<1〜4>
内田智雄　同志社法学　10—2, 3（'58—8, 10）；10—5（'59—2）；11—3（'59—11）

訳註唐律疏議　<1, 2>
滋賀秀三　国家学会雑誌　72—10（'58—10）；73—2（'59—10）

東洋法制史

古典ヒンドウー法の婦女の家産相続および Stridhana に関する規定
山崎利男　東洋文化研究所紀要　13（'57—11）

東洋法制史と中国法制史（法史夜話）
内田智雄　法学セミナー　38（'59—5）

マヌ法典にあらわれた相続
田辺繁子　法制史研究　6（'56—3）

マヌ法典の親子関係
田辺繁子　専修大学論集　17（'58—5）

西洋法制史

アイルランド古代法とキリスト教——マーグナ・カルタのインド＝アイルランド淵源に就ての一研究
池田　栄　法学論集　7—4（'58—2）

イギリス中世におけるヨーマンリーの代表機能
畑　穣　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)

イギリス法における「同輩の判決」の一研究——Leges Henrici Primi を中心として　<3完>
林　深山　国家学会雑誌　71—12（'57—12）

イタリアにおける相続法史略
風間鶴寿　法制史研究　9（'59—3）

英米法における推定の原則の発展
楠本英隆　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)

学説史と思想史——橡川氏による「中世国家論」批判の「発想法」をめぐつて
石川　武　法学会論集　9—3（'59—3）

神と裁判（法史夜話）
守屋善輝　法学セミナー　33（'58—12）

教会刑事裁判権について
吉田道也　法政研究　25—2/4（'59—3）

キリスト教教父たち所有権思想
五百筑頭真次郎　国民経済雑誌　97—5（'58—5）

近世における緊急避難論
森下　忠　法経学会雑誌　26（'58—9）

グラティアヌス「教会法」における正当戦争論の特色——国際法学説史研究
伊藤不二男　法政研究　26—2（'59—12）

グラティアヌス「教会法」の国際法学説史上の意義
伊藤不二男　九州大学法学部創立30周年記念論文集（'57—12）

ゲルマン固有法における売主瑕疵担保責任
柚木　馨　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—2)

ゲルマン中世における人的責任の規範的性格について——契約の規範的構造とその歴史性　<2>
上山安敏　法学論叢　64—3（'58—8）

ゲルマン法における債務と責任の古典的理論について——契約の規範的構造とその歴史性　<1>
上山安敏　法学論叢　64—2（'58—6）

コモン・ローの誕生
守屋善輝　中央大学70周年記念論文集　('55—11)

ザクセンシュピーゲル（ラント法）邦訳　<4, 5>
久保正幡　国家学会雑誌　72—2（'58—2）；73—1(59—6)

10世紀ウェールズの法典
内藤誉樹　中央大学文学部紀要　9（'57—9）

シュワーベンシュピーゲル邦訳　<3〜6>
田中周友，上山安敏，岩田健次，石部雅亮　法と政治　9—2〜4（'58—6, 9, 12）；10—2（'59—6）

初期イギリス法における家畜窃盗現行犯の一考察
林　深山　法律論叢　32—1（'58—6）

聖会法より見た内縁関係——カトリック教会法典第1127条の適用について
Tappe, F.　上智法学論集　2—1/2（'58—12）

生成過程におけるイギリスの裁判権とその構造——アングロ・サクソン期から13世紀頃まで
池田浩一　法学志林　56—4（'59—3）

1834年の救貧法の改正——イギリスにおける近代的地方制度成立に関する一考察　<3完>
赤木須留喜　国家学会雑誌　71—12（'57—12）

「訴訟の目的」概念の生成過程——1877年ドイツ旧民事訴訟の成立に至るまで
中村英郎　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)

早期アングロ・サクソン法における家畜窃盗犯処罰権について
林　深山　法律論叢　32—3（'58—11）

ドイツ憲法史の一齣——1815年から50年まで
森　順次　彦根論叢　48/49（'58—10）

中世における教会と国家との関係
宮下孝吉　国民経済雑誌　98—5（'58—11）

中世農民の身分的制約——中世イギリス身分法史の基礎構造分析
荒井貢次郎　東洋法学　3—2（'59—12）

中世ヨーロッパ世界の統一と分化
渡辺金一　一橋論叢　41—3（'59—3）

低地オーストリアのバンタイデングについて——中世末期における村落集会の構成と運営
山田欣吾　一橋論叢　40—6（'58—12）

「ノルマンの征服」イギリス法体制に及ぼした影響について
戸田章二　学大法学　4（'58—3）

フンデルトシャフト研究の新動向　<1〜4完>
世良晃志郎　法学　22—1〜3（'58—4, 7, 10）；22—4（'59—1）

マーグナ・カルタにおける英国教会の自由
池田　実　法学論集　8—5（'59—2）

古代法制史

アマゾン女人国とアマゾン河（法史夜話）
田中周友　法学セミナー　29（'58—8）

ギリシヤにおける親権制度
宮崎孝次郎　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

古代ギリシヤの訴訟法論——法哲学の起源と形成　<7, 8>
古林善祜　法学論叢（福岡）　2—2（'58—1）；3—1('58—4)

古代ギリシヤ法に於ける私的所有権の起源と発展
古林祐二　福岡大学創立25周年記念論文集法学編　('59—10)

シュメール・バビロニアにおける宗教的売淫の慣習について——アジア的共同体と古典古代的共同体との間
一柳俊夫　早稲田法学　35—1/2（'59—6）

タルムード法学に於ける追放刑に就いて
赤井　節　法学雑誌　5—2（'58—11）

ヘブライに於ける証拠法の一考察
赤井　節　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

ヘブライ法に於ける追放刑の可能性をめぐつて——ヘブライ法研究方法に関する一試論として
赤井　節　法制史研究　8（'58—3）

ヘブライ法における同害報復の刑罰に就いて
赤井　節　法制史研究　5（'55—6）

メーン「古代法」
熊谷開作　法学セミナー　30（'58—9）

ロタリ王法典邦訳　<2〜5完>
塙　浩　神戸法学雑誌　7—3（'57—12）；7—4（'58—3）；8—1, 2（'58—7, 10）

慣習法

アイヌにおける異世代婚
布村一夫　熊本史学　15/16（'59—5）

「おつとい嫁じよ」の違法性
中川善之助　判例時報　192（'59—8）

海女部落の家族制度——山口県大津郡油谷町向津具の場合
不破勝敏夫　法律のひろば　12—11（'59—11）

慣習法と国家法——入会権理論の再検討を中心に
渡辺洋三　私法　20（'58—10）

志摩国府の隠居制
姫岡　勤，長谷川昭彦，土田英雄　社会学評論　9—4（'59—6）

諏訪地方の末子相続に関して
松本武子　社会福祉　6（'59—3）

マラヤの母系制社会
中島健一　社会経済史学　25—2/3（'59—6）

宮崎県三股町の非長子相続
上野祐久　宮崎大学学芸学部紀要社会科学　5('58—10)

憲法

公法一般・国法学

いわゆる統治行為を肯定する学説の批判
磯崎辰五郎　阪大法学　31（'59—7）

いわゆる統治行為とわが国憲法
磯崎辰五郎　民商法雑誌　39—3/6（'59—4）

議院政治制——比較憲法的考察
山本浩三　綜合法学　1—3（'58—8）

近代における「法の支配」理論と「法治国」理論
高田　敏　公法研究　20（'59—4）

現代国家と法の支配覚書——行政権の増大と司法的人権保障序説
萩原金美　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

公権の特殊性
原　竜之助　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

公法学における国家概念
鈴木安蔵　静岡大学文理学部研究報告社会科学　7（'58—12）

公法における通説（通説の法社会学的考察）
鵜飼信成　法律時報　31—8（'59—7）

国法学の課題と方法
鈴木安蔵　法経論集（愛知）　25（'59—1）

国法学の概念
鈴木安蔵　法経論集（愛知）　27（'59—6）

国家作用の形態と特質
鈴木安蔵　法経論集（愛知）　26（'59—4）

西洋の法思想に於ける The Rule of Law
斎藤　敏　日本法学　25—3/5（'59—10）

デュギイ「国家変遷論」
恒藤武二　法学セミナー　39（'59—6）

統治行為の研究——司法権の限界に関する一考察　<2〜4完>
金子　宏　国家学会雑誌　71—11（'57—11）；71—12（'58—2）；72—9（'58—9）

比較研究の進路（公法雑記帳）
辻　清明　法律時報　31—8（'59—7）

法の支配
鵜飼信成　公法研究　20（'59—4）

法の支配
高柳賢三　自由と正義　10—11（'59—11）

法の支配 【シムポジウム】
橋本公亘，鵜飼信成，杉村敏正，山田準次郎，他　公法研究　20（'59—4）

法の支配と行政法
杉村敏正　公法研究　20（'59—4）

法の支配とわが国の現実
小林俊三　自由と正義　10—11（'59—11）

法の支配について
青柳文雄　自由と正義　10—11（'59—11）

立憲主義法の再検討——序説
森　順一　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　（'56—7）

Rule of Law に関するウェードの見解
瀬戸山登一　八幡大学論集　10—2（'59—12）

憲　法　一　般

カール・シュミットの憲法の理念概念と現代憲法の特質
大宮武郎　北九州大学外国語学部紀要 Ⅱ　1（'58—3）

学界回顧　1958年——憲法
佐藤　功　法律時報　30—12（'58—12）

学界回顧　1959年 — 憲法
黒田了一　法律時報　31—13（'59—12）

金森徳次郎憲法関係重要文献目録
レファレンス　別冊（'59—5）

近代憲法における司法審査制の形成　<1>
関　誠一　茨城大学文理学部紀要社会科学　9（'59—2）

近代憲法における普遍法則の実証法的意義
高坂直之　北海道学芸大学紀要　9—1（'58—9）

憲法（学界展望）
佐藤　功　公法研究　21（'59—10）

憲法解釈学の科学性
横川　博　三重県立大学研究年報　2—3（'57—3）

憲法学における階級理論について
岡本鐘輔　東京学芸大学研究報告　9（'58—3）

憲法学史の方法——国家法人説と天皇機関説に関する試論
針生誠吉　東北法学会雑誌　9（'59—11）

憲法学の方法について——伝統的憲法学への反省と試論　<1, 2>
黒田了一　法学雑誌　5—2（'58—11）; 6—1（'59—7）

憲法関係洋書文献目録
レファレンス　別冊（'59—5）

憲法秩序と国際法秩序との関連における法と政治
井上　茂　ジュリスト　169（'59—1）

憲法における「規範的なもの」
小林直樹　ジュリスト　153（'58—5）

憲法における政治的なるもの
小林直樹　ジュリスト　152（'58—4）

憲法の根本的な見方の相違について
田口精一　綜合法学　17（'59—12）

憲法の自律性
清宮四郎　東北法学会雑誌　9（'59—11）

憲法の正当性について　<1, 2完>
小林直樹　国家学会雑誌　72—11, 12（'58—11, 12）

コーウィン「憲法とその現代的意義」
畑　博行　法学論叢　65—2（'59—5）

国家緊急権に関する若干の考察
小林昭二　早稲田政治経済学雑誌　157（'59—6）

小林孝輔著「憲法学の本質」【書評】
星野安三郎　青山経済論集　9—2（'57—9）

財産権保障における自由国家主義と社会国家主義　<1>
平出　孝　自治研究　34—12（'58—12）

三枝重雄「言論昭和史」を読んで【書評】
内野茂樹　法律時報　30—10（'58—10）

三権分立論の研究——Montesquieu 及びJ. Lockeの学説並に諸国の実情を中心として
山本友博　鹿児島大学教育学部研究紀要　9（'57—12）

ジェイムズ・マジスンの憲法理論研究序説——「憲法の父」の共和政府論素描
酒井吉栄　法経論集（愛知）　21/22（'58—3）

シュミットの憲法裁判論——その合理性と非合理性
山下健次　立命館法学　29/30（'59—9）

ジョージ　M. ベックマン「明治憲法の制定」【書評】
藤田嗣雄　ソフィア　7—4（'58—12）

自由民権新資料——村松愛蔵憲法草案
長谷川　昇　歴史評論　89（'58—10）

人権宣言 170 年
鵜飼信成　法律時報　31—9（'59—8）

人権擁護に関する国連のアジア・セミナー
平野竜一　ジュリスト　154（'58—5）

セイロンにおける国連人権セミナーに出席して
安倍治夫　法律時報　31—9（'59—8）

世界人権宣言の再確認　<上，下>
斎藤　巖　時の法令　299, 300（'58—12）

大日本政規草案と木戸孝允，大久保利通らの憲法意見について
稲田正次　社会科学論集（東京教育大）　5（'58— ）

抵抗権の理論
橋本公亘　公法研究　18（'58—3）

抵抗権論　<1, 2完>
橋本公亘　法学新報　65—2, 3（'58—2, 3）

日本憲法学関係文献年表　<上，中，下>
武藤和夫　三重法経　2('54—3); 4('55—3); 6('57—3)

日本における支配に関する研究序説——憲法社会学的考察
藤田嗣雄　レファレンス　8—89（'58—6）

フェッヒナー「基本的人権の社会学的限界」
相沢　久　上智法学論集　1—1（'57—12）

法律事項
山本浩三　同志社法学　10—4（'59—2）

明治憲法起草過程の資料的研究
小島和司　日本学士院紀要　15—3（'57—11）

明治憲法における Sein と Sollen
藤田嗣雄　上智法学論集　1—1（'57—12）

明治憲法第1条及び第4条における天皇の地位の差異について
今井直重　法政論叢　11（'59—11）

我国権力分立制の変遷
田畑　忍　綜合法学　1—1（'58—6）

日　本　国　憲　法

日本国憲法一般

鬼っ子「憲法」——誕生日も祝ってもらえない
鍛治利一　時の法令　280（'58—5）

清宮教授の「憲法」1957年 【紹介】
鵜飼信成　国家学会雑誌　72—1（'58—1）

憲法　<23〜28完>（研修講座）
石田富平　研修　115〜120（'58—1〜6）

憲法解釈論議の歩み——国会における質疑応答を中心として
佐藤達夫　レファレンス　100（'59—5）

憲法学習の問題点
徳武敏夫　教育　8—5（'58—5）

憲法11周年に寄せて——三つの断章
和田英夫　時の法令　278（'58—5）

憲法随想　<1〜3>
高柳賢三　時の法令　327〜379（'59—9, 10）

憲法施行10年の歩み
末川　博　法律時報　30—1（'58—1）

憲法施行の実態
佐藤達夫　公法研究　19（'58—10）

憲法施行の実態
鈴木安蔵　公法研究　19（'58—10）

憲法点検の試み　<1>
伊藤　満　政経論叢（広島）　9—2（'59—9）

憲法と国民生活——応募作品を読んで
宮沢俊義　世界　164（'59—8）

憲法の名と実と
井上孚麿　諸学紀要　1（'59—3）

憲法漫感
真野　毅　時の法令　278（'58—5）

憲法問題解決の基準
恒藤　恭　世界　159（'59—3）

憲法問題の10年
星野安三郎　法律時報　30—1（'58—1）

憲法問題をどう考えるべきか
宮沢俊義　婦人公論　44—8（'58—8）

護憲論の崩壊——田畑博士の所説批判
森　三十郎　法学論叢（福岡）　3—3（'58—10）

佐藤達夫著「日本国憲法誕生記」【紹介】
レファレンス　85（'58—2）

新憲法の指導理念とグローチウス
星野辰雄　学鐙　54—12（'57—12）

世界の進歩に対する日本国民の責務と日本国憲法
佐々木惣一　世界　157（'59—1）

日本国憲法施行の実態 【シムポジウム】
鵜飼信成，佐藤　功，他　公法研究　19（'58—10）

日本国憲法成立史　<54〜57完>
佐藤達夫　ジュリスト　144〜148（'58—1, 2）

日本国憲法における三権分立制
安沢喜一郎　綜合法学　1—3（'58—8）

日本国憲法の基本原理
宮沢俊義　法学セミナー　24（'58—3）

日本国憲法の制定行為の法的性質
神谷義郎　学大法学　4（'58—3）

日本国憲法の法的性質　<1, 2完>
野見山　温　法学論叢（福岡）　3—3（'58—10）; 3—4（'59—1）

米国憲法の日本国憲法への影響
川西　誠　日本法学　25—3/5（'59—10）

ポツダム宣言の受諾と日本国憲法
中山健男　名城法学　8—2（'58—10）

私たちの憲法
桑原武夫　法学セミナー　40（'59—7）

私たちの役割——憲法記念講演会から
我妻　栄　世界　163（'59—7）

日本国憲法前文

国民主権の意味
中村　哲　法律時報　30—1（'58—1）

国民主権の意味
渡辺宗太郎　岩崎教授在職35周年記念論文集　（'58—2）

主権の概念
水波　朗　九州大学法学部創立30周年記念論文集　（'57—12

主権の存する国民
森　三十郎　法学論叢（福岡）　3—1（'58—4）

主権の本質及びその統治権との関係について
三潴信吾　高崎経済大学論集　1—1（'59—3）

戦後の主権論争
井上　茂　法学セミナー　38（'59—5）

第一章　天　皇

いわゆる7条主義の判決と学説
田畑　忍，宮本栄三　綜合法学　1—5（'58—10）

皇太子の結婚——その性格と恩赦
大西邦敏　綜合法学　1—2（'58—7）

女帝・女王のことあれこれ
林　信二　時の法令　327（'59—9）

天皇
黒田了一　法学セミナー　37（'59—4）

天皇の地位
佐藤　功　法学セミナー　25（'58—4）

天皇制のミス・ユース——内閣総辞職の手続
佐藤達夫　時の法令　278（'58—5）

日本は君主国か共和国か
恒藤　恭　時の法令　317（'59—6）

第二章　戦争の放棄

ア・アラン・デイオニソパウロス氏「日本国憲法における戦争放棄条項」
一円一億　法と政治　9—2（'58—6）

安保改定と憲法
大内兵衛　世界　165（'59—9）

安保条約改定と憲法擁護運動
不破哲二　思想　420（'59—6）

活殺自在の憲法第9条
高柳賢三　文芸春秋　37—8（'59—8）

憲法9条と平和共存，日本の中立への道
中村　哲　労働法律旬報　341（'59—4）

憲法第9条【ゼミナール】
鵜飼信成，永井道雄，日高六郎　婦人公論　44—7（'59—6）

憲法第9条の成立過程
佐藤達夫　レファレンス　8—92（'58—9）

憲法と外国軍隊の駐留
一円一億　季刊法律学　28（'59—10）

憲法と外国軍隊の駐留
黒田了一　季刊法律学　28（'59—10）

憲法と自衛隊
杉村敏正　季刊法律学　28（'59—10）

憲法と自衛隊
星野安三郎　季刊法律学　28（'59—10）

憲法における戦争放棄理念の発展
柳沢義男　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

自衛隊の海外派遣
佐藤達夫　ジュリスト　161（'58—9）

砂川・新島・百里ヵ原そして沖縄
藤島宇内，丸山邦男，村上兵衛　中央公論　74—6（'59—5）

日本国憲法制定史のひとこま——戦争放棄の発案者をめぐつて
黒田了一　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

日本国憲法第9条の理論解釈三態——佐々木，田畑，田村博士の所説
小野　哲　同志社法学　10—4（'59—2）

日本国憲法と自衛権
鈴木安蔵　季刊法律学　28（'59—10）

日本国憲法の平和的性格　＜1＞
中山健男　名城法学　9—1（'59—6）

平和主義の再認識
黒田了一　法律時報　30—1（'58—1）

第三章　国民の権利義務

安保条約，行政協定，各種特別法は国民の人権をどのように侵害しているか
新井　章　労働法律旬報　341（'59—4）

伊藤正己著「言論・出版の自由」【書評】
河原畯一郎　法律時報　31—6（'59—5）

「うまれ」による差別——憲法記念講演会から
宮沢俊義　世界　163（'59—7）

家族生活の尊重
中川善之助　戸籍誌百号記念論文集　（'58—3）

家族制度と憲法改正論
我妻　栄　世界　164（'59—8）

学問，思想の自由
鵜飼信成　法学セミナー　28（'58—8）

学問の自由——とくに勤務評定との関連において
上原専祿　世界　153（'58—9）

基本的人権
伊藤正己　国家学会雑誌　72—5（'58—5）

基本的人権たる財産権を中心とする日本国憲法第29条第1項及び第2項に関する試論
高村　晋　松山商大論集　10—3（'59—12）

基本的人権と公共の福祉
藤田和海　法政論叢　11（'59—11）

基本的人権と公共の福祉
鵜飼信成　社会科学研究　11—3（'59—12）

基本的人権と公共の福祉
川口　是　神戸外大論叢　8—3（'58—1）

基本的人権と公共の福祉
篠岡　博　法学論叢　64—4（'58—10）

基本的人権と公共の福祉
鈴木安蔵　産業と科学　2（'58—3）

基本的人権と公共の福祉　＜1〜8完＞
綿貫芳源　自治研究　34—6〜12（'58—6〜12）；35—1（'59—1）

基本的人権と公共の福祉——日本国憲法における公共の福祉の解釈論
日下　晃　法政論叢　11（'59—11）

基本的人権の意義に関する若干の論点
横川　博　法政論叢　7（'57—11）

基本的人権の制限とその限界
盛　秀雄　経済研究（大阪府大）　5（'57—12）

基本的人権は公益である——警察法改正問題点【座談会】
海野普吉，真野　毅，森川金寿，宮内　裕　世界　156（'58—12）

基本的人権は保障されているか
真野　毅　郵政　11—12（'59—12）

基本的人権濫用の自制義務　＜2，3＞
和田鶴蔵　研究集録（神大）　17（'58—3）；20（'59—3）

基本的人権を侵すもの
茂手木茂夫　山梨大学学芸学部研究報告　8（'57—3）

共謀共同正犯の要件および共犯者の自白と憲法第38条第3項——練馬事件の上告審判決
岩田　誠　ジュリスト　160（'58—8）

共犯者の自白と憲法第38条3項
伊達秋雄　法律のひろば　12—2（'59—2）

教育・学問
野田良之　国家学会雑誌　72—4（'58—4）

勤労者の基本権の本質
松岡三郎　法学セミナー　39（'59—6）

行政手続と人身の自由——権力分立論と法の支配の原則の関連において
川上勝己　政経論叢（国学院）　7—3（'59—2）

刑事捜査上の問題点
森川金寿　法律時報　31—6（'59—5）

言論自由の法理
田畑　忍　同志社法学　9—6（'58—3）

言論の自由　＜1，2完＞
山本桂一　国家学会雑誌　72—11，12（'58—11，12）

現代国家における自由　＜1，2完＞
鵜飼信成　綜合法学　2—2，3（'59—2，3）

権利濫用と公共の福祉
戒能通孝　法律時報　30—10（'58—10）

権力の乱用に抗して
小松茂夫　中央公論　74—11（'59—8）

憲法第25条の生存権を具体化する法体系の理論
清水虎雄　東洋法学　2—2（'58—11）

憲法28条論
松岡三郎　綜合法学　2—2（'59—2）

憲法第39条前段後句の研究　＜4＞
田畑　忍　同志社法学　10—6（'59—3）

憲法における損害塡補請求権の体系——代償理論の基礎づけをふくめて　＜1，2＞
篠岡　博　法学論叢　65—6（'59—8）；66—2（'59—11）

憲法の諸原則からみた刑事手続の実際問題
本田正義　警察学論集　12—12（'59—12）

公共の福祉——比較憲法史的，法社会学的考察
上野裕久　宮崎大学学芸学部紀要社会科学　4（'58—2）

公共の福祉おぼえがき
竹内一雄　高知女子大学紀要人文社会科学　6—2（'57—12）

公務員の抵抗の基本的責務について
田畑　忍　同志社法学　11—2（'59—9）

国民の平等権——憲法第14条第1項の解釈
原田清司　横浜大学論叢　10—1（'58—11）

国家権力とプライヴァシー——その公法的側面
和田英夫　法律時報　31—6（'59—5）

財産権
田中英夫　国家学会雑誌　72—6（'58—6）

自由権的基本権
戒能通孝　法律時報　30—1（'58—1）

自由権の限界——特に集会の自由について
橋本公亘　法学セミナー　38（'59—5）

私人間における基本権の保障
円藤真一　民事研修　10（'58—2）

人権と自由
島田武夫　自由と正義　9—12（'58—12）

人権の濫用について——比較法学的法社会学的考察
上野裕久　宮崎大学学芸学部紀要社会科学　6（'59—3）

人権擁護回想10年
土井美弘　自由と正義　9—11（'58—11）

人権擁護の理論と実務　＜9〜14＞（通信講座）
斎藤　朢　民事研修　10〜15（'58—2〜7）

信教の自由
堀　豊彦　国家学会雑誌　73—1（'59—6）

信教の自由とその限界——宗教法人法改正の問題と関連して
井手成三　法学研究（愛知）　1（'58—10）

生存権的基本権
中村　哲　法学セミナー　28（'58—7）

生存権的基本権
沼田稲次郎　法律時報　30—1（'58—1）

正当な補償という法理の構造
高田賢造　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

煽動罪などの表現犯罪の危険性について
宮内　裕　木村博士還暦記念論文集　下（'58—7）

東京都公安条例違憲判決について
鵜飼信成　労働問題　2（'58—7）

特別権力関係における基本的人権
杉田憲治　海上保安大学校研究報告　32年度（'58—3）

日本国憲法と文化の問題
清岡雅雄　法政論叢　7（'57—11）

日本国憲法における労働者像について
沼田稲次郎　山之内先生追悼論文集　（'59—10）

犯罪報道と人権
鈴木才蔵　人権擁護局報　21（'59—3）

犯罪報道と人権
鈴木才蔵　新聞研究　92（'59—3）

平等について
安部浜男　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　（'56—7）

プライヴァシーと写真
大竹武七郎　法律時報　31—6（'59—5）

プライヴァシイ権とその保障
戒能通孝　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

「文民」と「法の下の平等」
和田英夫　綜合法学　16（'59—11）

法価値としての公共の福祉
峯村光郎　法哲学年報　1957年（'58—3）

法価値としての公共の福祉
峯村光郎　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

法的平等について理論的考察
安部義信　公法研究　18（'58—3）

法の前の平等
松原正晃　法学新報　66—1（'59—1）

法の下における平等と差別
戒能通孝　部落　11—2（'59—2）

法の下の平等
神谷義郎　公法研究　18（'58—3）

法の下の平等——その解釈をめぐる若干の問題
伊藤正己　公法研究　18（'58—3）

法の下の平等——日本国憲法第14条第1項の解釈
田畑　忍　公法研究　18（'58—3）

法の下の平等と法の理念
松原正晃　公法研究　18（'58—3）

法の下の平等について
中谷敬寿　綜合法学　1—6（'58—11）

法の下の平等についての一考察

中谷敬寿　法哲学年報　1958年（'59—4）

没収と Natural Justice
亀川　清　法学論叢（福岡）　3—2（'58—7）

マス・メディアとプライヴァシー——その実情と対策【座談会】
戒能通孝，千種達夫，何　初彦，酒井寅吉，青野秀吉　法律時報　31—6（'59—5）

マス・メディアの発達とプライヴァシー
香内三郎　法律時報　31—6（'59—5）

「明白にして現在の危険」原則の適用について
清水　睦　法学新報　66—11（'59—11）

旅券発給の拒否と憲法第22条
時の法令　297（'58—11）

第四章　国　　会

委任立法
大西芳雄　法学セミナー　31（'58—10）

解散権の限界
小島和司　法学セミナー　45（'59—12）

解散と選挙
川西　誠　綜合法学　1—2（'58—7）

議会政治と立法過程
蠟山政道　ジュリスト　169（'59—1）

憲法規定と現実
鈴木安蔵　法律時報　30—1（'58—1）

憲法第43条成立の経緯——参議院の選挙区制度に関連して
佐藤達夫　選挙　10—12（'57—12）

国会の概念・性質及び権限
中谷敬寿　綜合法学　2—4（'59—4）

国会の国政調査の概要
有松　昇　法学研究（愛知）　1（'58—10）

国会の最高機関性
田中正巳　自治研究　34—2（'58—2）

国政調査権
大西芳雄　綜合法学　1—7（'58—12）

国政調査権へ一考察——個人は守られているか
長谷川秀治　学大法学　4（'58—3）

衆議院の解散
有倉遼吉　綜合法学　15（'59—10）

話し合い解散の論理
中村　哲　法律時報　30—6（'58—6）

立法権の限界
田上穣治　法哲学年報　1956年（'57—4）

両議院の国政調査権に関する一考察　＜1＞
土井多賀子　同志社法学　10—6（'59—3）

第五章　内　　閣

閣僚に対する不信任案とその先議
山田準次郎　時の法令　266（'58—1）

議院内閣制
小島和司　法学セミナー　30（'58—9）

議院内閣制と解散権の所在
吉田力雄　岡山大学創立10周年記念論文集　上（'59—10）

行政権の機関と機能
和田英夫　法律時報　30—1（'58—1）

憲法上の公務員
藤江忠二郎　判例時報　179（'59—4）

憲法による行政概念の設定——佐々木惣一博士の見解の変遷と不変について
田畑　忍　同志社法学　10—4（'59—2）

公務員制度
鵜飼信成　国家学会雑誌　73—2（'59—7）

内閣制
水木惣太郎　綜合法学　1—4（'58—9）

内閣総理大臣の指名手続
長谷川喜博　ジュリスト　156（'58—6）

内閣による議会統制
筒井信定　経済理論　53（'59—9）

日本国憲法の下における行政の観念について——立法と行政の区別
山本徳栄　法学新報　65—7（'58—7）

第六章　司　　法

憲法第76条3項における裁判官の良心
石井芳光　英米法学　10（'59—4）

憲法と現下司法の諸問題
田中耕太郎　ジュリスト　163（'58—10）

憲法の危機と裁判官の責任
川北洋太郎　中央公論　74—16（'59—11）

憲法問題と最高裁判所
佐伯千仭　法律時報　31—5（'59—4）

公共の福祉と裁判官の良心——法の解釈態度に関するひとつの覚書
石井良三　法曹時報　11—7（'59—7）

最高裁判所
一円一億　綜合法学　1—2（'58—7）

最高裁判所による憲法第81条の違憲的解釈
田畑　忍　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)

新憲法下における司法の地位
宮内　裕　法律時報　30—1（'58—1）

司法権の独立
田畑　忍　法学セミナー　32（'58—11）

司法権独立の限界
野間　繁　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)

司法権の独立と司法権のあり方
横川敏雄　法哲学年報　1956年（'57—4）

日本国憲法と司法——日本国憲法に関する若干の疑問
平賀健太　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)

番人の番人をする者は誰か
鵜飼信成　中央公論　74—11（'59—8）

法令の合憲性審査について
川口頼好　時の法令　316（'59—5）

第七章　財　　政

公の財産の支出または利用の制限に関する憲法89条の規定と婦人会の場合
茂手木茂夫　山梨大学学芸学部研究報告　9（'58—2）

国の予算は誰が作成するか
山田準次郎　時の法令　275（'58—4）

国会と決算——その取扱に関する一考察
林　道雄　法律時報　31—12（'59—11）

国会における決算の審査
清水　望　早稲田政治経済学雑誌　149（'58—2）

財政法の変遷と学説
杉村章三郎　法律時報　30—1（'58—1）

予算と法律
杉村章三郎　法学セミナー　35（'59—2）

予算と法律との関係
大淵利男　時の法令　335（'59—12）

予算は毎会計年度作成され，かつ議決せられる
安沢喜一郎　法律論叢　32—3（'58—11）

第八章　地方自治

憲法と地方自治
林　修三　地方自治　118（'57—10）

憲法の諸原理と地方自治の意義
鵜飼信成　市政　7—7（'58—7）

条例と法律
俵　静夫　法学セミナー　35（'59—2）

条例制定権
松本米治　法学（近大）　7—2/4（'59—2）

地方自治のあり方について
中谷敬寿　岩崎教授在職35周年記念論文集　('58—2)

地方制案と憲法改正問題
佐藤　功　都市問題研究　10—1（'58—1）

府県制度の改革をめぐる憲法問題　＜1〜3完＞
田中二郎　選挙　11—3, 6, 7（'58—3, 6, 7）

分権化と民主化
俵　静夫　法律時報　30—1（'58—1）

第九章　改　　正

憲法改悪の陰謀粉砕のために
紺野純一　前衛　151（'59—2）

憲法改正権の限界
長谷川正安　法学セミナー　36（'59—3）

憲法改正の限界
大西芳雄　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　('56—7)

憲法改正論を横から見る——万物は流転するといわれるが
金森徳次郎　経済往来　10—1（'58—1）

憲法改正論序説
中曾根康弘　綜合法学　1—5（'58—10）

社会国家建設のための憲法改正
大西邦敏　市政　7—2（'58—2）

総選挙の政治状況と憲法改正問題
鵜飼信成　世界　150（'58—6）

第96条の諸問題
佐藤　功　法律時報　30—1（'58—1）

第十章　最高法規

日本国憲法98条2項
今井　威　阪大法学　33（'59—12）

憲法裁判

安保条約と憲法の諸問題——とくに砂川判決をめぐつて
太田　博　前衛　155（'59—6）

安保条約に基づく米軍駐留の違憲性　＜1, 2完＞
海野普吉　自由と正義　10—5, 6（'59—5, 6）

違憲の政治と違憲の法律
戒能通孝　法律時報　31—5（'59—4）

基地をめぐる違憲問題
東城守一　法律時報　31—5（'59—4）

憲法第9条と外国軍隊——砂川判決を批判す
大平善梧　警察学論集　12—5（'59—5）

憲法第9条と米駐留軍，憲法と条約
鈴木安蔵　労働法律旬報　341（'59—4）

憲法と裁判所——砂川事件の刑事判決について
平賀健太　民事研修　27（'59—7）

憲法判例一覧　＜1, 2＞
小林孝輔　法律時報　30—1, 2（'58—1, 2）

刑事特別法違反により求刑する——論告要旨（注目すべき砂川裁判の全貌）
中央公論　74—6（'59—5）

刑事特別法違憲の判決
我妻　栄　ジュリスト　177（'59—5）

公安条例とその違憲性
新井　章　労働法律旬報　350（'59—7）

公安条例に関する二判決をめぐつて【対談】
兼子　一，兼子　仁　ジュリスト　167（'58—12）

公安条例の違憲性——巣鴨事件に関する東京地裁合憲判決を中心として
佐藤　功　判例評論　16（'59—1）

公安条例の違憲性——東京都公安条例違反事件判決について
藤野　豊　法律のひろば　11—7（'58—7）

合法とは合憲の法のみをさす——弁論要旨（注目すべき砂川裁判の全貌）
中央公論　74—6（'59—5）

最高裁に提言する【座談会】
中村　哲，潮見俊隆，橋本公亘，福島新吾，星野安三郎　中央公論　74—8（'59—6）

最高裁判所の憲法判例の概観
最高裁判所　時の法令　278（'58—5）

条例と法律との関係——深夜喫茶の問題から
佐藤達夫　時の法令　290（'58—8）

砂川判決と日本国憲法
小林直樹　世界　162（'59—6）

東京都公安条例違憲判決について
鵜飼信成　労働問題　2（'58—7）

東京都公安条例を違憲とした判決の意義——蒲田事件に対する東京地裁の判決をめぐつて

中田直人　労働法律旬報　311（'58—6）

東京都公安条例の違憲判決
和田英夫　時の法令　284（'58—7）

東京都公安条例は違憲か
橋本公亘　法学セミナー　45（'59—12）

東京都条例の違憲判決について——明白かつ現在の危険と司法審査の制約の問題
河原畯一郎　ジュリスト　161（'58—9）

駐留軍は違憲か？——砂川判決をめぐつて【研究会】
芦部信喜，伊藤正己，鵜飼信成，雄川一郎，加藤一郎，鈴木竹雄，田中二郎，平野竜一，三ケ月　章，矢沢　惇　ジュリスト　177（'59—5）

日本国憲法と米国軍隊の駐留
鈴木安蔵　法経論集（愛知）　21/22（'58—3）

日本における憲法事件の判決
Nathanson, N. L.　河原畯一郎訳　法律時報　31—4（'59—4）

判決における憲法解釈の問題点
佐藤　功　法律時報　31—5（'59—4）

判例よりみた違憲法令審査権
橋本公亘　法律時報　31—5（'59—4）

米軍駐留は違憲である——判決文全文
中央公論　74—6（'59—5）

米駐留軍の存在は憲法第9条違反？　<上，下>
時の法令　315，316（'59—5）

法律の定める手続——砂川事件判決に想う
平賀健太　時の法令　321（'59—7）

憲法と条約問題

違憲条約の効力
経塚作太郎　法学新報　66—9（'59—9）

憲法と条約——条約締結権限に加えられる制約を中心に
経塚作太郎　季刊法律学　28（'59—10）

憲法と条約——条約と憲法とが抵触した場合何れを優先させるべきか
鈴木安蔵　法経論集（愛知）　23/24（'58—11）

憲法と条約との関係
田村幸策　国連評論　38—7（'59—7）

憲法と条約
恒藤　恭　法学セミナー　26（'58—5）

憲法と条約——国会の条約締結手続参加を中心として　<上，中>
高野雄一　国家学会雑誌　71—12('57—12)；72—8('58—8)

憲法における条約の地位
栗山　茂　ジュリスト　189（'59—11）

原則としては審査権をもつ（裁判所は条約について審査権を有するか）
大平善梧　綜合法学　17（'59—12）

合憲性審査権はある（裁判所は条約について審査権を有するか）
宮崎繁樹　綜合法学　17（'59—12）

国際法と国内法の効力関係
経塚作太郎　綜合法学　16（'59—11）

国際法律家連絡協会の要請に答へた「憲法と条約」の関係をめぐる諸問題にかんする私見
田畑　忍　同志社法学　11—1（'59—6）

条約と違憲審査権
栗山　茂　法の支配　2（'59—11）

条約と違憲立法審査権
覚道豊治　季刊法律学　28（'59—10）

条約と違憲立法審査権
橋本公亘　季刊法律学　28（'59—10）

条約と違憲立法審査権
和田英夫　季刊法律学　28（'59—10）

条約と国会——比較法的考察
土橋友四郎　上智法学論集　3—1（'59—4）

条約についての審査権と違憲・合憲決定権の差異と関係について（裁判所は条約について審査権を有するか）
田畑　忍　綜合法学　17（'59—12）

条約の違憲審査
一円一億　法と政治　10—4（'59—11）

条約の違憲審査
伊藤正己　法律時報　31—5（'59—4）

条約の違憲性
高柳賢三　時の法令　334（'59—11）

条約の締結と国会の承認
高辻正巳　時の法令　324（'59—8）

条約の締結と国会の承認権
芦部信喜　横田先生還暦記念論文集　('58—4)

日本国憲法と国際法
今井　威　阪大法学　28（'58—10）

憲法調査会・憲法問題研究会

動き出した憲法調査会
世界　145（'58—1）

憲法研究会の憲法草案および憲法制定会議提唱
鈴木安蔵　法経論集（愛知）　28（'59—10）

憲法調査会【座談会】
中川善之助，宮沢俊義，佐藤　功　法律時報　30—1（'58—1）

憲法調査会総会　8〜37回
時の法令　267〜336（'58—1〜'59—12）

憲法調査会についての二，三の感想
高柳賢三　時の法令　278（'58—5）

憲法調査会の働き
星野安三郎　教育　8—5（'58—5）

憲法調査会の動向
長谷川正安　法律時報　30—7（'58—7）

憲法調査会のめんめん
大宅壮一　週刊朝日　63—53（'58—12）

憲法調査団の不思議な旅行
世界　158（'59—2）

憲法の調査と研究
小林直樹　世界　152（'58—8）

憲法問題研究会設置——大内，茅氏ら8人が提唱
法律新聞　97（'58—6）

憲法問題研究会と世論
世界　152（'58—8）

憲法問題研究会の意義——憲法記念講演会から
大内兵衛　世界　163—（'59—7）

二つの憲法研究会の立場
細川隆元　市政　7—6（'58—6）

皇　室　法

皇室典範第1条の違憲性
中山健男　名城法学　8—4（'59—3）

皇室典範立案当時の思い出
井手成三　時の法令　303（'59—1）

皇室制度のはなし　<1〜8完>
佐藤達夫　時の法令　302〜309（'59—1〜3）

皇太子の結婚をめぐる法律上の諸問題
川西　誠　綜合法学　2—3（'59—3）

外　国　憲　法

諸　国

委任立法（外国憲法の動向）
水野豊志　ジュリスト　154（'58—5）

家族条項——家族の保護，男女同権，母子保護，その他　<上，下>（外国憲法の動向）
山畠正男，五十嵐清　ジュリスト　153，155（'58—5，6）

外国憲法の動向
宮沢俊義　ジュリスト　153（'58—5）

学問の自由および教育制度に関する各国憲法の規定
岩立　勲　レファレンス　84（'58—1）

各国憲法における基本的人権の総則的規定　<1〜3>
成田頼明　時の法令　267〜269（'58—1，2）

各国憲法にみられる教育条項（外国憲法の動向）
相良惟一　ジュリスト　153（'58—5）

各国憲法の教育条項に関する比較研究
沖原　豊　教育学研究　25—6（'58—12）

基本的人権保障規定（外国憲法の動向）
黒田　覚　ジュリスト　154（'58—5）

議会制度——議会政における政府と議会（外国憲法の動向）
芦部信喜　ジュリスト　154（'58—5）

憲法改正手続（外国憲法の動向）
田上穣治　ジュリスト　155（'58—6）

国際法規と条約（外国憲法の動向）
一又正雄　ジュリスト　154（'58—5）

財政——各国制度の類型的素描（外国憲法の動向）
小島和司　ジュリスト　154（'58—5）

裁判制度（外国憲法の動向）
斎藤秀夫　ジュリスト　153（'58—5）

世界の憲法における自然資源と公共福祉との原理的結論
村　教三　レファレンス　別冊（'59—5）

地方自治（外国憲法の動向）
長浜政寿　ジュリスト　154（'58—5）

東欧の社会主義憲法とアラブ・ナショナリズムの憲法
稲子恒夫　ジュリスト　145（'58—1）

東南アジア諸国の憲法
大西邦敏　ジュリスト　146（'58—1）

平和条項（外国憲法の動向）
鵜飼信成　ジュリスト　155（'58—6）

珍しい外国憲法の規定——選挙
杉山恵一郎　ジュリスト　170（'59—1）

立法権——法律と命令（外国憲法の動向）
佐藤　功　ジュリスト　153（'58—5）

立法の委任　<1，2>
須貝脩一　税法学　101，102（'59—5，6）

アメリカ

アメリカ合衆国憲法の問題点
鵜飼信成　ジュリスト　145（'58—1）

アメリカ合衆国における青少年の夜間外出禁止条例の違憲性
塚本重頼　判例時報　163（'58—10）

アメリカ合衆国の連邦権と州権の限界——最高裁判所の判例に基づいて
今井直重　奈良学芸大学紀要　7—1（'57—12）

アメリカ憲法修正第5条——特に自己帰罪に対する特権について
久保田きぬ子　国家学会雑誌　72—3（'58—3）

アメリカ憲法における大統領と国会——主として立法上の抑制関係について
大野盛直　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　('56—7)

アメリカ憲法の州際通商条項と企業統制　<1，2完>
中島陽子　法学新報　65—5，6（'58—5，6）

アメリカ初期州憲法研究序説——植民地時代から独立革命時代への州憲法の展開
酒井吉栄　法経論集（愛知）　26（'59—4）

アメリカ人権宣言前史
種谷春洋　岡山大学創立10周年記念論文集　上('59—10)

アメリカにおける委任立法
水野豊志　神戸法学雑誌　7—3（'57—12）

アメリカにおける均等条項の州行為概念
奥平康弘　専修大学論集　17（'58—5）

アメリカにおける憲法上の権限の拡大と権利の保障
大宮武郎　北九州大学外国語学部紀要Ⅱ　2（'59—3）

アメリカにおける人権問題の憲法学的考察
檜山武夫　埼玉大学紀要社会科学　7（'57—3）

アメリカにおける人種平等に関する法規と判例
河原畯一郎　ジュリスト　148（'58—2）

アメリカにおける大統領の非常事態権限について
久保田きぬ子　国家学会雑誌　73—4（'59—12）

アメリカの黒人共学問題
安沢喜一郎　時の法令　294（'58—10）

アメリカ副大統領の地位
斎藤　敏　日本法学　25—1（'59—5）

アラスカの憲法，その他（海外法律時報）

伊藤正己　法律時報　31—2（'59—2）

違憲の審査——アメリカにおける最近の動向　<1〜3完>
高柳賢三　ジュリスト　155〜157（'58—6, 7）

合衆国憲法と条約
大山正武　法学研究　32—11（'59—11）

議院の国政調査権
Gellhorn, W.　山田幸男訳　国家学会雑誌　72—5（'58—5）

言論公的規制
Gellhorn, W.　早川武夫訳　ジュリスト　158（'58—7）

公益事業の料金の統制の内容と Due Process Clause
田中英夫　社会科学研究　10—1（'58—8）

黒人分離教育の合憲性をめぐる変遷について
塚本重頼　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

黒人分離教育問題について
Gellhorn, W.　ジュリスト　182（'59—7）

私有財産権の保障規定としての due process clause の成立——法の発展において裁判所の果す役割についての一考察<5〜7完>
田中英夫　国家学会雑誌　72—3, 7, 8（'58—3, 7, 8）

事前の抑制の理論
伊藤正己　国家学会雑誌　72—1, 4（'58—1, 4）

人権問題をめぐる動向（海外法律時報）
早川武夫　法律時報　30—7（'58—7）

1957年人権保障法（英米法の話）
塚本重頼　法律のひろば　11—9（'58—9）

大統領が執務不能になつたら——見込みうすい米国憲法の改正
本田忠尚　世界週報　39—13（'58—3）

独立革命と州憲法——マサチュセッツ憲法の成立過程を中心として
苅屋田義弘　法政論集　11（'58—3）

発行禁止と販売停止命令（英米憲法判例選）
ジュリスト　158（'58—7）

プライバシー権についての考察
三島宗彦　金沢大学法文学部論集法経篇　5（'58—2）

プライバシーの権利　<1, 2>
Warren, S. D.　法律時報　31—6, 7（'59—5, 6）

米州諸国における立法拒否権
清水　望　早稲田政治経済学雑誌　159（'59—10）

弁護人の不手際と「弁護人を依頼する権利」の否定
塚本重頼　判例時報　180（'59—4）

本人の承諾を得ずになした血液検査の結果を証拠とすることができるか（英米法の話題）
塚本重頼　法律のひろば　12—5（'59—5）

マーシャル・ルール，反乱，緊急事態
河原畯一郎　ジュリスト　163（'58—10）

黙秘権の行使を理由とし当然退職とみなす処分の違憲性——アメリカ合衆国最高裁判所の判決の紹介
塚本重頼　法学新報　65—3（'58—3）

リットル・ロック市における共学問題をめぐる紛争（英米法の話題）
塚本重頼　法律のひろば　11—11（'58—11）

リトルロック事件の判決——黒人混合教育の問題の経緯
久保田きぬ子　中央公論　73—11（'58—11）

"Separate but Equal" Rule の推移過程——アメリカにおける法的平等の一問題の素描
奥平康弘　公法研究　18（'58—3）

P．ブランシャード著「読む権利，検閲に対する闘争」【紹介】
石村善治　法学論叢（福岡）　3—4（'59—1）

アラブ連合

アラブ連合共和国暫定憲法
佐藤　功，清水　睦　法律時報　30—5（'58—5）

ナセルの憲法　<上，下>
佐藤　功　時の法令　282, 283（'58—6）

イギリス

イギリス憲法
山田幸男　ジュリスト　146（'58—1）

イギリス憲法原理研究序説　<1>
高野真澄　六甲台論集　5—2（'58—7）

イギリスにおける国王の法的地位
桑原武夫　清泉女子大学紀要　5（'58—3）

学問の自由（英米憲法判例選）
ジュリスト　184（'59—8）

田中秀央訳「マグナ・カルタ前書きと第12条に就て」【紹介】
池田　栄　法学論集　8—1（'58—9）

マグナ・カルタ研究の文献資料
大野真義　阪大法学　30（'59—2）

マグナ・カルタと罪刑法定主義　<2〜4完>
大野真義　阪大法学　27（'58—7）；32, 33（'59—10, 12）

マグナ・カルタの神話
桜木澄和　法学新報　65—9（'58—9）

イタリア

イタリア憲法
小島和司　ジュリスト　145（'58—1）

イタリア新憲法と刑罰法
森下　忠　イタリア学会誌　6（'57—12）

インド

インド憲法における言論の自由の背景と将来
筒井信定　経済理論　48（'59—3）

インド憲法の特質
桜田　誉　岩崎教授在職35周年記念論文集　（'58—2）

インド憲法問答
高柳賢三　ジュリスト　145（'58—1）

ソヴエト

ジョン・N．ハザード「ソヴェト統治制度」1957年　【紹介】
松下輝雄　国家学会雑誌　72—2（'58—2）

社会主義と権力集中制——ソヴェト連邦のばあい
稲子恒夫　山之内先生還暦記念論文集　（'58—9）

10月革命時における憲法制定会議とボリシェヴイキの戦術
阪野　亘　阪大法学　29（'58—12）

ソヴェト同盟憲法
松下輝雄　ジュリスト　146（'58—1）

ユーラシヤ主義から見たソ連憲法論の紹介
佐藤　勇　ソ連問題　3—1（'59—3）

中国

国家機構における民主集中制と政党——全国人民代表者大会の諸問題
福島正夫　法律時報　31—1（'59—1）

中華人民共和国憲法
高橋勇治　ジュリスト　146（'58—1）

中華民国憲法
稲田正次　ジュリスト　146（'58—1）

ドイツ

西独軍本法政党条項をめぐる憲法上の諸問題
手島　孝　ジュリスト　148（'58—2）

西独軍の核武装と憲法問題
山田　晟　法学セミナー　29（'58—8）

政党禁止に関する憲法裁判制度について
手島　孝　法政研究　25—2/4（'59—3）

1849年のフランクフルト憲法における人権
種谷春洋　公法研究　18（'58—3）

ドイツ議院内閣制の歴史的考察
豊田悦夫　公法研究　18（'58—3）

ドイツ議院内閣制の歴史的考察
豊田悦夫　法学論叢　64—2（'58—6）

ドイツ憲法史の一齣——1815年から50年まで
森　順次　彦根論叢　48/49（'58—10）

ドイツにおける国家緊急権の制度の概観
畑　博行　法学論叢　66—3（'59—12）

ドイツにおける制度的保障の理論について
岡田　釉　公法研究　18（'58—3）

ドイツにおける「法の前の平等」の解釈について　<1, 2>
古林　稔　阪大法学　31, 33（'59—7, 12）

東独憲法と西独憲法
橋本公亘　法律のひろば　11—2（'58—2）

西ドイツ基本法
佐藤　功　ジュリスト　145（'58—1）

西ドイツにおける表現の自由と治安規定——ドイツ刑法とドイツ連邦裁判所判例を中心として
石村善治　福岡大学創立25周年記念論文集法学編　（'59—10）

東ドイツ憲法
山田　晟　法学セミナー　22（'58—1）

東ドイツ憲法の特質
山田　晟　ジュリスト　145（'58—1）

ボン基本法第20条第3項をめぐつて
高田　敏　政経論叢（広島）　7—4（'58—4）

ボン基本法における権利保障の一般的条項について
田中精一　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

ボン憲法の基本的人権
我妻　栄　ジュリスト　173（'59—3）

法と政治——ワイマール憲法の場合
猪木正道　ジュリスト　169（'59—1）

ワイマール共和国における議会主義政治体制——その構造的不安定性に関する序論的考察　<1, 2>
山口　定　立命館法学　24, 25（'58—3, 6）

ワイマール憲法と表現の自由　<2完>
石村善治　法学論叢（福岡）　2—2（'58—1）

フランス

王政復古の憲法訳　<1, 2完>
山本浩二　同志社法学　10—3（'58—10）；10—5（'59—2）

憲法と政党——フランスの政局からなにを学ぶか
長谷川正安　法律時報　31—1（'59—1）

憲法を改正するフランス
小林淳宏　世界週報　39—37（'58—9）

最終草案の因数分解——フランス改正憲法
木下広居　世界週報　39—38（'58—9）

七月王政の憲法訳
山本浩二　同志社法学　10—6（'59—3）

1958年のフランス憲法の重要な諸相
Capitant, René　野田良之訳　法学協会雑誌　75—6（'59—3）

第五共和国の政治制度
野村敬造　金沢法学　5—1（'59—5）

第三共和国憲法訳
山本浩三　同志社法学　10—2（'58—8）

第二共和国憲法訳
山本浩三　同志社法学　11—1（'59—6）

第二帝政の憲法訳　<1, 2完>
山本浩三　同志社法学　11—2, 3（'59—9, 11）

ドゴールの政権獲得と憲法の改正
野村敬造　ジュリスト　158（'58—7）

フランス革命憲法における主権思想
樋口謹一　同志社法学　9—5（'58—1）

フランス革命憲法における半直接民主政
樋口謹一　同志社法学　11—3（'59—11）

フランス共和国憲法全文訳
大沢　章，杉原泰雄　法律時報　31—3（'59—3）

フランス共和国新憲法——解説と全文
野村敬造　ジュリスト　146（'58—1）

フランス憲法
野田良之　ジュリスト　146（'58—1）

フランス憲法改正の動向
神谷　昭　ジュリスト　155（'58—6）

フランス憲法の変貌
内田源兵衛　レファレンス　8—93（'58—10）

フランス新憲法草案——その歴史と特質と全容
木下広居　世界週報　39—38（'58—9）

フランス第五共和国憲法訳

渡辺伊助，藤馬竜太郎　レファレンス　8—93('58—10)
フランスにおける委任立法
水野豊志　神戸法学雑誌　8—2 ('58—10)
フランスに於ける議院内閣制度の成立
宇都宮静男　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　('56—7)
フランスにおける行政権の強化と権利の保護（文化統制の新局面）
大沢　章　法律時報　31—8 ('59—7)
フランスにおける憲法改正の動き
レファレンス　8—90 ('58—7)
フランスの新憲法
野田良之　法律時報　30—11 ('58—11)
仏新憲法への期待——その運営如何が問題
井上　勇　世界週報　39—38 ('58—9)
ボール・バスティード「国民公会制」【書評】
野村敬造　金沢法学　4—2 ('58—10)

其　の　他

スイスにおける国家緊急権の理論と実践
栗城寿夫　九大法学　2 ('57)
スカルノ構想で革命憲法へ
西嶋重忠　世界週報　40—28 ('59—7)

国　会　法

会期制点描
佐藤達夫　ジュリスト　170 ('59—1)
議院規則・先例の問題点
黒田　覚　ジュリスト　170 ('59—1)
議事規則の類型
黒田　覚　人文学報　18 ('58—3)
議長・委員長の権限
近藤英明　ジュリスト　170 ('59—1)
黒田覚「国会法」，林田和博「選挙法」【紹介】
芦部信喜　国家学会雑誌　73—1 ('59—6)
国会運営のあり方
宮沢俊義　ジュリスト　170 ('59—1)
国会運営の10年——常任委員会制度を中心として
鈴木重武　レファレンス　100 ('59—5)
国会議員の不逮捕特権について
高橋一郎　検察月報　123 ('59—8)
国会制度【シムポジウム】
清宮四郎，他　公法研究　21 ('59—10)
国会制度における英米法的と大陸法的
黒田　覚　公法研究　21 ('59—10)
国会における証人の特殊性
斎藤秀夫　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)
国会法の改正過程
小林孝輔　青山法学論集　1—1/2 ('59—11)
衆議院の解散と参議院の継続審査
長谷川喜博　ジュリスト　154 ('58—5)
証人の喚問
斎藤秀夫　ジュリスト　170 ('59—1)
常任委員会制度の在り方——その活動の態様と関連して<上，下>
長谷川喜博　法律のひろば　11—7,8 ('58—7,8)
正誤・修正・訂正
林　修三　自治研究　34—6 ('58—6)
戦後解散側面史
佐藤達夫　時の法令　272 ('58—3)
代表制の比較研究
伊藤　勲　上智法学論集　1—1 ('57—12)
特別国会と議院の構成
参議院法制局　時の法令　285 ('58—7)
二大政党対立下の国会運営——回顧と批判
佐藤　功　ジュリスト　170 ('59—1)
両議院一致の議決について
佐藤達夫　レファレンス　別冊 ('59—5)

選挙法・政党法

家長選挙制論
磯野誠一　法社会学　7/8 ('56—7)
改正公職選挙法解説——衆議院議員選挙の巻
間宮重一郎　労働法律旬報　306 ('58—4)
改正公選法の問題点——現議員救済法化のおそれ
法律新聞　93 ('58—5)
公職選挙法一部改正法律について
山根　治　警察研究　29—6 ('58—6)
公職選挙法改正の方向
桜沢東兵衛　都市問題　50—8 ('59—8)
公職選挙法の一部改正について
佐藤順一　選挙　11—5 ('58—5)
公職選挙法の一部改正法案の概要
篠原幹雄　地方自治　131 ('58—11)
公職選挙法の改正
皆川迪夫　自治研究　34—5 ('58—5)
参議院全国区の問題
佐藤達夫　自治時報　11—1 ('58—1)
住所の概念——学生選挙権問題をとおして　<1,2完>
小林三衛　茨城大学文理学部紀要社会科学　8('58—2)；9 ('59—2)
小選挙区制について
矢部貞治　選挙　11—10 ('58—10)
政党と憲法
土屋正三　自治研究　35—2 ('59—2)
政党の法制化——一つの覚え書
佐藤　功　政治経済論叢　9—2 ('59—7)
政党法序説　<1,2>
土屋正三　自治研究　34—9,10 ('58—9,10)
政党法序説
土屋正三　レファレンス　別冊 ('59—5)
政党本位の選挙法
田上穣治　選挙　12—10 ('59—10)
選挙制度改正の問題点
皆川迪夫　自治研究　35—8 ('59—8)

選挙法改正試案——改正の内容と方法，手順
御手洗辰雄　選挙　12—9 ('59—9)
選挙法の改正
皆川迪夫　自治時報　11—5 ('58—5)
選挙法の改正について
川原次吉郎　選挙　12—10 ('59—10)
選挙法の解説
間宮重一郎　労働法律旬報　340 ('59—4)
選挙立法の問題点
林田和博　ジュリスト　173 ('59—3)

選　挙　違　反

〔刑事法中「行政刑法」をも見よ〕

今次選挙におけるひぼう文書の事案と適用法条の検討
小林　朴　警察学論集　12—6 ('59—6)
裁判の迅速と選挙違反
田上輝彦　ジュリスト　159 ('58—8)
事前運動の限界
神谷尚男　ジュリスト　173 ('59—3)
選挙違反罪の公訴時効
大竹武七郎　選挙　12—8 ('59—8)
選挙違反事件処理の実情と反省
大竹武七郎　選挙　11—11 ('58—11)
選挙違反による公民権の停止
大竹武七郎　選挙　12—4 ('59—4)
選挙運動と名誉毀損
大竹武七郎　選挙　12—7 ('59—7)
選挙運動の要素について——とくに選挙運動の行為を中心として
山根　治　警察研究　30—4 ('59—4)
選挙・選挙違反のあれこれ
野村正男　ジュリスト　173 ('59—3)
選挙の事前運動と準備行為
大竹武七郎　選挙　11—9 ('58—9)
選挙犯罪の法理
杉村敏正　ジュリスト　173 ('59—3)
選挙無効と当選無効
松浦　栄　学園論集　4 ('58—10)
選挙無効の一原因——選挙執行機関の広報活動ないし選挙運動公営に関する規定違反と選挙の効力
田中真次　法律のひろば　12—1 ('59—1)

外国国会法・選挙法

アメリカにおける政治資金規正立法
根岸富二郎　レファレンス　8—90 ('58—7)
アメリカの議会制度　<1>
水木惣太郎　日本法学　25—6 ('59—12)
イギリス議会における議事手続の生成——絶対主義時代の下院議事手続
清水　睦　法学新報　65—2 ('58—2)
イギリス国会あれこれ
末延三次　ジュリスト　170 ('59—1)
イタリア元老院議事規則
レファレンス　9—99 ('59—4)
国会役員の選出と政党——諸外国の例
木下広居　ジュリスト　158 ('58—7)
社会主義諸国の選挙法
土屋正三　自治研究　35—4 ('59—4)
主要国の議会における議長の職務権限　<上，下>
藤田晴子　レファレンス　97,98 ('59—2,3)
ソヴェト選挙法史における秘密投票
中村賢二郎　経済論叢（香川）　31—6 ('59—3)
東南アジア議会・選挙・政党　<1,2>
西野照太郎　レファレンス　91 ('58—8)；97 ('59—2)
フランスの議会制度
水木惣太郎　日本法学　25—3/5 ('59—10)
フランスの小選挙区制
野村敬造　法学セミナー　34 ('59—1)

行　政　法

行　政　法　一　般

沖縄の行政について
和田秀吉　自治春秋　9—7 ('59—7)
学界回顧　1958年——行政法
橋本公亘　法律時報　30—12 ('58—12)
学界回顧　1959年——行政法
橋本公亘　法律時報　31—13 ('59—12)
行政学の対象——行政学の対象と行政法学の対象との区別及び関係についての試論
柳瀬良幹　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　('56—7)
行政と行政法
柳瀬良幹　自治研究　34—4 ('58—4)
行政における法学と行政学【対談】
辻　清明，小林与三次　自治研究　35—5 ('59—5)
行政法（学界展望）
杉村敏正　公法研究　21 ('59—10)
行政法解釈論への一試論
和田英夫　綜合法学　1—4 ('58—9)
行政法に現われた私法原理とその展開
川西　誠　沼博士古稀記念論文集　('58—2)
行政法における権利濫用
橋本公亘　法律時報　30—10 ('58—10)

行政法における私法法規の適用
今村成和　法学セミナー　26（'58—5）
行政法における体系と論理　<1, 2>
和田英夫　自治研究　34—10, 11（'58—10, 11）
行政法における法と政治
橋本公亘　ジュリスト　169（'59—1）
行政法の解釈と運用【シムポジウム】
杉村敏正，他　公法研究　21（'59—10）
行政法の解釈と運用
橋本公亘　公法研究　21（'59—10）
行政法の解釈と運用
山田幸男　公法研究　21（'59—10）
行政法の類型
山本正太郎　綜合法学　1—1（'58—6）
原子力行政の現状と問題点　<1, 2>
島村武久　時の法令　294, 295（'58—10）
現行実定行政法における法治主義の貫徹について
杉田憲治　海上保安大学校研究報告　33年度（'59—3）
公権と私権——判例を中心として
原　竜之助　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
公法上の特別権力関係について
後藤米夫　東京学芸大学研究報告　10（'59—9）
国際行政学会の円卓会議に出席して——自治体に対する権限の委譲
荒井　勇　時の法令　294（'58—10）
佐藤功「行政組織法」，鵜飼信成「公務員」【紹介】
雄川一郎　国家学会雑誌　73—2（'59—7）
自由裁量
雄川一郎　法学セミナー　40（'59—7）
自由裁量と統治行為
橋本公亘　法学セミナー　28（'58—7）
自由裁量論　<1〜3>
山田準次郎　法律論叢　32—2, 3（'58—10, 11）；32—4（'59—1）
新憲法下の行政法の展開——主として行政委員と行政訴訟の解放
鈴木義男　青山法学論集　1—1/2（'59—11）
占領軍の法令の効力
山手治之　立命館法学　29/30（'59—9）
日本占領法令の効力
山手治之　立命館法学　31（'59—12）
原竜之助著「公物営造物法」【紹介】
杉村章三郎　国家学会雑誌　73—4（'59—12）
福祉国家と行政法の理論
山田幸男　法哲学年報　1956年（'57—4）
法治国家における行政権
鵜飼信成　思想　414（'58—12）
法治主義と行政権——法律による行政とは何か　<上, 中, 下>
渡辺洋三　思想　414（'58—12）；416, 419（'59—2, 5）
法の支配と行政法
杉村敏正　公法研究　20（'59—4）
法律と行政
羽仁五郎　思想　414（'58—12）
法律による行政
山田幸男　法学セミナー　25（'58—4）
マイクロ・フィルムによる文書保存の証拠力について
鹿児島重治　地方自治　137（'59—5）

行　政　機　構

官庁理論と国家行政組織法
杉村章三郎　自治研究　34—5（'58—5）
行政委員会論——選挙管理委員会の諸問題
林田和博　法政研究　25—2/4（'59—3）
行政事務を分担管理しない大臣の性格
諸橋　襄　自治研究　35—3（'59—3）
国の行政組織
桜田　誉　綜合法学　1—5（'58—10）
国家行政組織上の各種機関を見る——とくに審議会，委員会等第8条機関を中心として
佐々木　学　時の法令　335（'59—12）
国家行政組織法第8条と各種委員制度
時の法令　293（'58—10）
審議会のあり方——正しい活動のできるような四つの方策を提案する
近江三郎　時の法令　292（'58—9）
総理大臣の行政各部の処分及び命令中止権
諸橋　襄　自治研究　35—5（'59—5）

公　務　員　法

〔公務員労働問題については「特殊労働法」を見よ〕

恩給法改正の内容を見る——戦没軍人遺族，戦傷病者および老齢退職公務員の処遇の改善に重点
青谷和夫　時の法令　277（'58—4）
外務公務員
関　道雄　時の法令　266（'58—1）
行政官幹部の採用と登用
河中二講　法律時報　31—4（'59—4）
行政機関および公務員の服従義務について
金子　宏　自治研究　34—11（'58—11）
勤務評定
吉光　久　時の法令　267（'58—1）
給与法の改正案について
吉岡孝行　予算　10—1（'59—4）
公共企業体職員等共済組合法の改正
深草克巳　時の法令　295（'58—10）
公務員制度と職階制
杉山逸男　日本法学　25—3/5（'59—10）
公務員制度の意義と発展
足立忠夫　綜合法学　15（'59—10）
公務員退職年金制度改正の概要
人事院月報　100（'59—6）
公務員の人事管理における勤務評定　<1〜3>
足立忠夫　法と政治　9—3, 4（'58—9, 12）；10—1（'59—3）
公務員の退職願の撤回できる限界
時の法令　331（'59—10）
公務員の退職願の撤回の時期
白石健三　ジュリスト　184（'59—8）
公務員の退職年金と退職手当を改正
曾我　悟　時の法令　318（'59—6）
国政上の人的手段たる公務員
佐々木惣一　法学論叢　64—4（'58—10）
国家公務員共済組合法施行規則について
小林　昇　共済時報　6—11（'58—11）
国家公務員共済組合法等について
岸本　晋　財政　23—8（'58—7）
国家公務員共済組合法を全部改正
曾我　悟　時の法令　282（'58—6）
国家公務員法第100条の「職務上の秘密」について——官庁スパイ事件に関連させて
風早八十二　労働法律旬報　311（'58—6）
国家の求める人材とは何か
真野　毅　法律時報　31—4（'59—4）
秀才二流品論
中村　哲　法曹時報　31—4（'59—4）
職員給与法の改訂について——税務職俸給表を中心にして
高柳忠夫　財政　22—7（'57—7）
人事院の法的地位
佐藤　竺　自治研究　34—2（'58—2）
人事管理論　<1>
住吉君彦　民事月報　13—4（'58—4）
政府機関の定員外職員をどうするか
岡部史郎　時の法令　267（'58—1）
通勤手当の支給と特別職給与の是正
庄司俊夫　時の法令　276（'58—4）

行　政　作　用　法

行政強制の体系
園部　敏　法学セミナー　42（'59—9）
行政行為と適正手続
杉村敏正　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　（'56—7）
行政行為と不動産変動の対抗要件——判例の綜合研究
矢野勝久　名城法学　7—4（'58—3）
行政行為と民法　<1, 2>
矢野勝久　民商法雑誌　37—5, 6（'58—8, 9）
行政行為の瑕疵——無効と取消し
川西　誠　綜合法学　16（'59—11）
行政行為の公定力
杉村敏正　法学セミナー　27（'58—6）
行政行為の司法的統制
雄川一郎　法学セミナー　29（'58—8）
行政行為の執行力
広岡　隆　公法研究　18（'58—3）
行政行為の撤回——行政行為の不可変更力

杉村敏正　綜合法学　2—7（'59—7）
行政行為の撤回の法理
杉村敏正　法学論叢　66—1（'59—10）
行政行為の特質
桜田　誉　公法研究　18（'58—3）
行政行為の特質
山本正太郎　公法研究　18（'58—3）
行政行為の法適合性
高田　敏　公法研究　18（'58—3）
行政処分の執行停止
今村成和　法学セミナー　40（'59—7）
行政処分の無効と取消
田中真次　法学セミナー　45（'59—12）
行政処分無効論
須貝脩一　税法学　86（'58—2）
行政法における訓示的規定
有倉遼吉　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）
決裁文書について——特に専決事項と代決について
山内一夫　自治研究　34—8（'58—8）
公営住宅使用の法律関係　<1〜3>
渡辺洋三　自治研究　34—8〜10（'58—8〜10）
公営住宅の家賃の法的性格
田村浩一　都市問題研究　9—12（'57—12）
公企業法に於ける利用関係
永田一郎　法学志林　56—2（'58—11）
公法と私法——契約を中心として　<1〜13>
渡辺洋三　民商法雑誌　37—5, 6（'58—8, 9）；38—1〜3（'58—10〜12）；38—4, 6（'59—1, 3）；40—1, 2, 4, 6（'59—3, 4, 7, 9）；41—1, 3（'59—10, 12）
地方公営企業法と水道法との関係
竹中竜雄　都市問題研究　10—7（'58—7）
地方公営企業法の問題点
福島直喜　都市問題研究　11—8（'59—8）
特殊法人の地位と機能
園部　敏　法学セミナー　34（'59—1）
山田幸男著「公企業法」1957年【紹介】
杉村章三郎　国家学会雑誌　72—8（'58—8）
要件事実を欠く行政処分は無効か
田中勝次郎　税法学　85（'58—1）

行　政　訴　訟　法

〔行政事件訴訟特例法をも見よ〕

行政救済制度　<2完>
雄川一郎　国家学会雑誌　71—11（'57—11）
行政裁量の限界と裁判所による統制　<1, 2完>
田村悦一　法経学会雑誌　30, 31（'59—9, 12）
行政事件訴訟の遅延
杉本良吉　法律時報　30—11（'58—11）
行政処分の無効確認訴訟
杉本良吉　判例タイムズ　10—2（'59—2）
行政訴訟と立証責任
西尾　昭　同志社法学　9—6（'58—3）

行政訴訟における立証責任
滝川叡一　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
行政訴訟の基調
入山　実　法律のひろば　11—2 ('58—2)
行政争訟制度の改革【シムポジウム】
入江俊郎，田中二郎，他　公法研究　19 ('58—10)
行政争訟制度の改革に関する諸問題
雄川一郎　公法研究　19 ('58—10)
行政庁の裁量処分
田上穣治　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　('56—7)
行政庁の事実認定と実質的証拠
西岡久靭　法経論集（佐賀）　6—1/2 ('59—3)
行政手続の整備　＜1＞
田中二郎　自治研究　35—2 ('59—2)
行政の本質と行政事件訴訟
田上穣治　一橋論叢　39—5 ('58—5)
現行訴願法の解釈と問題点　＜1〜8完＞
加藤泰守　地方自治　127〜132 ('58—7〜12)；134, 135 ('59—2, 3)
昭和32年度行政事件の概況
最高裁判所行政局　法曹時報　10—11 ('58—11)
審決の司法審査
兼子　一　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
税務訴訟の立証責任と適法性の推定——わが国の解釈論の準備として
斎藤秀夫　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
訴願制度の課題
諸橋　襄　自治研究　35—8 ('59—8)
訴願前置主義の問題
高橋貞三　綜合法学　2—3 ('59—3)
訴願前置に関する若干の問題点
畳水道祜　民事研修　10 ('58—2)
70年間無改正の訴願法にメス
加藤泰守　時の法令　326 ('59—9)
判例による行政訴訟法理の展開——被告適格と訴願省略とに関する二つの最高裁判例に関連して
入山　実　法律のひろば　12—3 ('59—3)
「法の支配」国家における行政審判機構の展開
堤口康博　早稲田政治経済学雑誌　157 ('59—6)
民衆訴訟としての越権行為取消訴訟
広岡　隆　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　('56—7)

国家賠償法

悪道路と国家賠償責任
有倉遼吉　警察時報　14—8 ('59—8)
国の不法行為責任
西尾　昭　同志社法学　10—4 ('59—2)
警察官に協力援助した者の災害給付に関する法律の一部改正　＜1, 2＞
宍戸基男　警察研究　30—4, 5 ('59—4, 5)
警察官の職務に協力した者の災害給付に関する法律の性格
今泉正隆　警察学論集　12—5 ('59—5)
欠陥を残す国家賠償法——無過失責任が認められないで
山田準次郎　綜合法学　1—5 ('58—10)
原子力災害補償の方向
加舎　章　時の法令　337 ('59—12)
原子力災害補償問題——第三者補償問題
金沢良雄　ジュリスト　186 ('59—9)
原子力災害補償立法上の問題点
加藤一郎　ジュリスト　190 ('59—11)
国際原子力機関の原子力災害補償問題に関する活動について
金沢良雄　ジュリスト　190 ('59—11)
国家賠償法改正の提唱
下山伊三郎　自由の正義　9—3 ('58—3)
財産権保障における自由国家主義と社会国家主義　＜1＞
平出　孝　自治研究　34—12 ('58—12)
堤防の決壊と国家賠償法の適用
時の法令　337 ('59—12)
登記官吏の誤つた登記と国家賠償責任
横山茂晴　民事研修　21 ('59—1)
連合国財産の返還者に対する補償
鈴木　博　財政経済弘報　776 ('59—10)

土地・治水・災害関係法

土地関係法

換地予定地指定前の売買を原因とする移転登記請求と訴の利益
川添利起　ジュリスト　185 ('59—9)
建築基準法の一部を改正する法律案
前岡幹夫　時の法令　310 ('59—3)
工場立地調査法案について
川原英之　経団連月報　7—3 ('59—3)
工場立地の調査等に関する法律
川原英之　時の法令　313 ('59—4)
工場立地の調査等に関する法律解説
平松守彦　財政経済弘報　749 ('59—4)
丁目の研究　＜1, 2完＞
小栗忠七　登記研究　136, 137 ('59—3, 4)
町名地番の整理の必要性
大野木克彦　地方自治　141 ('59—9)
できあがつた首都圏整備の骨格——施行令の解説を中心とする整備の構想
伊庭武男　時の法令　266 ('58—1)
東京への過度の人口集中を制限——首都圏の既成市街地における工業等の制限に関する法律案
山本　実　時の法令　303 ('59—1)
都市計画法運用の実態とその問題点
小林忠雄　都市問題　50—8 ('59—8)
土地協用原理の存在
村　教三　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—2)
土地区画整理法の一部を改正する法律

森田松仁　時の法令　312 ('59—4)
土地収用
高田賢造　法学セミナー　22 ('58—1)
土地収用法
高田賢造　綜合法学　17 ('59—12)
明治初期の行政区画について——「郡区町村編制法」以前の状態　＜上，下＞
渡部英三郎　地方自治　126, 127 ('58—6, 7)

河川関係法

河川水利慣行の四つの類型
竹山増次郎　法政論叢　7 ('57—11)
河川法改正問題についての一私見
佐藤隆夫　政経論叢（国学院）　7—2 ('58—11)
下水道の画期的整備のために新立法
高橋　明　時の法令　283 ('58—6)
公共水汚濁による紛争とその解決方法
富谷彰介　財経詳報　175 ('58—7)
公共水の汚濁規制立法について
富谷彰介　法律時報　30—8 ('58—8)
公共用水域水質保全法と工場排水規制法について
金沢良雄　商事法務研究　126 ('59—1)
公共用水域の汚濁防止——公共用水域の水質の保全に関する法律
花園一郎　時の法令　304 ('59—1)
公共用水域の水質保全法案解説
森　一衛　財経詳報　197 ('58—10)
工業部門の水質保全対策——工場排水等の規制に関する法律
左近友三郎　時の法令　304 ('59—1)
工業用水道事業法制定の意義
川原英之　財政経済弘報　697 ('58—6)
工業用水道事業法の成立——産業立地施策の一歩前進
左近友三郎　財経詳報　168 ('58—5)
工場汚水の放流問題
金沢良雄　ジュリスト　158 ('58—7)
工場廃水をめぐる紛争とその解決方法　＜上，下＞
柴田三郎　財経詳報　183, 186 ('58—8, 9)
工場排水等の規制に関する法律案の内容と問題点
道正　友　財経詳報　197 ('58—10)
工場排水法と今後の問題
飯沼孝雄　都市問題研究　10—8 ('59—8)
新下水道法の大要
小塙　潤　新都市　12—6 ('58—6)
水質汚濁規制と工場排水対策の方向
川原英之　財政経済弘報　733 ('59—1)
水質汚濁規制の立法について——公共用水域の水質保全法の概要　＜1, 2完＞
森　一衛　財政経済弘報　738, 740 ('59—2, 3)
水質汚濁規制法（主要立法動向）
川原英之　商事法務研究　124 ('59—1)
水質汚濁防止をめぐる立法の動き——10年に及ぶ関係者の運動のあとと問題点
富谷彰介　時の法令　289 ('58—8)
水質汚濁防止関係法案について
佐々木富二　水産時報　10—118 ('58—12)
水質汚濁防止の法的規制に関する従来の経緯について
大島竹治　商事法務研究　105 ('58—6)
水質汚濁法の立法化を——江戸川乱闘事件の背景を衝く
法律新聞　99 ('58—6)
水質汚濁防止法案提出の機運昂まる——立案をめぐる各界の動き
商事法務研究　107 ('58—7)
水質保全法と運用上の諸問題
花園一郎　経団連月報　7—3 ('59—3)
水質保全法と今後の問題——淀川を中心として
近藤正義　都市問題研究　11—8 ('59—8)
水質保全法と当面の問題
森　一衛　都市問題研究　11—8 ('59—8)
水道水源を中心とした淀川における水利権について
井部勇一　都市問題研究　11—8 ('59—8)
矢部川をめぐる水利権　＜4, 5完＞
高松卯喜路　産業経済研究　10 ('57—12)；11 ('58—3)

海岸法

海岸法逐条解説　＜1〜4完＞
高橋　進　河川 ('57—8〜11)
港域法の一部を改正する法律
井上　弘　時の法令　312 ('59—4)

災害関係法

伊勢湾台風による災害立法と災害法制
時の法令　335 ('59—12)
災害対策の根本
森　美智雄　自治研究　35—11 ('59—11)
災害とその対策の考え方
杉浦　功　自治研究　35—11 ('59—11)
災害特例法の成立
郡　祐一　自治研究　35—12 ('59—12)
災害立法整備の問題点
林　修三　ジュリスト　192 ('59—12)
臨時国会における災害立法
近藤隆之，他　時の法令　336 ('59—12)

警察行政

警察法一般

偉大と幸福——身上監督に関する意見
新井　裕　警察研究　29—1 ('58—1)
警察官に協力援助した者の災害給付に関する法律の一部改正　＜1, 2＞
宍戸基男　警察研究　30—4, 5 ('59—4, 5)
警察官の職務に協力した者の災害給付に関する法律の性格
今泉正隆　警察学論集　12—5 ('59—5)
警察教養について——特に警察大学校を中心として【座談

会】
高山岩男，小倉　謙，館野覚治，本多武雄，秦野　章，坂田治吉，堀越信一，森本定一，木村行蔵　警察学論集　11—3（'58—3）

警察・検察の権利濫用
森川金寿　法律時報　30—10（'58—10）

警察権の限界
渡辺宗太郎　綜合法学　2—1（'59—1）

警察権の根拠と限界
河中二講　法学セミナー　33（'58—12）

警察実体法要綱試案　<1, 2>
土屋正三　警察研究　29—1, 3（'58—1, 3）

警察と有資格者制度
佐藤　竺　法律時報　31—4（'59—4）

警察に対する指揮——バイエルン法を中心として
土屋正三　警察研究　29—9（'58—9）

警察の理想と現実
奥平康弘　思想　414（'58—12）

警察法および同法附属法令の一部改正について
宍戸基男　警察学論集　12—4（'59—4）

警察法等の一部改正について
大津英男　警察研究　29—5（'58—5）

警察民主化の過程と警備（公安）警察の発展
広中俊雄　法学　23—2（'59—7）

消防関係二法の改正について
宮崎清文　警察学論集　12—6（'59—6）

消防法の一部を改正する法律の概要
木下　薫　地方自治　138（'59—6）

身上監督の問題点と対策——身上監督の問題点とその対策についての若干の考察
高木　利　警察学論集　11—2（'58—2）

戦後における警察組織の推移
佐藤　功　法律時報　臨時増刊　（'58—12）

戦後における警察法の変遷
土屋正三　レファレンス　100（'59—5）

戦後における警察法の変遷
土屋正三　警察研究　30—5（'59—5）

わが警察法制の欠陥
土屋正三　レファレンス　87（'58—4）

警察実務・取締

火薬類取締法　<1〜3>（研修講座）
木宮高彦　研修　136〜138（'59—10〜12）

外国製腕時計輸入の実態と取締上の問題点
佐藤鉄也　警察学論集　12—1（'59—1）

危険物の取締と財産権の尊重——銃砲刀剣類等所持取締法に関連して
町田　充　警察学論集　11—9（'58—9）

警察官の死体取扱手続について
北野筍一郎　警察研究　30—2（'59—2）

警察官の不当執行に対する責任追求の問題——違法な警棒の操法と損害賠償
山本　博　労働法律旬報　363（'59—11）

警察術科の推進に関する一考察——特に逮捕術及び柔・剣道について
滝沢光三　警察学論集　11—2（'58—2）

警察庁関係二法案のあらまし——銃砲刀剣類等所持取締法案，遺失物法等の一部を改正する法律案
町田　充　時の法令　273（'58—3）

警察と少年補導
宮崎　昇　警察研究　29—12（'58—12）

警察における検死官（仮称）制度について
斎藤一郎　警察研究　30—10（'59—10）

事故防止と交通統制のために交通取締の規則を改正——10月1日から施行
高見沢万吉　時の法令　291（'58—9）

質屋営業法に関する問題——主として盗品及び遺失物の無償回復請求権をめぐる問題について
西川清次　警察学論集　12—1（'59—1）

自動車の警音の使用とその制限について——騒音防止問題の関連として
内海　倫　警察研究　29—6（'58—6）

銃砲刀剣類等所持取締法　<1〜3>（研修講座）
木宮高彦　研修　131〜135（'59—5〜9）

銃砲刀剣類等所持取締法について　<1〜3>
西川清次　警察研究　29—5〜7（'58—6〜7）

深夜喫茶その後
町田　充　時の法令　324（'59—8）

深夜喫茶の取締は風俗営業取締法の改正で
宮崎清文　時の法令　299（'58—12）

水害警備の基本問題
浜中英二　警察学論集　11—8（'58—8）

騒音の防止
千種達夫　判例時報　150（'58—6）

騒音被害に対する私法上の救済
入江雅昭　警察研究　29—9（'58—9）

騒音防止に関する法規と行政
山下豊久　都市問題研究　10—8（'58—8）

売春問題を中心とした風俗営業の現状について
飯野定吉　警察学論集　12—2（'59—2）

風俗営業取締法の一部改正
桝谷　広　警察研究　30—3（'59—3）

風俗営業取締法の一部改正と青少年保護育成条例との関係——いわゆる深夜喫茶と指定飲食店の問題を中心として
樋野敏雄　警察学論集　12—2（'59—2）

風俗営業取締法の一部改正について
桝谷　広　警察学論集　12—2（'59—2）

風俗営業取締法の諸問題——同法の一部改正に関連して　<1, 2完>
宮崎清文　警察研究　30—1, 3（'59—1, 3）

風俗警察のあり方
町田　充　警察学論集　12—2（'59—2）

保安警察の脱皮
町田　充　警察学論集　12—1（'59—1）

暴力の取締りはこれでよいか
谷口正孝　ジュリスト　159（'58—8）

治安問題

〔公安条例判決については「憲法裁判」を見よ〕

公安条例総合判例研究
大西芳雄　立命館法学　26（'58—9）

公安条例といかに闘うか
山本　博　労働法律旬報　350（'59—7）

公安条例の本質と機能
中田直人　労働法律旬報　350（'59—7）

公共の安全と秩序論
奥平康弘　中央公論　74—1（'59—1）

国会周辺デモ禁止は民主政治の破壊——集団的国会請願は国民の正当な権利
中田直人　労働法律旬報　364（'59—12）

集団行進，集団示威運動等の規則
奥平康弘　自治研究　34—8（'58—8）

治安機構と国民
星野安三郎　経済評論　8—8（'59—7）

特高秘密警察の復活　<上，下>
風早八十二　労働法律旬報　361, 363（'59—11）

立法者は同じ言葉をくり返す——治安維持法制定議会をかえりみて
石村善助　世界　157（'59—1）

警察官職務執行法

解釈学者の責任について
猪野謙二　日本文学　7—12（'58—12）

改正警職法案の問題点
坂井時忠　法律時報　臨時増刊（'58—12）

改正警職法案への疑問
鵜飼信成　法律時報　臨時増刊（'58—12）

改訂警職法案の狙いと問題点その逐条批判——労働運動と関連させて【座談会】
森長英三郎，森川金寿，東城守一，石島　泰，内藤　功，西田公一，中田直人，小田三郎　労働法律旬報　323（'58—10）

改訂法案と憲法の基本的人権
中村　哲　労働法律旬報　323（'58—10）

改訂法案と労働運動
野村平爾　労働法律旬報　323（'58—10）

改訂法案第3条と救援活動
内藤　功　労働法律旬報　323（'58—10）

改訂法案の性格とそのねらい
吉川経夫　労働法律旬報　323（'58—10）

基本的人権は公益である——警職法改正問題点【座談会】
海野普吉，真野　毅，森川金寿，宮内　裕　世界　156（'58—12）

警察官職務執行法一部改正法案について
宍戸基男　警察研究　29—11（'58—11）

警察官職務執行法改正案について
杉山逸男　綜合法学　1—7（'58—12）

警察官職務執行法改正案の検討
警職法改正案研究会　法律時報　臨時増刊（'58—12）

警察官職務執行法改正の背後にひそむもの
飯坂良明　福音と世界　13—11（'58—11）

警察官職務執行法上の二，三の問題点について——公務執行妨害罪の適法要件に関連して
畑　郁夫　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）

警察官職務執行法の改正【研究会】
石川吉右衛門，宍戸基男，渋谷　亮，田中二郎，団藤重光，中川薫治，野木新一，宮崎清文，宮沢俊義　ジュリスト　166（'58—11）

警察官職務執行法の基本概念
出射義夫　警察学論集　12—5（'59—5）

警察法改正案を顧みて——警察権の拡大に急で抑制と縮少を忘れる
土屋正三　日本及日本人　96（'59—1）

警察法改正案の問題点【座談会】
吉川経夫，小川太郎，鵜飼信成，青木宗也，和田英夫　法学セミナー　33（'58—12）

警察法改正と各地方の運動——九州各地における闘争の思想的意味について
谷川　雁　思想　416（'59—2）

警察法改正と各地方の運動——高知県の場合，特に勤評反対闘争との関連において
西森　稔　思想　416（'59—2）

警察法改正と各地方の運動——石川県の場合
中村静治　思想　416（'59—12）

警察法改正は何故出されたか
季刊労働法　8—4（'58—12）

警察における公共の安全と秩序
宮内　裕　思想　414（'58—12）

警察法の警察手段の法的性格と問題点
出射義夫　法律時報　臨時増刊（'58—12）

警察民主化は全面的に崩壊する——警職法改正は何をもたらすか
広中俊雄　中央公論　73—13（'58—12）

警職ストの労働法上の意味
松岡三郎　労働経済旬報　12—385（'58—11）

警職法案を粉砕せよ
向坂逸郎　社会主義　87（'58—11）

警職法案の問題点——危険な警察官の権限強化
結城　治　自治時報　11—11（'58—11）

警職法一部改正法案批判
土屋正三　警察研究　30—1（'59—1）

警職法改正案を批判する
平場安治　季刊労働法　8—4（'58—12）

警職法改正案と法の支配
伊藤正己　ジュリスト　166（'58—11）

警職法改正案に関する国会審議録
法律時報　臨時増刊（'58—12）

警職法改正案反対理由
猪俣浩三　自由と正義　10—2（'59—2）

警職法改正案批判
歌川貞忠　自由と正義　10—2（'59—2）

警職法改正をめぐる日弁連の動き
荻山虎雄　自由と正義　10—2（'59—2）

警職法改正をめぐる婦人層の動きについて
関谷嵐子　思想　416（'59—2）
警職法改正を止めよ
佐竹晴記　自由と正義　10—2（'59—2）
警職法改正と国民の自由
鵜飼信成　世界　.156（'58—12）
警職法改正と労働運動
片岡　昇　労働問題　7（'58—12）
警職法改正について
石橋湛山　中央公論　73—13（'58—12）
警職法改正反対運動と青年・学生層の問題
北川隆吉　思想　416（'59—2）
警職法改正反対運動と労働者階級
中村賢二郎　思想　416（'59—2）
警職法改正反対に立上る国民
日高六郎　世界　156（'58—12）
警職法改正法案・治安警察法など
法律時報　臨時増刊（'58—12）
警職法改正法案と裁判官の立場
樽淵　理　法律時報　臨時増刊（'58—12）
警職法改訂案のねらいと問題点
戒能通孝　労働法律旬報　323（'58—10）
警職法改定案の問題点
吉川経夫　季刊労働法　8—4（'58—12）
警職法と独禁法——その改正に現われた民主主義の危機【対談】
相原　茂，勝間田清一　社会主義　88（'58—12）
警職法に関連して
青木均一　関西経協　13—1（'59—1）
警職法の改悪を許すな
志賀義雄　前衛　148（'58—12）
警職法反対闘争の教訓を安保条約破棄へ
土岐　強　前衛　151（'59—2）
警職法問題と日本民主制
升味準之輔　思想　416（'59—2）
警職法問答
星野安三郎　自由と正義　10—2（'59—2）
公共の安全と秩序——警察法改正法案第5条関係の事例を中心として
松橋忠光　法律のひろば　11—12（'58—12）
統一の芽をどう育てるか——警職法反対運動の経験のなかから【座談会】
日高六郎，石田　雄，江藤　淳，重枝琢己，柳本美雄，渡辺道子　世界　157（'59—1）
なぜ警職法を改正するか
戒能通孝　労働経済旬報　383（'58—10）
法律は曲解できる——しかし警職法を飴細工の如く自由に曲げられては困る
植松　正　文芸春秋　36—13（'58—12）
民主々義と人権の危機——警察官職務執行法改正案の問題点
木村三郎　前衛　148（'58—12）
流産した警職法改正案
和田英夫　時の法令　300（'58—12）
労働運動にどのような影響をあたえるか
内藤　功　労働経済旬報　383（'58—10）

自　衛　隊

憲法と自衛隊
杉村敏正　季刊法律学　28（'59—10）
憲法と自衛隊
星野安三郎　季刊法律学　28（'59—10）
自衛隊と自衛官——自衛官を国連監察団に参加させるについてはどこに問題点があるか
林　修三　時の法令　293（'58—10）
自衛隊の海外派遣
佐藤達夫　ジュリスト　161（'58—9）
第31国会での防衛論議を顧みる　<上，下>
林　修三　時の法令　318，319（'59—6）
秘密の保護は防ちようと同義か——防ちよう立法の政治的意義を考える
福島新吾　山之内先生追悼論文集　（'59—10）

出　入　国　管　理

海外渡航の自由
大西芳雄　立命館法学　29/30（'59—9）
入管行政とその問題点——入管行政とは何をするのかその問題点は何があるか
下牧　武　時の法令　291（'58—9）
不法滞留の外国人と出入国管理令第50条の裁決
秋吉稔弘　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）
旅券発給の拒否と憲法第22条
時の法令　297（'58—11）
わが国の出入国管理制度とその当面の課題
池上　努　綜合法学　2—6（'59—6）

財　政　法

アルコール専売法と国犯法
半田　剛　財政　22—8（'57—8）
いわゆる荷後塩の所持・譲渡は違法か
寺尾正二　ジュリスト　181（'59—7）
国家財政と地方財政
藤田武夫　法学セミナー　23（'58—2）
国庫制度はどうなっているか——その沿革と現状について
野村克通　時の法令　330（'59—10）
国有財産の管理と処分——現行法の大略と制度面および運用面における不備の指摘
金子　宏　ジュリスト　186（'59—9）
財政投融資とは何か
林　修三　時の法令　271（'58—2）
財政法の変遷と学説
杉村章三郎　法律時報　30—1（'58—1）

昭和33年度の土地・家屋の平均価額について
森岡　敞　自治研究　34—2（'58—2）
接収貴金属等の処理について
池中　弘　財政経済弘報　751（'59—5）
接収貴金属等の返還と当面の問題
馬渡俊光　財経詳報　241（'59—5）
たばこ専売関係の四法律
村田啓一　時の法令　280（'58—5）
タバコ専売法の制定と補償問題
遠藤湘吉　社会科学研究　11—2（'59—9）
日本財政制度の比較法史的分析
小島和司　公法研究　21（'59—10）
農業災害補償における市町村行政　<1〜3>
松浦　昭　自治研究　34—1，3，9（'58—1，3，9）
予算と法律との関係
安沢喜一郎　法律論叢　32—1（'58—6）
立法上における財政処理の原則　<2>
安沢喜一郎　法律論叢　31—5（'58—2）

税　法

税　法　一　般

帰属の法律的及び事実的意義と挙証責任——判例評釈を中心として
長　　穣　税法学　98（'59—2）
近代私法と租税の優先的効力
我妻　栄　金融法務事情　200（'59—3）
裁判例にあらわれた税法上の信義誠実の原則
中川一郎　税法学　100（'59—5）
シュピターラーの「税法解釈論に寄す」について　<1，2>【紹介】
中川一郎　税法学　106，107（'59—10，11）
昭和33年度税制改正の概要
塩崎　潤　自治研究　34—6（'58—6）
税法学の課題——租税法律主義と税法の法治国家的適用　<1〜3完>
中川一郎　税法学　87〜89（'58—3〜5）
税法学の必要性について　<1，2完>
田中勝次郎　財政経済弘報　700，702（'58—7）
税法講義——総論　<1〜4>
長　　穣　税法学　91〜94（'58—7〜10）
税法における形式と実質
須貝脩一　税法学　100（'59—5）
税法の行政解釈と司法解釈
須貝脩一　財政　23—5（'58—5）
税法の法源，企業会計原則
石塚　陸　税法学　100（'59—5）
税務職員の手心と租税法
ジュリスト　154（'58—5）
租税法および企業会計法における会計原則の法学的研究序説
忠　佐市　税法学　105（'59—9）
租税法学方法序説——果して従来の方法的研究のあり方でよいのであろうか
北野弘久　税法学　100（'59—5）
租税法セミナー　<21〜44>
宇佐美　勝，他　ジュリスト　143〜168（'58—1〜12）
租税優先権と私法体系
宇佐美　勝　法学セミナー　36（'59—3）
第31国会における税制改正詳解　<1〜6>
植松宗雄，他　財経詳報　231〜236（'59—4，5）
中川一郎編「租税判例」【書評】
須貝脩一　税法学　105（'59—9）

租税特別措置法

改正租税特別措置法案の概要
桜井四郎　財政　22—4（'57—4）
改正租税特別措置法について
佐藤春亥　税経通信　13—6（'58—5）
租税特別措置法（個人関係）一部改正
桜井四郎　税経通信　14—6（'59—5）
租税特別措置法の一部改正について
伊藤　甫　財政経済弘報　688（'58—4）
租税特別措置法の一部改正について
大山孝夫　財政　24—5（'59—4）
租税特別措置法の一部改正について——法人税関係
吉牟田　勲　財政　24—5（'59—4）
租税特別措置法（法人関係）について
佐藤春亥　税経通信　14—6（'59—5）

課　税・徴　収

青色申告の更生通知に其理由の欠缺せる更生処分取消の判決　<1〜3>
吉岡秀四郎　判例時報　178，180，185（'59—3〜5）
改正国税徴収法概説
安井　誠　財政　24—5（'59—4）
改正国税徴収法について　<1〜3>
宇佐美　勝　財政　24—6〜8（'59—5〜7）
改正国税徴収法について
堀内　仁　バンキング　136（'59—7）
改正国税徴収法の概要
吉国二郎　法律時報　31—6（'59—5）
隠れたる利益処分と最近の租税判例
田中勝次郎　専修大学論集　21（'59—10）
企業担保法と国税徴収とについて
荒木政之丞　財政　23—8（'58—7）
繰上徴収——国税徴収法逐条通達解説
秦　一朗　財政　21—6（'56—6）
現年災害と特別交付税
林　忠雄　自治研究　35—11（'59—11）
国税詐害行為取消権の問題
須貝脩一　経済人　12—7（'58—7）
国税徴収制度——主要立法動向
香川保一　商事法務研究　124（'59—1）
国税徴収法案等の提案まで——その経緯と改正の必要性

吉国二郎　金融法務事情　200（'59—4）
国税徴収法改正と私債権【対談】
金子佐一郎，松宮　隆　財政経済弘報　742（'59—3）
国税徴収法施行令の解説
中山幸一　財政経済弘報　784（'59—11）
国税徴収法全文改正の概要
福田光一　財経詳報　239（'59—5）
国税徴収法第3条をめぐる二，三の問題
香川保一　金融法務事情　189（'58—10）
国税徴収法逐条通達の概要
桜井直造　財政　21—3（'56—3）
国税徴収法にもとづく徴収猶予制度について
宮川本直　財政　21—10（'56—10）
国税徴収法の改正について
検察月報　125（'59—10）
国税徴収法の全文改正について——新しい国税徴収法の概要
遠間茂哉　税経通信　14—6（'59—5）
国税の優先権について
兵頭新太郎　財政　21—5（'56—5）
災害減免法の一部改正について
長村輝彦　財政　24—5（'59—4）
債権額未確定な確定債権に対する課税上の価格算定方法【シムポジウム】
中川一郎，他　税法学　108（'59—12）
私法秩序の尊重と租税徴収の確保——租税徴収制度調査会の答申に関連して
安井　誠　金融法務事情　193（'58—12）
資金調達の税法上の比較
細見　卓　ジュリスト　181（'59—7）
実質課税の原則
小宮　保　財政　22—4（'57—4）
新国税徴収法案と銀行実務
岩田準平，堀内　仁，安武政敏，藤沢正雄，水野欣信　金融法務事情　200（'59—3）
新国税徴収法案における登記実務について
香川保一　金融法務事情　200（'59—3）
新国税徴収法案に対する私見
柚木　馨　金融法務事情　200（'59—3）
新国税徴収法案の概要
東商　141（'59—3）
新国税徴収法施行令について
福田光一　財経詳報　276（'59—11）
新国税徴収法と譲渡担保
志場喜徳郎　ジュリスト　192（'59—12）
新国税徴収法の詳解　<1～6>
吉国二郎　金融法務事情　206～211（'59—5，6）
新国税徴収法の体系　<1>
平尾照夫　自治研究　35—11（'59—11）
税法上における不遡及効の原則
吉良　実　税法学　100（'59—5）
税法における貸倒金【シムポジウム】
中川一郎，他　税法学　107（'59—11）
租税債権・債務の特殊性　<1～8>
吉良　実　税法学　96（'58—12）；97～99，104～106，108（'59—1～3，8～10，12）
租税債権と相殺
須貝脩一　税法学　103（'59—7）
租税債権に基く詐害行為取消に関する諸題　<1，2>
吉良　実　税法学　88，89（'58—4，5）
租税債務履行遅滞と利子税の法的性格　<1，2>
新井隆一　税法学　88，90（'58—4，6）
租税徴収制度調査会答申全文
ジュリスト　171（'59—2）
租税徴収制度調査会の答申をめぐる諸問題
杉本良吉　商事法務研究　125（'59—1）
租税徴収制度答申について　<1～3完>【研究会】
宇佐美勝，雄川一郎，加藤一郎，杉本良吉，田中二郎，堀内　仁，桃井直造，安井　誠，吉国二郎，我妻　栄　ジュリスト　171，174，175（'59—2～4）
租税徴収権制度の改正と実務対策
堀内　仁　金融法務事情　194（'59—1）
租税物納の法理
新井隆一　税法学　100（'59—5）
滞納国税の徴収猶予等に対する履行監視の方法について
保坂民雄　財政　22—5（'57—5）
地租増徴法をめぐる階級対立　<1，2完>
前島省三　立命館法学　26，27（'58—9，12）
中小企業の資産再評価の特例に関する法律の取扱について
武田昌輔　財政　22—8（'57—8）
徴収関係訴訟事務の概観
秦　一朗　財政　22—4（'57—4）
追徴金等の基準価額に関する一考察
高橋勝好　財経詳報　241（'59—5）
「抵当権が国税徴収権に優先する」事例をめぐつて【座談会】
末川　博，板木郁郎，谷口知平，山木戸克己，増田幸次郎，須貝脩一，吉川大二郎，永沢信義　民商法雑誌　37—3（'58—6）
抵当権の物上代位と国税徴収法第3条
竹下重人　財政　22—6（'57—6）
農業法人に対する課税上の取扱
亀岡康夫　時の法令　313（'59—4）
有価証券に関する税法上の問題点
市丸吉左衛門　財政　23—4（'58—4）

滞納・差押

公売処分についての問題点
砂沢日出男　税経通信　13—3（'58—3）
告発と差押物件等の管理
半田　剛　財政　22—5（'57—5）
差押の効力について
村上正男　財政　21—12（'56—12）
租税滞納処分手続に関する中間覚書
吉岡二郎　ジュリスト　157（'58—7）
租税の確保と国民の権利保護との調整——租税滞納処分手続に関する中間覚書の概要　<上，下>
沢口成利，中山幸一　財政経済弘報　704，708（'58—7，8）
滞納処分関係訴訟の実例から
竹下重人　経済法律時報　6—1（'58—1）
滞納処分手続はいかにあるべきか——租税徴収制度調査会の中間答申について
吉国二郎　時の法令　286（'58—7）
滞納処分と強制執行等との手続の調整に関する法律案の解説
佐上武弘　財政　22—5（'57—5）
滞納処分と強制執行等との手続の調整に関する法律について
堀内　仁　バンキング　118（'58—1）
滞納処分と自力執行性について
小野木　常　金融法務事情　200（'59—4）
滞納処分の引継，引受について
葉梨和典　財政　22—8（'57—8）

租税犯

間接税法の罰則の解釈に関する諸問題　<上，下>
半田　剛　財政　21—9，10（'56—9，10）
新国税徴収法の罰則解説　<1，2>
臼井滋夫　警察研究　30—6，7（'59—6，7）
直接国税に関する罰則について——とくに逋脱犯に関して
山根　治　経済法律時報　6—1（'58—1）
追徴金と罰金との併科は二重処罰か
白石健三　ジュリスト　158（'58—7）
通告処分と煽動犯
半田　剛　財政　22—6（'57—6）
通告処分について——国税犯則取締法の問題点
森　源一　財政　23—8（'58—7）
犯則事件の処理，特に通告処分
半田　剛　財政　22—4（'57—4）
黙秘権と税法について
吉野辰雄　税法学　100（'59—5）

法人税法

改正法人税関係法令の詳解（第28国会における税制改正詳解）
田辺　昇　財経詳報　161（'58—4）
改正法人税法解説
市丸吉左衛門　財政　24—5（'59—4）
改正法人税法について
久保田一信　税経通信　13—6（'58—5）
人格のない社団又は財団に対する法人税の課税につて
中村平男　財政　23—4（'58—4）
中小企業と法人成り
遠藤湘吉　ジュリスト　183（'59—8）
同族会社の行為・計算否認の規定——租税回避及び隠れた利益処分　<1～9完>
中川一郎　税法学　91～96（'58—7～12）；97～99（'59—1～3）
判例における法人の所得概念について
小林茂実　司法研修所報　23（'59—7）
法人税綜合通達——主要立法動向
坂野常和　商事法務研究　124（'59—1）
法人税における資本について　<上，下>
小宮　保　財政　22—5，6（'57—5，6）
法人税法関係の改正について
久保田一信　税経通信　14—6（'59—5）
法人税法施行規則の一部改正——役員賞与の定義ほか　<2完>
藤掛一雄　財政経済弘報　789（'59—12）
立法例よりみた同族会社の課税問題　<2，3完>
福田幸弘　税法学　85，87（'58—1，3）
わが国法人課税の歴史的変遷　<上>
新井益太郎　政治経済論叢　8—3（'59—3）

所得税法

改正所得税法等について
中尾庄一　税経通信　14—6（'59—5）
改正所得税法について
中尾庄一　税経通信　13—6（'58—5）
社会保障と所得税
福田幸弘　税法学　100（'59—5）
所得税法等の一部改正の詳解
掃部　実　財経詳報　160（'58—4）
所得税法の一部改正について
長村輝彦　財政　24—5（'59—4）
所得の推計課税をめぐる若干の問題
松岡　登　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）
昭和33年度における所得税関係の改正　<1，2>
仲尾庄一　財政経済弘報　688，689（'58—4）
配当所得に対する課税　<1～5>
寺島市蔵　財政　22—12（'57—12）；23—1～4（'58—1～4）

関税法

外国郵便物に対する税関検査とその問題点　<1，2完>
伊藤幸吉　財政経済弘報　675，678（'58—2）
関税定率法の一部改正
木谷忠義　財政経済弘報　749（'59—4）
関税法等の改正について
坂口実雄　財経政済弘報　749（'59—4）
行政協定の実施に伴う関税法等の臨時特例法の改正
金子太郎　財経詳報　158（'58—4）
日米行政協定の実施に伴う関税法等の臨時特例法の一部改正
坂口実雄　財政経済弘報　689（'58—4）
輸入品と国犯法
半田　剛　財政　22—7（'57—7）

相続税法

改正相続税法基本通達の解説
白崎浅吉　財政　24—7（'59—6）
改正相続税法について

米山鈞一　税経通信　13—6（'58—5）
改正相続税法の課税方式についての一考察
森　一七　レファレンス　8—90（'58—7）
改正相続税法の施行について
米山鈞一　税経通信　13—7（'58—6）
税法からみた相続とその実際——民法上の相続と税法上の相続　<上，下>
白崎浅吉　財政　21—12（'56—12）；22—1（'57—1）
相続税法改正の概要
米山鈞一　財政経済弘報　690（'58—5）
相続税法改正問題について
汐見三郎　経団連月報　6—2（'58—2）
相続税法基本通達の制定について
内藤　清　財政　22—5（'57—5）
相続税法の一部改正解説（第28国会における税制改正詳解）
桜井四郎　財経詳報　163（'58—5）

地　方　税　法

改正される地方税法の解説
細郷道一　財政　22—4（'57—4）
改正地方税法の解説（第28国会における税制改正詳解）
細郷道一　財経詳報　158（'58—4）
市町村税制の改正と今後の問題点
土屋佳照　自治研究　35—5（'59—5）
昭和33年度市町村税制の改正
大植金平　自治研究　34—5（'58—5）
昭和33年府県税制の改正
森　清　自治研究　34—5（'58—5）
地方交付税制度の本質に対する反省
山下　稔　自治研究　35—2（'59—2）
地方交付税法の一部を改正する法律案について
山下　稔　自治時報　11—4（'58—4）
地方税制の減税措置及び徴収整備
森　清　自治研究　35—5（'59—5）
地方税法349条2項について
長谷川憲治　地方税　9—9（'58—9）
地方税法の一部改正について
森　清　税経通信　14—6（'59—5）
地方税法の一部改正法案の概要
森　清　地方自治　136（'59—4）
地方税法の改正
金丸三郎　地方税　9—8（'58—8）
地方税法の改正点とその運用について
鎌田要人　地方自治　125（'58—5）

酒　税　法

カクテル論議——密造酒をまぜて売ることの罪
寺尾正二　ジュリスト　158（'58—7）
改正酒税法について
三好　寛　税経通信　13—6（'58—5）
酒税法の改正について
三好　寛　財政経済弘報　690（'58—5）
酒税の改正について　<上，下>
三好　寛　財経詳報　236，237（'59—4，5）
酒税の保全及び酒類業組合等に関する法律の改正について
吉田富士雄　財政　22—7（'57—7）
酒税法の一部改正について
吉田富士雄　財経詳報　160（'58—4）
酒税法の一部を改正する法律解説
高寺森雄　税経通信　14—6（'59—5）
酒税法の一部を改正する法律の解説
金子順三　財政　24—5（'59—4）

入　場　税　法

改正入場税法
中山君雄　税経通信　14—6（'59—5）
入場税および骨ぱい税の改正
佐上武弘　財政　22—5（'57—5）
入場税法改正の概要（第28国会における税制改正詳解）
佐上武弘　財経詳報　163（'58—5）
入場税法の一部改正
吉田富士雄　財経詳報　239（'59—5）
入場税法の一部改正について
高木寿雄　税経通信　13—7（'58—6）
入場税法の改正について
中山君雄　財政経済弘報　691（'58—5）
入場税法の改正について
吉田富士雄　財政　24—5（'59—4）

諸　税

改正印税法の概要
佐上武弘　財政　22—5（'57—5）
揮発油税法及び地方道路税法の一部改正
吉田富士雄　財経詳報　237（'59—5）
揮発油税法および地方道路税法の改正について
吉田富士雄　財政　22—5（'57—5）
銀行業務と印紙税　<1〜3>
高橋英雄，谷藤辰雄　金融法務事情　190，191（'58—11）；195（'59—1）
砂糖消費税法の一部改正について
堀　敏夫　財政　24—5（'59—4）
砂糖消費税法の改正について
堀　敏夫　税経通信　14—6（'59—5）
事業税の性格と附加価値税の反省
奥野誠亮　自治研究　34—4（'58—4）
贈与と贈与税について
木野晴夫　財政　22—6（'57—6）
物品税の改正について
堀　敏夫　財経詳報　239（'59—4）
物品税法の一部改正について
堀　敏夫　財政　24—5（'59—4）

地　方　自　治　法

〔日本国憲法中「第八章地方自治」をも見よ〕

いわゆる納税者訴訟に関する若干の問題
中平健吉　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）
監査請求及び納税者訴訟について　<4〜6完>
成田頼明　自治研究　34—1，7，11（'58—1，7，11）
行政判例と行政実態——桓間村農業委員会選挙無効事件によせて
和田英夫　法律論叢　33—4（'59—12）
郡というもの——郡・区・町　<1>
岸　昌　時の法令　271（'58—2）
区というもの——郡・区・町　<2>
岸　昌　時の法令　273（'58—3）
国家行政と地方行政
原　竜之助　法学セミナー　44（'59—11）
財産区　<1〜3>　【研究会】
福島正夫，雄川一郎，渡辺洋三，小林与三次，岸　昌，宮沢　弘，遠藤文夫　自治研究　35—7〜9（'59—7〜9）
財産区について
加藤一明　法と政治　9—2（'58—6）
最終段階の町村合併
降矢敬義　ジュリスト　170（'59—1）
市町村財務事務の運営基準　<4〜7>
自治研究　35—3〜6（'59—3〜6）
首長主義と議会主義
和田英夫　法学セミナー　31（'58—10）
住民の権利行使——直接請求権行使の態様
杉山逸男　沼博士古稀記念論文集　（'58—2）
住民の権利行使——直接請求権行使の態様
杉山逸男　行政時報　1—1（'58—5）
新市町村建設促進法の一部改正法案の概要
内山鉄男　地方自治　131（'58—11）
戦後地方制度の回顧——戦前と比較して
亀卦川　浩　レファレンス　100（'59—5）
「地方」案批判の批判
三好重夫　自治研究　34—1（'58—1）
地方行政と国の関係
林田和博　法学セミナー　32（'58—11）
地方行政の事務管理と行政機構改革　<1>
河中二講　自治研究　35—1（'59—1）
地方公共団体の議員，長等の他事業関与禁止
田中真次　ジュリスト　147（'58—2）
地方自治制の存在意義
田中二郎　自治研究　34—1（'58—1）
地方自治と公共の福祉
綿貫芳源　法律時報　31—7（'59—6）
地方自治の動揺
杉山逸男　綜合法学　1—3（'58—8）
地方自治の本旨——地方行政運営論
藤井貞夫　自治研究　34—7（'58—7）
地方自治の本旨について
亀卦川　浩　レファレンス　別冊（'59—5）
地方自治法における請負禁止について　<5完>
久世公堯　地方自治　123（'58—3）
地方自治法の改正
佐伯信男　文部時報　982（'59—6）
地方制度の改革について
鈴木俊一　自治研究　34—1（'58—1）
地方立法の施行上の問題点
谷　育三　都市問題　50—1（'59—1）
町村合併の最終処理——新市町村建設促進法の改正と合併最終処理方針
内山鉄男　自治研究　35—1（'59—1）
町村合併の論理と問題性　<1，2>
大島太郎　自治研究　34—10（'58—10）；35—1（'59—1）
町村自治の歴史的基盤
前田正治　綜合法学　1—6（'58—11）
納税者訴訟の問題点
田中真次　判例評論　13（'58—7）
府県制度の改革をめぐる憲法問題　<1〜3完>
田中二郎　選挙　11—3，6，7（'58—3，6，7）
府県制度論議私感
佐久間　彊　自治研究　35—1（'59—1）
府県制の沿革　<1，2>
播磨重男　自治研究　35—3，9（'59—3，9）
副知事・助役制度の問題点について
津軽芳三郎　自治研究　35—2（'59—2）
分併，分町問題の理論と実態——四街道町・佐倉市の事例
和田英夫　法律論叢　33—3（'59—11）
マンモス都政と人事制度
鹿子木昭介　法律時報　31—4（'59—4）
リコール制度についての疑問
熊倉正彌　地方自治　129（'58—9）
わが国地方行政の体系
杉山逸男　綜合法学　2—6（'59—6）

地方立法・条例

愛知県名古屋市の条例
早瀬　武，杉本幹夫　法律時報　31—7（'59—6）
行政事務条例の実態
久世公堯　都市問題　50—1（'59—1）
行政事務条例の実態と問題点
久世公堯　法律時報　31—7（'59—6）
行政事務条例の種類・機能及び制定の状況
法律時報　31—7（'59—6）
条例における理念と現実
有倉遼吉　法律時報　31—7（'59—6）
条例にみる地方自治
降矢敬義　時の法令　266（'58—1）
地方議会における議員立法の現状と問題点——都道府県議会の立場から
知久重一　都市問題　50—1（'59—1）
地方議会における立法過程——地方政策決定形式と現代議会制
河中二講　都市問題　50—1（'59—1）
地方公共団体の立法機能
川口頼好　法律時報　31—7（'59—6）

地方立法の限界——いわゆる深夜喫茶の規制問題を中心として
佐藤　功　都市問題　50—1（'59—1）

地方立法の現状と問題点——町村の立場から
佐藤令一　都市問題　50—1（'59—1）

地方立法の現状と問題点——市議会の立場から
山口　享　都市問題　50—1（'59—1）

判例からみた地方公共団体の条例
成田頼明　法律時報　31—7（'59—6）

福岡県における条例と基本的人権
手島　孝　法律時報　31—7（'59—6）

法令の制定等により廃止または改正された行政事務条例
法律時報　31—7（'59—6）

地方公務員法

校長の管理職手当について
安嶋　彌　自治研究　34—9（'58—9）

地方公務員制度としての定年制
今枝信雄　自治研究　34—5（'58—5）

地方公務員退職給与制度改正の問題点　<1〜4完>
今枝信雄　自治研究　35—7〜10（'59—7〜10）

地方公務員法61条——その性格について
佐伯静治　労働法律旬報　316（'58—8）

交通・運輸・通信法

道路交通関係法

悪道路と国家賠償責任
有倉遼吉　警察時報　14—8（'59—8）

激増する交通事犯
青木清相　時の法令　318（'59—6）

故意犯・過失犯——道路交通取締法の解釈上の疑問を契機として
正田満三郎　警察研究　29—1（'58—1）

交通規則と交通取締　【座談会】
石川吉右衛門，内海　倫，折田二雄，加藤一郎，コールマン，富永誠美，広山紫朗，ラビノウィツ，渡部綱義
ジュリスト　172（'59—2）

交通事故について——最近の統計から
小林幸雄　ジュリスト　172（'59—2）

自動車事故と損害賠償
木村英世　ジュリスト　172（'59—2）

自動車事故の報告事務と黙秘権
田宮　裕　ジュリスト　189（'59—11）

自動車事故惹起者の報告義務と黙秘権
青木清相　時の法令　334（'59—11）

自動車損害賠償保障制度における若干の問題——責任法の解釈の問題，強制保険実現の方策等
石川昭夫　時の法令　325（'59—8）

自動車損害賠償保障制度の実施状況とその問題点
井上健一　ジュリスト　172（'59—2）

自動車損害賠償保障法と共済組合
曾我　悟　共済時報　5—10（'57—10）

自動車ターミナル法案
渋谷正敏　時の法令　310（'59—3）

自動車登録番号標（車輌番号標）の不正使用について——付自動車鑑札の不正使用
細谷　明　司法研修所報　21（'58—9）

自動車の運転免許と交通法規　【座談会】
石川吉右衛門，内田　倫，梅津市太郎，大津定一，折田二郎，加藤一郎，末延三次，田上芳市，富永誠美，坪井楊，広山紫朗，矢沢惇　ジュリスト　167（'58—12）

白タクをめぐる諸問題
岩田荘治　警察学論集　12—9（'59—9）

白ナンバー・タクシーと道路運送法
黒住忠行　時の法令　322（'59—7）

損害賠償の請求権——自動車事故と保険給付
古川家基　健康保険　12—5（'58—5）

タクシーの事故防止と道路運送法——法律から見た運転者の労務管理の改善問題
亀岡康夫　時の法令　279（'58—5）

道路交通取締法施行法令の一部改正について
高見沢万吉　警察時報　13—11（'58—11）

道路交通取締法施行令第41条違反事件について——とくに判例の傾向に即しつつ
井上正治　判例評論　18（'59—5）

道路交通取締法施行令第41条は限時法か
真野英一　ジュリスト　174（'59—3）

道路交通取締法令の諸問題——主として解釈論の立場から　<1, 2>
宮崎清文　警察研究　29—5, 7（'58—5, 7）

道路交通法案要綱について
杉山逸男　綜合法学　16（'59—11）

道路交通立法の主要問題
植松　正　法律時報　31—11（'59—10）

道路等の公共施設の現況と改善策　【座談会】
田中二郎，友末洋治，河野一之，荻田　保，鈴木俊一，石破二朗，平田敬一郎　ジュリスト　147（'58—2）

道路はどのように整備されるか——道路整備五ヶ年計画と33年度予算　<1, 2>
松永　勇　財政経済弘報　686, 687（'58—4）

取締法を全面改正して道路交通法に——改正方針を中心とする道路交通取締法の問題点を概観する
須貝一二　時の法令　332（'59—11）

日本道路公団の実績と展望
宮内潤一　時の法令　294（'58—10）

鉄道関係法

鉄道営業法の改正について
小田垣光之輔　レファレンス　9—99（'59—4）

鉄道公安職員
山口真弘　時の法令　290（'58—8）

鉄道と道路との交差に新立法
原山亮三　時の法令　298（'58—11）

日本国有鉄道法の一部を改正する法律
山口真弘　時の法令　312（'59—4）

海上関係法

海上災害処理の法的構造——とくに洞爺丸事件の海難審判を中心として
戸田修三　法律時報　30—8（'58—8）

絹笠丸沈没事件——ある船の生涯
児玉正勝，滝川文雄　法学志林　56—4（'59—3）

近世における海難証明制度
金指正三　海上保安大学校研究報告　32年度（'58—3）

国内旅客船公団法案
中野　大　時の法令　306（'59—2）

水先責任の一考案——そのイギリス，アメリカ法との比較
志津田氏治　経営と経済　76（'58—10）

航空関係法

エア・チャーターについて
池田文雄　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）

航空運送法と有限責任
池田文雄　専修大学論集　17（'58—5）

航空機による地上損害とその責任の保障
高田桂一　九大法学　3（'59）

航空機の上空通過に伴う法律問題　<1>
池田文雄　空法　3（'58—4）

航空事故と賠償責任
池田文雄　綜合法学　1—7（'58—12）

航空の安全に関する制度——どのような制度が置かれ，どんな対策が講ぜられるか
高野　晟　時の法令　294（'58—10）

航空の安全を強化する——耐空証明の厳密化，空港管理，運航規定の整備，手数料の適正化等
町田　直　時の法令　274（'58—3）

郵便電波関係法

簡易生命保険の改正について
野田誠二郎　郵政　10—5（'58—5）

電波界の実情と施行実績に即し電波法を広範囲に改正
石川義憲　時の法令　282（'58—6）

郵便為替法および郵便振替貯金法の一部改正について
内田普雄　財政経済弘報　689（'58—4）

郵便貯金の金利引上げ——その背景と問題点を紹介
吉瀬　中　時の法令　266（'58—1）

郵便法第79条第1項
時の法令　277（'58—4）

外国行政法

諸　国

欧州諸国における一般行政手続法の立法的傾向　<1>
尾上　実　自治研究　35—12（'59—12）

欧州の警察を見て——および国際社会防衛会議と国際刑事警察会議の概要　<上，中，下>
田中八郎　警察学論集　12—3〜5（'59—3〜5）

各国公務員の恩給制度　<2>
人事院月報　86（'58—4）

スカンヂナビヤ諸国の海難審判制度
森　清　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

大陸法における行政裁判権の独立
山下健次　立命館法学　25（'58—6）

東南アジアの治安をめぐる諸問題
川井英良　警察時報　13—11（'58—11）

アメリカ

アメリカおよびイギリスにおける行政監察制度
中村和夫　レファレンス　8—86（'58—3）

アメリカ税法と減価償却規定
新井益太郎　明治学院論叢　48—2（'58—2）

アメリカ税務訴訟における立証の具体的研究　<1〜6>
長　穣　税法学　103〜108（'59—7〜12）

アメリカにおける行政組織論の動向　<1, 2完>
君村　昌　同志社法学　10—6（'59—3）；11—2（'59—9）

アメリカにおける警察の権限
河原畯一郎　法律時報　臨時増刊（'58—12）

アメリカにおける原子力災害補償法制——プライス・アンダーソン修正法を中心に
下山俊次　ジュリスト　190（'59—11）

アメリカの警察及び警察官
橋本公亘　ジュリスト　166（'58—11）

アメリカの国立公文記録保管所
萩原延寿　レファレンス　9—99（'59—4）

アメリカのパブリック・コーポレーション——政府会社の展望と分析
道田信一郎　比較法研究　17（'58—10）

アメリカ連邦会議の調査活動改革案
レファレンス　9—103（'59—8）

カリフォルニアの自動車交通法
川島武宜　ジュリスト　168（'58—12）

公務員の新聞発表と名誉毀損の成否
塚本重頼　法律のひろば　12—3（'59—3）

公務員の発表と名誉毀損の不成立
塚本重頼　法律のひろば　12—8（'59—8）

始審的管轄権の法理——米連邦行政法の一問題
大林正平　法経論集（愛知）　26（'59—4）

出入国管理の調査と不法監禁
塚本重頼　法律のひろば　12—4（'59—4）

聴聞に関する序論的考察——合衆国行政法における問題を中心に
小高　剛　立命館法学　31（'59—12）

米英行政法における Estoppel
下山瑛二　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

橋本公亘「米国行政法研究」【紹介】
鵜飼信成　国家学会雑誌　73—3（'59—10）

米国裁判所と税法
須貝脩一　財政　22—5（'57—5）

米国税務訴訟における挙証責任

須貝脩一　税法学　85（'58—1）
米国における課税処分の瑕疵
須貝脩一　財政　22—8（'57—8）
米国における国家公務員の地位と人権——忠誠の強制を中心として
外間　寛　法学新報　66—4（'59—4）
米国における財産税の諸問題　<1〜5完>
鎌田要人　自治研究　34—7, 8, 10（'58—7, 8, 10）; 35—1（'59—1）
米国の新内国歳入法邦訳　<21〜42>
加藤　清　税法学　85〜107（'58—1〜'59—11）
米国連邦の租税優先権
須貝脩一　税法学　86（'58—2）
米連邦行政訴訟における若干の訴訟要件の問題
中村治朗　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

イ　ギ　リ　ス

イギリス行政法における公益と私益
山本正太郎　法と政治　10—3（'59—10）
イギリス行政法における司法審査の方法について
堤口康博　早稲田政治経済学雑誌　153（'58—10）
イギリスにおける警察官の職務権限
山田幸男　法律時報　臨時増刊（'58—12）
イギリスの警察教科書　<1〜3>
土屋正三　警察研究　30—10〜12（'59—10〜12）
イギリスの1957年地方行政法案について
自治庁行政課　地方自治　125（'58—5）
イギリス法における自由裁量の理論
山田準次郎　公法研究　18（'58—3）
英国国家賠償の法理　<2完>
金子芳雄　法学研究　31—7（'58—7）
Ultra Vires と行政争訟——英国行政法を中心として
金子芳雄　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）
英国所得税法邦訳註解　<43〜53>
福田幸弘　税法学　85, 86, 91〜94, 96（'58—1, 2, 7〜10, 12）; 98, 102（'59—2, 6）
英国における行政裁判と司法的統制
山本正太郎　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　（'56—7）
英国における1945年水法の立法過程について
佐藤隆夫　法学新報　66—3（'59—3）
英国の河水汚濁防止法規の形成と発展
佐瀬六郎　水利科学　1—4（'58—3）
行政事件処理のイギリス的方式とその特色
山本正太郎　法と政治　10—4（'59—11）
下山瑛二「国の不法行為責任の研究」【紹介】
伊藤正己　国家学会雑誌　73—3（'59—10）
治安判事のライセンスについて
田村浩一　法学雑誌　4—3/4（'58—3）
パブリック・コーポレイションの研究
山田幸男　比較法研究　17（'58—10）
フランクス報告書について
伊藤正己　法律時報　30—6（'58—6）
フランクス・リポート——英国の行政裁決機構および行政手続に関する調査報告　<1〜5>
中村彌三次　時の法令　329〜333（'59—10, 11）
累進課税——英国所得税における累進原理の発展に関する研究　<1〜7>
Shehab, F.　杉田昌久，宍倉宗夫訳　税法学　84（'57—12）; 86〜88, 90, 91, 93（'58—2〜4, 6, 7, 9）

イ　タ　リ　ア

イタリアの行政手続法案　<上，下>
中村彌三次　時の法令　334, 335（'59—11, 12）
イタリーの水法——附，イタリーにおける水関係の法律訳
村上竜太郎　レファレンス　8—86（'58—3）

オ　ー　ス　ト　リ　ア

一般行政手続法に関する一資料　<1, 2>
尾上　実　自治研究　35—3, 4（'59—3, 4）
オーストリア一般行政手続法訳
波多野　弘　立命館法学　27（'58—12）

ソ　ヴ　ェ　ト

社会主義的国有と国営企業の法主体性——ソ同盟の場合
藤田　勇　比較法研究　17（'58—10）
1959年度ソ連国家予算法と蔵相の予算演説
調査月報（大蔵省）　48—3（'59—3）
ソ同盟における軍部の地位——制度論考察　<1, 2完>
福島徳寿郎　法学論叢　64—6（'59—2）; 65—3（'59—6）
ソ連の法制と税制
須貝脩一　財政　21—12（'56—12）

中　　国

人民公社の諸問題【座談会】
福島正夫，伊藤武雄，大谷省三，蠟山芳郎，本橋　渥，仁井田　陞，藤田　勇，飯塚浩二，竹内　実，浅井　敦　東洋文化　27（'59—3）
人民公社の法的地位
福島正夫　東洋文化　27（'59—3）
人民公社の問題点
鵜沢義行　時の法令　329（'59—10）
中国の国営と公私合営企業
高田源清　比較法研究　17（'58—10）
中共の人民公社
石川忠雄　綜合法学　2—5（'59—5）

ド　イ　ツ

革命と反革命の過程におけるプロイセンの所得税立法
佐藤　進　社会科学研究　11—1（'59—8）
ギーゼ「公用徴収と損失補償」について　<1, 2>【紹介】
長尾久衛　名城法学　8—1, 2（'58—6, 10）
行政科学の再評価と課題——戦後ドイツにおけるその問題状況　<1, 2>
和田英夫　法律論叢　31—5（'58—2）; 32—1（'58—6）

市町村の自治行政権の侵害に関する西ドイツ連邦憲法裁判所の一判決　<1〜3>
成田頼明　時の法令　311, 313, 314（'59—4, 5）
シャンツの純資産増加説　<1, 2完>
清水敬次　税法学　85, 86（'58—1, 2）
自由裁量に関する西ドイツの一判例とこれに対するバホフの批評
山田準次郎　法律論叢　32—2（'58—10）
シュピターラーの「税法における法安定性，合目的性及び正義」について　<1, 2完>【紹介】
中川一郎　税法学　105, 106（'59—9, 10）
西独の利水管理法
山越道三　レファレンス　8—86（'58—3）
秩序行政方法　<1>
土屋正三　警察研究　30—8（'59—8）
ドイツ官吏法序説——特別権力関係理論の生成
室井　力　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　（'56—7）
ドイツ官吏法と特別権力関係理論　<1〜4>
室井　力　法経学会雑誌　26, 27（'58—9, 12）; 28, 29（'59—3, 4）
ドイツ官吏法の特質——ボン基本法と連邦官吏法
室井　力　公法研究　18（'58—3）
ドイツ行政裁判所の史的成立に関する考察
南　博方　法学雑誌　6—1（'59—7）
ドイツ行政法の性格と問題　<1, 2>
和田英夫　法律論叢　32—4, 5（'59—1, 2）
ドイツ交通財政法の概要
前田陽之助　運輸と経済　18—10（'58—10）
ドイツ財産税法の研究　<3〜7>
新井隆一　税法学　92, 94〜96（'58—8, 10—12）;　102（'59—6）
ドイツ税法における正規の簿記の原則
清永敬次　法学論叢　63—6（'58—2）
ドイツにおける行政上の強制執行序説——いわゆる一般行政強制の原則について
広岡　隆　法学論叢　65—5（'59—8）
ドレウス・ワッケー般警察法——行政官及び学徒のための入門　<11〜15完>
土屋正三　警察研究　29—2, 4, 6, 7（'58—2, 4, 6, 7）; 30—2（'59—2）
西ドイツ警察法制の現況
土屋正三　警察研究　29—5（'58—5）
西ドイツ税法における課税所得の算定と商事貸借対照表
清永敬次　法学論叢　65—6（'59—9）
西ドイツにおける公勤務法統一化の理論
室井　力　岡山大学創立10周年記念論文集　上（'59—10）
西ドイツにおける不確定概念と自由裁量論　<1〜3>
山田準次郎　法律論叢　32—6（'59—4）; 33—1, 2（'59—7, 8）
西ドイツの憲法裁判所と違憲法令
土屋正三　レファレンス　9—103（'59—8）
西ドイツの租税委員会制度
中川一郎　税法学　102（'59—6）
ノルドライン・ウェストファーレン邦の秩序行政庁法　<1, 2完>
土屋正三　警察研究　30—8, 9（'59—8, 9）
不確定概念と自由裁量に関するロイスの理論とその批判
山田準次郎　法律論叢　31—6（'58—4）
ヘッセンの警察法　<1, 2>
土屋正三　警察研究　30—3, 4（'59—3, 4）
ラインランド・ファルツの警察法　<1〜3>
土屋正三　警察研究　29—10〜12（'59—10〜12）
B. ギュツペル「税務上の償却制度」訳　<1〜6>
猪瀬節雄　税法学　87〜90, 94, 95（'58—3〜6, 10, 11）

フ　ラ　ン　ス

コライュ「フランス行政法における公役務の法律的概念の危機」1954年
神谷　昭　国家学会雑誌　71—11（'57—11）
自動車責任保険の義務化
高橋康之　法律時報　30—8（'58—8）
パリの警視庁　<1, 2>
土屋正三　警察研究　30—6, 7（'59—6, 7）
パリの公益機関——首都制度研究の一環としての
土屋喜平　英米法学　10（'59—4）
仏法における行政上の強制執行
広岡　隆　大阪学芸大学紀要人文科学　6（'57—3）
フランス委員会報告書とイギリス行政法の発展
山本正太郎　法と政治　9—3（'58—9）
フランス行政法における国の危険責任　<1〜4完>
神谷　昭　自治研究　35—4〜6, 8（'59—4〜6, 8）
フランスにおける行政行為の特質
近藤昭三　公法研究　18（'58—3）
フランスに於ける公企業——企業と私法
田中　昭　比較法研究　17（'58—10）
フランスにおける地方制度の形成　<1〜3>
内田　新　自治研究　35—6, 8, 10（'59—6, 8, 10）
フランスの警察官——留学の経験から
野村敬造　ジュリスト　166（'58—11）
ヴェネジア「自由裁量権」【紹介】
兼子　仁　国家学会雑誌　73—4（'59—12）

其　の　他

インド税法における Doctrine of Business Connection について
小松芳明　税法学　99（'59—3）
韓国の新国家保安法
黒木三郎　法律時報　31—3（'59—3）
スイス防衛税法の研究　<7〜13>
中川一郎　税法学　85〜88（'58—1〜4）
スペイン行政手続法　<上>
中村彌三次　時の法令　337（'59—12）

司　法　制　度

司法制度一般

依頼者を説得する（わが法廷）
長野　潔　判例時報　144（'58—4）
沖縄司法制度等調査報告書　<2, 3完>
自由と正義　9—12（'58—12）; 10—1（'59—1）
沖縄の実状と司法制度　<1〜3>
石田寅雄　法律新聞　112〜114（'58—9, 10）
兼子一著「裁判法」【書評】
村松俊夫　法律時報　31—12（'59—11）
カルドーゾ「司法過程の性質」
Pound, R.　法学セミナー　36（'59—3）
公平な裁判所
毛利与一　法学セミナー　44（'59—11）
国際法律扶助協会のことども
佐々木一珍　自由と正義　10—1（'59—1）
裁判と国民
広津和郎　世界　145（'58—1）
裁判と人間の権利
伊達秋雄　法学セミナー　41（'59—8）
裁判官の弁明　<1, 2>
柳川真佐夫　判例時報　145, 146（'58—4, 5）
裁判所の予算をめぐつて
松崎憲司　自由と正義　10—6（'59—6）
裁判の論理【座談会】
大岡昇平，久野　収，中島健蔵，真野　毅　中央公論　73—12（'58—11）
裁判の理論構造
中村宗雄　法哲学年報　1958年（'59—4）
条理にもとづく裁判
川崎武雄　法政論叢　10（'59—6）
静かなる裁判をめざして
長野　潔　判例時報　142（'58—3）
司法行政の根本問題
庵治川良雄　自由と正義　10—6（'59—6）
司法制度をめぐる諸問題　<1〜4>【座談会】
柳川真佐夫，内藤頼博，斎藤次郎，山下朝一，藤林益三，浅沼　武，守田　直，花田政道，新村義広，糟谷忠男，石田穣一　判例タイムズ　10—6〜8, 12（'59—6〜8, 12）
司法制度調査会の運営について【座談会】
水野東太郎，江沢義雄，荻山虎雄，田中正名，坂野英雄，高井貫之，山本耕幹，浅沼澄次，岸永　博　自由と正義　9—3（'58—3）
司法権の独立と司法権のあり方
横川敏雄　法哲学年報　1956年（'57—4）
司法権独立の限界
野間　繁　中村宗雄教授還暦祝賀論集（'55—3）
職業としての法曹【座談会】
新関勝芳，花田政道，出射義夫，伊藤栄樹，吉川大二郎，荻山虎雄，岩間幸平，島田徳郎　法の支配　2（'59—11）
訴訟代理人への期待（わが法廷）
石井良三　判例時報　136（'58—1）
第二の法廷　<1〜3>
三宅正雄　判例時報　147〜149（'58—5, 6）
デニング著「裁判と正義」【書評】
横川敏雄　法律時報　30—5（'58—5）
日本の法治国体制はこれでよいか
小林俊三　中央公論　73—9（'58—9）
日本法曹政治連盟の使命と性格
菅原　裕　自由と正義　10—8（'59—8）
判決の予測は可能か
桜田勝義，斎藤秀夫　法律時報　31—12（'59—11）
フオートクラシー（保全訴訟雑感）
三宅正雄　判例タイムズ　9—2（'58—2）
法曹一元を実行するための条件
日本法律協会　自由と正義　9—1（'58—1）
法曹一元要綱
日本弁護士連合会　自由と正義　9—1（'58—1）
法曹一元論と裁判の民主化
飯村義美　自由と正義　9—1（'58—1）
法廷雑感　<1>
長谷部茂吉　法律のひろば　12—12（'59—12）
法務省総合研究所は何をすべきか
ジュリスト　187（'59—10）
法律扶助施設の拡充
野間　繁　時の法令　279（'58—5）
法律扶助制軌道に—— 1 千万円の意義を働く
法律新聞　92（'58—5）

司法試験・法曹教育

司法試験——改正法とその理想像
加藤一郎　法学セミナー　36（'59—3）
司法試験制度改正案に対する批判
片山金章　自由と正義　10—1（'59—1）
司法試験制度の改正及び法学教育の在り方について
津田　実　自由と正義　10—1（'59—1）
司法試験制度の改正について
永田菊四郎　綜合法学　2—1（'59—1）
司法試験制度批判——法曹の登竜門はこれでいいか【座談会】
植松　正，加藤一郎，桑田三郎，和田英夫，大野実雄，山主政幸　法律時報　31—4（'59—4）

司法試験に短答式を本格的にとり入れる——司法試験法の一部を改正する法律
田坂友男　時の法令　307（'59—2）
司法試験のゆくえ
高梨公之　時の法令　311（'59—4）
司法試験法の改正について
津田　実　法曹時報　11—1（'59—1）
司法研修所10年を顧み司法修習生制度を検討する【座談会】
兼子　一，松田二郎，杉山克彦，平出　禾，植松　正，宮原守男，梶谷丈吉，棚町祥吉　ジュリスト　152（'58—4）
司法研修所10年の歩み——回顧と展望
ジュリスト　152（'58—4）
修習生は自由を求めている【座談会】
桑田三郎，内田　剛，鍛治利秀，坂本昭治，前田知克　法学セミナー　42（'59—9）
トルソーとしての司法修習生——司法修習生の思想と生活
桑田三郎　法学セミナー　42（'59—9）
法学教育，司法試験，司法研修所のあり方
水野東太郎　自由と正義　10—1（'59—1）
法曹教育のあり方について
松田二郎　自由と正義　10—1（'59—1）

裁判批判問題

裁判——雑音の効用
岡林辰男　中央公論　74—12（'59—9）
裁判と報道の自由
田中耕太郎　ジュリスト　145（'58—1）
裁判批判をめぐつて
津田正良　世界　168（'59—12）
裁判批判と弁護士批判
ジュリスト　191（'59—12）
裁判批判に想う
野村正男　判例時報　186（'59—6）
裁判批判について
吉川大二郎　日本及日本人　102（'59—9）
裁判批判の新しい段階
染野義信　時の法令　320（'59—7）
裁判批判のあり方
大塚喜一郎　新聞研究　100（'59—11）
裁判批判の限界について——裁判の独立性を損う言説は許されない
小林俊三　自由と正義　10—8（'59—8）
裁判批判の問題
真野　毅　思想　414（'58—12）
裁判批判の論理とヒューマニズム——松川事件の裁判批判をめぐつて
染野義信　ジュリスト　臨時増刊（'59—9）
裁判批判論——裁判の公開主義は当然に国民の批判を予定している
佐伯千仞　自由と正義　10—8（'59—8）
裁判報道に望む
野村正男　新聞研究　100（'59—11）
真実・裁判制度・裁判批判
熊谷　弘　法律時報　31—12（'59—11）
新聞と裁判
岸　盛一　新聞研究　100（'59—11）
歴史の証言——裁判批判の抑制は何をもたらしたか？
家永三郎　法学セミナー　45（'59—12）

訴訟促進問題

公平迅速な裁判
吉田常次郎　綜合法学　1—1（'58—6）
訴訟促進をそ害するもの
首藤祝生　自由と正義　9—4（'58—4）
訴訟促進規制の本質
染野義信　法律時報　30—11（'58—11）
訴訟促進のための使命
染野義信　時の法令　307（'59—2）
訴訟促進へのひとあし
藤江忠二郎　判例時報　183（'59—5）
訴訟遅延と司法政策
兼子　一　法律時報　30—11（'58—11）
訴訟の進行に対する法規制の本質——訴訟促進規制の性格と発展について
染野義信　東博士古稀記念論文集　1（'58—9）
訴訟の渋滞と裁判不信
毛利与一　法律時報　30—11（'58—11）
訴訟の促進と公正なる裁判——アレインメントは争点を明確にする
菊地　博　法律時報　30—11（'58—11）
訴訟の遅延と法曹人口
沢　栄三　商事法務研究　94（'58—3）

裁　判　所

相次ぐ書類紛失事件——最高裁，高裁で 4, 5 年も放置
法律新聞　101（'58—7）
家庭裁判所10年の歩み
最高裁判所　家庭裁判月報　11—1（'59—1）
家庭裁判所創設10周年を迎えて
田中耕太郎　家庭裁判月報　11—1（'59—1）
近代国家における裁判所——砂川判決をめぐる雑感
伊藤正己　法の支配　1（'59—6）
国際法に対する裁判所の違憲審査権の有無
畝村　繁　甲南論集　7—2（'59— ）
国内裁判における国際法の適用について
宮崎繁樹　司法研修所創立 10 周年記念論文集　上（'58—5）
最高裁機構改革問題の現在及び将来
島田武夫　自由と正義　10—3（'59—3）
最高裁に提言する【座談会】
中村　哲，潮見俊隆，橋本公亘，福島新吾，星野安三郎　中央公論　74—8（'59—6）
最高裁にもの申す——裁判は演劇か？
植松　正　文芸春秋　37—10（'59—10）

最高裁判所10年の回顧　<4>
最高裁判所　法曹時報　10—1（'58—1）
最高裁判所と事実審理
鍛冶利一　自由と正義　10—4（'59—4）
最高裁判所の機構改革
千種達夫　判例時報　144（'58—4）
最高裁判所の多数意見と少数意見
小林孝輔　法律時報　31—12（'59—11）
裁判所書記官
時の法令　287（'58—8）
裁判所書記官——転期に立つ制度と実態
中村　満　法学セミナー　43（'59—10）
裁判所と試験中心主義
潮見俊隆　法律時報　31—4（'59—4）
裁判書の浄書とはどんなことか裁判は裁判官の任務である
戒能通孝　法律時報　30—6（'58—6）
裁判所予算の問題の二つの面
三ケ月　章　自由と正義　10—6（'59—6）
「裁判書」論争と裁判所書記官の任務
松本顯一　法律公論　7—72（'58—10）
裁かれる裁判所——フランク「無罪」と，トレイヴァー「錯乱」に寄せて
鵜飼信成　法学セミナー　37（'59—4）
自然法と最高裁判所
宮沢俊義　歴史教育　6—9（'58—9）
上級審の裁判の拘束力
栗本一夫　法律のひろば　11—3（'58—3）
少数意見を表示する権利について
奥野健一　財経詳報　140（'58—1）
審級管轄違裁判所への上訴の効力についての一考察
古館清吾　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）
治安判事と浮浪者
前田信二郎　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）
法曹一元および最高裁改革をめぐつて
藤江忠二郎　労働経済判例速報　10—30（'59—10）
法廷礼法の在り方
石山豊太郎　判例タイムズ　9—6（'58—6）

裁　判　官

ある裁判官の記録——ＴＶドラマ・シナリオ「大審院」
大津皓一　法学セミナー　41（'59—8）
官僚裁判官是か否
ジュリスト　171（'59—2）
最高裁判官の国民審査制度に対する裁判所の見方　<上，下>
時の法令　283，284（'58—6，7）
最高裁判官国民審査の反省
和田英夫　時の法令　292（'58—9）
最高裁判官の国民審査制度のあり方とその方法について
小林俊三　自由と正義　9—7（'58—7）
最高裁判所の良心——憲法の番人として最高裁判事の歩んだ12年間
真野　毅　文芸春秋　37—1（'59—1）
裁判官のあり方
日沖憲郎　ジュリスト　臨時増刊（'59—9）
裁判官，検察官の報酬，俸給の改訂問題
鮫島真男　法曹時報　11—5（'59—5）
裁判官と法
村松俊夫　法哲学年報　1958年（'59—4）
裁判官の国民審査
島田武夫　自由と正義　9—7（'58—7）
裁判官の個人差
河田　広　法律時報　31—12（'59—11）
裁判官の適格性の調査——吹田事件をめぐる問題について
斎藤秀夫　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—3）
裁判官の手控
石井良三　判例時報　137（'58—2）
裁判官の特殊な地位とは何か——裁判官報酬法問題をめぐつて【座談会】
野村正男，長谷川成二，岸　盛一，横川敏雄，畔上英治，浅沼　武，石田穣一，新関勝芳　法律時報　31—5（'59—4）
裁判官の人間味【座談会】
大岡昇平，阿部知二，安倍　恕，斎藤朔郎，伊達秋雄　法律時報　31—12（'59—11）
裁判官の報酬
千種達夫　判例時報　177（'59—3）
裁判官の報酬と司法の権威
染野義信　時の法令　313（'59—4）
裁判官のものの見方考え方
杉之原舜一　判例時報　173（'59—2）
裁判官の勇気
佐々木哲蔵　法学セミナー　24（'58—3）
裁判官の勇気再論——襟を正して待つ，最高裁の判断
佐々木哲蔵　法律時報　31—5（'59—4）
裁判官のリコール
宮田　豊　法学論叢　65—4（'59—7）
裁判官の良心について
原田清司　横浜大学論叢　9—4（'58—3）
裁判官も人間なりや
Frank, J.　早川武夫訳　法律時報　31—12（'59—11）
法曹の使命と責任
田中耕太郎　法曹時報　10—1（'58—1）
法曹の理想的人間像
吉川大二郎　法学セミナー　39（'59—6）
法廷における裁判官の発言
石井良三　判例時報　138（'58—2）

検　察　庁

検察官のあり方
大竹武七郎　ジュリスト　臨時増刊（'59—9）
検察庁事務章程解説
検察月報　119（'59—3）
新検察制度10年の回顧　<1〜3>
最高検察庁　法曹時報　10—1〜3（'58—1〜3）
証拠品事務規程解説　<1〜18>（研修講座）
河井貫司　研修　121〜138（'58—7〜'59—12）
執行事務規程解説　<1〜22>（研修講座）
根本真儀　研修　117〜138（'58—3〜'59—12）
犯罪票事務取扱要領の実施について　<上，下>
鹿児島重治　地方自治　134，135（'59—2，3）

弁　護　士

公認会計士と弁護士との兼業等について
服部定雄　自由と正義　10—3（'59—3）
日本における弁護士の倫理，エチケットについて
高野弦雄　自由と正義　9—12（'58—12）
弁護士会への要望
野村佐太男　自由と正義　10—3（'59—3）
弁護士業と税理士業との兼業の利害得失並に現在におけるその実態・実際について
中条政好　自由と正義　10—3（'59—3）
弁護士業務の発展方策
寺田熊雄　自由と正義　10—3（'59—3）
弁護士法等の一部を改正する法律案
日本弁護士連合会　自由と正義　9—1（'58—1）
弁護士法等の一部を改正する法律案について概要
松本正雄　自由と正義　9—1（'58—1）
弁護人の立場　<1，2>
森長英三郎　判例時報　204，205（'59—11，12）
民事裁判官から弁護士への希望
千種達夫　自由と正義　10—3（'59—3）
濫訴と弁護士
安田幹太　判例タイムズ　9—3（'58—3）

公　証　人

査証に関する手続
宮地貞頴　自由と正義　10—9（'59—9）

外 国 司 法 制 度

諸　国

英国および北欧諸国における法律扶助制度　<1>
西　迪雄　法曹時報　11—11（'59—11）
欧州の裁判所を見て
長谷部茂吉　判例時報　179（'59—4）
欧米最高裁判所をたずねて——最高裁判所機構改革法案のために
小木貞一　自由と正義　9—2（'58—2）
外国法制における訴訟促進
沢　栄三　法律時報　30—11（'58—11）
ラテン・アメリカにおける裁判制度　<1〜3完>
Clagett, H. L.　法曹時報　10—7，10（'58—7，10）；11—2（'59—2）

アメリカ

アメリカにおける国選弁護人制度
井上正治　九州大学法学部創立30周年記念論文集　（'57—12）
アメリカにおける裁判批判と言論の自由
河原畯一郎　自由と正義　10—8（'59—8）
アメリカにおける弾劾制度を繞る問題点<2完>
佐藤立夫　早稲田政治経済学雑誌　148（'57—12）
アメリカの裁判，裁判所など——一見たり聞いたり　<1，2>
幾代　通　判例時報　203，204（'59—11）
アメリカの司法
長島　敦　判例時報　165（'58—11）
カノン35条の動向
桜田勝義　ジュリスト　152（'58—4）
司法審査についての若干の問題——米国判例法の発展と最近の改革意見
橋本公亘　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）
トリビューン・レビュー・パブリッシング会社対トマス事件——米国の法廷における写真撮影禁止にかんする最近の判例
内田力蔵　判例時報　167（'58—12）
米国における弁護士の依頼に対する心得
石丸俊彦　自由と正義　9—12（'58—12）
米国弁護士実務手引
田辺公二，森　鷹三　司法研修所報　21（'58—9）
法廷での写真撮影と裁判所侮辱——エクス・パーティ・スターム事件
内田力蔵　判例時報　155〜157（'58—8）
法廷の附近における写真撮影の禁止
塚本重頼　法律のひろば　12—6（'59—6）

イギリス

イギリス・アメリカの司法制度——裁判官と検察官の地位を中心として
永井幹久　レファレンス　9—104（'59—9）
イギリスにおける検察・裁判等の運用について　<1，2>
武安将光　研修　123，124（'58—9，10）
イギリスにおける1949年の訴訟救助及び法律相談　<1，2完>
早川　登　名城法学　7—4（'58—3）；8—1（'58—6）
英国における裁判批判
塚本重頼　自由と正義　10—8（'59—8）
治安判事の研究序説
田村浩一　法学雑誌　5—3（'59—1）

ソヴェト

ソヴェト連邦憲法上より見たソ連邦における検事の機能
谷　藤助　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）
ソヴェト連邦の弁護士制度
宮崎　昇　自由と正義　9—2（'58—2）
ソ連邦における裁判所の構成について

ジュリスト　188（'59—10）

ソ連邦，連邦構成共和国及び自治共和国の裁判所の構成に関する立法の基本原則
ジュリスト　188（'59—10）

中　　国

中共における自由と裁判
双川喜文　自由と正義　10—8（'59—8）

中国の司法関係法律制度と律師
水野東太郎　自由と正義　10—12（'59—12）

ド　イ　ツ

戦後の西ドイツ司法制度の直面する諸問題
三ケ月　章　比較法研究　16（'58—4）

ドイツの裁判所
山田　晟　法学セミナー　23（'58—2）

ドイツの司法修習生の生活について
Röhl, W.　司法研修所報　21（'58—9）

西ドイツの憲法裁判所と違憲法令
土屋正三　レファレンス　9—103（'59—8）

西ドイツの司法補助官法（Reichspflegergesets）——1957年2月8日（BGBl. '57. I. S. 18）
最高裁判所　法曹時報　10—4（'58—4）

東ドイツの検察官制度について
横山晃一郎　愛知学院大学論叢　5（'57—5）

フ　ラ　ン　ス

「悪の華」裁判
渡辺五三九　ジュリスト　160（'58—8）

マダム・ボヴァリー裁判
渡辺五三九　ジュリスト　159（'58—8）

其　の　他

スエーデンの司法制度
武田竜夫　法律時報　31—13（'59—12）

ノールウェーの司法制度
西　迪雄　法律時報　31—8（'59—7）

ブラジルの裁判所制度について
田中耕太郎　法曹時報　10—4（'58—4）

民　事　法

民　事　法　一　般

一般条項の危険性の意味論的存在構造——民法を中心とする一つの覚え書
福地俊雄　法と政治　9—4（'58—12）

学界回顧　1958年——民法
田中　実　法律時報　30—12（'58—12）

学界回顧　1959年——民法
島津一郎　法律時報　31—13（'59—12）

行政行為と民法　<1, 2>
矢野勝久　民商法雑誌　37—5, 6（'58—8, 9）

行政法に現われた私法原理とその展開
川西　誠　沼博士古稀記念論文集　（'58—2）

近代私法と租税の優先的効力
我妻　栄　金融法務事情　200（'59—3）

自力救済の普遍性
明石三郎　法学論集　7—5（'58—3）

私法学会10年の歩み
我妻　栄　私法　21（'59—10）

私法の三原則
池川良正　民事研修　12（'58—4）

相対的（対人的）効力関係について——法律関係の技術的構造の一側面
山本進一　法律論叢　31—4（'58—1）

日本民法とプライヴァシー権
三島宗彦　法律時報　31—6（'59—5）

日本民法60年
我妻　栄　ジュリスト　158（'58—7）

ベンサム・民法典の原理——財産権とその保全
山主政幸　沼博士古稀記念論文集　（'58—2）

民法改正の方向
永田菊四郎　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

民法思考　<1〜3>
林　恒吉　三重法経　4（'55—3）; 5（'56—1）; 6（'56—3）

民法の原理
山本進一　綜合法学　1—1（'58—6）

民法論の史的展開——民法と私と世の動き
林　信雄　横浜大学論叢　9—4（'58—3）

臨時民法改正委員会
我妻　栄　ジュリスト　187（'59—10）

レンナー「私法の法律制度とその社会的機能」
後藤　清　法学セミナー　44（'59—11）

我妻栄著「聯合部判決巡歴」【書評】
谷口知平　法律時報　30—9（'58—9）

民　法　総　則

イェリングの法人理論について　<2完>
福地俊雄　法と政治　9—1（'58—3）

いわゆる権利能力なき社団について
鍛治良堅　法律論叢　32—5（'59—2）

「意思実現」の代理——マーニヒクの所説より
浜上則雄　阪大法学　32（'58—10）

学説判例権利濫用の総合的研究
深谷松男　法律時報　30—10（'58—10）

虚偽表示の合意撤回と第三者の保護
山本進一　明治大学法制研究所紀要　1（'58—3）

現存利益（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　26（'58—5）

権利の濫用——とくに継続的契約関係の解消をめぐる最近の判例について
田中　実　綜合法学　1—1（'58—6）

権利能力と意思能力と行為能力の関係
山本進一　綜合法学　2—4（'59—4）

古典的法人理論の再検討について——サヴィニーおよびイエリングを中心に
福地俊雄　私法　20（'58—10）

行為能力
石本雅男　法学セミナー　25（'58—4）

公益法人法論　<6>
林　寿二　経済研究　8/9（'58— ）

公序良俗
谷口知平　法学セミナー　37（'59—4）

財産法における「権利濫用」理論の機能
鈴木禄彌　法律時報　30—10（'58—10）

債権の一部訴求と債権全部の時効中断
長谷部茂吉　法律のひろば　12—4（'59—4）

債権の一部についてのみ判決を求める旨明示した訴の提起と消滅時効中断の範囲
三淵乾太郎　法律時報　31—7（'59—6）

錯誤
舟橋諄一　法学セミナー　26（'58—5）

失踪宣告取消の婚姻に及ぼす効果
堀内　節　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

取得時効制度の存在理由について——とくに所有権法と関連させて　<1>
三藤邦彦　学習院大学政経学部研究年報　5（'58—3）

取得時効の要件としての継続占有に関する若干の問題
薬師寺志光　綜合法学　1—5（'58—10）

信義誠実の原則
町田孝明　綜合法学　1—5（'58—10）

戦時死亡宣告について
山主政幸　時の法令　316（'59—5）

代理権の消滅原因について　<1, 2完>
浜上則雄　信託　36, 37（'58—9, 12）

代理理論における本人行為説と代理人行為説について　<1, 2完>
浜上則雄　阪大法学　26, 28（'58—2, 10）

定款変更の概念
清水　新　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

撤回しえない任意代理権について
浜上則雄　民商法雑誌　40—1（'59—4）

ドイツ新法律週報（ＮＪＷ）に掲載された日本における失効の原則
成富信夫　ジュリスト　156（'58—6）

特殊法人の法的性格に関する一考察
塩原高雄　大学紀要（和洋女子大）　3（'58—12）

売春廃止と民法90条
千種達夫　判例時報　175（'59—2）

非権利者の処分に対する権利者の同意の一場合
位野木益雄　民事研修　22（'59—2）

表見代理
戒能通孝　法学セミナー　36（'59—3）

表見代理競合の意義について——昭和32年11月29日最高裁判例を契機として
遠田新一　政経論叢（広島）　8—1（'58—6）

浮動の権利義務について
吉田　久　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

法人の一類型——神社の法的性格
川西　誠　日本法学　24—5（'58—12）

法人の不法行為責任についての一考察——理事等の不法行為に対する法人の責任
森泉　章　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）

法人の不法行為能力
服部栄三　我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）

法人の法的主体性と社会的主体性
福地俊雄　法と政治　10—4（'59—11）

法人理論の対象について——意味論的考察を中心として
福地俊雄　民商法雑誌　38—2（'58—11）

法人論——機関論
石本雅男　私法　20（'58—10）

法人論——機関論，社員権論【討論】
田中誠二，他　私法　20（'58—10）

法人論に関して
野田孝明　綜合法学　2—5（'59—5）

本人の死亡後における代理権の存続
浜上則雄　阪大法学　27（'58—7）

未分離果実の独立性（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　22（'58—1）

民法案内——民法の道しるべ　<1〜9>
我妻　栄　法学セミナー　37〜45（'59—4〜12）

民法講座総則編　<1〜35>
小出廉二　時の法令　303〜337（'59—1〜12）

民法総則　<1〜10>（通信講座）
高橋忠雄　民事研究　22〜32（'59—2〜12）

民法総則（最高裁の民法判例概観 1）
中川良延　法律時報　30—4（'58—4）

無能力者とその法定代理人との利益相反行為
上田啓次　バンキング　115（'57—10）

要素の錯誤
舟橋諄一　法学セミナー　40（'59—7）

ライマーの失効の原則
成富信夫　ジュリスト　189（'59—11）

H. シューマン「権利能力なき社団の責任について」【紹介】
保住昭一　法律論叢　32—4（'59—1）

物　　権

いわゆる賃借権の物権化について
石塚　昇　山梨学院法経研究　3—1（　　）

慣行小作権の生成——耕作権の確立とは何か
島津一郎　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）

共有について
竹屋芳昭　大分大学経済論集　10—4（'59—3）

強制執行を免れるためになされた不動産の仮装譲渡
平賀健太　民事研修　9（'58—1）

近代所有権の主体と客体　＜1＞
山路昭二　三重法経　5（'56—1）

近代的所有権の制約における土地法的要素について
高島平蔵　早稲田法学　34—3/4（'59—3）

近代的所有権論の問題点——近代的土地所有権法史研究のための覚書　＜2＞
甲斐道太郎　甲南論集　6—4（'58—11）

近代的所有の法的性格
山路昭二　三重法経　2（'54—3）

区分所有権理論とその背景——わがくににおける場合
玉田弘毅　明治大学法制研究所紀要　1（'58—3）

公示されない物権変動の効力についての若干の問題
林　良平　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）

鉱業権の法律的性質
舟橋諄一　九州大学法学部創立30周年記念論文集（'57—12）

山林売買で立木の所有権を保留した場合，第三者に対抗する公示方法の要否
三淵乾太郎　ジュリスト　188（'59—10）

所有権と所有——近代的土地所有権法史研究のための覚書　＜1＞
甲斐道太郎　甲南論集　6—2（'58—　）

「所有権に基づく請求権と占有をなす権利」に関するルードウイッヒ・ライゼルの所説
東　孝行　六甲台論集　4—4（'57—12）

所有権法研究序説——物財所有の神秘と伝統
戒能通孝　人文学報　18（'58—3）

占有規定に関する客観説による解釈の試み
田中整爾　私法　21（'59—10）

占有規定に関する客観説による解釈の試み
田中整爾　民商法雑誌　38—4（'59—1）

占有権と自力救済
明石三郎　民商法雑誌　36—5（'58—2）

占有の推定力について
田尾桃二　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

相続による不動産譲渡の競合
野田孝明，玉田弘毅　綜合法学　2—7（'59—7）

即時取得
加藤永一　法学セミナー　43（'59—10）

即時取得と占有改定
金山正信　綜合法学　1—7（'58—12）

溜池所有権の考察
竹山増次郎　民商法雑誌　36—5（'58—2）

抵当権と賃借権の関係
上代博紀　バンキング　115（'57—10）

抵当権と用益権（特に賃借権）との関係について
松宮　衛　信託　31（'57—6）

電気は物か（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　28（'58—7）

動産抵当権の即時取得について
大坪　稔　私法　19（'58—4）

登記の対抗力と第三者
杉之原舜一　法学セミナー　27（'58—6）

引渡主義について——物権行為理解のために
石田喜久夫　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

附合についての一考察　＜1＞
乾　昭三　民商法雑誌　36—5（'58—2）

物権（最高裁の民法判例概観2）
中川良延　法律時報　30—5（'58—5）

物権行為について
於保不二雄　石田文次郎先生還暦記念論文集（'55—2）

物権的請求権
白羽裕三　綜合法学　1—3（'58—8）

物権的賃借権について
篠塚昭次　私法　19（'58—4）

物権と債権との比較
小出廉二　綜合法学　1—2（'58—7）

物権法　＜1〜9＞（通信講座）
川島一郎　民事研修　15〜32（'58—7〜'59—12）

物権法の基礎理論　＜1, 2＞
山中康雄　法経論集（愛知）　21/22, 23/24（'58—2, 11）

妨害予防請求権
白羽祐三　綜合法学　15（'59—10）

民法第175条論
中馬義直　鹿児島大学教育学部研究紀要　9（'57—12）

「無因性」概念の系譜について
原島重義　九州大学法学部創立30周年記念論文集（'57—12）

物の概念と神賜思想
高梨公之　法学紀要　1（'59—5）

隣地の崩壊——妨害予防請求権（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　24（'58—3）

入会権・水利権

〔実態調査は「法社会学」を見よ〕

生きている債権的入会権　＜1＞
岩井万亀　民商法雑誌　41—3（'59—12）

入会権に関する戦後判例の検討
穂積忠夫　法律時報　31—13（'59—12）

入会権の実態と性格——国有林法制の展開と国有地入会権の解体　＜2＞
渡辺洋三　社会科学研究　9—6（'58—3）

河川水利慣行の四つの類型
竹山増次郎　法政論叢　7（'57—11）

慣習法と国家法——入会権理論の再検討を中心に
渡辺洋三　私法　20（'58—10）

漁場入会慣行の諸類型——明治期の瀬戸内海水域を中心に
河野通博　人文地理　10—3（'58—8）

水道水源を中心とした淀川における水利権について
井部勇一　都市問題研究　11—8（'59—8）

溜池水利権の考察
竹山増次郎　大阪府立大学紀要人文社会科学　6（'58—3）

中国地方の和牛「入会放牧」に関する若干の考察
斎藤政夫，他　島根農科大学研究報告　5（'57—3）

西川善介著「林野所有の形成と村の構造」入会権の実証的研究
新見吉治　社会経済史学　23—5/6（'58—2）

明治前期における入会権の内部的変化と村方体制の変質過程について——とくに村持入会地の帰属関係をめぐる問題を中心として
神谷　力　法制史研究　9（'59—3）

矢部川をめぐる水利権　＜4, 5完＞
高松卯喜路　産業経済研究　10（'57—12）；11（'58—3）

R. T. イーリー著「所有権および契約論」梗概　＜1＞
中島九郎　札幌短期大学論集　4（'58—5）

担　保　物　権

各種債券担保——根拠法規と債券の担保手続
山岸幸雄　金融法務事情　217（'59—8）

期間の定めのない賃貸借と民法395条——借家法1条の2との関係
小石寿夫　民商法雑誌　40—2（'59—3）

銀行取引と譲渡担保をめぐる諸問題
岩崎光次　金融法務事情　214（'59—7）

経営権の担保性
坂本雄三　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）

債務者死亡による根抵当契約の存続問題——相続人に対する根抵当契約の同一性について
幾代　通　金融法務事情　162（'58—1）

支払承諾と根抵当
香川保一　金融法務事情　221（'59—10）

社債における根抵当権の順位の譲渡について
三崎正男　商事法務研究　98（'58—4）

譲渡担保——判例概観
四宮和夫　私法　21（'59—10）

譲渡担保実態調査——京阪神地区
河本一郎，浜上則雄　私法　21（'59—10）

譲渡担保実態調査——東京地区
加藤一郎　私法　21（'59—10）

譲渡担保設定の契約例の検討　＜1, 2＞
香川保一　商事法務研究　143, 144（'59—6, 7）

譲渡担保とその設定　＜1＞
香川保一　商事法務研究　136（'59—4）

担保物権の物上代位と保険金
大森忠夫　石田文次郎先生還暦記念論文集（'55—3）

抵当権
香川保一　法学セミナー　24（'58—3）

抵当権と貸借権の関係
上代博紀　バンキング　115（'57—10）

抵当権と動産
鈴木禄彌　法学セミナー　31（'58—10）

抵当権と用益権（特に貸借権）との関係について
松宮　衛　信託　31（'57—6）

抵当権における準共有の成立
枇杷田泰助　金融法務事情　195（'59—1）

抵当権の処分に関する法的諸問題の研究
寺沢俊雄　バンキング　135（'59—6）

抵当権の特質とその構造
玉田弘毅，野田孝明　綜合法学　17（'59—12）

抵当権の物上代位を巡る問題
植田一彌　バンキング　118（'58—1）

抵当権又は根抵当権の譲渡の再検討
香川保一　金融法務事情　227（'59—12）

抵当に関する実務上の諸問題　＜1＞
昼間　種　金融法務事情　212（'59—7）

ドイツ抵当制度とわが民法の改正——所有者抵当を中心として
加藤一郎　比較法研究　16（'58—4）

動産抵当権の即時取得について
大坪　稔　私法　19（'58—4）

根担保取引における極度外利息に対する根抵当権の効力問題
井上勝馬　バンキング　124（'58—7）

根抵当権の代位弁済——根抵当権の代位弁済による移転登記の可否
香川保一　金融法務事情　217（'59—8）

根抵当権に関する判例について
三宅多大　民事研修　9（'58—1）

根抵当権の譲渡をめぐる若干の疑問について
津島一雄　商事法務研究　152（'59—9）

不特定の保証契約の根担保　＜1＞
香川保一　金融法務事情　211（'59—6）

物権変動における対抗問題
高島平蔵　綜合法学　1—7（'58—12）

保険金債権上の質権と抵当権に基く物上代位
中馬義直　私法　21（'59—10）

包括根抵当（経済関係法の主要動向）
小林栄二郎　商事法務研究　86（'58—1）

包括根抵当の問題点
高木右門　民事研修　13（'58—5）

優先権の目的となつている金銭債権の転付命令の効力
荻　大輔　鹿児島大学社会科報告　5（'58—9）

留置権の抗弁について
斎藤秀夫　小池隆一博士還暦記念論文集（'59—6）

債　　権

総　論

生きている債権的入会権　＜1＞
岩井万亀　民商法雑誌　41—3（'59—12）

過失相殺
小出廉二　綜合法学　15（'59—10）

金銭債券についての一考察
早川　登　名城法学　8—2（'58—10）

債権確保のための代理受領権の取得
脇屋寿夫　金融法務事情　187（'58—10）

債権者取消権
於保不二雄　法学セミナー　41（'59—8）

債権者取消権
加藤正男　綜合法学　1—5（'58—10）

債権者取消権に関する一考察
下森　定　法学志林　57—2（'59—9）

債権譲渡
西村信雄　法学セミナー　32（'58—11）

債権譲渡の通知があれば譲渡の事実もあつたものと推定される（聯合部判決巡歴）
我妻　栄　ジュリスト　155（'58—6）

債権総論　＜9〜20完＞（通信講座）
鈴木信次郎　民事研修　9〜24（'58—1〜'59—4）

債権に基く妨害排除についての考察
好美清光　法学研究（一橋）　2（'59—3）

債権の対外的効力
小出康二　法学セミナー　30（'38—9）

「債権と責任」と自然債務——ドグマとその歴史性を中心に　＜1〜3完＞
上山安敏　法学論叢　65—3, 5（'59—6, 8）；66—3（'59—12）

債務不履行による損害賠償
石本雅男　法学セミナー　38（'59—5）

詐害行為取消権の本質
山中康雄　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

受領遅滞に陥つた当事者は同時履行の抗弁権を有するか
鈴木　潔　ジュリスト　182（'59—7）

請求権の競合
川島武宜，三ケ月　章　私法　19（'58—4）

請求権の競合について——判例を中心として　＜1＞
川島武宜　法学協会雑誌　74—5/6（'58—7）

請求権の競合について
千種達夫　綜合法学　1—3（'58—8）

損益相殺　＜1〜3＞
沢井　裕　法学論集　8—3（'58—11）；8—5（'59—2）；9—1（'59—9）

多数債権者による権利行使の競合問題について＜2〜4完＞
松宮　衛　信託　35, 36（'58—6, 9）；38（'59—3）

手形債権による訴訟上の相殺
村松俊夫　金融法務事情　180（'58—7）

手形債権を自動債権とする相殺と手形の呈示
上田啓次　バンキング　137（'59—8）

判例債務引受法　＜2＞
椿　寿夫　法学（近大）　6—2/3（'57—11）

判例債務引受法——債務引受の観念　＜1＞
椿　寿夫　経済研究　6（'58—　）

民法第414条第1項但書と労働基準法5条との関係
津曲蔵之丞　法学　23—2（'59—7）

免責的債務引受と保証人の求償債権
枇杷田泰助　金融法務事情　206（'59—5）

問題となつた二つの判決例——相殺における手形の交付
高橋勝好　財経詳報　186（'58—8）

利用補助者の過失と利用権利者の責任——履行補助者の過失による債務者の責任との関連において
吉本英雄　自由と正義　10—8（'59—8）

履行における追完について——ことに損害賠償の方法としての考察
勝本正晃　綜合法学　1—2（'58—7）

連帯債務の本質
山中康雄　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）

契　約

危険負担
広中俊雄　法学セミナー　44（'59—11）

危険負担における帰責事由の一考察——民法第536条第2項と労働基準法第26条に関連して
島田信義　早稲田法学　33—1/2（'58—3）

契約解除の効果について
永田菊四郎　日本法学　24—4（'58—11）

契約締結上の過失について
片山金章　綜合法学　2—1（'59—1）

契約の解除
小出廉二　綜合法学　2—4（'59—4）

契約理論
吉田　久　綜合法学　2—6（'59—6）

原始的不能と契約の成立（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　42（'59—9）

権利の濫用——とくに継続的契約関係の解消をめぐる最近の判例について
田中　実　綜合法学　1—1（'58—6）

公益企業における法律関係の一考察——いわゆる事実的契約関係
神田博司　私法　19（'58—4）

公益企業における法律関係の一考察——いわゆる事実的契約関係
神田博司　上智法学論集　1—1（'57—12）

公法と私法——契約を中心にして　＜1〜13＞
渡辺洋三　民商法雑誌　37—5, 6（'58—8, 9）；38—1〜3（'58—10〜12）；38—4, 6（'59—1, 3）；40—1, 2, 4, 6（'59—3, 4, 7, 9）；41—1, 3（'59—10, 12）

債権各論　＜1〜4＞（通信講座）
鈴木信次郎　民事研修　28〜32（'59—8〜12）

事実的契約関係の理論　＜1, 2＞
神田博司　法律新聞　88（'58—2）；91（'58—5）

事情の変更と契約の解除——Hans Smit氏契約失効論の紹介
本城武雄　同志社法学　11—1（'59—6）

出版契約の意義及び性質

東　季彦　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）

状態的法律関係を設定する契約
後藤　清　経済理論　53（'59—9）

第三者のためにする契約
来栖三郎　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）

電信送金契約の法律的性質について
川辺為雄　バンキング　124（'58—7）

特殊契約の研究
小室直人　法学雑誌　6—2（'59—11）

判例契約法に関する一つのコメント——契約法総則　＜1, 2完＞
加藤正男　同志社法学　11—1, 2（'59—6, 9）

広中俊雄「契約法の研究」【書評】
渡辺洋三　法学　23—1（'59—3）

不当な契約の効力について
入山　実　法律のひろば　12—12（'59—12）

民法第541条による解除権の発生要件に関する一考察
浜田　稔　法経論集（静岡）　7（'58—12）

R. T. イーリー著「所有権および契約論梗概」＜1＞
中島九郎　札幌短期大学論集　4（'58—5）

売　買

いわゆる家の月賦について
望月礼二郎　ジュリスト　152（'58—4）

売主の担保責任
広中俊雄　法学セミナー　34（'59—1）

売主の担保責任に関する諸問題
永田菊四郎　綜合法学　1—3（'58—8）

瑕疵担保責任と契約類型
内池慶四郎　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

瑕疵担保責任の前提——種類売買に対する適用可能性に関聯して
内池慶四郎　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

瑕疵担保と比較法　＜1＞
五十嵐　清　民商法雑誌　41—3（'59—12）

種類売買と瑕疵担保
柚木　馨，末川　博　私法　19（'58—4）

他人の物の売主の責任　＜1＞
高木多喜男　神戸法学雑誌　8—4（'59—3）

売買における瑕疵担保責任
鍛治良堅　明治大学法制研究所紀要　1（'58—3）

売買の法律的性質
柚木　馨　綜合法学　2—1（'59—1）

判例買戻権法
柚木　馨　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

不動産の売買（土地家屋の売買・賃貸借——契約書を通してみた実際とその分析）
太田知行　ジュリスト　178（'59—5）

消費貸借・賃貸借

公庫資金転貸の法律関係
福島三好　金融法務事情　225（'59—11）

消費貸借の要物性
中村吉三郎　綜合法学　2—7（'59—7）

建物の朽廃と賃貸借の消滅
広瀬武文　法律時報　31—1（'59—1）

建物の賃貸借（土地家屋の売買，賃貸借——契約書を通してみた実際とその分析）
下森　定　ジュリスト　178（'59—5）

賃借権の無断譲渡，転貸について——最高裁の判例の二，三を中心として（最近の判例から）
三淵乾太郎　法律のひろば　12—5（'59—5）

賃貸借における信頼関係
後藤　清　判例評論　22（'59—11）

賃貸借における信頼関係を論じた最近の一判決について
広中俊雄　ジュリスト　187（'59—10）

賃料の受領拒絶があつた場合とその後の賃料についての弁済提供の要否
長谷部茂吉　法律時報　31—9（'59—8）

適法な転借権の対抗力
広瀬武文　法律時報　31—4（'59—4）

転借人による目的物の所有権取得
後藤　清　判例評論　17（'59—3）

不動産賃借権の譲渡・転貸の自由性について——その比較法的考察　＜2＞
五十嵐　清，山之内一夫　法学会論集　8—3/4（'58—3）

不動産賃貸借の相続と登記
広瀬武文　法律時報　31—6（'59—5）

請　負

請負契約における危険負担の問題　＜1＞
内山尚三　法学志林　56—3（'59—1）

土木事業における請負契約論——主として歴史的変遷の検討
栗原東洋　国民経済　33（'58—11）

標準請負契約約款覚書
打田畯一　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）

不当利得・不法行為

医師の責任
加藤一郎　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）

違法執行による損害賠償
斎藤秀夫　我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）

遺族給付の法的性格
西原道雄　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）

慰謝料算定論序説　＜1, 2＞
植林　弘　法学雑誌　5—3, 4（'59—1, 3）

慰謝料の算定と加害者の故意・過失
植林　弘　民商法雑誌　40—2（'59—3）

慰謝料の本質
三島宗彦　金沢法学　5—1（'59—5）

犬の咬傷
千種達夫　判例時報　186（'59—6）

家族の感情利益と慰藉料
中川善之助　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）

過失責任主義と無過失責任主義の統一
石本雅男　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
過失責任論と危険責任論——相互否定と相互依存の関係について
石本雅男　阪大法学　32（'59—10）
過失の推定について——判断の内容的検討
円山雅也　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）
機関車の火の粉による火災と賠償責任
千種達夫　ジュリスト　164（'58—10）
刑事責任と比較してみた不法行為責任論
山中康雄　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
現代刑法理論（目的的行為論）と民法における違法・責任理論
藪　重夫　私法　20（'58—10）
子の傷害と母の慰謝料
千種達夫　判例時報　159（'58—9）
個人の損害賠償責任に対する国家の補完的作用
金沢良雄　我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）
交通事故と生命の値段
千種達夫　判例時報　189（'58—7）
航空機による地上損害の賠償責任
加藤一郎　法律時報　30—8（'58—8）
航空事故と賠償責任
池田文雄　綜合法学　1—7（'58—12）
航空の賠償責任とその保険——我国における航空責任立法の手がかりとして
喜多川篤典　我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）
自然災害賠償と自然物損害賠償
村　教三　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）
自然資源利用に伴う不法行為と災害賠償
村　教三　我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）
死亡による損害額の算定——約600万円の損害を認めた判決について
加藤一郎　ジュリスト　187（'59—7）
信玄公旗立ノ松事件——企業責任への踏み出し（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　30（'58—9）
生命侵害による慰謝料の請求と相続
西井竜生　八幡大学論集　10—2（'59—12）
生命侵害による損害の賠償と相続
舟橋諄一　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
生命身体の価額の定型化
千種達夫　判例時報　205（'59—12）
責任無能力者を監督する者の責任
松坂佐一　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
争議行為と民事責任
本多淳亮　労働法律旬報　363（'59—11）
騒音被害に対する私法上の救済
入江雅昭　警察研究　29—9（'58—9）
損害賠償額算定における損害避抑義務——Avoidable Consequences の理論の示唆
谷口知平　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
損害賠償の範囲および方法に関する日独両法の比較研究
山田　晟，来栖三郎　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
第三者行為と損害賠償請求権
高木三好　健康保険　12—6（'58—6）
内縁不当破棄と不法行為の成否（最近の判例から）
三淵乾太郎　法律のひろば　11—11（'58—11）
被害者の直接請求権　<2>
西島梅治　法文論叢　10（'58—11）
被害者の母の慰藉料請求（最近の判例から）
三淵乾太郎　法律のひろば　12—3（'59—3）
被用者の手形偽造行為と使用者の責任——新判例の紹介と批判　<3>
高橋勝好　財経詳報　146（'58—2）
不正競業と損害賠償
豊崎光衛　我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）
不当利得
磯村　哲　法学セミナー　23（'58—2）
不当利得における悪意受益者の責任について——民法第704条第二文の体系的地位の検討
玉田弘毅　明治大学法制研究所紀要　2（'59—9）
不法行為
四宮和夫　法学セミナー　24（'58—3）
不法行為と土地の自然状態
小堀憲助　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）
不法行為における違法と責任に関する試論
園田　格　経営と経済　38—2（'58—10）
不法行為における因果関係とコンスピラシー
戒能通孝　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
不法行為により傷害を受けた者の近親者の慰藉料請求権
井口牧郎　ジュリスト　162（'58—9）
不法行為の損害賠償債権の特定
村松俊夫　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）
不法行為の本質
宗宮信次　綜合法学　2—7（'59—7）
扶養義務者が被害者のために支出した治療費の賠償請求権者
植林　弘　法学雑誌　4—3/4（'58—3）
保全処分の保証と損害賠償
上代博紀　バンキング　124（'58—7）
法人に慰藉料請求権があるか
長谷部茂吉　ジュリスト　185（'59—9）
民法殊に民事責任における客観主義の立場について
勝本正晃　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）
民法第717条の意義
石本雅男　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）
名誉毀損につき謝罪広告を命ずる判決
幾代　通　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
名誉の概念と名誉の侵害における違法性阻却に関する一考察——村八分に限定して
遠藤　浩　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
明治民法典における損害賠償諸規定の形成
福島正夫　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
履行における追完について——ことに損害賠償の方法としての考察
勝本正晃　綜合法学　1—2（'58—7）
わが国における不法行為責任論の動向について
金原光蔵　同志社法学　9—5（'58—1）

親　族・相　続

親族・相続一般

奥田義人博士とその身分法観
沼　正也　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）
家族関係法における近代的思惟の確立過程　<1〜5>
沼　正也　法学新報　65—9〜11（'58—9〜11）；66—3，8（'59—3，8）
家族法とその解釈
谷口知平　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）
血族関係消滅原因としての死亡
山主政幸　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）
親族法　<6〜14>（通信講座）
石井敬二郎　民事研修　9〜29（'58—1〜'59—9）
人事法案
我妻　栄　ジュリスト　186（'59—9）
図説家族法　<1〜5>
加藤一郎　ジュリスト　160，162，164，166（'58—8〜11）；170（'59—1）
尊属の概念
広中俊雄　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）
扶け合いの義務
青山道夫　法学セミナー　28（'58—7）
男女の同権
加藤一郎　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）
同族・親族及び家族の関係
玉城　肇　法社会学　9（'57—4）
婦人の地位を向上させるべしとの建議
我妻　栄　ジュリスト　189（'59—11）
福沢諭吉と身分法
中川善之助　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）
身分権の濫用
石本雅男　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）
身分行為と効果意思
福地俊雄　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）
身分行為論序説
中川高男　金沢大学法文学部論集法経篇　5（'58—2）
身分法における権利濫用
青山道夫　法律時報　30—10（'58—10）
民法応急措置法の成立まで
小沢文雄　戸籍誌百号記念論文集　（'58—3）
民法上の男女同権
田村五郎　綜合法学　1—4（'58—9）
山主政幸著「日本社会と家族法」【紹介】
田村五郎　法学新報　66—3（'59—3）

親族法改正問題

家庭生活関係の消滅——婚姻の解消と養子縁組およびその解消
林　信雄　法律のひろば　11—3（'58—3）
審判・訴訟両主義の調和を（親族法改正の方向）
磯野富士子　法律時報　31—10（'59—9）
親族法改正案について
中川善之助　法律のひろば　12—9（'59—9）
親族法改正の方向
高梨公之　法学セミナー　42（'59—9）
親族法改正の問題点
高梨公之　時の法令　324（'59—8）
親族法改正の問題点
平賀健太　戸籍記百号記念論文集　（'58—3）
親族法改正の問題点　<上，下>【研究会】
市川四郎，加藤一郎，鮫島竜男，立石芳枝，谷口知平，千種達夫，平賀健太，我妻　栄　ジュリスト　185，186（'59—9）
親族法改正の問題点——実務を中心として　<1〜3>【座談会】
谷口知平，田村千代一，沢井種雄，西村信雄，加納実，中川　淳　民商法雑誌　41—1〜3（'59—10〜12）
親族法改正の問題点について　<1〜3>
阿川清道　戸籍　132〜134（'59—10〜12）
親族法の改正
高野竹三郎　綜合法学　15（'59—10）
親族法の改正　<1〜3完>【座談会】
我妻　栄，中川善之助，奥野健一，村上朝一，小沢文雄，唄　孝一　法律時報　31—10〜12（'59—9〜12）
親族法の改正について
我妻　栄　法律時報　31—10（'59—9）
民法親族編の改正について
法務省民事局　法律のひろば　12—9（'59—9）

婚　　姻

姻族関係とその効果
星野　通　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）
「おつとい嫁じよ」の違法性
中川善之助　判例時報　192（'59—8）
改正と内縁の処遇（親族法改正の方向）
高梨公之　法律時報　31—10（'59—9）
儀式婚主義
我妻　栄　ジュリスト　191（'59—12）
近親婚
有地　亨　中川善之助教助還暦記念論文集　2（'59—6）
近親婚禁止について　<1>
上野雅和　九大法学　1（'57—1）
婚姻解消と婚姻取消の競合
梶　哲雄　戸籍　113（'58—5）
婚姻による成年
松本暉男　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
婚姻の自由と婚約及び準婚
高梨公之　綜合法学　1—1（'58—6）
婚姻の成立と効果（身分法の常識）
中川善之助　法学セミナー　28（'58—7）

婚姻の成立（身分法の常識）
中川善之助　法学セミナー　27（'58—6）
婚姻の届出
金山正信　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
婚姻の届出
黒木三郎　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
婚姻の取消と不当利得の返還
深谷松男　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
婚姻の法的性格をめぐる解釈論的構成について
山崎賢一　明治大学法制研究所紀要　1（'58—3）
婚姻の無効と取消
重倉珉祜　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
婚姻費用の分担と扶助義務
椿　寿夫　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
婚姻保護に対する家族法の矛盾と限界
中尾英俊　山之内先生追悼論文集　（'59—10）
婚姻予約法の一研究——内縁に於ける法と道徳の一考察
山下博久　政経論叢（広島）　8—2（'58—9）
婚姻予約有効判決の再検討　<1, 2完>
唄　孝一　法律時報　31—3, 4（'59—3, 4）
婚約の破棄
高梨公之　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
婚約破棄の責任
田村精一　民商法雑誌　40—3（'59—6）
婚約の法的把握と慣行および法意識
高梨公之　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）
婚約無効論——婚姻予約有効論への若干の反省
谷口知平　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
再婚の制限
福地陽子　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
失踪宣告取消の婚姻に及ぼす効果
堀内　節　中央大学70周年記念論文集　2（'55—11）
重婚の法律関係
小池隆一　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
親族法の改正と内縁問題
西村信雄　立命館法学　29/30（'59—9）
親族法の変遷と婚姻方式
家崎　宏　中京大学論叢　5—3（'58—　）
戦後の日本における結婚観の変化についての一考察
我妻　洋　甲南大学文学会論集　9（'59—3）
続・「婚姻予約有効判決」の再検討　<1, 2完>
唄孝一，佐藤良雄　法律時報　31—10, 11（'59—9, 10）
内縁について
今中武夫　滋賀大学学芸学部紀要　7（'57—12）
内縁の概念
大原長知　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
内縁の成立
中川良延　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
内縁の成立に関する一考察
明山和夫　家庭裁判月報　11—3（'59—3）
内縁の妻と外縁の妻
青山道夫　時の法令　323（'59—8）
日常家事債務の連帯責任
三島宗彦　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
比較婚約法
松下岩雄　法政論叢　11（'59—11）
夫婦財産制
五十嵐　清　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
夫婦と氏
清水兼男　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
夫婦と同居協力義務
林　信雄　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
夫婦の財産の区別
小室直人　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
父母の婚姻同意権
小出廉二　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
法律婚主義と事実婚主義
青山道夫　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
法律婚主義と村落共同体
山主政幸　日本法学　23—6（'58—2）
法律婚主義の機能——法制審議会身分法小委員会の仮決定をみて
山主政幸　法律のひろば　12—10（'59—10）
妾論——妾の周旋と売淫斡旋罪
中川善之助　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
両性の合意と父母の同意と婚姻の届出
福島四郎　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

離　　婚

協議離婚
山畠正男　法学セミナー　29（'58—8）
協議離婚について
青山道夫　法律時報　31—10（'59—9）
協議離婚の実態調査——中間報告，そのメモより
田辺繁子，大浜英子　法律時報　30—3（'58—3）
協議離婚比較法
中川善之助　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）
婚姻解消と婚姻取消の競合
梶　哲雄　戸籍　113（'58—5）
財産分与契約の取消をめぐる一考察——判例の概観　<1>
中川　淳　立命館法学　31（'59—12）
財産分与請求権について
小池隆一　綜合法学　1—4（'58—9）
財産分与請求権の相続
青山道夫　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
財産分与制度の性質
中川　淳　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
財産分与の額および方法
市川四郎　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
事実上の離婚
中川高男　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）

事実離婚
我妻　栄　ジュリスト　192（'59—12）
将来における離婚の合意
人見康子　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
精神病にかかつた配偶者に対する離婚請求の方法
長谷部茂吉　ジュリスト　161（'58—9）
精神病離婚
泉　久雄　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
抽象的離婚原因
沼　正也　法学セミナー　38（'59—5）
妻が精神病にかかつた場合は離婚しうるか（最近の判例から）
長谷部茂吉　法律のひろば　11—9（'58—9）
内縁解消と財産分与
石村善助　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
内縁解消の正当事由
唄　孝一　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
内縁不当破棄と不法行為の成否（最近の判例から）
三淵乾太郎　法律のひろば　11—11（'58—11）
配偶者からの悪意の遺棄
大阪谷公雄，久貴忠彦　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
配偶者の姦通・不貞行為
岩垂　肇　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
破綻主義と有責者の離婚請求（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　32（'58—11）
不貞の抗弁
鈴木ハツヨ　愛知県立女子大学短大紀要　9（'58—12）
民法第770条の法意
岩垂　肇　信州大学文理学部紀要　7（'58—1）
民法第768条に関する一考察——系譜とその指標
太田武男　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）
目的主義と有責主義
高橋忠次郎　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
有責配偶者の離婚請求をめぐる一考察
中川　淳　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
有責配遇者の離婚請求権
千種達夫　判例時報　203（'59—11）
有責配偶者の離婚請求についての試論
田村精一　法学雑誌　4—3/4（'58—3）
離婚慰藉料と財産分与との関係——法的保護と法的構成との関係の問題として
川島武宜　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
離婚原因における暴力——暴力追放は家庭から
下光軍二　ジュリスト　164（'58—10）
離婚後の子の監護
神谷笑子　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
離婚請求の棄却
内山尚三　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
離婚手続
堀内　節　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
離婚に際しての慰謝料財産分与——家庭裁判所にどう定められるか
村崎　満　ジュリスト　148（'58—2）
離婚による財産分与請求権について
小池隆一　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）
離婚による財産分与の研究——主として離婚扶養について
内山慶之進　家庭裁判月報　11—4（'59—4）
離婚による財産分与の性格
佐々木　宏　中村宗雄教助還暦祝賀論集　（'55—3）
離婚による財産分与の性質
宮崎俊行　綜合法学　2—6（'59—6）
離婚法改正案の方向
野田愛子　法律のひろば　12—10（'59—10）
離婚法と離婚思想との関係
川島武宜　戸籍　109（'58—1）
離婚　<1, 2>　（民分法の常識）
中川善之助　法学セミナー　29, 30（'58—8, 9）
わが民法の相対的離婚原因について
今中武夫　滋賀大学学芸学部紀要　8（'58—12）
わが離婚法の当面する問題
中川　淳　法律時報　31—10（'59—9）
Alimony と分与制度——日米の比較法的考察
堀　忠孝　福岡学芸大学紀要　5（'58—12）

親子・親権・後見

家庭生活における後見関係
林　信雄　法律のひろば　11—2（'58—2）
私生子の保護
我妻　栄　法学セミナー　43（'59—10）
私生子の保護を訴える請願書
我妻　栄　ジュリスト　188（'59—10）
実親子法改正の構想
谷口知平　法律時報　31—10（'59—9）
親権後見制度はいかにあるべきか——法制審議会民法部会小委員会における仮決定および留保事項を読む
河野　力　法律のひろば　12—10（'59—10）
親権と後見
阿川清道　戸籍誌百号記念論文集　（'58—3）
親権と準禁治産者（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　40（'59—7）
親権と養子の親権者
広橋次郎　経済理論　53（'59—9）
親権廃止論に賛成する
西村信雄　法律時報　31—10（'59—9）
親権廃止論——附・親権後見統一法私案
中川善之助　法律時報　31—10（'59—9）
人工授精をめぐる法律問題——この子のパパは誰か

山本進一　時の法令　274（'58—3）
人工授精児10年の歩み
高梨公之　時の法令　306（'59—2）
人工授精に関する刑法上の諸問題
宮沢浩一　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）
親子の氏の同一性
外岡茂十郎　綜合法学　1—6（'58—11）
親子の鑑定　<1, 2完>
古畑種基　民事研修　15, 16（'58—7, 8）
親子法の基本構造とその指導理念——家族法理論の反芻と展開とのうえに
沼　正也　沼博士古稀記念論文集　（'58—2）
親子　<1〜6完>（身分法の常識）
中川善之助　法学セミナー　31〜36（'58—10〜'59—3）
嫡出推定は嫡性賦与と父性推定とに分離すべし
於保不二雄　法律時報　31—10（'59—9）
認知請求に関する一考察——不貞の抗弁をめぐる判例を中心に
浪川正巳　法学研究（愛知）　1（'58—10）
認知の訴における立証——いわゆる不貞の抗弁をめぐつて
上谷　清　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'59—5）
認知の本質
山中康雄　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）
非嫡出子の地位
外岡茂十郎　法学セミナー　30（'58—9）
非嫡出親子関係の成立
田村五郎　法律時報　31—10（'59—9）
非嫡出父子関係の立証
神田博司　上智法学論集　3—1（'59—4）
非嫡出母子関係について
安部　弘　文芸と思想　17（'59—2）
父子関係の認定について——血液型検査の証拠的意義を中心として
人見康子　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）
未成熟子の扶養
伊藤利夫　日本法学　24—2（'58—7）
未成熟の子の扶養と親権
村岡二郎　民事研修　16（'58—8）
未成年者と親権者との利益相反行為に関する若干の問題
石井敬二郎　金融法務事情　161（'58—1）
民法の解釈上より見た人工授精子の地位
谷口知平　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）
民法第826条について
糟谷忠男　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

養　子

縁組意思に関する一考察——判例の処理方法をめぐつて
中川良延　商学討究　10—2（'59—9）
現代養子法の動向——国連の二つの調査報告書を中心として
深谷松男　法学　22—2（'58—7）
代諾縁組
青山道夫　法学セミナー　42（'59—9）
夫婦共同縁組に関する一考察——その離縁による解消の問題を中心にして
太田武男　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）
夫婦共同縁組の離縁をめぐる一考察
中川　淳　民商法雑誌　37—1（'58—4）
未成年者養子縁組
名和由紀子　法律時報　31—13（'59—12）
未成年養子の許可について
中川良延　法学　23—1（'59—3）
未成年養子の許可の基準について
阿部浩二　岡山大学創立10周年記念論文集　上（'59—10）
養子縁組の無効と取消
宮崎孝治郎　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）
養子機能の変遷と人工授精
宮崎孝治郎　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）
養子制度と里親制度——特にその親権を中心として
右田紀久恵　大阪市立大学家政学部紀要　6（'59—3）
養子制度の社会的機能——戸籍法先例を中心にして
山主政幸　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'585）
養子二題
我妻　栄　ジュリスト　185（'59—9）
養子法改正の構想
太田武男　法律時報　31—10（'59—9）
養子法の改正方向——特別養子制度を発端として
沼　正也　法律のひろば　12—9（'59—9）
養子法の諸問題
山畠正男　法律時報　31—10（'59—9）
養親族関係の存否
阿部浩二　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）

扶　養

公的扶助立法との関係
小川政亮　法律時報　31—10（'59—9）
私的扶養のあり方
沼　正也　法律時報　31—10（'59—9）
親族扶養における「家」の意識
桜井丸雄　熊本大学教育学部紀要　7（'59—2）
相続と扶養——相続意思とこれを阻止するもの
高梨公之　ジュリスト　147（'58—2）
調停・審判における扶養の問題
西原道雄　法律時報　30—3（'58—3）
ふたたび扶養法の改正をめぐつて
沼　正也　民商法雑誌　41—2（'59—11）
扶養　<1, 2完>（身分法の常識）
中川善之助　法学セミナー　37, 38（'59—4, 5）
扶養義務者が被害者のために支出した治療費の賠償請求権者
植林　弘　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

扶養法改正意見についての不満——法制審議会民法部会小委員会の仮決定及び留保事項について
村崎　満　法律のひろば　12—10（'59—10）
扶養法改正の問題点
西原道雄　法律時報　31—10（'59—9）
老人の扶養をめぐる若干の問題——ある老人ホームを中心として
高野竹三郎　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

相　続

遺産債務の性質
泉　久雄　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）
遺産紛争の一例（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　34（'59—1）
遺贈付相続財産の配分と民法第955条について　<2>
榊原美之　学大法学　4（'58—3）
外国人享有禁止財産の相続について
高野竹三郎　早稲田法学　34—3/4（'59—3）
家屋賃借権の相続性
石神兼文　鹿児島大学社会科報告　5（'58—9）
角膜移植の承諾権者
千種達夫　判例時報　138（'58—2）
家庭生活における相続制度——財産を相続する人々
林　信雄　法律のひろば　11—5, 6（'58—5, 6）
兄弟姉妹の相続権
木村健助　綜合法学　16（'59—11）
兄弟姉妹の代襲相続について——最近の福岡高裁判決をめぐり
田中　実　法学研究　31—1（'58—1）
災害と相続——同時危難による死亡を中心に
西塚静子　ジュリスト　192（'59—12）
財産相続法序説
福島四郎　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）
財産分与請求権の相続
島津一郎　中川善之助教授還暦記念論文集　3（'59—10）
諏訪地方の末子相続に関して
松本武子　社会福祉　6（'59—3）
相続争い
野田孝明　時の法令　285（'58—7）
相続をめぐる法律関係　<1, 2>
林　信雄　法律のひろば　11—7, 8（'58—7, 8）
相続回復請求権
島津一郎　法学セミナー　33（'58—12）
相続回復請求と特定承継人（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　36（'59—3）
相続欠格制度——その起源と本質
長田房子　九大法学　5（'59）
相続債務と相続放棄について——一判例を中心として
神谷　力　学大法学　4（'58—3）
相続と一身専属権
山畠正男　法学セミナー　45（'59—12）
相続と生活保障——社会主義法との比較のもとに
稲子恒夫，稲子宣子　民商法雑誌　40—6（'59—9）
相続と被相続人の意思
高梨公之　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）
相続と扶養——相続意思とこれを阻止するもの
高梨公之　ジュリスト　147（'58—2）
相続における意思の作用
高梨公之　民商法雑誌　38—6（'59—3）
相続による不動産譲渡の競合
野田孝明，玉田弘毅　綜合法学　2—7（'59—7）
相続人の身分を重畳的に併用する場合の相続分についての一考察
成毛鉄二　民事研修　18（'58—10）
相続人の責任に関する学説と制度の動向
川崎秀司　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）
相続放棄の実態
村崎　満，大浜英子　ジュリスト　175（'59—4）
相続放棄の理論
中川善之助　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）
相続法における養親子関係の問題点
石井敬二郎　戸籍誌百号記念論文集　（'58—3）
相続　<1, 2完>（身分法の常識）
中川善之助　法学セミナー　39, 40（'59—6, 7）
代襲相続覚書——特に衡平の原則をめぐつて
阿部浩二　民商法雑誌　37—1（'58—4）
代襲相続をめぐる若干の疑問
風間鶴寿　商大論集（神商）　26（'58—11）
代襲相続をめぐる若干の問題
岩垂　肇　民商法雑誌　40—5（'59—8）
代襲相続に関する一問題——離縁した養子の子は代襲相続権を有するか
村岡二郎　民事研修　25（'59—5）
代襲相続の法理
木下　明　茨城大学文理学部紀要社会科学　9（'59—2）
代襲相続の法理
木下　明　私法　21（'59—10）
代襲相続の要件について
広橋次郎　民商法雑誌　37—3（'58—6）
代襲相続の要点
高野竹三郎　綜合法学　1—6（'58—11）
単純承認について
城下利雄　司法研修所報　22（'58—12）
賃借権の相続——立法的課題の一考察
篠塚昭次　早稲田法学　35—1/2（'59—6）
同時死亡の推定
加藤一郎　法学協会雑誌　75—4（'58—12）
特別財産としての相続財産と包括承継
泉　久雄　専修大学論集　19（'59—1）
特別受益者の持戻義務　<1, 2>
有地　亨　民商法雑誌　40—1, 3（'59—4, 6）
内縁と相続権
浅井清信　中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
農地一子相続制度序説
我妻　栄　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）

農地相続について
松村勝治郎　農業法研究　1（'58—9）
農民家族における相続の基本問題
稲子宣子　日本福祉大学研究紀要　2（'58—12）
農民家族の相続とマルキシズム法律学の立場
渡辺洋三　山之内先生追悼論文集　（'59—10）
配偶者相続権の根拠と性格について
宮崎孝治郎，井田恵子　小池隆一博士還暦記念論文集（'59—6）
配偶相続権の性格
佐々木　宏　早稲田法学　34—1/2（'58—9）
被相続人の財産処分
林　信雄　法律のひろば　11—9（'59—9）
放棄と代襲相続
中尾英俊　法学セミナー　36（'59—3）
末子相続について
中川善之助　法社会学　9（'57—4）
身元保証債務の相続性（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　44（'59—11）
宮崎県三股町の非長子相続
上野裕久　宮崎大学学芸学部紀要社会科学　5('58—10)
ル・プレーの相続制度論
木村健助　岩崎教授在職35周年記念論文集　('58—2)
連帯債務の相続（最近の判例から）
三淵乾太郎　法律のひろば　12—9（'59—9）

遺　言

遺言執行者
高梨公之　法学セミナー　36（'59—3）
遺言の効力と執行
加藤一郎　法学セミナー　24（'58—3）
遺言の成立と取消
島津一郎　法学セミナー　22（'58—1）
遺言の方式と遺言の執行
林　信雄　法律のひろば　11—12（'58—12）
財産の自由処分制度としての遺言と遺贈
林　信雄　法律のひろば　11—10（'58—10）

家　族　制　度

家と共同体的秩序——政治的側面からみた家と村落共同体との関連について
石田　雄　法社会学　7/8（'56—7）
家族共同体の概念構成
今泉孝太郎　小池隆一博士還暦記念論文集　('59—6)
家族共同体の再吟味
今泉孝太郎　綜合法学　2—5（'59—5）
「家族主義」への批判的一考察——牧野英一博士の家族法思想について
田中吉備彦　法社会学　9（'57—4）
家族生活の尊重
中川善之助　戸籍誌百号記念論文集　('58—3)
家族制度と憲法改正論
我妻　栄　世界　164（'59—8）
家族制度復活論をめぐる諸問題——その動向と批判
森泉　章　商学論集　28—1（'59—6）
家族制度復活の問題
青山道夫　九州大学法学部創立30周年記念論文集　('57—12)
家族制度復活論への対策
我妻　栄　ジュリスト　169（'59—1）
家団論に関する覚書——成立の契機と性格
利谷信義　社会科学研究　11—3（'59—12）
家長選挙制論
磯野誠一　法社会学　7/8（'56—7）
自由民権論者の家族論
青山道夫　法政研究　25—2/4（'59—3）
地方都市における家族解体の研究——高知市の離婚と家出を中心として
大橋　薫　家庭裁判月報　11—2（'59—2）
日本社会と家族制度論争
青山道夫　小池隆一博士還暦記念論文集　('59—6)
農業法人と家族制度——市民法秩序と国家権力　<4>
渡辺洋三　ジュリスト　177（'59—5）
明治前半期における「家」制度の形成——徴兵制および町村制の推移と関連して
福島正夫　法社会学　7/8（'56—7）
我が国家長制家族組織の原理と戦後における変化
北村　達　北海道学芸大学紀要　9—1（'58—9）

民　事　特　別　法

借地・借家法

家屋賃借権の相続性
石神兼文　鹿児島大学社会科報告　5（'58—9）
期間の定めのない賃貸借と民法395条——借家法1条の2との関係
小石寿夫　民商法雑誌　40—2（'59—3）
居住権の法的構成
鈴木禄彌　法学雑誌　4—3/4（'58—3）
公営住宅利用の法律関係
平峯　隆　都市問題研究　11—4（'59—4）
公営住宅使用の法律関係　<1〜3>
渡辺洋三　自治研究　34—8〜10（'58—8〜10）
公営住宅の使用関係（土地家屋の売買，賃貸借——契約書を通してみた実際とその分析）
有泉　亨　ジュリスト　178（'59—5）
公営住宅の家賃の法的性格
田村浩一　都市問題研究　9—12（'57—12）
裁判上の和解または調停と賃貸借
広瀬武文　法律時報　30—11（'58—11）
借家人の保護とその限界
住田始男　経済論叢（香川）　32—3/5（'59—12）
借家法第1条の2いわゆる正当事由の存在時期
長谷部茂吉　法律時報　30—1（'58—1）
借地権譲受の対抗と建物保護法
広瀬武文　法律時報　31—2（'59—2）

借地借家制度とその実際　<上，中，下>
川島一郎　法律のひろば　12—1，3，5（'59—1，3，5）
借地借家法（主要立法動向）
川島一郎　商事法務研究　124（'59—1）
借地借家の問題点　<1〜13>
高島良一　判例タイムズ　9—2〜10（'58—2〜10）；10—1〜4，7，12（'59—1〜4，7，12）
借地借家法改正に対する私見　<1，2>
宗宮信次　日本法学　23—6（'58—2）；24—1（'58—3）
借地借家法（経済関係法の主要動向）
水田耕一　商事法務研究　86（'58—1）
借地借家法の一本化論についての一疑問——保護の対象となるものは財産権か居住権か　<2完>
鈴木禄彌　民商法雑誌　37—2（'58—5）
借地借家法の改正に寄せる——国民の正しい理解と協力が必要
安西信之　商事法務研究　89（'58—2）
借地借家法の改正論議
野間　繁　時の法令　268（'58—1）
借地借家法の改正方向における裁判機構の問題点
小野木　常　金融法務事情　164（'58—2）
借地法と地上権
加藤一郎　法学セミナー　31（'58—10）
社宅をめぐる法律問題
加藤一郎　日労研資料　12—1（'59—1）
社宅使用の法律問題
池田直視　富大経済論集　4—2（'59—3）
鈴木禄弥著「居住権論」【書評】
後藤　清　法律時報　31—13（'59—12）
正当事由と社宅に関する判例
広瀬武文　法律時報　30—9（'58—9）
建物買取請求権の効用——借地上の建物買取価格（時価）決定の問題
石川利夫　横浜大学論叢　10—1（'58—11）
建物貸借人の敷地使用権
後藤　清　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）
建物の朽廃と賃貸借の消滅
広瀬武文　法律時報　31—1（'59—1）
建物の賃貸借（土地家屋の売買，賃貸借——契約書を通してみた実際とその分析）
下森　定　ジュリスト　178（'59—5）
貸借権と共同相続
広瀬武文　法律時報　30—4（'58—4）
賃料不払による賃貸借の解除と転借人の地位
広瀬武文　法律時報　30—6（'58—6）
抵当不動産と賃貸借
広瀬武文　法律時報　30—8（'58—8）
適法な転借権の対抗力
広瀬武文　法律時報　31—4（'59—4）
土地家屋の一方の任意譲渡と敷地利用権——同一人の所有に属する場合　<1，2>
広瀬武文　法律時報　30—2，3（'58—2，3）
土地の不法侵入と地主の権利
広瀬武文　法律時報　30—5（'58—5）
土地の分割と建物保護法の適用
広瀬武文　法律時報　30—7（'58—7）
広瀬武文「借地借家法の諸問題」【書評】
薄根正男　法律時報　31—11（'59—10）
不動産の賃貸借と返還時期
広瀬武文　法律時報　30—1（'58—1）
法律不遡及の原則（最近の判例から）
長谷部茂吉　法律のひろば　11—7（'58—7）
家主の修繕義務と特約
広瀬武文　法律時報　30—10（'58—10）
罹災都市借地借家臨時処理法第10条の法意
長谷部茂吉　法律のひろば　12—6（'59—6）
罹災都市借地借家臨時処理法による借地権設定に関する裁判【座談会】
谷口知平，山木戸克己，乾　昭二，林　良平，中田淳一，小室直人，鈴木禄彌，森　順次，道田信一郎　民商法雑誌　38—4（'59—1）

各種登記法

外貨債担保の抵当権——登記手続の改正要望
金融法務事情　205（'59—4）
仮登記を本登記に改める方法
長谷部茂吉　法律時報　30—5（'58—5）
仮登記された権利の処分とその可否
昼間　種　商事法務研究　135（'59—4）
仮登記抄論——いわゆる本登記順位保全の効力について
小田嘉一郎　西南商学　4—2/3（'58—3）
仮登記制度の意義とその効用
昼間　種　商事法務研究　132（'59—3）
仮登記とその実務手続——意義とそのなし得る場合　<1〜3>
香川保一　金融法務事情　184，187，188（'58—9，10）
仮登記について　<2〜4>
香川保一　民事月報　13—4，8（'58—4，8）；14—2（'59—2）
仮登記に基く仮登記はなし得るか
寿福　博　民事研修　11（'58—3）
仮登記の効力をめぐる若干の問題
中島健作　商事法務研究　130（'59—2）
仮登記の効力——最近における二つの最高裁判例をめぐつて
遠藤厚之助　東洋法学　2—1（'58—5）
仮登記の効力——最高裁の判例を中心として
三淵乾太郎　民事研修　11（'58—3）
仮登記の効力とその登記手続
昼間　種　商事法務研究　133（'59—3）
仮登記の問題点　<1〜3完>
等々力茂富　財政経済弘報　762，765，766（'59—7，8）
仮登記の利用と仮登記の効力
中島健作　ジュリスト　171（'59—2）
環境衛生同業組合登記令・小型船海運組合登記令の解説　<1〜4完>
佐藤秀雄　民事月報　12—11（'57—11）；13—3，9，12（'58—3，9，12）

換地予定地指定前の売買を原因とする移転登記請求と訴の利益
川添利起　ジュリスト　185（'59—9）

企業担保権に関する登記　<1〜4完>
香川保一　登記研究　129, 131〜133（'58—8, 10〜12）

企業担保権に関する登記手続について　<1〜4完>
桜井正三郎　金融法務事情　186, 188, 190, 192（'58—9〜12）

求償権を担保する根抵当権設定登記の流用の可否
能仲英雄　金融法務事情　224（'59—11）

共有で買い受けた不動産につき共有者の一人から所有権移転の登記申請の可否について
桜井正三郎　民事研修　17（'58—7）

権利変更の登記の疑問点
香川保一　登記研究　122（'58—1）

工場抵当に関する登記手続の問題点
津島一雄　金融法務事情　197（'59—2）

条件付債権担保の抵当権設定登記について
鮫島真男　登記研究　132（'58—11）

消費貸借の要物性と抵当権の附従性について
河瀬敏雄　民事研修　30（'59—10）

昭和32年度における担保権登記に関する先例の総観
香川保一　金融法務事情　162（'58—1）

昭和32年度不動産登記関係判例の回顧　<1〜4完>
鮫島真男　登記研究　123〜126（'58—2〜5）

昭和34年度における担保権の登記に関する主要先例紹介
香川保一　財経詳報　283（'59—12）

新国税徴収法案における登記実務について
香川保一　金融法務事情　200（'59—3）

単独所有権の一部を目的とする抵当権の設定の登記の可否
昼間　種　民事研修　28（'59—8）

単独所有権の一部に対する抵当権の設定登記の可否
昼間　種　金融法務事情　207（'59—5）

重複登記をめぐる若干の問題
枇杷田泰助　民事研修　25（'59—5）

抵当権に関する登記　<10〜22>
香川保一　登記研究　122〜139（'58—1〜'59—6）

抵当権の債権額の変更の登記が誤つてなされた場合の回復の登記手続について
桜井正三郎　金融法務事情　227（'59—12）

抵当権の順位の二重処分をめぐる問題点
津島一雄　金融法務事情　226（'59—12）

抵当権の処分の特殊形態とその登記手続について　<上, 下>
津島一雄　金融法務事情　204（'59—4）

抵当権の設定登記後に附属された建物と抵当権の効力　<1>
香川保一　金融法務事情　212（'59—7）

登記関係の二，三の法律問題——会社相談欄の中から　<1, 2完>
鮫島真男　登記研究　130, 131（'58—9, 10）

登記官吏の誤つた登記と国家賠償責任
横山茂晴　民事研修　21（'59—1）

登記官吏の処分に対する異議申立の実例
内海　一　民事月報　13—6（'58—6）

登記官吏の審査権について
川内源吾，東海林庄助　民事研修　12（'58—4）

登記申請書の添付書面の提出及びその援用に関する問題点
津島一雄　民事研修　21（'59—1）

登記請求権について　<1〜6>
香川保一　登記研究　134〜136, 139, 144, 145（'59—1〜3, 6, 11, 12）

登記調査
堀内　仁　ジュリスト　170（'59—1）

登記の形式的有効要件——登記法第49条，第150条と関連して
杉之原舜一　民商法雑誌　40—4（'59—7）

登記簿及び台帳の一元化について
香川保一　民事研修　30（'59—10）

登記簿と台帳の一元化について
能仲英雄　財政経済弘報　753（'59—5）

登記簿と台帳の一元化問題——市民法秩序と国家権力　<3>
渡辺洋三　ジュリスト　175（'59—4）

登記簿の滅失と物権変動の対抗力
横山　長　ジュリスト　186（'59—9）

土地台帳制度沿革資料誌　<1〜4>
村上三男　登記研究　126, 127（'58—5, 6）; 137, 138（'59—4, 5）

届出印鑑と相異した印鑑を押捺した株主総会議事録の登記の受否
味村　治　商事法務研究　131（'59—3）

根抵当権の一般承継とその登記について　<1〜3完>
香川保一　金融法務事情　223, 225, 226（'59—11, 12）

根抵当権の普通抵当権への変更登記について　<1〜3>
香川保一　金融法務事情　218〜200（'59—9, 10）

根抵当権の普通抵当権への変更登記の申請手続について
桜井正三郎　金融法務事情　223（'59—11）

二重登記の防止とその善後措置　<上>
昼間　種　民事研修　31（'59—11）

被担保債権の一部弁済後の残存額についての抵当権設定登記手続の問題点——通達解説
津島一雄　財経詳報　250（'59—7）

二つの不動産登記法——杉之原，幾代両氏の労作をめぐつて【書評】
舟橋諄一　法律時報　30—7（'58—7）

物権的支配の方法としての登記と占有　<1>
山中康雄　法経論集（愛知）　28（'59—10）

不動産賃貸借の相続と登記
広瀬武文　法律時報　31—6（'59—5）

不動産登記事務取扱手続準則について　<1>
昼間　種　民事月報　13—1（'58—1）

不動産登記制度と台帳制度の一元化　<上, 下>
昼間　種　財経詳報　264, 267（'59—9, 10）

不動産登記制度の改正——登記台帳の一元化
香川保一　金融法務事情　195（'59—1）

不動産登記における登記官吏の審査権限の歴史的変遷
宮城俊治　民事研修　26（'59—6）

不動産登記法　<9〜16>（通信講座）
香川保一　民事研修　11〜21（'58—3〜'59—1）

不動産登記法の改正について
香川保一　商事法務研究　161（'59—12）

不動産と取引事故
堀内　仁　商事法務研究　126（'59—1）

不動産の一部又は特分の一部に対する抵当権の設定及び他の部分に抵当権の効力を及ぼす登記
寿福　博　民事研修　25（'59—5）

抹消登記請求権について
岡本元夫　民事研修　17（'58—9）

未登記・未登録の建物の譲渡と買戻しの特約の登記について
桜井正三郎　金融法務事情　210（'59—6）

無権限者による不実の登記
味村　治　登記研究　123（'58—2）

数次売買による登記の中間省略の可否
昼間　種　民事研修　15（'58—7）

各種抵当・担保法

企業担保権実行手続規則解説
西　迪雄　法曹時報　11—3（'59—3）

企業担保権設定の実務——その実例を中心として
鵜沢　晋　金融法務事情　187（'58—10）

企業担保権付社債発行の手続——企業担保権の設定手続
香川保一　商事法務研究　109（'58—8）

企業担保権付社債発行の手続——その発行手続の概要
平野正作　商事法務研究　109（'58—8）

企業担保権の概要——企業担保法の性格，効力，手続等
内海　一　財政経済弘報　694（'58—5）

企業担保制度
江村　元　拓殖大学論集　17（'58—6）

企業担保制度
大原栄一　私法　19（'58—4）

企業担保制度運用上の問題
竹俣高敏　財政経済弘報　685（'58—4）

企業担保法案をめぐつて——企業担保制度とはなにか
中村泰男　通商産業研究　6—3（'58—3）

企業担保法案における実行手続の問題点
小野木　常　金融法務事情　161（'58—1）

企業担保法案の二つの問題——法案の国会提出にあたつて
金融法務事情　165（'58—2）

企業担保法案の問題点
加藤一郎　法律時報　30—5（'58—5）

企業担保法案要綱成る——管財人の選任は裁判所に
法律新聞　87（'58—1）

企業担保法案要綱について
阿比留兼吉　自由と正義　9—2（'58—2）

企業担保法（経済関係法の主要動向）
香川保一　商事法務研究　86（'58—1）

企業担保法と国税徴収とについて
荒木政之丞　財政　23—8（'58—7）

企業担保法について　<1, 2>
香川保一　法律のひろば　11—7, 8（'58—7, 8）

企業担保法について
水島広雄　綜合法学　1—2（'58—7）

企業担保法について
堀内　仁　バンキング　124（'58—7）

企業担保法について——制定の経緯と逐条解説　<1〜7>
香川保一　法曹時報　10—6, 8〜12（'58—6, 8〜12）; 11—1（'59—1）

企業担保法の概要
小林栄二郎　税経通信　13—7（'58—6）

企業担保法の逐条解説　<1〜13完>
香川保一　金融法務事情　172〜185（'58—5〜9）

企業担保法の問題点——質疑応答　<1〜8完>
香川保一　財経詳報　163〜167, 182〜184, 188, 194（'58—5, 8〜10）

企業担保法の論争点——竹俣高敏氏等の所説に関連して　<1〜3完>
正村芳三　財政経済弘報　690, 693, 698（'58—5, 6）

企業の担保化
堀内　仁　法学セミナー　26（'58—5）

狭義の工場抵当について
伊藤茂男　バンキング　124（'58—7）

工場財団設定への手引——初心者のための入門講座
津島一雄　金融法務事情　213（'59—7）

工場財団とその所属不動産の賃貸借について
香川保一　金融法務事情　185（'58—8）

工場抵当法第3条の機械器具目録とその効力
香川保一　商事法務研究　98（'58—4）

国会の審議で明らかにされた企業担保法の論点　<1〜3完>
財経詳報　165, 168, 170（'58—5, 6）

財団抵当制度簡素化の一方法
金融法務事情　202（'59—3）

社債信託の本義と企業担保問題
板橋菊松　信託　36（'58—9）

船舶抵当約款の吟味
志津田氏治　経営と経済　74（'58—2）

第3条目録に署名捺印すべき者——最近の民事局長通達をめぐつて
枇杷田泰助　金融法務事情　182（'58—8）

鉄道財団抵当の常識　<1〜3完>
川島茂樹　金融法務事情　195, 196, 198（'59—1, 2）

動産抵当としての自動車抵当——とくに登録制度との関連において
田中　実　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

特殊抵当権　<1〜8>（通信講座）
昼間　種　民事研修　21〜31（'59—1〜11）

供　託　法

供託監査の問題点　<2>
中川庫雄　民事月報　13—2（'58—2）

供託規則及び供託事務取扱手続準則について　<1〜4完>
中川庫雄　民事月報　14—6, 7, 10, 11 ('59—6, 7, 10, 11)

供託規則の施行について
中川庫雄　財政経済弘報　757 ('59—6)

供託規則の施行について　<1〜3完>
中川庫雄　登記研究　141, 143, 144 ('59—8, 10, 11)

供託手続の改正について
味村　治　金融法務事情　203 ('59—4)

債務の一部の弁済供託
味村　治　民事研修　18 ('58—10)

選挙制度と供託手続　<1, 2完>
田嶋昭夫　民事研修　23, 27 ('59—3, 7)

転借人のなす賃料の弁済供託について
中川庫雄　民事研修　10 ('58—2)

二重の受領証
梶　哲雄　民事研修　24 ('59—4)

弁済供託における反対給付の内容について
中川庫雄　民事研修　17 ('58—9)

信　託　法

株券振替決済制度における信託方式について
山本　弘　財政経済弘報　188 ('58—9)

企業組織としてのビジネストラスト
大阪谷公雄　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—3)

車輌信託制度の現状とその問題点
岸　幸喜，藤田一郎　商事法務研究　98 ('59—4)

受託者の権利——ノルトによる管理権の構成
田中　実，内池慶四郎　法学研究　31—6 ('58—6)

証券投資信託の法的構造について
大阪谷公雄　阪大法学　29 ('58—12)

信託法における信託違反受託者の賠償責任の性質
四宮和夫　我妻先生還暦記念論文集　上 ('57—12)

社債信託の本義と企業担保問題
板橋菊松　信託　36 ('58—9)

訴訟信託について——戦後の判例を中心に
田中　実　法学研究　32—4 ('59—4)

戸　籍　法

委託確認の審判に基く戸籍届出に関する二，三の問題点
村上　惺　民事研修　22 ('59—2)

氏の同一性
岩佐節郎　中川善之助教授還暦記念論文集　1 ('59—8)

「氏」をどう考えるか——わが現行法上の存在として　<1〜3完>
唄　孝一　戸籍　110〜112 ('58—2〜4)

沖縄の戸籍と本土の戸籍との統一の問題について
阿川清道　戸籍　119 ('58—10)

親子関係と戸籍訂正
平賀健太　中川善之助教授還暦記念論文集　1 ('59—8)

親子関係の存否に関する戸籍訂正について
阿川清道　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)

改氏，改名の手続と実例
阿川清道　時の法令　322 ('59—7)

帰化者の戸籍編製に関する先例の研究
横山　実　民事研修　19 ('58—11)

旧法戸籍の改製経過とその留意事項
池川良正　戸籍　118 ('58—9)

旧法戸籍の改製と氏について
岩佐節郎　戸籍誌百号記念論文集　('58—3)

虚偽出生届による戸籍の訂正と親子法改正について
谷口知平　戸籍誌百号記念論文集　('58—3)

戸籍セミナー——離縁　<1〜7>
青木義人，市川四郎，岩佐節郎，唄　孝一，平賀健太，我妻　栄　ジュリスト　165〜168 ('58—11, 12)；170〜173 ('59—1, 2)

戸籍セミナー——婚姻　<1〜5>
青木義人，市川四郎，岩佐節郎，唄　孝一，平賀健太，我妻栄　ジュリスト　177, 178, 180, 181, 183 ('59—5〜8)

戸籍改製後における戸籍届出事件の考察　<1〜3>
石井利秋　民事月報　13—5, 7, 8 ('58—5, 7, 8)

戸籍雑記——通達・回答
池川良正　戸籍　116 ('58—7)

戸籍雑記——明治戸籍の二，三の素描
池川良正　戸籍　112 ('58—4)

戸籍事務協議会　<2>
池川良正　戸籍　111 ('58—3)

戸籍制度の将来——旧法戸籍改製の第2年を迎えて
平賀健太　戸籍　121 ('58—11)

戸籍謄抄本の無料交付請求について
吉村　清　戸籍　134 ('59—12)

戸籍届出の懈怠に対する制裁は外国人にも適用されるか
鈴木大助　民事研修　12 ('58—5)

戸籍の改製　<上，中，下>　(戸籍セミナー番外)
青木義人，岩佐節郎，唄　孝一，平賀健太，村上朝一，我妻　栄　ジュリスト　154〜156 ('58—5, 6)

戸籍の改製とその週辺——10年を迎えた新戸籍法　<上，下>
唄　孝一　ジュリスト　147, 148 ('58—2)

戸籍の監督系統
池川良正　民事月報　13—6 ('58—6)

戸籍の届出
阿川清道　中川善之助教授還暦記念論文集　1 ('59—8)

戸籍編製の原理
山本進一　中川善之助教授還暦記念論文集　1 ('59—8)

婚姻届出の遅速と職業との関係
武井正臣　島根大学論集社会科学　4 ('58—2)

氏名おぼえがき——氏名の社会的意義について　<1>
依田精一　九大法学　5 ('59)

氏名の変更
千種達夫　中川善之助教授還暦記念論文集　1 ('59—8)

出生と死亡と戸籍
山主政幸　綜合法学　2—3 ('59—3)

戦後の民法改正過程における「氏」
唄　孝一　法社会学　9 ('57—4)

創設的届出の意義
小石寿夫　戸籍　130 ('59—8)

大正3年式戸籍法について
山主政幸　日本法学　25—3/5 ('59—10)

地方体制と戸籍制度——山梨県の場合
福島正夫　東洋文化研究所紀要　15 ('58—3)

「渡航者の戸籍のしおり」について
阿川清道　戸籍　121 ('58—12)

届出期間を経過した後に届け出られた出生届に関する二つの通達をめぐる問題点の考察　<1>
村上　惺　民事研修　31 ('59—11)

プリンセスの除籍手続その他
北川一松　戸籍　127 ('59—6)

本籍の概念について
飯島　要　東京学芸大学研究報告　9 ('58—3)

本籍の実証的研究　<上，中，下>
飯島　要　戸籍　124, 125, 128 ('59—3, 4, 7)

身分関係の公示制度——戸籍制度の概観
林　信雄　法律のひろば　11—4 ('58—4)

美智子さんの戸籍
山主政幸　時の法令　305 ('59—2)

民法と戸籍及び家庭裁判所制度
平賀健太　戸籍　109 ('58—1)

民法と戸籍との基本的関係
山主政幸　法学紀要　1 ('59—5)

明治中期戸籍制度と「家」制度の研究——石川県戸籍関係法令を中心として
中川高男　金沢法学　5—1 ('59—5)

電話加入権質

電話加入権質制度の解説
小島士三男　手形研究　2—8 ('58—8)

電話加入権質に関する臨時特例法
合田惇一　財政経済弘報　694 ('58—5)

電話加入権質に関する臨時特例法案の問題点
森下長平　金融法務事情　166 ('58—2)

電話加入権質に関する臨時特例法について
沖田幸佑　商事法務研究　99 ('58—5)

電話加入権質に関する臨時特例法について——公社の立場から
沖田幸佑　自由と正義　9—8 ('58—8)

電話加入権質に関する臨時特例法の解説
信用金庫　12—9 ('58—9)

電話加入権質に関する臨時特例法の概要
渡辺　淳　相互銀行　8—6 ('58—6)

電話加入権質臨時特例法の概要
渡辺　淳　財経詳報　168 ('58—5)

電話加入権に質権を認める——昭和38年3月末までの臨時立法
加藤泰平　時の法令　284 ('58—7)

電話質権の登録と実行手続　<1〜5>
水田耕一　金融法務事情　179, 181〜184 ('58—7〜9)

印　鑑　制　度

印鑑制度　<1>
大関嘉道　戸籍時報　1 ('58—4)

印鑑登録および印鑑証明事務の実際
小泉昇平　地方自治　130 ('58—10)

ハンコの生む悲劇
山本進一　時の法令　299 ('58—12)

問題となつた二つの判決例——ローマ字の印鑑証明
高橋勝好　財経詳報　185 ('58—8)

ローマ字印鑑事件の判決
宮沢俊義　ジュリスト　157 ('58—7)

ローマ字とかなの印鑑
千種達夫　判例時報　153 ('58—7)

ローマ字の印鑑は無効か
勝本正晃　法律時報　30—7 ('58—7)

其の他の民事特別法

遺失物取扱上の諸問題
石橋昭明　警察学論集　12—1 ('59—1)

遺失物の取扱について——遺失物法等の一部改正
桝谷　広　警察研究　29—4 ('58—4)

遺失物法改正問答
町中凡人　法律のひろば　11—6 ('58—6)

遺失物法断片
町田　充　警察学論集　11—9 ('58—9)

警察庁関係二法案のあらまし——銃砲刀剣類等所持取締法案，遺失物法等の一部を改正する法律案
町田　充　時の法令　273 ('58—3)

制限利率の改定（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　38 ('59—5)

超過利息の性格について——最近の二つの最高裁判例を中心として
森泉　章　法経論集（静岡）　5 ('56—12)

利息制限法にいわゆる任意支払
馬瀬文夫　判例タイムズ　9—1 ('58—1)

利息制限法批判——超過利息の効力および利息の天引を中心として
西村信雄　民商法雑誌　39—4/6 ('59—4)

被用者の地位の変動と身元保証人に対する通知
味村　治　金融法務事情　225 ('59—11)

無過失責任論——自動車損害賠償保障法の成立まで
不破勝敬夫　山口経済学雑誌　8—5 ('58—3)

外　国　民　事　法

諸　国

カトリック教国の婚姻法の特色
野田良之　比較法研究　18 ('59—4)

教会婚姻法
阿南成一　比較法研究　18 ('59—4)

比較法学会編「贈与の研究」【紹介】
広中俊雄　法学協会雑誌　75—6 ('59—3)

離婚婦の監護権——各国における進化過程
岡村　益　福島大学学芸学部論集　9—1 ('58—3)

ア　メ　リ　カ

アメリカ各州の Common Law Marriage <1, 2>

不破勝敏夫　山口経済学雑誌　9—1, 3 ('58—6, 10)

アメリカ契約法上の Consideration
砂田卓士　専修大学論集　19 ('59—1)

アメリカにおける農場相続をめぐる問題——二つの調査研究の比較を通じて
米村昭二　社会学評論　9—2 ('58—12)

アメリカのコモン・ローにおける営業秘密
山崎晴一　東洋法学　3—1 ('59—6)

アメリカの婚姻法
谷口知平　比較法研究　18 ('59—4)

アメリカにおける婚姻の無効及び取消原因の研究　<1〜3>
重倉珻祜　法学　22—2 ('58—7); 22—4 ('59—1); 23—3 ('59—10)

アメリカ法における夫婦間の扶養義務
尾高都茂子　経済学の進歩のために　4—1 ('58—3)

アメリカ法における別居契約の効果
重倉珻祜　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—2)

アメリカ法における Mortgage について　<1, 2>
竹内治美　同志社法学　10—5 ('59—2); 11—2 ('59—9)

アメリカ名誉毀損法序説
塚本重頼　法学新報　66—12 ('59—12)

アメリカ名誉毀損法における被害者について
塚本重頼　法学新報　66—2 ('59—2)

アメリカ離婚法における互責と比較的潔白の原則
村井衡平　立命館法学　28 ('59—3)

カリフオルニア州における養子縁組について
村岡二郎　戸籍誌百号記念論文集　('58—3)

航空機の爆弾投下演習に因る損害の賠償——ノース・カロライナ東部地区連邦地方裁判所判決の紹介
塚本重頼　英米法学　9 ('58—4)

婚姻の無効及び取消——アメリカ法を中心として
重倉珻祜　勝本正晃先生還暦記念論文集　上 ('59—4)

最近の米国文献に現われた人工授精論議
田中　実, 人見康子　小池隆一博士還暦記念論文集 ('59—6)

債権取立の手段としての債務者の雇傭者への通信を送ることの不法性
塚本重頼　法律のひろば　11—10 ('58—10)

酒場の責任に関する法律
塚本重頼　法律のひろば　12—12 ('59—12)

試合の実況映画を無断でテレビ放送することの不法性
塚本重頼　法律のひろば　11—3 ('58—3)

譲渡担保——アメリカ法
道田信一郎　私法　21 ('59—10)

職業監査人の第三者に対する賠償責任
永田忠哉　政経学会雑誌　4 ('58—6)

新聞広告は契約の申込であるか
塚本重頼　英米法学　10('59—4)

チャプリン・ケース——血液型による父子認定
中川善之助　法律時報　30—7 ('58—7)

ニュース・ソースの秘匿——読売新聞記者逮捕事件に関連して
塚本重頼　法律のひろば　11—1 ('58—1)

不法行為責任における事故傾向——アメリカ事故法に関する一考察
金原光蔵　同志社法学　10—6 ('59—3)

米国不法行為に於ける被害者の過失
杉浦貫一　大阪経大論集　25 ('59—5)

米国養子法
西沢　修　法と政治　10—3 ('59—10)

イ　ギ　リ　ス

イギリスおよび北米ニューヨークの借家法
川島一郎　法曹時報　11—12 ('59—12)

イギリス現代不動産賃貸借法の構造——一般法関係
水本　浩　商経法論叢　9—1/2 ('58—10)

イギリスに於ける里親制度
山本正憲　岡山大学創立10周年記念論文集　上 ('59—10)

イギリスにおける離婚法の民主化
久貴忠彦　阪大法学　30 ('59—2)

イギリスの婚姻法
田中和夫　比較法研究　18 ('59—4)

イギリスの離婚
中川善之助　法律時報　30—6 ('58—6)

イギリス浮動担保の素描——企業担保の理論
水島広雄　中央大学70周年記念論文集　('55—11)

イギリス普通法における使用者責任について
古賀哲夫　同志社法学　10—6 ('59—2)

イギリス法と権利濫用
下山瑛二　法律時報　30—10 ('58—10)

イギリス法における死後の不法行為権
立石芳枝　我妻先生還暦記念論文集　上 ('57—12)

イギリス離婚法　<2>
森　　達　東洋法学　2—2 ('58—11)

ウイリストンの英国法人発生史抄訳
遠田新一　政経論叢（広島）　9—2 ('59—9)

英国近代農業成立期における不動産賃貸借法の構造
水本　浩　法社会学　10 ('57—6)

英国国家扶助法における家族の扶養義務
西原道雄　神戸法学雑誌　8—3 ('58—12)

英国債権法
末包留三郎　法学（近大）　7—1 ('58—6)

英国における既婚婦人の財産上の地位——その歴史的過程
川瀬光世　九大法学　1 ('57—1)

英国民法総則
末包留三郎　法学（近大）　6—4 ('58—3)

英米における信認関係（Fiduciary Relationship）の法理と体系
戸塚　登　信託　39 ('59—6)

英米における懲罰的損害賠償
田中和夫　我妻先生還暦記念論文集　中 ('58—11)

英米における法定信託について　<1>
戸塚　登　信託　38 ('59—3)

英米不法行為法における無過失責任について
森　行輝　同志社法学　10—2 ('58—8)

英米における危険負担覚え書——動産売買をめぐつて
木村五郎　尾道短大研究紀要　7 ('57—12)

英米法における推定理論　<1>
楠本英隆　早稲田法学　34—3/4 ('59—3)

英米法における法人概念について——会社の社団法人性との関連において
本間輝雄　経済理論　46 ('58—11)

英法における因果関係の一考察
伊藤正己　我妻先生還暦記念論文集　中 ('58—11)

英法に於ける準契約法理序説——ウインフィルドの「準契約法」を中心として
小池隆一　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部 ('58—11)

英法におけるフラストレイション法理について——事情変更の原則に関する比較法的研究　<1>
五十嵐　清　法学会論集　9—2 ('58—11)

英法における法人理論
本間輝雄　経済理論　53 ('59—9)

英法に於ける法人論の系譜
海原文雄　法制史研究　7 ('57—3)

コモン・ロー上の救済としての損害賠償制度の沿革
早川武夫　我妻先生還暦記念論文集　中 ('58—11)

使用者の求償権——イギリスの新しい判例の示唆するもの
伊藤正己　法学協会雑誌　74—5/6 ('58—7)

中世農民の身分的制約——中世イギリス身分法史の基礎構造分析
荒井貢次郎　東洋法学　3—2 ('59—12)

動産取引における公信の原則と英法上の Rule of Market Overt について
島田信義　早稲田法学　34—3/4 ('59—3)

謄本保有権の近代化——イギリス土地所有法近代化の一断面　<1, 2>
望月礼二郎　社会科学研究　11—1, 2 ('59—8, 9)

ブラックストーンにおけるニューサンスの位置づけと類型　<1>
矢頭敏也　早稲田法学　34—3/4 ('59—3)

不当利得制度に関する比較法的研究——ドーソン「不当利得の研究」を中心として
小林規威　法学研究　32—1 ('59—1)

報道の自由と名誉毀損——1953年英国名誉毀損法第7条の解説
塚本重頼　法律のひろば　11—7 ('58—7)

労働災害における使用者責任法理の変遷——イギリスの場合
有泉　亨　我妻先生還暦記念論文集　中 ('58—11)

Common Law Marriage について　<1〜3>
不破勝敏夫　山口経済学雑誌　8—3 ('57—10); 8—4, 6 ('58—2, 3)

ESTATE 論——イギリス法における土地所有権の理論
長谷川元吉　青山法学論集　1—1/2 ('59—11)

Negligence 理論の一断面
金原光蔵　同志社法学　10—2 ('58—8)

Waiver of Tort について
小林規威　小池隆一博士還暦記念論文集　('59—6)

イ　タ　リ　ア

イタリアの婚姻法
石崎政一郎　比較法研究　18 ('59—4)

イタリア民法に於ける遺留分制度
風間鶴寿　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—2)

イタリア民法における相続人　<2>
風間鶴寿　商大論集（神商）　22 ('58—3)

韓　　国

韓国に於ける新民法の審議経過　<上, 下>
森田芳夫　親和　60, 61 ('58—10, 11)

南朝鮮における新民法の成立
黒木三郎　法律時報　30—8 ('58—8)

南朝鮮における民法改正の動向と法意識の錯綜　<1, 2>
黒木三郎　国際政経事情　24 ('58—2), 27 ('59—5)

南朝鮮における民法改正の動向と法意識の錯綜
近藤晴彦　国際政経事情　24 ('58—2)

南朝鮮の新婚姻法——その近代化は達せられたか
黒木三郎　法経論集（愛知）　25 ('59—1)

ス　イ　ス

スイスおよび西ドイツの借家法
川島一郎　法曹時報　11—8 ('59—8)

スイス婚姻法
中川善之助, 加藤永一　比較法研究　18 ('59—4)

スイス民法50年
我妻　栄　ジュリスト　156 ('58—6)

スイス民法における家族財団
高木国博　六甲台論集　5—2 ('58—7)

スイス民法邦訳——第2編, 3編　<2〜6>
相原東孝, 中川一郎　名城法学　7—4 ('58—3); 8—2, 3 ('58—10, 11); 8—4 ('59—3); 9—1 ('59—6)

ソ　ヴ　ェ　ト

社会主義的相続制度の発展——その立法および理論について
福島正夫　山之内先生還暦記念論文集　('58—9)

ソヴェト家族法と私生子
宮崎　昇　司法研修所創立10周年記念論文集　上 ('58—5)

ソヴェト初期における家族消滅理論の一考察
中川高男　金沢大学法文学部論集法経篇　6 ('59—3)

ソヴェト相続法——基礎理論と沿革　<上, 下>
宮崎　昇　法律のひろば　11—2, 3 ('58—2, 3)

ソヴェト農村家族における世帯財産共有制
稲子恒夫　法政論集　11 ('58—3)

ソヴェト離婚手続法
宮崎　昇　ジュリスト　149 ('58—3)

ソヴェト・ロシヤに於ける他児養育制度
山本正憲　法経学会雑誌　25 ('58—6)

農業制度の改革とコルホーズ所有権
藤田　勇　法律時報　30—10（'58—10）
藤田勇著「社会主義的所有と契約」
西川遼雄　彦根論叢　43（'58—5）

中　国

ヴァン・デル・ヴァルク「現代中国家族法における保守主義」【紹介】
中川良延　法学　22—1（'58—4）
旧中国社会の「仲間」主義と家族——団体的所有の問題をも合せて
仁井田　陞　法社会学　9（'57—4）
陝甘寧辺区婚姻条例
仁井田　陞，幼方直吉　法律時報　31—8（'59—7）
宗教に関係なき婚姻法——中国新婚姻法の基本問題
仁井田　陞　比較法研究　18（'59—4）
中華人民共和国婚姻法及び婚姻登記弁法訳
浅井　敦　国際政経事情　20（'56—3）
中国婚姻法ききがき
潮見俊隆，鍛治千鶴子，黒木三郎，西村信雄　法社会学　9（'57—4）
中国における相続立法の諸問題——史懐璽氏著「わが国相続制度の若干の基本問題を論ず」を読んで【紹介】
福島正夫　民商法雑誌　38—2（'58—11）

ド　イ　ツ

いわゆる「継続的法律関係」の無効・取消について——ドイツにおける論義の展開についての一覚書
下井隆史　熊本商大論集　8（'58—11）
いわゆる立退料について——特にドイツ法を参考としつつ
鈴木禄彌　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
ギールケの団体人格論について
福地俊雄　法と政治　10—3（'59—10）
種類債務の履行と特定——ドイツ普通法理論に関して
山下末人　商大論集（神商大）　29（'59—3）
所有者抵当の構成について——ドイツ民法を中心とする一考察
三和一博　東洋法学　2—1（'58—5）
譲渡担保——ドイツ法
植林　弘　私法　21（'59—10）
積極的契約侵害論とその展開　<1>
林　良平　法学論叢　65—5（'59—8）
抵当権と被担保債券——ドイツにおける流通抵当，所有者抵当及び土地債務をめぐつて　<1>
鶴見恒夫　法政論集　11（'58—3）
ドイツ遺留分法の史的素描
福島四郎　岩崎教授在職35周年記念論文集　（'58—2）
ドイツ近代法史学の発達
鈴木禄彌　比較法研究　16（'58—4）
ドイツ婚姻法
太田武男，椿　寿夫　比較法研究　18（'59—4）
ドイツにおける共同抵当制度
鈴木禄彌　金融法務事情　162（'58—1）
ドイツにおける継続的債務関係の理論——賃貸借の解除における信頼関係考察の前提として
土屋真千枝　九大法学　5（'59）
ドイツ不動産担保法の近代化について
高島平蔵　早稲田法学　33—1/2（'58—3）
ドイツ普通法学における請求権概念の発展——ヴィントシャイトの「アクチオ論」について
奥田昌道　法学論叢　64—1（'58—4）
ドイツ民法における表見代理
石外克喜　経済理論　53（'59—9）
ドイツ民法の請求権概念について　<1〜3完>—— ヴィントシャイトの「アクチオ論」について
奥田昌道　法学論叢　64—6（'59—2）；65—1, 2（'59—4, 5）
ドイツ養子法における「氏」——わが法との若干の比較
唄　孝一　人文学報　18（'58—3）
東西ドイツ養子法及び西ドイツ養子法改正草案の邦訳
山本正憲　法経学会雑誌　28（'59—3）
ナチス以前の農地一子相続法
佐々木金三　専修大学論集　16（'58—1）
西ドイツ男女同権法仮訳——民法の領域における男女の同権に関する法律　1957　<1〜3完>
太田武男，椿　寿夫　家庭裁判月報　10—12（'58—12）；11—3, 5（'59—3, 5）
西ドイツにおける婚姻と家族
椿　寿夫　法律時報　31—10（'59—9）
西ドイツにおける新法定夫婦財産制について
浅見公子　法学会論集　8—3/4（'58—3）
西ドイツの新親族法について
太田武男，椿　寿夫　法学論叢　64—3（'58—8）
西ドイツの親族統一法草案について
太田武男，椿　寿夫　法学論叢　64—6（'59—2）
西ドイツの男女同権法について　<1, 2完>
太田武男，椿　寿夫　家庭裁判月報　10—9, 10（'59—9, 10）
農場の不可分承継と補償
佐々木金三　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）
東ドイツの養子法と西ドイツの草案
山田　晟　法学協会雑誌　75—4（'58—12）
表見代理とドイツ民法
山田　晟　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）
ブッターマン「独自法域としての住居法」訳
塚塚昭次　早稲田大学比較法研究所紀要　6（'58）
プロイセン普通国法における親権の特質——ヴオルフの自然法理論との関連において
石部雅亮　経済論叢　32—3/5（'59—12）
G．バウルス「債権者取消権の意義と諸形態」【紹介】
下森　定　法学志林　56—3（'59—1）
H．グレッシング「養子縁組の要件」
阿部浩二　法律時報　31—10（'59—9）
Impossibilium nulla obligatio 原則の形成とその批判理論——独民法の「原始的不能」の学説史的背景
磯村　哲　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）

フ　ラ　ン　ス

近代フランス家族生活の基礎——社会保障法と家族法の重畳的規制についての一研究
松本暉男　法学論集　8—2（'58—10）
譲渡担保——フランス法
高木多喜男　私法　21（'59—10）
1955年フランス不動産登記制度の改正について
伊藤道保　比較法研究　16（'58—4）
ナポレオン法典と註釈法派——フランス法思想史の一断面
飛沢謙一　法と政治　10—3（'59—10）
フランス私生子法における父の捜索
神田博司　法学新報　66—10（'59—10）
フランスにおける1955年以降の不動産物権公示制度の改正
星野英一　法学協会雑誌　76—1（'59—7）
フランスにおける代襲相続権についての一考察　<2>
有地　亨　法政研究　24—4（'58—3）
フランス法における氏名　<3〜5完>
木村健助　法学論集　7—5（'58—3）；8—2（'58—10）；9—1（'59—9）
フランス法における離婚扶養と損害賠償——判例を中心として
内山慶之進　青山法学論集　1—1/2（'59—11）
フランス民法典改正草案訳　<1, 2>
野田良之，山本柱一，関口晃，高橋康之　比較法雑誌　4—1/2（'58—6）；4—3/4（'59—5）
フランス民法における faute の概念
野田良之　我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）
フランス養子法改正予備草案について
山本正憲　民商法雑誌　37—2（'58—5）

其　の　他

スェーデン婚姻法
菅原勝伴　比較法研究　18（'59—4）
スンニー派の遺産相続——主としてハナフイー学派の相続人と相続分
遠峰四郎　法学研究　32—4（'59—4）
仏教・道教・回教系の婚姻法——インド婚姻・離婚法
神谷笑子　比較法研究　18（'59—4）
Cuba の変則婚——Eauiparacions による婚姻
不破勝敏夫　山口経済学雑誌　9—5（'59—2）

商　事　法

商　事　法　一　般

アメリカ商法学者のみた日本の商取引法
Braucher, R.　商事法務研究　153（'59—9）
各団体における商事法規をめぐる活動状況
商事法務研究　86（'58—1）
学界回顧　1958年——商法
服部栄三　法律時報　30—12（'58—12）
学界回顧　1959年——商法
古瀬村邦夫　法律時報　31—13（'59—12）
企業維持・取引の安全
伊沢孝平　綜合法学　1—2（'58—7）
企業主体の交替が企業に及ぼす影響——企業の相続
林　義雄　早稲田法学　35—3/4（'59—8）
企業所有権分解傾向に基く諸理論への反省
青木定行　法学研究（愛知）　1（'58—10）
企業の所有と経営の分離——企業の法人格
大野実雄　民商法雑誌　38—1（'58—10）
企業法論の任務と方法——商的色彩論と対比して
西原寛一　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
国際商事仲裁会議——国際会議の記録
阿川清道　商事法務研究　124（'59—1）
国際商事仲裁の制度と条約——新条約の内容と問題点
式田　敬　財政経済弘報　702（'58—7）
国際商法における総則的諸問題
岡本善八　同志社法学　10—3（'58—10）
商法——主要立法動向
上田明信　商事法務研究　124（'59—1）
商法改正の最近の動向——法制審議会商法部会の小委員会の活動
横田正俊　財経詳報　178（'58—7）
商法改正は如何に進められるべきか【鼎談】
原　安三郎，鈴木竹雄，吉田　昂　商事法務研究　86（'58—1）
商法学における方法的反省
小畑雄治郎　法学（近大）　7—2/4（'59—2）
商法再改正問題について
三戸岡道夫　東京株式懇話会会報　80（'58—4）
商法典廃止論——民法の商化
勝本正晃　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
商法における資産評価論
江口平治　企業会計　11—7（'59—6）
商法における商品
村井藤十郎　名城法学　8—4（'59—3）
商法における取引保護
升本喜兵衛　法学セミナー　25（'58—4）
商法における労務の位置
村井藤十郎　名城法学　7—4（'58—3）
商法の傾向と紛争の非訟化現象
大野実雄　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

商法の再改正について——改正問題の回顧と再検討 <1〜3完>
三戸岡道夫　財政経済弘報　686〜688 ('58—4)
商法の定義について——商法は企業に関する法であるとする説に対する疑問
豊田悌助　拓殖大学論集　18 ('58—10)
商法は改正されるか——名義貸し摘発の背景を衝く
法律新聞　104/105 ('58—8)
商法より経済法への推移
吉田諒吉　法政論叢　7 ('57—11)
戦後商法学会の動向
服部栄三　商事法務研究　124 ('59—1)
中小企業と会社形態——債権者は保護されているか
吉永栄助　ジュリスト　183 ('59—8)
法制審議会商法部会の審議について　<2>
上田明信　民事月報　13—11 ('58—11)
物としての企業　<1>
槇　悌次　民商法雑誌　38—5 ('59—2)
ラバー・スタンプ
大住達雄　法律時報　31—6 ('59—5)

商　法　総　則

禁反言則に関する二、三の随想
関根得夫　英米法学　9 ('58—4)
支配人
大野実雄　法学セミナー　38 ('59—5)
商業代理に関する一考察
加藤勝郎　山口経済雑誌　8—2 ('57—8)
商号
伊沢孝平　法学セミナー　37 ('59—4)
商法と企業会計原則
並木俊守　綜合法学　1—5 ('58—10)
商法における経営権
村井藤十郎　名城法学　8—3 ('58—12)
商法における競業の禁止
八木　弘　税経セミナー　29 ('59—1)
商法における人間と行為
朝川伸夫　綜合法学　1—1 ('58—6)
表見支配人——判例を中心として　<1, 2完>
岩本　慧　法学論集　7—4, 6 ('58—2, 3)
表見支配人をめぐる一試論——判例を中心として
塩田親文　民商法雑誌　39—4/6 ('59—4)
法外観の限界——商法第42条の問題性と生保支社長への適用
米谷隆三　小池隆一博士還暦記念論文集　('59—6)
法律における Estoppel の原理について——承前
阿多実秋　商大論叢（鹿児島商短大）　9 ('57—10)
名義貸与者の責任
高島正夫　小池隆一博士還暦記念論文集　('59—6)
Restraint of Trade の一研究
砂田卓士　勝本正晃先生還暦記念論文集　下 ('59—5)

会　社　法

会社法一般

外国会社に関する立法・判例の変遷　<1〜3完>
岡本善八　同志社法学　11—1〜3 ('59—6, 9, 11)
会社売ります
大住達雄　法律時報　31—2 ('59—2)
会社（企業）の法形態と経済形態
吉永栄助　一橋論叢　41—2 ('59—2)
会社再建のための諸種の法的手続について——附・会社再建のための諸手続一覧表
堀内　仁　商事法務研究　92 ('58—2)
会社の権利能力——目的による制限を中心として
石井照久　法学協会雑誌　76—2 ('59—12)
会社の独立性の限界
蓮井良憲　私法　19 ('58—4)
会社の独立性の限界——一人会社を中心として<1〜4完>
蓮井良憲　政経論叢（広島）7—3, 4 ('58—2, 4); 8—1, 3 ('58—6, 12)
会社の能力の目的による制限
林　義雄　綜合法学　1—4 ('58—9)
会社の負担に帰すべき設立費用
清水　新　法学研究　31—8 ('58—8)
会社の本店所在地の意義
米津昭子　法学研究　31—3 ('58—1)
会社の本店について
大隅健一郎　勝本正晃先生還暦記念論文集　上('59—4)
会社の乗取りの諸問題
中村　武　綜合法学　1—5 ('58—10)
会社法　<1〜8完>（通信講座）
水田耕一　民事研修　19〜26 ('58—11〜'59—6)
各種会社の社員地位（持分と株式）
大野実雄　法学セミナー　27 ('58—6)
株式会社資本の債権者保護的機能
吉田　昂　商事法務研究　116 ('58—10)
株式会社と仮処分制度　<1, 2完>
鴻　常夫　商事法務研究　126, 127 ('59—1, 2)
株式会社と訴訟
岸　幸喜　ジュリスト　148 ('58—2)
株式会社の機能について
遠藤湘吉　社会科学研究　10—5 ('59—3)
株式会社の財団化
高田源清　九州大学法学部創立30周年記念論文集　('57—12)
株式会社の成立と権利義務の帰属
大隅健一郎　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—3)
株式会社法改正の諸問題　<上, 中, 下>
庭山慶一郎　財経詳報　160, 164, 168 ('58—4, 5)
株式会社法改正の動向
中村　武　法学新報　66—1 ('59—1)
株式会社法改正をめぐる諸問題

法律公論　7—69 ('58—6)
株式会社法上の訴　<1, 2>
早川　登　名城法学　8—3 ('58—12); 8—4 ('59—3)
株式会社発起人の法律的概念について——英米会社法に関連して
米沢　明　法と政治　10—3 ('59—10)
関係会社とこれをめぐる法律関係について
林　修三　税経通信　12—12 ('57—11)
現物出資と財産引受（判例をたずねて）
野間　繁　綜合法学　16 ('59—11)
財産引受について
東　季彦　日本法学　25—3/5 ('59—10)
事実上の会社について
服部栄三　民商法雑誌　36—6 ('58—3)
所有と経営の論理的矛盾とその発展——私的所有の発展形態としての株式会社とその法理
富山康吉　立命館法学　29/30 ('59—9)
商法における権利濫用——特に株式会社法の領域において
西原寛一　法律時報　30—10 ('58—10)
全面監査（経済関係法の主要動向）
小田　寛　商事法務研究　86 ('58—1)
同族会社とは何か
大野実雄　綜合法学　2—1 ('59—1)
同族会社の生態
大野実雄　早稲田法学　34—3/4 ('59—3)
一人会社について
野津　務　日本法学　24—2 ('58—7)
米国統一株式譲渡法と日本の新株式会社法
千野国丸　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—3)
話題の会社判例——設立過程における財産引受契約の効力
松岡熊三郎　時の法令　297 ('58—11)

株　式

遺失株券の拾得
村岡二郎　商事法務研究　137 ('59—5)
親会社から株主への子会社の株式の移転
味村　治　商事法務研究　95 ('58—3)
額面株式と無額面株式
並木俊守　東博士古稀記念論文集　1 ('58—9)
株金払込請求権は譲渡することも差押えることもできる（聯合部判決巡歴）
我妻　栄　ジュリスト　153 ('58—5)
株券の研究　<1, 2>【研究会】
水田耕一, 河本一郎, 星野　孝　商事法務研究　142, 145 ('59—6, 7)
株券の除権判決の効力
小川善吉　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
株券発行前の株式譲渡の効力——最高裁新判決の紹介を中心として
永倉　勲　商事法務研究　125 ('59—1)
株式実務と商慣習　<1〜4完>
三戸岡道夫　財政経済弘報　700, 702, 704, 705 ('58—7, 8)
株式実務と判例——株券に関する最近の判例をめぐつて <1, 2完>
三戸岡道夫　財政経済弘報　770, 771 ('59—9)
株式譲渡
升本喜兵衛　法学セミナー　43 ('59—10)
株式譲渡方法論
小川善吉　民事研修　23 ('59—3)
株式と資本所有の論理的構造——株式債権論の検討と批判
富山康吉　民商法雑誌　39—4/6 ('59—4)
株式の意義と所謂社員権について
松木太郎　勝本正晃先生還暦記念論文集　上 ('59—4)
株式の質入に関する試論　<1, 2>
大沢　功　法学志林　56—4 ('59—3); 57—1 ('59—7)
株式の社債化
鴻　常夫　ジュリスト　150 ('58—3)
株式の発行価額について
境　一郎　私法　19 ('58—4)
株式の本質
林　義雄　綜合法学　17 ('59—12)
株式の名義書換の理論と実務
並木俊守　司法研修所創立10周年記念論文集　上 ('58—5)
株式配当
松岡熊三郎　綜合法学　1—7 ('58—12)
株式配当と無償交付
久保欣哉　商事法務研究　153 ('59—9)
株式配当と無償交付——その本質と立法上ならびに解釈上の若干の問題
久保欣哉　青山法学論集　1—1/2 ('59—11)
株式配当と無償交付の実質的異同とこれについての合理性について——続・商法293条の2と商法293条の3 ‖
久保欣哉　一橋論叢　40—4 ('58—10)
株式配当について
小畑秀男　経済学論究　12—4 ('59—1)
株式振替決済制度の法的構造
河本一郎　商事法務研究　106 ('58—7)
株式法改正試案と法定準備金
伊藤正一　産業経理　19—5 ('59—5)
株式申込証拠金領収証の紛失に対する処置と「失効の原則」に基く慣習
成富信夫　ジュリスト　147 ('58—2)
株主名簿上の株主と株式の所有者——株主名簿制度についての一試論
星野　孝　商事法務研究　114 ('58—9)
記名株券の除権判決について　<1, 2完>
等々力茂富　財政経済弘報　714, 715 ('58—9, 10)
記名株券の振替決済制度について
星野　孝　財経詳報　181 ('58—8)
公告方法の制限と実益
三東三司　ジュリスト　149 ('58—3)
再評価積立金の資本組入と新株発行
小山田正春　ジュリスト　181 ('59—7)
自己株式取得禁止の緩和——名義貸事件と立法的措置の必要

朝山豊三　財経詳報　179（'58—7）

自己株式取得の禁止とその違反
三戸岡道夫　産業経理　18—10（'58—10）

自己株式取得の背景——その経営経済的観点から考察
栗原敏夫　財政経済弘報　713（'58—9）

自己株式保有問題をめぐつて【鼎談】
小池厚之助，金子佐一郎，小暮和男　商事法務研究　124（'59—1）

自己株式の取得について
上田　宏　商事法務研究　111（'58—8）

自己株式の取得について
三戸岡道夫　法律時報　30—9（'58—9）

自己株式の保有について（会社法セミナー）
大隅健一郎，鈴木竹雄，松山静郎，三戸岡道夫，矢沢惇
吉岡二郎　ジュリスト　161（'58—9）

自己株取得問題はいかに解決すべきか——その打開策をめぐつて検討する【鼎談】
三戸岡道夫，小山田正春，三東三司　財政経済弘報　716（'58—10）

資本構成における題面額の疑義無額面株式との両建をめぐつて
布村勇二　九大法学　2（'57）

少数株主権について
星川長七　早稲田法学　33—3/4（'58—3）

常任代理人契約の実情とその問題点
石塚　豊　商事法務研究　114（'58—9）

新株の公募
三戸岡道夫　ジュリスト　188（'59—10）

新株発行の問題点
三戸岡道夫　ジュリスト　181（'59—7）

新株引受と有利発行
高島正夫　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

当面する株式実務上の諸問題
吉田　昂　商事法務研究　97（'58—4）

ひろつた株券
大住達雄　法律時報　31—4（'59—4）

無記名株券の必要性とその利用
上野襄治　財政経済弘報　724（'58—11）

名義書換代行の進展と株主地位
竹内敏夫　産業経理　18—7（'58—7）

名義書換代理人制度
江村　元　拓殖大学論集　19（'59—2）

名義書換代理人制度——委託会社側から
三東三司　ジュリスト　181（'59—7）

名義書換代理人制度——代理人の側から
三谷博二　ジュリスト　181（'59—7）

名義書換代理人制度について
竹内敏夫　私法　20（'58—10）

名義書換代理人制度の再検討【座談会】
吉田　昂，三谷博二，福永幸一，関根静一郎，牧野　淳
三戸岡道夫，玉利信吾，依田　章，増沢謙一，矢沢　惇
庭山慶一郎　商事法務研究　110（'58—8）

名義書換代理人について　＜1, 2完＞

三戸岡道夫　財政経済弘報　743, 744（'59—3）

名義書換代理人の諸問題
市原正七　三重法経　2（'54—3）

名義貸しと自社株の保有
高橋勝好　判例時報　170（'59—1）

名義貸と自己株の保有
時の法令　291（'58—9）

割当日と基準日
味村　治　商事法務研究　139（'59—6）

会社の機関

いわゆる株主総会決議無効確認の訴について——その形成訴訟的性格る中心として
松田二郎　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

瑕疵ある株主総会決議の処理
野間　繁　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

会社検査役について
山田弘之助　上智法学論集　1—1（'57—12）

会社の利害関係者に対する取締役の義務—— 商法第254条2項の解釈
中村一彦　富山大学紀要経済学部論集　14（'59—3）

株式会社重役の損害賠償責任
宗宮信次　日本法学　24—5（'58—12）

株式会社における業務執行機関論　＜2＞
宮島尚史　法律論叢　31—5（'58—2）

株主権の本質
稲垣　清　山梨学院法経研究　2—1

株主総会
大住達雄　法学セミナー　22（'58—1）

株主総会
並木俊守　法学セミナー　44（'59—11）

株主総会開催停止の仮処分
宮脇幸彦　商事法務研究　151（'59—9）

株主総会決議事項の登記をめぐる諸問題　＜1, 2完＞
黒木　学　商事法務研究　117, 118（'58—10, 11）

株主総会決議取消の訴と裁量権
上野　宏　法律のひろば　12—6（'59—6）

株主総会決議不存在確認の訴について
遠藤　誠　司法研修所報　22（'58—12）

株主総会と取締役との関係
稲垣　清　山梨学院法経研究　3—1

株主総会の決議の瑕疵と取締役
浜田一男　法政研究　25—2/4（'59—3）

株主の議決権の特異性
米津昭子　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

株主の議決権の排除
竜田　節　法学論叢　64—3（'58—8）

株主の共益権についての若干の考察
阪埜光男　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

株主の権利と義務について
阿多実秋　商大論叢（鹿児島商短大）　11（'58—10）

株主平等原則の再検討
中村一彦　富山大学紀要経済学部論集　13（'58—3）

議決権行使についての一考察
上田　宏　東北学院大学論集　31（'57—12）

議決権代理行使に関する若干の問題
松元　亘　商事法務研究　116（'58—10）

銀行監査役の職能について
小林春男　バンキング　132（'59—3）

経営権の担保性
坂本雄三　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—5）

商法第265条と手形行為
佐藤　繁　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

商法第265条と手形取引
大隅健一郎　金融法務事情　194（'59—1）

商法における取締役の職務執行停止の仮処分に関する若干の問題
山口幸五郎　甲南論集　6—6

総会決議取消の訴と訴の利益
中村貞一郎　商事法務研究　104（'58—6）

総会の決議取消の訴と訴の利益
三戸岡道夫　商事法務研究　96（'58—4）

代表訴訟の性格
野間　繁　法律論叢　32—5（'59—2）

代表訴訟の理論
野間　繁　綜合法学　2—3（'59—3）

代表取締役
服部栄三　法学セミナー　45（'59—12）

代表取締役でない業務担当取締役の存否
田中誠二　綜合法学　2—7（'59—7）

代表取締役の職務代行者の地位
山口幸五郎　民商法雑誌　38—3（'58—12）

代表取締役の代表権の限界
矢沢　惇　法学セミナー　30（'58—9）

登録機関その他——昭和34年の宿題
三戸岡道夫　ジュリスト　169（'59—1）

特別利害関係人議決権行使排除
菱田政宏　商経法論叢　10—1（'59—6）

取締役会社間の取引
小畑雄治郎　法学（近大）　6—4（'58—3）

取締役会と代表取締役の関係——株式会社における業務執行の決定と実行について　＜1, 2完＞
清水　新　財政経済弘報　712, 713（'58—9）

取締役会の権限と証券金融
岡村正人　同志社商学　10—1（'58—5）

取締役等の代表権に関する実証的研究　＜1, 2＞
正村芳三　商事法務研究　113, 115（'58—9）

取締役の株主に対する責任
中村一彦　商事法務研究　131（'59—3）

取締役の解任制度——所有と経営の分離現象を基礎として
中村一彦　信託　39（'59—6）

取締役の業務執行権——代表権のない取締役は執行権がないか
藤崎文造　東洋法学　3—2（'59—12）

取締役の就任及び退任の登記　＜1, 2＞
阿川清道　民事月報　13—1, 2（'58—1, 2）

取締役の責任解除について
竜田　節　商事法務研究　116（'58—10）

取締役の第三者に対する責任
佐藤　庸　私法　19（'58—4）

取締役の第三者に対する責任　＜1, 2＞
佐藤　庸　政治経済論叢　8—3, 4（'59—3, 4）

取締役の報酬
上田明信　商事法務研究　116（'58—10）

取締役の報酬の決定権者
中村一彦　富大経済論集　5—1（'59—8）

法人論——社員権論
服部栄三　私法　20（'58—10）

発起人の第三者に対する責任
佐藤　庸　政治経済論叢　9—2（'59—7）

役員報酬と役員賞与
大住達雄　法律時報　31—1（'59—1）

役付取締役論
正村芳三　法律のひろば　12—1（'59—1）

わが国株式金融にかんする取締役会の権限と現実
岡村正人　会計　75—5（'59—5）

会社の計算

会社計算における真実性の原則
忠　佐市　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

株式会社計算規定の改正【シンポジウム】
矢沢　惇，鈴木竹雄，吉永栄助，大隅健一郎，並木俊守
石井照久，中川一郎　私法　21（'59—10）

株式会社における財産の譲渡と出資
今井　宏　経済研究（大阪）　6（'58—3）

株式会社の会計規定の改正
並木俊守　時の法令　317（'59—6）

株式会社の資本とその充実
並木俊守　法学セミナー　31（'58—10）

株式会社法計算規定改正問題について　＜1, 2＞
味村　治　商事法務研究　120, 122（'58—11, 12）

株式会社法における会社資産拘束の観念——とくにフランス法上の配当可能利益確定問題を中心として考察
福岡博之　青山経済論集　10—4（'59—3）

企業会計制度——主要立法動向
小田　寛　商事法務研究　124（'59—1）

自己資本充実のための諸問題
庭山慶一郎　商事法務研究　124（'59—1）

資本概念の二重性——株式会社法上の「資本」の特殊性
久保欣哉　一橋論叢　42—1（'59—7）

準備金の資本組入と優先株
味村　治　登記研究　143（'59—10）

商法会計規定の改正問題——東京商工会議所商事法規委員会会計法小委員会の審議状況　＜上, 下＞
伊沢　実　財経詳報　190, 193（'58—9, 10）

商法会計規定は如何に改正されるべきか　＜1～4＞　【座

談会】
横田正俊，上田明信，鈴木竹雄，江村　稔，庭山慶一郎
大住達雄　財経詳報　200, 204, 205, 209（'58—11, 12）

商法の計算規定の改正
並木俊守　民商法雑誌　38—1（'58—10）

剰余金の資本組入——株式分割との関連において　<1, 2>
竹内昭夫　法学協会雑誌　75—5（'59—1）; 76—2（'59—12）

剰余金の資本組入について
竹内昭夫　私法　21（'59—10）

法制審議会商法部会の審議状況——会社の計算に関する規定の本格的検討開始
横田正俊　財経詳報　155（'58—3）

法定準備金及び再評価積立金の使途
吉川義弘　商学論叢　3—3（'58—10）

法定準備金について
清水　新　綜合法学　15（'59—10）

リベート
大住達雄　法律時報　31—13（'59—12）

利益金処分案の作り方
大住雄達　法律時報　31—9（'59—8）

社　　債

会社証券発行決意の分析
木村増三　一橋論叢　40—4（'58—10）

社債における根抵当権の順位の譲渡について
三崎正男　商事法務研究　98（'58—4）

社債の概念
佐々木良吉　日本法学　25—3/5（'59—10）

社債発行費用と商法および税法
金融法務事情　173（'58—5）

担保付社債の総額を分割発行した後，その一部を償還した場合の登記申請手続について
桜井正三郎　金融法務事情　216（'59—8）

転換社債
島本英夫　同志社法学　10—4（'59—2）

転換社債の発行に就いて
佐々木良吉　日本法学　24—3（'58—10）

転換証券について
北島忠男　明大商学論叢　42—4（'58—12）

定　　款

会社の定款
服部栄三　綜合法学　2—6（'59—6）

株式会社定款認証後における発起人の加入脱退について
宮地貞顕　自由と正義　10—1（'59—1）

定款変更の概念
清水　新　小池隆一博士還暦記念論文集　('59—6)

合　　併

会社合併の基本的性質
服部栄三　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

会社合併の独禁法上の取扱について
江夏美千穂　財経詳報　194（'58—10）

会社の合併
大隅健一郎　法学セミナー　42（'59—9）

会社の合併と自己株式の処理
大隅健一郎　商事法務研究　87（'58—1）

株式会社合併（吸収）の本質
品川　登　金沢大学法文学部論集法経編　6（'59—3）

ビジネストラストにおける有限責任の問題
福井　喬　島根大学論集社会科学　4（'58—2）

商　行　為　法

運送人の責任
戸田修三　綜合法学　2—2（'59—2）

運送品処分権の観念
村田治美　民商法雑誌　38—6（'59—3）

業務約款の公示の確保
高田源清　法政研究　26—1（'59—7）

倉荷証券の裏書と保管料支払債務の承継について
有田喜十郎　商学論究　22（'58—6）

商行為法の特別規定
野津　務　税経セミナー　26（'58—10）

商事売買と瑕疵担保責任
高島正夫　綜合法学　1—3（'58—8）

商法の対象と商行為の実体
岩本　慧　岩崎教授在職35周年記念論文集　('58—2)

匿名組合
野津　務　税経セミナー　27（'58—11）

判例からみた約款の拘束力とその回避
高田源清　法律時報　31—3（'59—3）

引渡証券のいわゆる「要因性」について
原島重義　法政研究　25—2/4（'59—3）

不正競業
豊崎光衛　法学セミナー　23（'58—2）

物品運送の法律関係
大隅健一郎　法学セミナー　30（'58—9）

約款と契約——契約観念の未成熟と約款の制度理論
戒能通孝　法律時報　31—3（'59—3）

約款の法律問題【座談会】
石井照久，矢沢　惇，星野英一，増田謙一　法律時報　31—3（'59—3）

約款法の理論
岩本　慧　綜合法学　1—7（'58—12）

我が商人制度における社会的価値の保護
野津　務　中央大学70周年記念論文集　('55—11)

保　　険　　法

火災保険契約の瑕疵と保険金請求権の質入又は譲渡の効力
柴田進一　バンキング　128（'58—11）

貨物海上保険普通保険約款の改正を論ず
中村　進　損害保険研究　20—4（'58—11）

改正普通保険約款の不遡及性と遡及の必要性——横の衡平保持と縦の秩序維持のために
青谷和夫　民商法雑誌　38—3（'58—12）

海上及び海上保険における火災の意義について
小町谷操三　法学志林　56—1（'58—7）

海上保険・因果律論——「海上保険契約法論への道」につづいて
瀬戸彌三次　損害保険研究　20—4（'58—11）

海上保険契約法論への道　<1, 2完>
瀬戸彌三次　損害保険研究　20—1, 2（'58—2, 5）

海上保険における事故招致の研究
小町谷操三　損害保険研究　20—4（'58—11）

海上保険における目的物の瑕疵等について
小町谷操三　損害保険研究　21—1（'59—2）

簡易生命保険の改正について
野田誠二郎　郵政　10—5（'58—5）

義務的責任保険と任意的責任保険
中西正明　経済論叢（香川）　32—3/5（'59—12）

原子力の平和利用に伴う私法上の問題——保険法を中心として
小町谷操三　法学志林　56—2（'58—11）

原子力保険について
安田火災原子力保険研究会　ジュリスト　158（'58—7）

原子力保険の現段階と原子力賠償責任保険約款について
長崎正造　ジュリスト　190（'59—11）

原子力保険の問題点
松本十郎　財経詳報　223（'59—3）

航空の賠償責任とその保険——我国における航空責任立法の手がかりとして
喜多川篤典　我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）

航空保険法に関する若干の問題点
吉田照雄　空法　3（'58—4）

債権保全火災保険と更生担保権の関係
朝川伸夫，崎田直次，高窪利一　法学新報　65—5（'58—5）

責任保険と被害者たる第三者
中西正明　私法　21（'59—10）

責任保険の発展とその止揚——損害賠償の社会化
伊沢孝平　我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）

責任保険の発展と被害者の保護
伊沢孝平　法学　22—1（'58—4）

賠償責任保険
栗谷啓三　ジュリスト　164（'58—10）

被保険利益を伴わない未必的保険金請求権の処分
田辺康平　福岡大学創立25周年記念論文集法学編　('59—10)

不特定期間保険たる火災保険契約
谷川　久　ジュリスト　153（'58—5）

保険
大住達雄　法学セミナー　24（'58—3）

保険医・外務員の法律上の地位
青谷和夫　法学新報　65—12（'58—12）

保険委付について　<1, 2完>
松波淮三郎　民商法雑誌　38—2, 3（'58—11, 12）

保険委付によつて移転する権利
大森忠夫　一橋論叢　39—2（'58—2）

保険外務員の不法行為と保険会社の損害賠償責任法
青谷和夫　法学新報　66—8（'59—8）

保険契約における告知義務
大森忠夫　法学セミナー　32（'58—11）

保険契約の対面的構造
服部栄三　法学　23—1（'59—3）

保険者の「危険負担」について
大森忠夫　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）

保険の目的の譲渡と火災保険
栗谷啓三　ジュリスト　151（'58—4）

保険法基礎概念に関する若干の考察
西島彌太郎　法と政治　9—2（'58—6）

保険法における因果関係
木村栄一　一橋論叢　41—2（'59—2）

保険法における Prima facie Beweis　<1, 2>
朝川伸夫　法学新報　66—11, 12（'59—11, 12）

放射線傷害と人保険契約
金沢　理　早稲田法学　35—1/2（'59—6）

民事責任の社会化と責任保険の役割
伊沢孝平　綜合法学　2—2（'59—2）

海　　商　　法

〔航空運送を含む〕

いわゆる至上命令としての船舶の安全について
西島彌太郎　神戸商船大学紀要文科論集　7（'59—2）

受取船荷証券　<上, 下>
山戸嘉一　海運　362, 363（'57—11, 12）

運送人船荷証券——国際海上物品運送法に関する一考察
桜井孝一　運輸と経済　19—5（'59—5）

海運同盟と海上運送法——同盟成立以来のいきさつと問題点および海上運送改正の構想を見る
沢　雄次　時の法令　291（'58—9）

海上運送貨物の損害と運送人の責任
浜谷源蔵　貿易クレームと仲裁　5—1（'58—1）

海上運送人の責任に関する若干考察
浜谷源蔵　貿易クレームと仲裁　5—3（'58—6）

海上運送法の一部改正について
沢　雄次　財政経済弘報　734（'59—1）

海上保険契約における危険変更の理論——殊に危険の変種との関係について
加藤由作　一橋論叢　41—2（'59—2）

海上保険契約に於ける戦争の効果
藤本幸太郎　明大商学論叢　42—3（'58—12）

海上保険発顕地考——海上保険法史の一断面　<1, 2>
寺田四郎　上智法学論集　2—1/2（'58—12）; 3—1（'59—4）

海上旅客運送条約案について
小町谷操三　法学志林　57—1（'59—7）

海上旅客運送約款の改正をめぐつて
住田俊一　海運　362（'57—11）

海商法の改正——特に免責約款の問題を中心として
戸田修三　綜合法学　1—4（'58—9）

海難救助の義務と報酬——人命救助を中心として
中村真澄　早稲田法学　35—1/2（'59—6）

共同海損における錨および錨鎖の切断・放棄について
熊谷林作　司法研修所報　22（'58—12）

共同海損理論の体系化について
石津　漣　国民経済雑誌　97—5（'58—5）

小型船海運組合法について
富田竜彦　海事研究　32（'58—1）

航海船の所有者の責任の制限に関する国際条約の研究　<1, 2完>
小町谷操三　法学新報　65—6, 7（'58—6, 7）

航空運送契約法の問題点
矢沢　惇　法律時報　30—8（'58—8）

航空運送人の責任に関する一考察——航空運送人の故意，重過失
高田桂一　法政研究　26—2（'59—12）

航空運送約款法の諸問題
池田文雄　法律時報　31—3（'59—3）

国際海上物品運送法と Trade Terms
中井省三　神戸外大論叢　8—3（'58—1）

国際海上物品運送法における船荷証券の債権的効力について
谷川　久　法律時報　30—8（'58—8）

国際海上物品運送法に関する若干の覚書
寺田洋三郎　海運　365（'58—2）

国際海上物品運送法について
鴻　常夫　海事研究　32（'58—1）

国際海上物品運送法の制定とそれが港湾経済に及ぼす影響について
有田喜十郎　商学論究　19（'57—9）

国際統一法条約予備草案と代理に関する法律問題の実際面について
倉田寛吉　貿易クレームと仲裁　4—6（'57—12）；5—1（'58—1）

船長の在船義務と雇入契約の公認
山根正美　海上保安大学校研究報告　33年度（'59—3）

船舶所有の責任
西島彌太郎　法学セミナー　33（'58—12）

船舶における火災と海上運送人の責任
中村真澄　早稲田法学　34—1/2（'58—9）

船舶の延払輸出における債権確保の諸問題　<4〜6完>
中井善夫　海運　364, 367, 368（'58—1, 4, 5）

船舶不堪航の意義
加藤由作　損害保険研究　19—2（'57—5）

船舶保険契約における船舶堪航性の意義
横山藤雄　損害保険研究　20—1（'58—2）

双方過失による船舶の衝突
鴻　常夫　我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）

損害防止費用と共同海損——保険関係の本質との関連において
大野栄三　産業経済研究　17（'59—8）

堪航能力に関する注意義務と法定免責との関係　<3>
戸田修三　法学新報　65—4（'58—4）

積荷の共同海損額の決定
石津　漣　海運　371（'58—8）

積荷保険証券を中心とする若干の問題
西島彌太郎　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

デマレージの研究——スカンディナビヤ法に焦点をあてつつ
寺田洋三郎　海運　371（'58—8）

二種の運送給付請求権
村田治美　商大論集（神戸）　26（'58—9）

船荷証券
池垣定太郎　綜合法学　17（'59—12）

船主の責任制限に関する条約その他
小町谷操三　法学新報　65—3（'58—3）

船主有限責任条約——ブラッセルにおける海事法に関する外交会議についての報告
上田明信　商事法務研究　103（'58—6）

保険金請求権の質入に就て——船舶保険金請求権を中心にして
則武昌和　損害保険研究　19—1（'57—2）

密航者に関す条約の研究
小町谷操三　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

無故障船荷証券発行のための補償状と運送人の責任
浜谷源蔵　貿易クレームと仲裁　5—4（'58—8）

無留保船荷証券と補償状の効力——解釈論と政策論の紛淆に対する反省
戸田修三　海法会誌　6（'58—7）

無留保船荷証券について
忽那隆治　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

傭機等の場合の国際航空運送人の責任——ＩＣＡＯ第11回法律委員会の東京条約案について
矢沢　惇　空法　3（'58—4）

離路約款（Deviation Clauae）に関する覚え書
戸田修三　ジュリスト　173（'59—3）

Perils of the Seas の概念
今村　有　福岡大学創立25周年記念論文集法学論（'59—10）

有　価　証　券　法

受戻裏書人の地位に関する若干の問題
藤井昭治　経済理論　48（'59—3）

受戻権喪失について
南谷文一　中京大学論叢　5—1（'58—6）

記名証券について
矢部克己　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）

偽造小切手の支払
小橋一郎　ジュリスト　176（'59—4）

京都地裁判決の問題とその解説（手形割引）
平峯　隆　金融法務事情　163（'58—1）

銀行取引を中心とした手形の各種分類
山岸幸雄　金融法務事情　210（'59—6）

小切手の受入と預金の成立
河本一郎　ジュリスト　176（'59—4）

事前授権小切手による保険料徴収制度
岩崎　稜　バンキング　115（'57—10）

失権当時小切手を所持せずもしくは除権判決を得ていなかつた者と利得償還請求権の有無
北村良一　ジュリスト　184（'59—8）

商法における白地規定（Blanko＝gesetz）について
阿多実秋　商大論叢（鹿児島商短大）　10（'58—1）

証券小切手制度に関する一考察
吉田　昺　商事法務研究　107（'58—7）

白地手形についての若干の考察
谷川　久　商事法務研究　116（'58—10）

白地手形の補充権濫用と有価証券虚偽記入罪の成否
由比宏忠　山梨大学学芸学部研究報告　9（'58—2）

新判決に対する批判——買戻請求権による相殺は遡及効により国の差押に対抗し得る
小山省三　金融法務事情　163（'58—1）

設立計画中の会社の代表資格をもつてした売買契約の効力——手形法８条と民法117条の関係
米津昭子　財政経済弘報　678（'58—2）

他人の名の下にする行為——手形偽造の追認と関連して
小橋一郎　民商法雑誌　36—4（'58—1）

第三者支払手形について
大隅健一郎　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）

手形書替に於ける延期の考察
坂口重正　バンキング　138（'59—9）

手形書換の方式とその効果——手形書換に関する一管見
高橋勝好　金融法務事情　190, 191（'58—11）

手形行為独立の原則と約束手形の共同振出人の責任
井上勝馬　バンキング　139（'59—10）

手形交換の法律問題
岡野哲二　バンキング　124（'58—7）

手形抗弁
砂田卓士　法学セミナー　34（'59—1）

手形債権行使の要件としての手形呈示に関する若干の疑問——催告，相殺と手形呈示の要旨
長谷部茂吉　法律のひろば　12—11（'59—11）

手形債権と既存債権について——実務を中心とした若干の考察について
並木俊守　手形研究　2—11（'58—11）

手形債権による訴訟上の相殺
村松俊夫　金融法務事情　180（'58—7）

手形債権を自動債権とする相殺と手形交付の要否
河本一郎　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

手形債権を自動債権とする相殺と手形の呈示
上田啓次　バンキング　137（'59—8）

手形債務の代位弁済にともなう期限後裏書における法律関係——最近の大阪高裁の判決に関連して
平峯　隆　金融法務事情　219（'59—9）

手形証券の流通性を中心とする意思表示規定の解釈
木村　暎　高崎経済大学論集　1—1（'59—3）

手形善意取得問題序説
藤井昭治　経済理論　53（'59—9）

手形の裏書と株券の裏書
河本一郎　商事法務研究　137（'59—5）

手形の裏書について
鍵山三郎　手形研究　2—3（'58—3）

手形の書替の本質について
安田　実　司法研修所報　23（'59—7）

手形の双方代理について
秋元君元　手形研究　2—3（'58—3）

手形の表面に複数の署名ある約束手形と手形交換上の取扱
水田耕一　金融法務事情　169（'58—3）

手形法上いわゆる悪意の抗弁——グスタフ・シュタンツルの所論を基点として
高窪利一　私法　20（'58—10）

手形法第８条による自称代理人の帰責要件
藤井昭治　経済理論　37（'57—　）

手形法における悪意・重過失
岡島吉昭　法と政治　10—1（'59—3）

手形法における悪意の抗弁
河本一郎　民商法雑誌　36—4（'58—1）

手形割引の法的性格とその理論構成への反省
西原寛一　金融法務事情　163（'58—1）

手形割引の法律的性質——商慣習によつて形成される一種の無名契約
村本　晃　金融法務事情　163（'58—1）

手形割引論——手形取引における手形の役割からみた一考察
水田耕一　金融法務事情　163（'58—1）

トェールと無記名証券
小橋一郎　阪大法学　28（'58—10）

荷為替手形条件の慣習
石田貞夫　商経法論叢　8—3（'58—2）

荷為替手形担物保管証の法理
浜田一男　九州大学法学部創立30周年記念論文集（'57—12）

被用者の手形偽造行為と使用者の責任——新判決の紹介と批判　<3>
高橋勝好　財経詳報　146（'58—2）

引渡証券のいわゆる「要因性」について
原島重義　法政研究　25—2/4（'59—3）

表見代理の成立する場合と無権代理人の手形法８条の責任の有無
上田　宏　商事法務研究　136（'59—4）

不渡処分制度の変遷とその考察
大橋忠太郎　金融法務事情　189（'58—10）

不渡手形
鴻　常夫　法学セミナー　36（'59—3）

マニークの意思表示理論
小橋一郎　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）

無権限代署者の手形上の責任
伊沢孝平　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

約束手形における振出人の特定——その附記地との関係における　<1, 2完>
田畑喜与英　判例タイムズ　10—9, 10 ('59—9, 10)
約束手形の複数の署名者に対する不渡処分について
大橋忠太郎　金融法務事情　193 ('58—12)
有価証券
上柳克郎　法学セミナー　22 ('58—1)
有価証券（実社会のための商法）
大住達雄　法学セミナー　23 ('58—2)
有価証券における権利と資格
升本喜兵衛　綜合法学　2—5 ('59—5)
有価証券に関する所有権理論について
服部栄三　手形研究　25 ('59—10)
有価証券の概念と種類
小橋一郎　商事法務研究　137 ('59—5)
有価証券の概念と証券の流通性
西原寛一　法学雑誌　4—3/4 ('58—3)
有価証券振替決済制度
星野　孝　ジュリスト　181 ('59—7)

商　事　特　別　法

コルレス
大住達雄　法律時報　31—8 ('59—7)
独占禁止法と中央卸売市場法
内田徳右衛門　財政経済弘報　776 ('59—10)
不当な監査証明をめぐる会計士の法的責任
日下部与市　早稲田商学　131 ('57—11)

証券取引法

株券振替制度について
中村俊介　商事法務研究　123 ('58—12)
証券取引におけるバイカイ——わが国証券取引所の奇観
藤田国之助　商事法務研究　93 ('58—3)
証券取引の基本問題——証券取引審議会の議題をめぐつて
高橋寿男　財経詳報　266 ('59—10)
証券取引法施行後の運営の状況
堀川正彦　時の法令　305 ('59—2)
証券取引法上の問題としての株式の買占
藤田国之助　財政経済弘報　708 ('58—8)
証券取引法第189条の研究
松元　亘　一橋研究　39—6 ('58—6)
証券取引法の改正　<1〜3>
証券　125〜127 ('59—10〜12)
相場操縦の禁止について
松元　亘　法学研究（一橋）　2 ('59—3)
投信分離をめぐる諸問題
松井直行　財経詳報　239 ('59—5)

資本充実・資本組入法

改正組入法の実施おめぐる諸問題【座談会】
庭山慶一郎，味村　治，三東三司，正村賢一　財経詳報　229 ('59—4)
企業資本充実法及び資本組入法の改正法律案解説
立川宗正　財経詳報　219 ('59—2)
企業資本充実法及び同法施行令の改正について
久我　弘　財政経済弘報　742 ('59—3)
企業資本充実法の改正について
久我　弘　税経通信　14—2 ('59—2)
再評価積立金資本組入促進措置の内容
野本　実　商事法務研究　128 ('59—2)
再評価積立金資本組入法施行に伴う実務上の問題点
吉田　昂　商事法務研究　132 ('59—3)
資本組入法改正案による無償交付手続とその問題点
竹中正明　財経詳報　220 ('59—2)
資本組入法の改正とその問題点
三戸岡道夫　ジュリスト　175 ('59—4)
資本組入法の改正について
立川宗正　財政経済弘報　743 ('59—3)
資本充実法および資本組入法の改正について
野本　実　税経通信　14—4 ('59—4)
資本充実法と資本組入法の改正
久我　弘　財政経済弘報　734 ('59—1)

外　国　商　事　法

諸　　国

諸外国における社債立法の発展
鴻　常夫　ジュリスト　149 ('58—3)

アメリカ

アメリカ会社法に於ける株式買取請求権制度
深見芳文　法学論叢　64—5 ('58—12)
アメリカ商法の現代化——その立法過程
Braucher, R.　ジュリスト　185 ('59—9)
アメリカ社債法における爾後取得財産条項——将来取得する財産を目的とする譲渡抵当
藤井俊雄　岡山大学創立10周年記念論文集 上('59—10)
アメリカ社債法における受託会社の地位
藤井俊雄　法経学会雑誌　27 ('58—12)
アメリカ統一商法典訳　<7, 8>
八木　弘　神戸法学雑誌　7—4('58—3)；8—1('58—7)
アメリカ法における裏書偽造——日本手形小切手法との比較において
高窪利一　英米法学　10 ('59—4)
アメリカ法に於ける株式買取請求権上の株式評価
和庭一清　金沢大学法文学部論集法経篇　5 ('58—2)
ウィリアム著「取締役選挙のための累積投票」【紹介】
後藤　実　経済論叢（香川）　31—3 ('58—9)
海運業の二重運賃制に関するアメリカの新判例
実方謙二　ジュリスト　163 ('58—10)
議決権信託制度について
島本英夫　綜合法学　2—6 ('59—6)
協会積荷約款及び協会ストライキ約款の改訂
谷川　久　ジュリスト　149 ('58—3)

契約運賃制に対する米国最高裁判所の判決
経済法律時報　6—2 ('58—10)
支配株式の売却——Perlman V. Feldman を中心として
北沢正啓　商事法務研究　130 ('59—2)

イ　ギ　リ　ス

イギリス会社法正文　<1, 2>
喜多了祐　商学討究　9—1 ('58—7)；9—4 ('59—3)
イギリス会社法における近代的発展の傾向とその特徴
池島宏幸　法経論集（静岡）　8 ('59—11)
イギリス会社法における定款
武市春男　中京大学論叢　5—3 ('58—　)
イギリス株式会社の構造的特質について
野田正穂　経済志林　27—2 ('59—4)
イギリス社債法における管財人
植村啓次郎　法経論集（佐賀）　7—1/2 ('59—12)
イギリス法における株主総会——少数株主の保護と関連して
蓮井良憲　政経論叢（広島）　9—2 ('59—9)
英国会社法における商号制度
小畑秀男　経済学論究　11—4 ('58—1)
英国私会社制度の研究——特例私会社（Exempt Private Company）を中心として
星川長七　早稲田大学比較法研究所紀要　9 ('59)
英国における会社企業の生成とその法規整
星川長七　早稲田法学　34—3/4 ('59—3)
英国における会社企業の生成とその法規整——Regulated Company（制規組合）論
星川長七　早稲田法学　35—1/2 ('59—6)
英国における期間傭船契約の法理　<16, 17>
窪田　宏　海運　365, 367 ('58—2, 4)
英国物品売買法
上坂酉三　早稲田商学　134 ('58—5)
英国法における海上財産上の Liens について
小島　孝　海法会誌　6 ('58—7)
英米会社法における有限責任の発展　<2>
本間輝雄　経済理論　40 ('57—11)
英米株式会社法の相異点——Gower 教授の論文の紹介
北沢正啓　商事法務研究　153 ('59—9)
英米法における議決権の代理行使制度　<2完>
藤井俊雄　法経学会雑誌　24 ('58—3)
英米法におけるグッドウイルの取扱について
三和一博　金融法務事情　179 ('58—7)
英法に於ける海上危険（Maritime perils）の本質
今村　有　法学論叢（福岡）　3—1 ('58—4)
外国仲裁判断の承認および執行——附・英国仲裁法
倉地圭二　財経詳報　270 ('59—10)
近代英国株式会社形成史論　<1〜4>
宮崎犀一　政経論叢（国学院）5—3, 4 ('57—2, 3)；6—1 ('57—7)；6—3 ('58—3)
少数株主の保護
蓮井良憲　政経論叢（広島）　8—4 ('59—3)
19世紀における英国会社法の会計規定　<1>
稲垣富士男　経商論纂　81 ('58—9)

イ　タ　リ　ア

イタリア株式会社の賃借対照表規定
山本忠平　横浜大学論叢　10—2 ('59—3)
イタリア航行法典——その形成過程の研究
窪田　宏　神戸法学雑誌　8—3 ('58—12)
イタリアの船舶保険証券
窪田　宏　神戸法学雑誌　8—4 ('59—3)

ド　イ　ツ

ガウア著「現代会社法原論」
喜多了祐　一橋論叢　40—4 ('58—10)
西独における株式会社法改正の動向——企業結合の問題について　<1〜5完>
横田正俊　財経詳報　275, 277, 280, 281, 283 ('59—11, 12)
1949年以降におけるドイツ連邦共和国商事立法の発展
福井　喬　島根大学論集社会科学　5 ('59—2)
ドイツ株式会社法成立過程における法人理論の意義——夜明け前
岩崎　稜　経済論叢（香川）　32—3/5 ('59—12)
ドイツにおける寄託議決権制度について
保住昭一　明治大学法制研究所紀要　2 ('59—9)
ドイツの株式法改正草案について
服部栄三　商事法務研究　153 ('59—9)
ドイツの計算小切手
小橋一郎　商事法務研究　116 ('58—10)
西ドイツ株式法草案と会社機関構成　<1〜3完>
竹内敏夫　財政経済弘報　783, 785, 788 ('59—11, 12)
西ドイツの信用組織に関する法律案　1959年
調査月報（大蔵省）　48—9 ('59—9)
フレヒトハイムの責任保険請求権論　<2完>
中西正明　経済論叢（香川）　30—5 ('58—1)
ヤコビの権利表見説
西本辰之助　綜合法学　2—5 ('59—5)
ユリウス・フオン・ギールケ「独逸資本投資会社法」
堀部靖雄　法経論集（佐賀）　6—1/2 ('59—3)
利得償還請求権に関するドイツの一判例
上柳克郎　民商法雑誌　36—6 ('58—3)

フ　ラ　ン　ス

資本多数決の濫用とフランス法
竜田　節　法学論叢　66—1 ('59—10)
フランス為替手形法における Provision に関する一問題
藤井昭治　経済理論　44 ('58—7)
フランス専門会計士法について
青木　修　名城商学　7—1 ('57—　)
フランスにおける営業の売買法について——中小企業のための
古田竜夫　福岡大学創立25周年記念論文集法学編　('59—10)
フランスにおける営利組合と非営利社団について——フランス企業法と団体法の一考案　<3完>
山本桂一　法学協会雑誌　75—6 ('59—3)

フランスにおける責任保険成立過程および被害者の直接請求権　<1〜4完>
岩崎　稜　経済論叢（香川）31—1〜4（'58—5, 7, 9, 11）

フランスにおける附合契約理論の素描
山本桂一　法律時報　31—3（'59—3）

フランスにおける保険代理店の法的地位について
仙元隆一郎　経済理論　53（'59—9）

フランス法に於ける自己株式の取得
田中　昭　大阪経大論集　21（'57—11）

フィリピン

フィリッピン法における株式会社の企業資本と株式
宮川茂夫　アカデミア　20（'58—1）

刑　事　法

刑事法一般

学界回顧　1958年——刑法
大塚　仁　法律時報　30—12（'58—12）

学界回顧　1959年——刑法
大塚　仁　法律時報　31—13（'59—12）

学説の機能——刑法学の場合（通説の法社会学的考察）
平野竜一　法律時報　31—8（'59—7）

刑法学者 Feuerbach
滝川幸辰　法学論叢　65—1（'59—4）

刑法典は革命されておる
正木　亮　綜合法学　2—7（'59—7）

刑法と社会保障
市川秀雄　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

刑法と人情
佐伯千仞　法学セミナー　38（'59—5）

刑法における厳しさと愛しさと
市川秀雄　法学新報　66—6（'59—6）

刑法における理論の役割
西村克彦　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

刑法の原理
宮崎澄夫　綜合法学　1—2（'58—7）

刑法の諸機能の具体的定立
青柳文雄　法曹時報　11—3（'59—3）

最近における刑事立法の動向
佐々木哲蔵　法律時報　30—6（'58—6）

市民法としての刑法から社会法としての刑法へ<1〜5完>
市川秀雄　季刊刑政　6—1〜3（'58—3, 6, 9）; 7—2, 3（'59—6, 9）

スコラ的存在論を方法とする刑法学の先駆とその現代的意義
一ノ瀬長治　上智法学論集　1—1（'57—12）

世界人権宣言と刑事法——新人権宣言の採択10年の記念祭に寄せる
市川秀雄　綜合法学　1—6（'58—11）

聖トマス・アクィナスの刑罰思想
金沢文雄　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

第7回国際刑法会議出席報告
検察月報　107（'58—3）

亡き教皇ピオ十二世の説く国際刑法の根本思想
一ノ瀬長治　上智法学論集　2—1/2（'58—12）

比較刑法学の任務と方法
安平政吉　青山法学論集　1—1/2（'59—11）

ヒッペル・フランク等の刑罰法規即規範説
竹田直平　法学（近大）　6—4（'58—3）

ヘーゲル刑罰理論の本質　<1>
木村慎造　フィロソフィア　34（'58—6）

法心理学的刑法観　<1, 2完>
西村克彦　判例タイムズ　9—6, 7（'58—6, 7）

問題と文献——いわゆる実務刑法　<上, 下>
牧野英一　季刊刑政　7—3, 4（'59—9, 12）

わが刑法学の最近の傾向
平場安治　書斉の窓　61（'58—11）

沖縄刑法

〔戦時国際法「沖縄問題」をも見よ〕

沖縄新集成刑法
大竹武七郎　自由と正義　10—10（'59—10）

沖縄新集成刑法全文
法律時報　31—8（'59—7）

沖縄新集成刑法の問題点
大塚喜一郎　警察学論集　12—10（'59—10）

沖縄新集成刑法の問題点
吉川経夫　法律時報　31—9（'59—8）

沖縄新死刑法とのたたかい
大城勇一　前衛　158（'59—9）

驚くべき戦時刑法への逆行
大野正男　世界　165（'59—9）

改正刑法「スパイ罪」に論議集中
清宮　竜　世界週報　40—24（'59—6）

死刑法と沖縄奪還の闘い
高安重正　前衛　156（'59—7）

1959年5月13日琉球列島米国民政府高等弁務官布令第22号（沖縄新刑法）の性格
検察月報　123（'59—8）

祖国に訴える
瀬長亀次郎　世界　164（'59—8）

ひきさかれた沖縄——日本を外国だという沖縄新刑法
霜多正次　世界　164（'59—8）

布令刑法と住民の人権（沖縄における法と自由）
金城秀三　法律時報　31—11（'59—10）

琉球列島刑法の研究報告書
自由と正義　10—10（'59—10）

刑法総論

刑法総論一般

いわゆる限時法に関する四つの考え方——東京高等裁判所の四つの相異なつた判決に関連して
八木　胖　法律のひろば　12—4（'59—4）

軽い刑法の遡及
竹田直平　法学セミナー　37（'59—4）

木村亀二「刑法総論」【書評】
福田　平　法律時報　31—8（'59—9）

刑法と刑事訴訟法における遡及の意義
柏木千秋　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

刑法における政治性の介入——罪刑法定主義を基点として
福田　平　ジュリスト　169（'59—1）

限時法
八木　胖　法学セミナー　25（'58—4）

現代刑法理論（目的的行為論）と民法における違法・責任理論
藪　重夫　私法　20（'58—10）

犯罪論の近代的展開
香川達夫　金沢法学　4—1（'58—5）

マグナ・カルタと罪刑法定主義　<2〜4完>
大野真義　阪大法学　27（'58—7）; 32, 33('59—10, 12）

民事法規の改正と刑の変更（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　29（'58—8）

類推についての小論——その現代的課題　<上, 中, 下>
夏目文雄　法律のひろば　12—3, 4, 6（'59—3, 4, 6）

構成要件該当性

新しい犯罪主観について
久礼田益喜　綜合法学　1—4（'58—9）

因果関係の中断
金沢文雄　法学セミナー　43（'59—10）

ウェルツェルの構成要件理論　<2>
中　義勝　法学論集　7—4（'58—2）

客観的可罰条件論とその批判　<1>
中村晥兆　法律論叢　33—4（'59—12）

過失犯と目的行為論
井上正治　法律のひろば　12—8（'59—8）

過失犯の判例と批判　<11〜21完>
井上正治　警察研究　29—1〜4, 6, 8〜12（'58—1〜4, 6, 8〜12）; 30—1（'59—1）

カール・エンギッシュ「正当化事由における構成要件の錯誤と禁止の錯誤」【紹介】
中　義勝　法学論集　9—1（'59—9）

刑法的規範の客観的拘束と主観的拘束
竹田直平　法学新報　66—6（'59—6）

刑法と因果関係　<1, 2>
西村克彦　警察研究　30—7, 9（'59—7, 9）

刑法における行為能力と責任能力
中　義勝　岩崎教授在職35周年記念論文集　('58—2)

原因において自由な行為（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　25（'58—4）

結果的加重犯と判例
斎藤金作　綜合法学　2—2（'59—2）

故意過失に共通の基盤としての因果関係の事前認識
竹田直平　法学（近大）　7—2/4（'59—2）

故意犯・過失犯——道路交通取締法の解釈上の疑問を契機として
正田満三郎　警察研究　29—1（'58—1）

故意犯と原因において自由な行為
小野清一郎　法学研究（愛知）　1（'58—10）

行為の段階
吉田常次郎　法学新報　66—5（'59—5）

構成要件の事実性と価値性
久礼田益喜　上智法学論集　1—1（'57—12）

主観主義犯罪論の行為論批判——主観主義の基本的態度及び体系的結論と行為論間の矛盾
菊本治男　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）

主観的犯罪構成要素としての故意　<1>
木村静子　法学論叢　64—2（'58—6）

消極的構成要素の理論——その理論史的研究　<1〜3>
中　義勝　法学論集　8—4（'58—12）; 8—5, 6（'59—2, 3）

犯罪構成要件
下村康正　綜合法学　1—3（'58—8）

犯罪における方法手段の刑法的意味
秋山哲治　綜合法学　1—2（'58—7）

犯罪理論の体系的構成
安平政吉　法学新報　66—5（'59—5）

犯罪論における行為概念の存在論的構成
沢登佳人　中京大学論叢　5—1（'58—6）

評価規範と決定規範
竹田直平　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

不作為犯，過失犯における刑法の保障的機能
青柳文雄　法学研究　32—6（'59—6）

不真正不作為犯と作為義務
中谷瑾子　綜合法学　1—6（'58—11）

不真正不作為犯の実証的研究　<1〜3完>
畔柳桑太郎　判例タイムズ　10—9, 10, 12（'59—9, 10, 12）

法における因果関係　<1〜4完>
西村克彦　判例タイムズ　9—2〜5（'58—2〜5）

目的行為概念
滝川幸辰　法学新報　66—5（'59—5）

目的的行為理論の法思想史的考察　<1, 2>
内藤　謙　刑法雑誌　9—1, 2（'58—5, 12）

ラードブルッフの行為論——刑法における行為概念の史的展開
下村康正　中央大学70周年記念論文集　('55—11)
レクシャス「行為論」 <3>
天野和夫　立命館法学　24 ('58—3)

違　法　性

安楽死事件（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　23 ('58—2)
違法状態——対物防衛との関連において
高橋敏雄　法学雑誌　5—3 ('59—1)
違法性阻却の基準 【討論】
神山欣治，藤本英雄，木村清司　日労研資料　12—19 ('59—7)
違法性に関する過失考
下村康正　ジュリスト　177 ('59—5)
緊急行為の構造
平場安治　木村博士還暦祝賀記念論文集　上 ('58—7)
近世における緊急避難論
森下　忠　法経学会雑誌　26 ('58—9)
近代における緊急避難論
森下　忠　法経学会雑誌　27 ('58—12)
刑法における「義務の衝突」——違法性の問題を中心として <1, 2>
阿部純二　法学　22—2 ('58—7)；22—4 ('59—1)
権利の行使と犯罪
森下　忠　法学セミナー　35 ('59—2)
財産罪における違法性の問題
阿部純二　東北法学会雑誌　9 ('59—11)
自救行為
高橋敏雄　木村博士還暦祝賀記念論文集　上 ('58—7)
自救行為に関する覚え書
鈴木義男　警察学論集　12—10 ('59—10)
情状と違法性に関する一考察
秋山哲治　法学新報　66—5 ('59—5)
超法規的違法阻却事由
八木　胖　木村博士還暦祝賀記念論文集　上 ('58—7)
超法規的緊急避難
森下　忠　木村博士還暦祝賀記念論文集　上 ('58—7)
超法規的正当化原理の批判的考察
木村亀二　法学新報　66—6 ('59—6)
ヘレン•シルヴイング「安楽死比較刑法的研究」訳 <2完>
西村克彦　法経学会雑誌　24 ('58—3)
許された危険
西村克彦　警察研究　30—11 ('59—11)

責　　任

違法の認識と責任要素
安平政吉　木村博士還暦祝賀記念論文集　上 ('58—7)
因果関係の錯誤
福田　平　法学セミナー　38 ('59—5)
期待可能性と未遂の教唆——戸高公判判決の問題点
田中政義　法律新聞　106/107 ('58—8)
期待可能性の適用
滝川春雄　法律のひろば　11—10 ('58—10)
期待可能性の理論をめぐる最近の判例について
吉川経夫　判例評論　15 ('58—11)
期待可能性論の運用と体系的地位と機能
八木国之　木村博士還暦祝賀記念論文集　上 ('58—7)
期待可能性理論の動向——戸高事件の判決を契機として
吉川経夫　法律のひろば　11—10 ('58—10)
期待可能性理論の実践的評価——不法監禁，暴力行為等処罰に関する法律違反被告事件の最高裁第3小法廷判決について
青柳文雄　法律のひろば　12—1 ('59—1)
期待不可能性論の批判的考察
八木国之　法学新報　66—10 ('59—10)
規範的責任の法律性，社会性および倫理性 <1, 2>
久礼田益喜　法律論叢　32—6 ('59—4)；33—1 ('59—7)
行政犯と期待可能性理論
司波　実　法律のひろば　11—10 ('58—10)
刑法における錯誤——アメリカと日本との比較的研究 <1〜5完>
長島　敦　警察研究　30—2, 4〜6, 8 ('59—2, 4〜6, 8)
刑事責任と比較してみた不法行為責任論
山中康雄　我妻先生還暦記念論文集　上 ('57—12)
原因において自由な行為——特に酩酊による犯行について
小野清一郎　綜合法学　1—1 ('58—6)
拘束的違法命令による行為
大谷英一　法学セミナー　45 ('59—12)
錯誤における故意阻却の範囲
中谷瑾子　綜合法学　15 ('59—10)
事実の錯誤と法律の錯誤の区別
荘子邦雄　法学セミナー　27 ('58—6)
事実の錯誤について
植田重正　綜合法学　1—7 ('58—12)
新道義的責任の構成
久礼田益喜　法学新報　66—5 ('59—5)
責任能力をめぐる医学と法学の境界問題
植松　正　犯罪学雑誌　24—1 ('58—2)
相当の理由ある法律の錯誤
木村亀二　法学セミナー　35 ('59—2)
打撃の錯誤（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　41 ('59—8)
超法規的責任阻却原因
佐伯千仞　法律のひろば　11—10 ('58—10)
戸高事件と期待可能性
佐伯千仞　法学セミナー　32 ('58—11)
福田助教授「正当化事由に関する錯誤の問題」【紹介】
中　義勝　法学論集　8—3 ('58—11)
酩酊者に対する立法措置概説
植松　正　刑法雑誌　9—3/4 ('59—6)
酩酊者に対する立法措置試案
久礼田益喜，本田正義，西村克彦　刑法雑誌　9—3/4 ('59—6)

酩酊状態における殺人事件（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　33 ('58—12)
酩酊——その犯罪学と刑事責任 【座談会】
本田正義，中野次雄，樋口幸吉，平野竜一，鈴木義男　法律のひろば　11—8 ('58—8)
酩酊と犯行
出射義夫　判例時報　139 ('58—2)
酩酊犯罪対策としての立法問題
鈴木義男　法律時報　31—11 ('59—10)
目的行為論と禁止の錯誤
木村亀二　法律のひろば　12—8 ('59—8)

未　　遂

間接正犯の未遂
大塚　仁　法学新報　66—5 ('59—5)
期待可能性と未遂の教唆——戸高公判判決の問題点
田中政義　法律新聞　106/107 ('58—8)
結果的加重犯の未遂
下村康正　法学新報　65—4 ('58—4)
教唆の未遂
市川秀雄　法学セミナー　40 ('59—7)
教唆の未遂——未遂論及び行為論序説 <1, 2>
大野平吉　刑法雑誌　9—2 ('58—12)；10—1 ('59—12)
共犯の従属性に関する一考察
大野平吉　木村博士還暦祝賀記念論文集　下 ('58—7)
事実の欠缺と不能犯
金沢文雄　法学セミナー　31 ('58—10)
実行著手に関する比較法的研究
吉田常次郎　日本法学　25—1 ('59—5)
障礙未遂と中止未遂（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　37 ('59—4)
障礙未遂と中止未遂の区別
香川達夫　法学セミナー　28 ('58—7)
中止犯
吉田常次郎　法曹時報　11—4 ('59—4)
中止犯（最近の判例から）
伊達秋雄　法律のひろば　11—2 ('58—2)
中止未遂における任意性の概念——褒賞説批判を中心として
香川達夫　金沢大学法文学部論集法経編　6 ('59—3)
中止未遂に関する主観化の動向
香川達夫　金沢法学　5—1 ('59—5)
毒物の郵送による殺人未遂（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　39 ('59—6)
取締犯（主として海上取締犯）の既遂時期
伊藤　寧　海上保安大学校研究報告　33年 ('59—3)
犯罪の既遂と実行行為の終了
宮崎澄夫　法学新報　66—5 ('59—5)
判例から見た不能犯
吉田常次郎　法学新報　66—7 ('59—7)
予備行為の中止
下村康正　法学新報　66—5 ('59—5)
予備の中止
香川達夫　法学セミナー　39 ('59—6)
予備の中止と中止未遂
香川達夫　木村博士還暦祝賀記念論文集　上 ('58—7)

共　　犯

拡張的正犯論と間接正犯——メッガー中心として
西原春夫　早稲田法学　35—1/2 ('59—6)
過失共同正犯の成否
内田文昭　法学会論集　8—3/4 ('58—3)
間接正犯
中　義勝　綜合法学　2—3 ('59—3)
教唆従属性と間接正犯
大野平吉　季刊刑政　6—2 ('58—6)
共同正犯と共謀（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　45 ('59—12)
共同正犯と従犯の区別に関する一考察
伊藤　寧　海上保安大学校研究報告　32年 ('58—3)
共同正犯は正犯か共犯か
斎藤金作　綜合法学　1—1 ('58—6)
共犯
植田重正　法学セミナー　23 ('58—2)
共犯従属性の理論と独立性の理論 <6完>
大野平吉　法学　21—4 ('58—2)
共犯と錯誤
植田重正　法学論集　8—3 ('58—11)
共犯における新実質的客観説
中　義勝　木村博士還暦祝賀記念論文集　下 ('58—7)
共犯立法について
斎藤金作　早稲田法学　33—3/4 ('58—3)
共謀共同正犯における「共謀」とその証明
渋谷　亮　警察研究　30—1 ('59—1)
共謀共同正犯における共謀の意義（最近の判例から）
伊達秋雄　法律のひろば　11—10 ('58—10)
共謀共同正犯の理論
下村康正　ジュリスト　臨時増刊 ('59—9)
共謀共同正犯論の機能
上田誠吉　自由と正義　9—11 ('58—11)
共謀による共同正犯
吉川経夫　法学セミナー　34 ('59—1)
共謀による共同正犯（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　43 ('59—10)
虚偽公文書作成罪と間接正犯（最近の判例から）
伊達秋雄　法律のひろば　11—4 ('58—4)
現時における正犯および共犯の概念について——「第7回国際刑法会議に対するドイツの寄与」より
藤木英雄　法学協会雑誌　75—1 ('58—7)
行為共同説と共犯独立性説の関係
後藤正弘　木村博士還暦祝賀記念論文集　下 ('58—7)
構成要件論と間接正犯——M. E. マイヤーを中心として
西原春夫　早稲田法学　34—1/2 ('58—9)
主観的共犯論と共犯立法
斎藤金作　木村博士還暦祝賀記念論文集　下 ('58—7)
純正身分犯と共同正犯（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　31 ('58—10)

承継的共同正犯について
青木清相　法学紀要　1（'59—5）
承継的従犯について
植田重正　岩崎教授在職35周年記念論文集　（'58—2）

罪　数　論

継続的犯罪の中間に確定判決の介入する場合について
石黒久暲　司法研修所報　21（'58—9）
刑法59条を誤つて適用して違法の判決に及ぼす影響
谷口正孝　法律時報　31—2（'59—2）
罪数に関する二，三の問題——神戸三木会乱闘事件の判決をめぐつて
山崎　薫　判例時報　184（'59—5）
犯罪の単複
久礼田益喜　綜合法学　17（'59—12）
包括的一罪
宮本喜光　司法研修所創立10周年記念論文集　下　（'58—3）

刑

アルトハウス「キリスト教倫理学の問題としての死刑」
竹内　正　島根大学論集社会科学　4（'58—2）
革命と死刑
荒　正人　法学セミナー　30（'58—9）
刑罰における広報主義と教育主義
玉生道経　児童心理　11—12（'57—12）
現代の恥辱
正木　亮　刑政　69—9（'58—9）
絞首刑違憲論　<1, 2>
向江璋悦　法律のひろば　11—2, 3（'58—2, 3）
絞首刑廃止論——ケストラーの「絞首刑についての考察」
西村克彦　法律のひろば　11—7（'58—7）
子殺し事件の量刑
横井大三，谷川　輝　ジュリスト　174（'59—3）
死刑の威嚇的効力
Schüssler, K.　法律のひろば　11—9（'58—9）
死刑に関する統計並びに便覧
刑政　69—8（'58—8）
死刑の効用
小川太郎　刑政　69—8（'58—8）
死刑の将来
日沖憲郎　時の法令　315（'59—5）
死刑廃止の理論活動と運動——明治初年以来今日まで
正木　亮　刑政　69—8（'58—8）
死刑廃止への道
樫田忠美　法学新報　66—5（'59—5）
傷害致死罪に対する量刑の実証的研究　<1〜4完>
正田満三郎，高橋正己　法律時報　30—5, 8, 11（'58—5, 8, 11）；31—1（'59—1）
常習犯について
岩崎二郎　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）
船舶の没収——最高裁判決によせて
谷口正孝　ジュリスト　149（'58—3）
量刑と執行猶予，累犯加重，未決通算との関係について
田上輝彦　ジュリスト　154（'58—5）

執　行　猶　予

刑の執行猶予
中野次雄　法学セミナー　23（'58—2）
刑の執行猶予制度に関する二つの問題について　<上, 下>
石黒善一　法律のひろば　12—9, 11（'59—9, 11）
執行猶予の運用について
宮内　裕　法社会学　10（'57—6）
青年被告に対する執行猶予について
山本茂雄　自由と正義　9—3（'58—3）
余罪と執行猶予　<1, 2完>
正田満三郎　法律時報　31—3, 4（'59—3, 4）

保　安　処　分

刑および保安処分の適用における裁判官の裁量権の控制について
藤木英雄　法学協会雑誌　75—2（'58—8）
刑と保安処分との交錯——売春防止法の補導処分について
牧野英一　季刊刑政　6—4（'58—12）
刑罰と保安処分との関係
斎藤金作　法学新報　66—6（'59—6）
刑罰と保安処分の統一化の問題
滝川春雄　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）
行為者類型と保安処分
安平政吉　刑法雑誌　8—2/4（'58—3）
執行猶予の心理強制力について
平田勝雅　司法研修所創立10周年記念論文集　下　（'58—3）
保安処分
滝川春雄　法学セミナー　23（'58—2）
保安処分に関するシムポジウム
木村亀二　刑法雑誌　8—2/4（'58—3）
保安処分について
斎藤金作　綜合法学　2—1（'59—1）

恩　赦

恩赦について
滝川政次郎　自由と正義　10—3（'59—3）
皇太子御結婚恩赦についての解説
武安将光　保護月報　43（'59—7）
皇太子の結婚——その性格と恩赦
大西邦敏　綜合法学　1—2（'58—7）
国事と恩赦
佐藤達夫　時の法令　308, 309（'59—3）
前科抹消と恩赦による復権について——社会を明るくする運動によせて
武安将光　法律のひろば　11—7（'58—7）
復権令と特別恩赦基準
真田秀夫　時の法令　314（'59—5）
再び恩赦について
中川善之助　法学セミナー　39（'59—6）

わが国の恩赦制度の改革論と英国等の恩赦制度について
武安将光　法律のひろば　12—6（'59—6）

刑　法　各　論

威力妨害罪とストライキ
藤木英雄　法学セミナー　35（'59—2）
いわゆる平事件と騒擾罪の成否
大塚　仁　判例評論　16（'59—1）
いわゆる村八分事件の判決について
後藤　清　判例時報　158（'58—9）
汚職と暴力とを追放する新立法
野木新一　時の法令　281（'58—6）
外縁と尊属殺に関する一考察
斎藤純一　司法研修所創立10周年記念論文集　下　（'58—3）
外国国旗の法律問題
林　修三　ジュリスト　163（'58—10）
角膜移植をめぐる法律問題
植松　正　ジュリスト　146（'58—1）
偽装心中は殺人罪にあたるか
高橋幹男　ジュリスト　170（'59—1）
偽証および誣告の罪
千葉和郎　法学セミナー　24（'58—3）
恐喝罪の構成——強盗的恐喝をめぐつて　<1>
谷口正孝，大関隆夫　判例タイムズ　9—4（'58—4）
京都駅失火事件上告審判決——夜警の刑事責任
田原義衛　ジュリスト　163（'58—10）
虚偽公文書作成罪と間接正犯
伊達秋雄　法律のひろば　11—4（'58—4）
虚偽公文書作成罪と間接正犯——上司のめくら判を利用する文書偽造
佐々木史朗　ジュリスト　151（'58—4）
業務過失における業務の意義
井上正治　法政研究　25—2/4（'59—3）
刑法各論　<17, 18完>　（研修講座）
伊尾　宏　研修　115, 116（'58—1, 2）
刑法からみた不動産の二重売買・二重抵当
中野次雄　民事研修　20（'58—11）
刑法第190条についての一考察
村崎精一　法文論叢　10（'58—11）
刑法第200条の沿革の大要
尾崎良康　法政論叢　10（'59—6）
刑法における業務の意義
秋山哲治　綜合法学　2—6（'59—6）
強盗着手前の暴行による傷害と強盗傷人罪の成否
伊達秋雄　法律のひろば　11—8（'58—8）
公務執行妨害罪における職務行為の適法性
荘子邦雄　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）
公務執行妨害罪における暴行の意義
熊倉　武　法学志林　56—4（'59—3）
公務執行妨害罪における暴行の意義
伊達秋雄　法律のひろば　11—12（'58—12）
公務執行妨害罪における暴行の範囲
谷口正孝　法律時報　31—8（'59—7）
公務執行妨害罪について——デモ隊投石事件判決から
藤木英雄　ジュリスト　165（'58—11）
公務執行妨害罪の制度と警察官の職務執行
広中俊雄　ジュリスト　165, 167（'58—11, 12）
詐欺利得の成立要件
谷口正孝　法律時報　30—2（'58—2）
殺人罪と自殺関与罪との限界
中野次雄　法律のひろば　12—2（'59—2）
殺人罪の限界——刑法202条の解釈問題として
谷口正孝　ジュリスト　171（'59—2）
司法警察官の行なう身柄拘束と公務執行妨害罪の成否
山下琢二　警察学論集　11—9（'58—9）
住居侵入罪の構成要件
熊谷直之助　判例タイムズ　10—3（'59—3）
傷害致死罪に対する量刑の実証的研究　<1〜4完>
正田満三郎，高橋正己　法律時報　30—5, 8, 11（'58—5, 8, 11）；31—1（'59—1）
使用窃盗と不法領得の意思
吉田常次郎　法学セミナー　26（'58—5）
職務執行行為の適法性
谷口知平　法律のひろば　11—8（'58—8）
職務執行中の警察官に対する投石と公務執行妨害罪の成否
田原義衛　ジュリスト　165（'58—11）
人民電車と電車往来危険罪について
藤木英雄　法律のひろば　11—12（'58—12）
人工授精に関する刑法上の諸問題
宮沢浩一　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）
ストによる業務妨害と刑法の適用
神山欣治　日労研資料　12—19（'59—7）
窃盗の窃盗について——窃盗罪の本質に関連して
尾崎良康　法政論叢　6（'57—6）
選挙運動と名誉毀損
大竹武七郎　選挙　12—7（'59—7）
前借金契約と詐欺罪
伊達秋雄　民事研修　14（'58—6）
煽動罪などの表現犯罪の危険性について
宮内　裕　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）
争議行為と業務妨害罪
神山欣治　官公労働　13—10（'59—10）
騒擾罪
宮内　裕　法学セミナー　44（'59—11）
騒擾罪の問題点——群集犯罪
鴨　良弼　ジュリスト　165（'58—11）
尊属殺人と強盗殺人
尾崎良康　学大法学　4（'58—3）
逮捕の適法性と正当防衛——公務執行妨害罪の成否に関して
伊達秋雄　法律のひろば　12—12（'59—12）
代理資格の冒用と文書偽造
江家義男　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）
代理名義冒用の文書

宮原三男　法学セミナー　30（'58—9）

父親殺し事件を想う
和田英夫　時の法令　288（'58—8）

貞操侵奪に対する刑罰について　<1〜3完>
平出　禾　判例時報　193, 195, 196（'59—8, 9）

同盟罷業と強要罪又は恐喝罪
神山欣治　木村博士還暦記念論文集　上（'58—7）

内乱幇助罪の従属性
柏木千秋　法学新報　66—6（'59—6）

二項強盗罪に関する裁判例
谷口正孝　判例時報　161（'58—10）

入札談合に関する最高裁判例の傾向
三井　明　経済法律時報　6—1（'58—1）

納金ストと業務上横領罪の成否
伊達秋雄　法律のひろば　12—4（'59—4）

納金ストに関する二つの上告審判決——納金ストと業務上横領罪の成否等
高田義文　ジュリスト　165（'58—11）

白地手形の補充権濫用と有価証券虚偽記入罪の成否
由比宏忠　山梨大学学芸学部研究報告　9（'58—2）

売春汚職と名誉毀損　【座談会】
鈴木才蔵，川口光太郎，萩原福三，野村正男　法律のひろば　11—1（'58—1）

背任罪と横領罪の区別
滝川春雄　法学セミナー　29（'58—8）

背任罪の立法的考察
江家義男　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）

犯罪事実の摘示による名誉毀損の違法性
鈴木義男　法律のひろば　11—1（'58—1）

ピケと威力業務妨害
吾妻光俊　ジュリスト　157（'58—7）

ピケと通行阻止
千種達夫　判例時報　162（'58—10）

人を殺さなくとも強盗殺人になるか
遠藤　誠　判例タイムズ　10—5（'59—5）

表現の自由と猥褻罪等の規定
青木清相　東博士古稀記念論文集　2（'58—9）

封印破棄罪の故意
谷口正孝　法律時報　30—6（'58—6）

不作為による放火罪
木村亀二　法学セミナー　27（'58—6）

不作為による放火罪について
藤木英雄　警察学論集　12—3（'59—3）

不正談合罪について
宇野栄一郎　ジュリスト　145（'58—1）

不法原因給付と詐欺罪の成立
伊達秋雄　法律のひろば　11—6（'58—6）

文書偽造罪の罪数について
近藤和義　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）

「亡夫の両親殺は尊属殺にあたらない」について
尾崎良康　愛知学芸大学研究報告社会科学　7（'58—）

暴力集団犯罪
安平政吉　綜合法学　1—2（'58—7）

本人のためにする委託物の処分と横領罪——判例の発見と理解のために
佐々木史朗　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）

名誉毀損罪と違法阻却事由
宮原三男　綜合法学　15（'59—10）

名誉毀損罪における真実の証明——ニュースソース秘匿に関連して
川口光太郎　法律のひろば　11—2（'58—2）

名誉毀損と事実証明
中武靖夫　判例評論　11（'58—1）

わいせつ罪と表現の自由
青木清相　時の法令　310（'59—3）

賄賂罪における請託の概念　<上，下>
内藤　謙　ジュリスト　149, 150（'58—3）

賄賂罪の回顧と展望
三堀　博　法律のひろば　11—5（'58—5）

猥褻文書の近代的考察
津田正良　法曹時報　11—5（'59—5）

猥褻誘拐罪における告訴の性質
谷口正孝　法律時報　30—10（'58—10）

斡旋収賄罪

あつせん収賄罪と暴力立法
神谷尚男　法律のひろば　11—6（'58—6）

あつせん収賄罪の新立法
久礼田益喜　時の法令　276（'58—4）

斡旋収賄罪の解説とその論点
高橋勝好　財経詳報　165（'58—5）

斡旋収賄罪について
小野清一郎　ジュリスト　156（'58—6）

斡旋贈収賄罪と暴力立法の成立
河井信太郎　財政経済弘報　691（'58—5）

斡旋贈収賄罪に関する規定の立法過程
鈴木義男　警察学論集　11—7（'58—7）

斡旋贈収賄罪について
鈴木義男　法律時報　30—6（'58—6）

斡旋贈収賄罪について——刑法の一部を改正する法律解説
検察月報　111（'58—7）

斡旋贈収賄罪の新設について
神谷尚男　法曹時報　10—5（'58—5）

斡旋贈収賄罪の背景　<1, 2>
鈴木義男　警察研究　29—6, 7（'58—6, 7）

斡旋賄賂罪の基礎理論
村　教三　レファレンス　8—93（'58—10）

暴力および斡旋収賄に関する刑法および刑事訴訟法の一部改正について
江家義男　ジュリスト　151（'58—4）

不動産窃盗罪

所謂不動産窃盗について
後藤英三　綜合法学　16（'59—11）

梅田村事件と不動産窃盗
前田信二郎　ジュリスト　172（'59—2）

おとる地面師と法律上の問題点
高橋勝好　財経詳報　277（'59—11）

境界事件と不動産窃盗——土地窃盗の構成のための調査報告
前田信二郎　法律時報　31—4（'59—4）

在野人の見た不動産不法占拠取締法案
宗宮信次　自由と正義　10—9（'59—9）

盗罪と不動産不法占拠
坂本英雄　自由と正義　10—9（'59—9）

土地窃盗の刑事法的考察
前田信二郎　警察研究　30—12（'59—12）

土地占有の不法侵奪と仮処分——不動産窃盗罪の立法化問題との関連において
吉川大二郎　自由と正義　10—9（'59—9）

土地の不法占拠と窃盗罪
青木清相　時の法令　323（'59—8）

土地不法占拠と不動産窃盗の課題
前田信二郎　都市問題研究　11—4（'59—4）

不動産窃盗
時の法令　331（'59—10）

不動産窃盗罪の立法化について——特にその乱用をおそれる
武藤運十郎　綜合法学　16（'59—11）

不動産登記をめぐる犯罪の研究——主として詐欺・横領罪について
黒田重雄，滝　勇男　警察学論集　11—9（'58—9）

不動産の不法占拠取締立法とその問題点
高橋勝好　法律のひろば　12—9（'59—9）

不動産の不法占拠における早期取締り立法の必要性
伊沢　実　時の法令　332（'59—11）

不動産の不法占拠について
藤木英雄　ジュリスト　184（'59—8）

不動産不法占拠取締法とその問題点
検察月報　124（'59—9）

不動産不法占拠取締立法の背景
高橋勝好　警察研究　30—7（'59—7）

不動産不法占拠の刑事措置
前田信二郎　法律時報　31—11（'59—10）

不動産不法占拠の取締立法について
吉川経夫　自由と正義　10—9（'59—9）

暴力取締法

あつせん収賄罪と暴力立法
神谷尚男　法律のひろば　11—6（'58—6）

斡旋贈収賄罪と暴力立法の成立
河井信太郎　財政経済弘報　691（'58—5）

いわゆる暴力取締のための刑法の一部を改正する法律及び刑事訴訟法の一部を改正する法律の解説
検察月報　110（'58—9）

いわゆる暴力取締立法について
辻　辰三郎　法律時報　30—6（'58—6）

お礼参りの処罰等々
久礼田益喜　時の法令　267（'58—1）

刑法・刑事訴訟の一部改正・暴力関係立法について
河井信太郎　法曹時報　10—5（'58—5）

暴力および斡旋収賄に関する刑法および刑事訴訟法の一部改正について
江家義男　ジュリスト　151（'58—4）

暴力事犯取締に関する新立法について
前田　宏　警察研究　29—6（'58—6）

暴力取締立法について—刑法•刑訴法の一部改正によせて
吉川経夫　法律時報　30—4（'58—4）

暴力取締立法の問題点——刑法の一部改正を中心として
臼井滋夫　警察学論集　11—7（'58—7）

暴力犯罪取締の実状
青木清相　時の法令　303（'59—1）

暴力立法について一つの感想
平野竜一　法律時報　30—6（'58—6）

やくざと法令
町田　充　時の法令　290（'58—8）

刑　事　学

アンセル「激情犯」
西村克彦　法律のひろば　11—2（'58—2）

あたらしい社会防衛論と人格責任論
団藤重光　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

安倍治夫，樋口幸吉著「グリュック・犯罪予測法入門」　【書評】
植松　正　法律時報　31—3（'59—3）

伊勢湾台風と犯罪
谷口正孝　ジュリスト　192（'59—12）

ウソ発見器の技術と法理——それは果して Fourth Degree か？
桜田勝義　法律時報　31—9（'59—8）

嬰児殺論
中館久平　綜合法学　2—6（'59—6）

沖縄犯罪の特殊性
西平守盛　刑政　70—3（'59—3）

確信犯罪人の綜合評論
前田信二郎　法学（近大）　7—2/4（'59—2）

科学的犯罪予測法と保護観察
島田善治　保護月報　41（'59—3）

勘と科学捜査
大石　宏　警察学論集　12—10（'59—10）

教唆の類型——法心理学的考察
西村克彦　判例時報　188（'59—7）

近代刑事学における追求統計方式の必要性　<上>
安倍治夫　法律のひろば　12—12（'59—12）

グリュックの非行予測表について——とくに社会的五因子をめぐつて
松浦孝作　法律のひろば　12—9（'59—9）

グリュック予測表の検定——科学は不死鳥を信じない
宮崎　昇　法律のひろば　12—12（'59—12）

刑事学と刑事政策
正木　亮　法学新報　66—5（'59—5）

刑事学の言葉と意味
佐藤昌彦　季刊刑政　6—1（'58—3）

刑事学の方法について——予測表の論争に附加して
小川太郎　法律のひろば　12—10（'59—10）

刑事裁判と法医学
中野次郎　犯罪学雑誌　24—5（'58—10）

刑事政策における矯正の立場
小川太郎　刑政　70—5（'59—5）

刑事政策の基本理論——最近の刑政動向について
安平政吉　法曹時報　10—6（'58—6）

刑事政策の転換
福原忠男　保護月報　38（'58—9）

刑罰規範と道徳規範の経験科学的考察
村田宏雄　法社会学　10（'57—6）

刑法と社会保障
市川秀雄　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

刑法と文化政策
植松　正　法律時報　31—8（'59—7）

計量刑事学の発展のために——予測表研究の本質と使命
安倍治夫　法律のひろば　12—3（'59—3）

検察と法医学
岡原昌男　犯罪学雑誌　24—5（'58—10）

公刑罰の成立
滝川幸辰　綜合法学　2—5（'59—5）

国連アジア会議とわが邦の刑事政策
小野清一郎　刑政　69—2（'58—2）

再犯防止に関する行刑的側面について
本田清一　刑政　70—5（'59—5）

最近の犯罪と売春防止問題　【座談会】
北野匋一郎，斎藤弘，江戸川乱歩，井上泰宏，大熊戻太郎，古畑種基，長谷川瀏　犯罪学雑誌　24—2（'58—4）

死体現象
中館久平　綜合法学　15（'59—10）

自動車事故の刑事学的研究
井上正治　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）

受胎及び出生の法医学
上野正吉　戸籍　122（'59—1）

酒癖者の矯正——アルコーリックス・アノニマスについて
小川太郎　刑政　70—11（'59—11）

集団犯の科学的研究
南波杢三郎　警察学論集　12—10（'59—10）

女子累犯者の犯罪経過形式に関する研究——犯罪生活曲線から見た女性犯罪の特異性
吉益脩夫，武村信義，坪井孝幸　刑法雑誌　9—2（'58—12）

女性犯罪——稀少性をめぐつて
鈴木利雄　更生保護　10—4（'59—4）

昭和33年における刑法犯
武藤　昭　警察研究　30—8（'59—8）

情死考
井上泰宏　法学セミナー　45（'59—12）

常識法医学　<5>
古畑種基　法律時報　30—1（'58—1）

証人の心理・裁判官の心理　<1, 2完>
土井正徳　自由と正義　9—11（'58—11）；10—1（'59—1）

性犯罪雑考
樋口幸吉　時の法令　323（'59—8）

性別・年齢別に見た日本の犯罪現象　<1, 2>
植松　正　綜合法学　2—1, 2（'59—1, 2）

精神鑑定拾遺——精神分裂病に対する司法精神医学の三つの仮題　<1, 2完>
土井正徳　家庭裁判月報　10—2, 4（'58—2, 4）

損傷死論　<1, 2>
中館久平　綜合法学　2—4, 5（'59—4, 5）

第一部会における討議の背景（犯罪防止等に関する国連アジア会議）
佐藤　豁　法律のひろば　11—3（'58—3）

第二部会に臨みて（犯罪防止等に関する国連アジア会議）
渡辺善作　法律のひろば　11—3（'58—3）

第2回国連アジア・極東地域セミナーにおける議題及びその問題点と結論
刑政　69—2（'58—2）

第5回国際社会防衛会議
市川秀雄　法学新報　66—4（'59—4）

第9回犯罪生物学協会会議
宮沢浩一　法学研究　31—1（'58—1）

室息死論　<1, 2>
中館久平　綜合法学　2—2, 3（'59—2, 3）

中毒論　<1, 2>
中館久平　綜合法学　16, 17（'59—11, 12）

犯罪（つみ）の概念について　<1, 2>
西村克彦　刑法雑誌　9—1, 2（'58—5, 12）

点と線
町田欣一　法学セミナー　36（'59—3）

トレイヴアー著，井上勇訳「錯乱」読後感
植松　正　ジュリスト　175（'59—4）

問いの暗示力に関する一実験
植松　正　自由と正義　10—2（'59—2）

売春と女性犯罪——二つのタイプの事例
武村信義　犯罪学雑誌　25—1（'59—4）

売春防止法と性犯罪
樋口幸吉　法学セミナー　33（'58—12）

犯行の動機形成過程に関する一特異例——ある心理鑑定の報告
植松　正　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）

犯罪概念についての一つの試論
熊倉　武　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

犯罪研究の回顧と展望——矯正の実地との関連において
吉益脩夫　刑政　70—5（'59—5）

犯罪行動と偶然
佐藤昌彦　季刊刑政　6—4（'58—12）

犯罪行動と時間
佐藤昌彦　季刊刑政　7—3（'59—9）

犯罪行動と情報
佐藤昌彦　季刊刑政　6—2（'58—6）

犯罪行動の集団力学的研究　<1, 2完>
佐藤昌彦　家庭裁判月報　10—5, 6（'58—5, 6）

犯罪行動の認知
佐藤昌彦　季刊刑政　7—4（'59—12）

犯罪行動の表示と変化
佐藤昌彦　季刊刑政　7—1（'59—3）

犯罪者人格と犯行時心理の研究　<1>——城本彰の事件，いわゆる蒲団包み事件　<上, 下>
土井正徳　家庭裁判月報　11—4, 5（'59—4, 5）

犯罪者人格と犯行時心理の研究　<2>——ある模範的青年社員の強盗殺人事件　<上, 下>
土井正徳　家庭裁判月報　11—6, 7（'59—6, 7）

犯罪者人格と犯行時心理の研究　<3>——ＰＸ事件，クルパンガリー事件，ハンドクリーナー事件，カービン銃事件被告人　<上, 中, 下>
土井正徳　家庭裁判月報　11—8〜10（'59—8〜10）

犯罪者人格と犯行時心理の研究　<4>——「瞼の母に裏切られて型」犯行の一事件　<上, 下>
土井正徳　家庭裁判月報　11—11, 12（'59—11, 12）

犯罪者の精神医学的研究——ソンディ・テストによる
杉原　方　人文論究（関学大）　9—1（'58—6）

犯罪・推理・科学捜査　【座談会】
飯島　正，植草甚一，上野正吉，大石　宏，寺本亀義，羽島和男，宮沢俊義，山田　誠　ジュリスト　184（'59—8）

犯罪の法医学
中館久平　綜合法学　2—1（'59—1）

犯罪は予測できる——グリュック犯罪予測理論とは？
検察月報　115（'58—1）

犯罪防止及び犯罪者の処遇に関する国際連合第2回アジア会議について　<1, 2>
津田　実　法曹時報　10—2, 3（'58—2, 3）

犯罪防止および犯罪者の処遇に関する国連第2回アジア会議について　<1, 2>
最高裁判所　家庭裁判月報　9—12（'57—12）

犯罪防止等に関する国連アジア会議の状況
植松　正　法律時報　30—2（'58—2）

犯罪防止に関する国連アジア部会から生まれた日本の責任
正木　亮　刑政　69—2（'58—2）

犯罪報道と社会秩序
植松　正　新聞研究　92（'59—3）

犯罪予測の問題
西村克彦　法律のひろば　12—3（'59—3）

犯人の被疑者との同一性認識の確実度
植松　正　ジュリスト　182（'59—7）

非行予測理論における精神医学の寄与——予測ブームを診断する
樋口幸吉　法律のひろば　12—8（'59—8）

ポリグラフ（うそ発見器）検査技術について　<1〜3完>
今村義正　自由と正義　10—2（'59—2）

法医学の話　<1>
古畑種基　自由と正義　10—4（'59—4）

法務総合研究所設置について
安倍治夫　刑政　70—4（'59—4）

封建遺制と犯罪の関係　<3完>
竹村　寿　家庭裁判月報　9—9（'58—9）

暴力の社会的基盤——暴力はどのように発芽してくるか，社会学者のみた暴力観
磯村英一　刑政　69—11（'58—11）

麻薬犯罪における常習性および累犯の問題
中沢寛美　警察学論集　12—1（'59—1）

麻薬犯罪の検挙と裁判
長島　敦　法律時報　31—9（'59—8）

予測表と裁判実務——安倍批判に答える
宮崎　昇　法律のひろば　12—4（'59—4）

予測表と心理学
空井健三　法律のひろば　12—6（'59—6）

予測表と生来犯罪人説——安倍，宮崎両検事の論争に寄せて
佐藤昌彦　法律のひろば　12—5（'59—5）

予測表の意味と価値
日野原　昌　家庭裁判月報　11—8（'59—8）

予測表論争にまつわる七つの誤解——それでもグリュック理論は正しい
安倍治夫　法律のひろば　12—11（'59—11）

ラジノウイッチ著「激情犯」【書評】
西村克彦　法律時報　31—2（'59—2）

倫理的な罪と法律的犯罪——宮内裕氏報告を主として【シムポジウム】
福田　平，他　法社会学　10（'57—6）

累犯予測
樋口幸吉　警察学論集　12—3（'59—3）

Daniel Glaser の犯罪理論と行動のイメージについて
諏訪源四郎　家庭裁判月報　11—9（'59—9）

少年問題・犯罪

アジア会議に於ける少年問題
近藤縯二　刑政　69—2（'58—2）

恐るべき子供達
宮原三男　綜合法学　1—5（'58—10）

学校教育と犯罪　<1>
前田俊郎　上智法学論集　2—1/2（'58—12）

完全犯罪の心理——小松川高校事件にちなんで
植松　正　時の法令　293（'58—10）

ケースワークの理論と司法的実践——少年保護事件を中心として
三野　亮　家庭裁判月報　11—10（'59—10）

国連アジア会議における少年非行の問題
小野清一郎　ジュリスト　147（'58—2）

最近の青少年問題をめぐつて——その実情と対策
城戸茂夫　時の法令　296（'58—11）

罪質別より見た少年非行——精神病理学の観点による考察　<1, 2完>
大倉和夫　家庭裁判月報　10—9, 10（'58—9, 10）

社会的に順応しない未成年者の発育の段階
市川秀雄　季刊刑政　7—1（'59—3）

女子非行少年の臨床心理学的研究——ロールシヤッハ検査像
前田　栄　社会福祉　6（'59—3）

少年事件をめぐる諸問題
鍛治良堅　自由と正義　9—10（'58—10）

少年審判と予測表
日野原　昌　法律のひろば　12—7（'59—7）

少年の反社会性と環境
磯村英一　ジュリスト　163（'58—10）

少年犯罪に対する刑事政策上の諸問題
宮崎　昇　警察学論集　10—7（'59—7）

少年犯罪の精神病理学的考察——犯罪生物学の立学から
武村信義　警察学論集　10—7（'59—7）

少年非行集団の研究——その形成並びに変動過程について
鈴木昭一郎　保護月報　42（'59—5）

少年非行の実態
山田建利　教育と医学　7—5（'59—5）

少年非行の精神医学
樋口幸吉　教育と医学　7—5（'59—5）

少年非行の原因と対策　【研究会】　<1, 2>
植松　正，柏熊岬二，玉生道経，樋口幸吉，平野竜一，水島恵一，村田宏雄，井原法洞，谷口　雍，前田重利，牧　賢一，町田　充，森　博，渡辺祐之　ジュリスト　187, 190（'59—10, 11）

少年非行の予防と少年警察について——国連アジア会議に関連して
森田宗一　警察研究　29—2（'58—2）

青少年の問題行動とその治療
堀　要　更生保護　10—2（'59—2）

青少年の酩酊犯罪と問題
青木義治　青少年問題　6—4（'59—4）

青少年犯罪対策上の問題点——山梨県における非行少年総合対策と関連して
出射義夫　ジュリスト　163（'58—10）

青少年犯罪と少年法の問題点——少年法改正の是非【座談会】
中川　衛，垣鍔　繁，鰭崎　轍，江上フジ，平尾東策，乗本正名，小野清一郎，大竹武七郎　自由と正義　10—10（'59—10）

青少年不良化の実態　<1, 2完>
天野利武　児童心理　13—1, 2（'59—1, 2）

知能と非行の反復について
坂本武志　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

転換期に立つ少年犯罪対策——小松川高校生殺しの示唆するもの
安倍治夫　ジュリスト　163（'58—10）

日本における少年非行
法律のひろば　11—11（'58—11）

日本における少年非行について——ナショナル・ステートメント
法律のひろば　11—4（'58—4）

犯罪者のサイコセラピー
芹野陽一　教育と医学　7—5（'59—5）

非行原因に関する実証的研究
井上哲夫　社会事業　42—6（'59—6）

非行少女の社会的側面
野田輝雄　教育と医学　7—5（'59—5）

非行少年の更生
徳　武義　教育と医学　7—6（'59—6）

非行少年と環境
村田宏雄　警察学論集　10—7（'59—7）

非行中学生の実態について——窃盗事犯を通じて
佐藤長八郎　家庭裁判月報　11—12（'59—12）

非行予測，累犯予測，更生予測——小松川事件は予側できたか
山本晴雄　法律のひろば　12—7（'59—7）

再び青少年犯罪対策について
出射義夫　ジュリスト　186（'59—9）

保護観察少年の予後成績による比較研究　<1, 2完>
間宮　武，前沢光一郎，田村健三，斎藤正人　家庭裁判月報　10—11, 12（'58—11, 12）

ゆがんだ正義感——非行少年の世界
山根清道　児童心理　13—5（'59—5）

ロールシヤッハ・テストで見た非行少年とその両親の性格
市村　潤　家庭裁判月報　11—2（'59—2）

H. レフエレンツ著「児童の犯罪性」——刑事学的・少年精神病学的研究
宮沢浩一　法学研究　31—2/3（'58—3）

行刑・更生保護

いわゆる孫斗八事件の判決に現われた若干の問題点について
石黒善一　法律のひろば　12—3（'59—3）

沖縄矯正当面の諸問題
久手堅憲次　刑政　70—3（'59—3）

沖縄刑務所暴動事件について
久貝良順　刑政　70—3（'59—3）

壁の中の自由
秋山哲治　綜合法学　1—6（'58—11）

監獄の中の人権　【座談会】
正木　亮，植松　正，森川金寿，朝倉京一　法律時報　30—11（'58—11）

監獄法違憲の判決
森長英三郎　労働法律旬報　318（'58—8）

監獄法改正について
中尾文策　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）

監獄法改正の壁
正木　亮　刑政　70—5（'59—5）

監獄法に対する裁判官の考え
刑政　69—11（'58—11）

監獄法の違憲性——大阪地裁判決の論評に代えて
正木　亮　法律新聞　109（'58—9）

鑑別と矯正
遠藤辰雄　刑政　69—3（'58—3）

行刑における保安のあり方に関する一考察
福井　徹　刑政　70—5（'59—5）

行刑の管理機構に関する一つの問題——部外者の行刑関与に付て
中尾文策　刑政　70—5（'59—5）

行刑の現状と問題点について
野原達二　刑政　70—5（'59—5）

矯正科学発展の一駒
大津正雄　刑政　70—5（'59—5）

矯正建築について
楠　富士太郎　刑政　70—5（'59—5）

矯正施設の管理
川上　悍　刑政　70—5（'59—5）

矯正とコミュニケーション——篤志面接委員制度と宗教々誨師制度を中心として
菊池省三　刑政　70—5（'59—5）

矯正と社会治療
樋口幸吉　刑政　70—5（'59—5）

矯正の疾風怒濤——魂を忘れた矯正は無意味である【対談】
山岡万之助，正木　亮　刑政　70—5（'59—5）

矯正の理念について
東　邦彦　刑政　70—5（'59—5）

矯正予算の行方
菅野勘六　刑政　69—4（'58—4）

刑政70年の回想
牧野英一　刑政　70—5（'59—5）

刑務作業運営の基本問題
朝倉京一　刑政　70—7（'59—7）

刑務作業に於ける当面の課題——終着駅に来た企業的刑務作業は何処に行く
小寺広幸　刑政　70—7（'59—7）

刑務作業の刑事政策的意義
市川秀雄　刑政　70—7（'59—7）

現行未決拘禁上の諸問題——主として第一線担当職員の執務上の指針として
大井　久　刑政　70—5（'59—5）

ここにも人の権利を
正木　亮　法学セミナー　34（'59—1）

拘禁の法律関係
小川太郎　判例時報　160（'58—9）

錯覚に弱れる刑務作業
公文　彪　刑政　70—5（'59—5）

収容者の人権尊重の限界　<1>
山口久一　刑政　70—8（'59—8）

集団思考矯正に於ける集団組織の効果
大藪寿一　人文研究（大阪市大）　8—11（'57—12）

常習犯予防拘禁制度について
武安将光　ジュリスト　164（'58—10）

戦後の沖縄矯正組織の再編
琉球上訴検察庁　刑政　70—3（'59—3）

代用監獄の諸問題
倉見慶記　刑政　70—2（'59—2）

鉄格子のなかの青春
窪田　精　中央公論　74—3（'59—3）

不定期刑運用についての実務上の諸問題
柳原嘉藤　司法研修所報　21（'58—9）

婦人補導院について
三田庸子　刑政　70—5（'59—5）

塀の内外における暴力事犯実態白書——行刑施設における現況について
林　実　刑政　69—11（'58—11）

塀の内外における暴力事犯実態白書——戦後の暴力犯罪の実態
関沢正夫　刑政　69—11（'58—11）

暴力団犯罪者の処遇と矯正——矯正技術としてどのように考えるか，実務を通じての理論
福井　徹　刑政　69—11（'58—11）

琉球政府創立後の矯正統計　1952〜1958
刑政　70—3（'59—3）

少年保護その他

ジュベナイル・プロベーション——その発展と特質
森田宗一　家庭裁判月報　10—7（'58—7）

少年院の具体的な問題
小和田元彦　刑政　70—5（'59—5）

少年院の現状と展望
池口尚史　刑政　70—5（'59—5）

少年鑑別所の歩み
鰭崎　轍　刑政　70—1（'59—1）

少年鑑別所の性格と位置ずけ
山根清道　刑政　70—5（'59—5）

当面する少年矯正の実状と諸問題
渡部善信　刑政　70—1（'59—1）

非行及び非行少年のタイプに応じた効果的処遇法の研究
水島恵一　刑政　70—11（'59—11）

保護処分について——特に少年法におけるそれと関連して
市川秀雄　刑政　70—5（'59—5）

仮釈放・保護観察

仮出獄者の再犯をめぐる諸問題
伊藤義彰　保護月報　41（'59—3）

仮出獄申請の棄却について
高橋静男　保護月報　39（'58—12）

基本的人権と保護観察
加藤東治郎　保護月報　41（'59—3）

国連のセミナーで感じたこと——とくにプロベーション・オフィサーの訓練について
内藤頼博　家庭裁判月報　9—12（'57—12）

プロベーション——保護観察制は如何にあるべきか
正田満三郎　法律時報　30—2（'58—2）

保護観察開始時における対象者との面接と保護観察所への出頭の確保について
西岡正之　保護月報　39（'58—12）

保護観察に関する一考察
田島郁子，他　社会福祉　5（'58—3）

保護観察の成績等についての若干の考察
吉田次郎　刑政　70—1（'59—1）

保護観察の立場からみた矯正
横山一郎　刑政　70—5（'59—5）

暴力事犯と保護観察——釈放者の具体的なケースを分析する
島田善治　刑政　69—11（'58—11）

琉球における仮釈放制度について
古堅宗徳　刑政　70—3（'59—3）

わが国におけるプロベーションの発達
小川太郎　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）

更生保護

刑法の改正と更生保護
植松　正　更生保護　9—1（'58—1）

経理の面から見た更生保護会の経営について
名倉誠一　保護月報　36（'58—3）

更生緊急保護法をめぐる問題点——この法律の再検討のために
佐藤利三郎　更正保護　9—10（'58—10）

更生保護会の運営について
紀井　一　保護月報　36（'58—3）

更生保護10年の覚書
佐藤　豁　法律のひろば　12—6（'59—6）

更生保護の意図するもの
福原忠男　更生保護　9—3（'58—3）

日本の保護司制度について
福原忠男　更生保護　9—5（'58—5）

犯罪者予防更生法第12条第２項所定の監督事務の範囲について
関東地方更生保護委員会　保護月報　42（'59—5）

刑事特別法

刑事特別法について
労働法律旬報　307（'58—5）

国際平和に対する犯罪
佐瀬昌三　法学新報　66—5（'59—5）

行政刑法

アルコール専売法と国犯法
半田　剛　財政　22—8（'57—8）

運転免許証不携帯罪に過失犯が成立するか
沼尻芳孝　ジュリスト　184（'59—8）

行政的刑罰法規と過失犯——道路交通取締法違反についての東京高裁判決を機縁として
八木　胖　法律のひろば　12—8（'59—8）

昭和34年度各種選挙の違反取締等について
検察月報　127（'59—12）

事実の錯誤と違法性の錯誤——物品税法18条の無申告製造罪の場合
伊達秋雄　法律のひろば　12—8（'59—8）

選挙と買収犯罪
宮原三男　時の法令　280（'58—5）

選挙犯罪に関する重要判例
浦辺　衛　ジュリスト　173（'59—3）

選挙犯罪の捜査——主として買収犯について
本田正義　ジュリスト　173（'59—3）

選挙犯罪の法理
杉村敏正　ジュリスト　173（'59—3）

租税刑法と租税倫理
一ノ瀬長治　綜合法学　15（'59—10）

租税刑法の現代的動向
板倉　宏　税法学　100（'59—5）

文書図画を中心とする選挙犯罪
大石　宏　ジュリスト　173（'59—3）

郵政犯罪の防止策について
清野信弘　郵政　11—9（'59—9）

経済刑法

いわゆる両罰規定の法意についての注目すべき判例
津田　実　財経詳報　150（'58—2）

いわゆる両罰裁定の解釈についての注目すべき新判例——両罰裁定の適用にも過失を必要とする　<上，下>
時の法令　269, 270（'58—2）

会社経理と刑事問題　<1, 2>
河井信太郎　産業経理　19—4, 5（'59—4, 5）

株式会社役職員の刑事責任——違法配当罪を中心として
河井信太郎　財政経済弘報　671, 673（'58—1）

株式会社役職員の刑事責任と企業会計原則
河井信太郎　財政経済弘報　744（'59—3）

金融事犯取締上の問題点
岩松繁男　警察学論集　12—1('59—1)

刑事責任追及の面から見た最近の会社経営者
河井信太郎　商事法務研究　124（'59—1）

最近における金融事犯と金融関係刑事判例の動向　<上，下>
高橋勝好　金融法務事情　205, 207（'59—4, 5）

最近における財政経済事犯の動向と取締当局の対応策——財政金融関係事犯の犯罪状況
法律公論　7—72（'58—10）

事業会社に対する名義貸しと自己株式取得禁止違反事件
高橋勝好　法律のひろば　12—2（'59—2）

事業会社に対する名義貸しと自己株式取得の禁止違反　<上，下>
高橋勝好　財経詳報　205, 207（'58—12）

失業保険料の不納付と不納付罪の成否——期待可能性の理論の適用の有無
高橋勝好　法律のひろば　11—9（'58—9）

商法罰則と刑事法との交錯に関する若干の問題
河井信太郎　ジュリスト　171（'59—2）

手形小切手をめぐる金融機関の役職員の刑事責任
河井信太郎　手形研究　2—10（'58—10）

「見せ金」による会社設立登記と公正証書原本不実記載罪の成否
伊達秋雄　法律のひろば　12—6（'59—6）

両罰規定と違憲問題——最近における大法廷の判例を中心として
安平政吉　上智法学論集　2—1/2（'58—12）

両罰規定と使用者の責任
津曲蔵之丞　労働法　14（'59—10）

524409

両罰規定における業務主体処罰規定の性質——最高裁判所の新判例に関連して
八木　胖　判例評論　12（'58—4）

両罰規定における業務主体処罰の原因——最高裁の新判例に関する一考察　<上，下>
高橋勝好　警察研究　29—7, 9（'58—7, 9）

労働刑法

違法争議における刑事責任
熊倉　武　労働法学研究会報　8—34（'57—10）

官公労に対する刑事弾圧について——四つの弾圧の類型・仕組みとやり方そのねらい
内藤　功，東城守一　労働法律旬報　336（'59—2）

刑事弾圧に組織的にどう対処していくか——組織対策を中心に
清水　明　労働法律旬報　336（'59—2）

刑事法，警察官職執行法改正の問題——労働組合運動と関係させて
石島　泰　労働法律旬報　301（'58—3）

最近の刑事事件にあらわれた特徴——機労，都教組，全逓に対する刑事責任
内藤　功　労働法律旬報　301（'58—6）

最近の労働刑事事件にあらわれた争議行為の煽動と教唆について
内藤　功　労働法　13（'59—4）

ストライキと刑法　【討論】
藤木英雄，他　日労研資料　11—10（'58—4）

全農林に対する弾圧の経過と特徴
全農林　労働法律旬報　334（'59—2）

全農林の刑事弾圧事件をめぐる問題——法律実務家らみた問題の提起
佐藤義彌　労働法律旬報　334（'59—2）

争議行為と刑事責任について　【座談会】
沼田稲次郎，他　官公労働　12—4（'58—4）

争議行為と刑事責任について
藤本英雄　日労研資料　428（'58—11）

争議行為の刑事免責と最高裁——ピケットを中心として
宮内　裕　季刊労働法　8—3（'58—9）

停電ストなどをめぐる刑事責任　<1, 2>
宮内　裕　法学論叢　64—4（'58—10）；66—2（'59—11）

同盟罷業と強要罪又は恐喝罪
神山欣治　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

納金ストに関する二つの上告審判決——納金ストと業務上横領罪の成否等
高田義文　ジュリスト　165（'58—11）

民間労組に対する刑事弾圧について——やり方，態様，そのねらい
小島成一，松本善明　労働法律旬報　336（'59—2）

労働刑事事件の変転
藤野　豊　法律のひろば　11—9（'58—9）

労働刑法における違法性の基礎構造——正当化シンボルと関連して
桜木澄和　刑法雑誌　10—1（'59—12）

労働刑法について　【アンケート】
法律時報　30—9（'58—9）

労働刑法の現代的課題
宮内　裕　法律時報　30—9（'58—9）

労働者と刑罰法規——いわゆる労働刑法の位置について
沼田稲次郎　法律時報　30—9（'58—9）

労働争議と刑事的規制　【鼎談】
平野竜一，沼田稲次郎，峯村光郎　労働問題　6（'59—11）

労働犯罪に対する最高裁判所の思考に就いて——戦後10年の主要判例を中心に
熊倉　武　労働法　13（'59—4）

治安関係法

悪法撤廃運動の思い出
林　百郎　思想　416（'59—2）

旧日本における治安取締と人権
滝内礼作　法律時報　臨時増刊（'58—12）

戦後治安立法史——特別刑法体系の発展　<1〜4>
夏目文雄　法経論集(愛知)　21/22, 23/24（'58—3, 11）；25, 28（'59—1, 10）

戦後治安立法の制定過程
星野安三郎　法律時報　臨時増刊（'58—12）

戦後治安立法の発展と特質
杉村敏正，宮内　裕，片岡　昇　法律時報　臨時増刊（'58—12）

戦前における治安立法体系
戒能通孝　法律時報　臨時増刊（'58—12）

戦前における治安立法の運用とその実態
池田政章　法律時報　臨時増刊（'58—12）

大東亜戦争下における基督教の弾圧
米田　勇　思想　416（'59—2）

秘密保護法と秘密の意味
時の法令　295（'58—10）

売春防止法

芸者の売春
下光軍二　法律時報　31—9（'59—8）

最近の犯罪と売春防止問題　【座談会】
北野筍一郎，斎藤弘，江戸川乱歩，井上泰宏，大熊戻太郎，古畑種基，長谷川瀏　犯罪学雑誌　24—2（'58—4）

その後の売春防止法
神崎　清　部落　11—5（'59—5）

日本における売春関係法制の沿革
鈴木寿一　法律時報　30—2('58—2)

売春と人身売買の関連
前田信二郎　法学（近大）　6—4（'58—3）

売春と女性犯罪——二つのタイプの事例
武村信義　犯罪学雑誌　25—1（'59—4）

売春の刑事学的考察——欧米を中心として
前田信二郎　法学（近大）　7—1（'58—6）

売春廃止と民法90条
千種達夫　判例時報　175（'59—2）

売春婦に対する補導処分——東京，大阪，福岡に婦人補導院
宮本利寿　時の法令　278（'58—5）
売春防止について
宮原三男　時の法令　273（'58—3）
売春防止法一部改正と婦人補導院法について
滝川春雄　法律時報　30—6（'58—6）
売春防止法1周年の反省
前田信二郎　法学セミナー　39（'59—6）
売春防止法と刑事処分
鈴木義男　法律時報　30—2（'58—2）
売春防止法とその実施について
新井藤作　綜合法学　1—1（'58—6）
売春防止法と性犯罪
樋口幸吉　法学セミナー　33（'58—12）
売春防止法における刑と保安処分との交錯
牧野英一　レファレンス　88（'58—5）
売春防止法の一部を改正する法律及び婦人補導院法
横井大三　法曹時報　10—4（'58—4）
売春防止法の一部を改正する法律解説——併せて婦人補導院法及び人身売買条約について
検察月報　108（'58—4）
売春防止法の実態
前田信二郎　ジュリスト　187（'59—10）
売春防止法の諸問題
正木　亮　刑政　69—4（'58—4）
売春防止法の全面施行を控えて
団藤重光　法律時報　30—2（'58—2）
売春防止法の全面実施と更生保護
吉田次郎　更生保護　9—4（'58—4）
売春防止法は役に立つたか——全面施行後1年間の実態と取締り実績から見た問題点
町田　充　時の法令　334（'59—11）
売春問題に関する三章
前田信二郎　法律時報　30—2（'58—2）
売春問題の考察——売春の行方と取締における問題点についての若干の考察
徳原正一　警察学論集　11—4（'58—4）
補導処分と裁判所調査官——売春防止法の一部改正をめぐつて
正田満三郎　ジュリスト　152（'58—4）

外　国　刑　事　法

諸　　国

アジアおよび極東地域における売春とその取締対策 <1〜4完>
Banerjee, G. R.　法律のひろば　11—4, 6, 7, 9（'58—4, 6, 7, 9）
アジアに於おける売春問題
久布白オチミ　刑政　69—2（'58—2）
欧米における矯正施設の現状
佐藤藤佐　法律のひろば　11—12（'58—12）
欧米四カ国の刑務作業概況
刑政　70—7（'59—7）
売春廃止への途——国際廃娼協会事務意見書
法律のひろば　11—3（'58—3）
罰金の日割制について　<1, 2完>
牧野英一　季刊刑政　6—2, 3（'58—6, 9）
北欧における保安処分
森下　忠　刑法雑誌　8—2/4（'58—3）
酩酊者の刑事責任に関する立法例抜萃
刑法雑誌　9—3/4（'59—6）

ア　メ　リ　カ

アメリカにおける死刑廃止論の動向——その発展過程における人と業績素描　<上，下>
夏目文雄　法律のひろば　11—11, 12（'58—11, 12）
アメリカにおける租税犯と被疑者の保護
長　　穣　税法学　101, 102（'59—5, 6）
アメリカ法律協会模範青少年矯正委員会法
宮原三男，中村眹兆　法律論叢　33—1（'59—7）
集団脱獄と監獄暴動
中野五郎　法学セミナー　39（'59—6）
チャタレー夫人の恋人の映画に関する判決について
河原畯一郎　ジュリスト　186（'59—9）
犯人逮捕に協力を求める懸賞広告の性質
塚本重頼　法律のひろば　12—1（'59—1）
米国における少年非行集団の問題——グループ・ワーク的アプローチ
山口　透　家庭裁判月報　11—11（'59—11）
米国における少年犯罪　<1, 2完>
小川政浩　社会事業　42—4, 5（'59—4, 5）
モンタナ州刑務所暴動記
刑政　70—7（'59—7）
リンチ——その由来とある有名なリンチ殺人事件
中野五郎　法学セミナー　41（'59—8）
フランス映画「チャタレー夫人の恋人」の上映禁止事件 <上，中，下>
成田頼明　時の法令　323〜325（'59—8）

イ　ギ　リ　ス

イギリスにおける児童・少年保護法制
荘子邦雄　更生保護　10—2（'59—2）
イギリスにおける保安処分
武安将光　刑法雑誌　8—2/4（'58—3）
イギリスにおける保護観察制度運用の実情
武安将光　更生保護　9—9（'58—9）
イギリス・西ドイツ等における青少年犯罪に対する刑事政策とわが国との比較
武安将光　ジュリスト　169（'59—1）
英国・西ドイツ等における売春関係事犯の取締と処罰
武安将光　ジュリスト　185（'59—9）
英国・西ドイツ等における暴力犯罪の取締と刑の量定 <1, 2>
武安将光　法律時報　31—2, 3（'59—2, 3）
英米刑法における罪刑法定主義
鈴木享子　明治大学法制研究所紀要　2（'59—9）
英米刑法における Malice Aforethought について——その序論的考察
時武英男　法と政治　10—4（'59—11）
英米刑法における酩酊の抗弁
尾中俊彦　刑法雑誌　9—3/4（'59—6）
英米刑法における酩酊の抗弁
尾中俊彦　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）
英米における保護観察官の資格と研修　<1, 2>
佐藤　豁　法務研修所報　4—1, 3（'59—1, 3）
英米法における酩酊と刑事責任　<1〜5完>
鈴木義男　警察研究　30—1〜5（'59—1〜5）
犯罪類型の比較研究——英国
山口林之助　社会科学論叢（長崎）　9（'59—2）
売春のための場所の提供——1898年浮浪者取締法第1条の適用
塚本重頼　法律のひろば　11—5（'58—5）
貧民政策と矯正収容所——イギリス近世刑法社会史の断層
前田信二郎　法学（近大）　6—2/3（'57—11）
フランス革命時代におけるイギリスの治安維持立法
小松春雄　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）
マグナ・カルタと罪刑法定主義　<2〜4完>
大野真義　阪大法学　27（'58—7）；32, 33（'59—10, 12）
マグナ・カルタの神話
桜木澄和　法学新報　65—9（'58—9）

イ　タ　リ　ア

イタリーにおけ保安処分
柏木千秋　刑法雑誌　8—2/4（'58—3）
イタリア刑法における緊急避難論
森下　忠　法経学会雑誌　30（'59—9）
イタリア刑法における酩酊問題
森下　忠　刑法雑誌　9—3/4（'59—6）
イタリヤ少年刑務所印象記
羽山忠弘　刑政　69—4, 5（'58—4, 5）
イタリア新憲法と刑罰法
森下　忠　イタリア学会誌　6（'57—12）
イタリアにおける反動立法反対闘争——警職法改悪反対闘争と関連して
永野順造　労働経済旬報　12—388（'58—12）
イタリアの売春規制廃止法
森下　忠　ジュリスト　169（'59—1）
刑法改正事業の近況
森下　忠　法律時報　31—1（'59—1）

ス　イ　ス

スイス刑法における予備と未遂の概念——ワイブリンゲルの報告を手がかりとして
西山富夫　名城法学　8—4（'59—3）
スイスにおける保安処分
平野竜一　刑法雑誌　8—2/4（'58—3）

スウェーデン

スウェーデンにおける保護法草案とプロベイション制度の発展
佐藤　豁　更生保護　10—2（'59—2）
スェーデンの保護法案
牧野英一　季刊刑政　6—1（'58—3）

ソ　ヴ　エ　ト

改正されたソヴエト新刑事立法　<1〜4完>
中山研一　法学論叢　64—6（'59—2）；65—2, 5（'59—5, 8）；66—1（'59—10）
社会主義刑法に於ける刑事責任論
後藤正弘　鹿児島大学社会科学報告　5（'58—9）
社会主義刑法における構成要件の概念と近代刑法学との比較
井上祐司　季刊法律学　27（'59—7）
1958年改正ソ連邦刑事立法の基礎
宮崎　昇　警察研究　30—5（'59—5）
ソヴェト共犯論——ソヴェト犯罪論研究　<1〜3>
夏目文雄　警察研究　29—8, 10, 12（'58—8, 10, 12）
ソヴェト刑事責任能力論　<1〜3>
夏目文雄　警察研究　30—4, 6, 9（'59—4, 6, 9）
ソヴェト刑事立法の改正
中山研一　法律時報　31—6（'59—5）
ソヴェト刑法講座　<1〜19>
宮崎　昇　法律のひろば　11—6〜12（'58—6〜12）；12—1〜12（'59—1〜12）
ソヴェト刑法における過失
井上祐司　法政研究　25—2/4（'59—3）
ソヴェト刑法の発展　1917〜1959
稲子恒夫　季刊法律学　27（'59—7）
ソヴェト刑法の本質と課題
中山研一　法学セミナー　25（'58—4）
ソヴェト刑法の理論と現実
稲子恒夫　法学セミナー　27（'58—6）
ソヴェト刑法の歴史をめぐる最近の論争について
横山晃一郎　法学研究（愛知）　1（'58—10）
ソヴェトにおける少年犯罪対策
宮崎　昇　法律のひろば　11—4（'58—4）
ソヴェトの少年犯罪対策
宮崎　昇　警察研究　30—10（'59—10）
ソ同盟および同盟構成共和国の刑事立法の基礎原理
夏目文雄　警察研究　30—2（'59—2）
ソ同盟および連邦共和国刑法基本原則改正草案訳　1958年
宮崎　昇　法律のひろば　11—11（'58—11）
ソ同盟と同盟共和国刑事手続の基礎草案(1958年)について
中山研一　刑法雑誌　10—1（'59—12）
ソ同盟と同盟共和国刑事立法の基本原理草案（1958年）について
中山研一　季刊法律学　27（'59—7）
ソ連の刑政
沼田市郎　刑政　70—11（'59—11）
賄賂罪立法の沿革——ソヴェトにおける刑法
宮崎　昇　警察研究　29—3（'58—3）

V. G. マカシヴィリ「過失の刑事答責性」【紹介】
井上祐司　法政研究　26—1（'59—7）

中　国

中華人民共和国刑法の諸問題　<1〜3>
夏目文雄　法律のひろば　12—9, 11, 12（'59—9, 11, 12）

中華人民共和国懲治貪汚例について
丹羽友三郎　三重法経　7（'58—3）

中華人民共和国の刑法
夏目文雄　法律時報　31—7（'59—6）

中華人民共和国の刑法および人間改造
平野義太郎　季刊法律学　27（'59—7）

中華人民共和国の刑法総則<1, 2>
夏目文雄　ジュリスト　176, 177（'59—4, 5）

中国の行刑制度，労働改造について
宮坂　宏　刑政　70—7（'59—7）

中国の死刑制度をめぐつて——死刑の廃止と死刑の権利
宮坂　宏　刑政　69—8（'58—8）

北京の監獄
野上彌生子　世界　147（'58—3）

マルクス主義と刑法学の諸問題——就中，中華人民共和国刑法の特質と体系を中心として
夏目文雄　法経論集（愛知）　29（'59—12）

ド　イ　ツ

エーバーハルト・シュミット，刑法の改正・近代刑事政策の歴史におけるベルリン学派の刺戟を回想しつつ
西原春夫　刑法雑誌　9—1（'58—5）

間接正犯概念の生成について——19世紀におけるドイツ刑法学発展の一側面
大塚　仁　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

強制状態と緊急避難
森下　忠　岡山大学創立10周年記念論文集　上（'59—10）

西独刑法1956年案についての若干の考察　<1〜4完>
牧野英一　季刊刑政　7—1〜4（'59—3, 6, 9, 12）

1956年ドイツ刑法総則草案——刑法大委員会第一読会の決議による
斎藤金作　早稲田大学比較法研究所紀要　3（'58）

1956年ドイツ刑法総則草案理由書——刑法大委員会第一読会の決議による　<上，下>
斎藤金作　早稲田大学比較法研究所紀要　4, 5（'59）

ドイツ刑事法の時効
山口林之助　法会科学論叢（長崎）　8（'58—3）

ドイツ刑法における酷酊犯罪
西原春夫　刑法雑誌　9—3/4（'59—6）

ドイツにおける騒擾罪の規定の適用状況及びそのわが国との比較
武安将光　法曹時報　11—10（'59—10）

ドイツにおける保安処分
滝川春雄　刑法雑誌　8—2/4（'58—3）

ドイツの刑法改正資料——刑法学者の意見集　<2〜6完>
佐伯千仞編　立命館法学　23, 25, 26（'58—1, 6, 9）; 28, 31（'59—3, 12）

東独の刑法学者による因果関係論
西村克彦　法経学会雑誌　26（'58—9）

西ドイツにおける青少年保護育成に関する法律制度
石川成就　青少年問題　6—4, 6（'59—4, 6）

西ドイツにおけるストライキのさいの刑事事件についての検察及び裁判の運用　<1〜3>
武安将光　研修　129, 131, 136（'59—2, 5, 10）

西ドイツにおける犯罪捜査，検察及び裁判
武安将光　ジュリスト　189（'59—11）

西ドイツにおける表現の自由と治安規定——ドイツ刑法とドイツ連邦裁判所判例を中心として
石村善治　福岡大学創立25周年記念論文集法学編　（'59—10）

西ドイツにおける保安処分の構想——1956年刑法草案を読んで
小川太郎　季刊刑政　6—3（'58—9）

西ドイツのある少年刑務所
福田　平　法学セミナー　28（'58—7）

西ドイツの共犯立法
斎藤金作　早稲田法学　34—3/4（'59—3）

東ドイツ刑法学の当面する課題——階級闘争と刑法の関係をめぐる論争
藤尾　彰　季刊法律学　27（'59—7）

東ドイツにおける刑事司法の発展序説
横山晃一郎　季刊法律学　27（'59—7）

東ドイツにおける刑罰の強化とその背景
山田　晟　法律時報　30—9（'58—9）

東ドイツの刑法補充法とその背景
横山晃一郎　法政論集　12（'59—3）

ボッケルマンの行為者刑法理論とドイツ刑法改正
下村康正　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）

フ　ラ　ン　ス

フランスにおける保安処分
吉川経夫　刑法雑誌　8—2/4（'58—3）

フランスにおける酩酊責任
下村康正　刑法雑誌　9—3/4（'59—6）

フランスの売春問題
レファレンス　87（'58—4）

其　の　他

赤いルビーの歌事件——ノルウェイにおけるチャタレー事件
日本法律家協会　法の支配　1（'59—6）

インドの不可触賤民（犯罪）法　1955年
藤尾正人　レファレンス　8—93（'58—10）

エジプト監獄視察記　<1, 2>
羽山忠弘　刑政　69—2, 3（'58—2, 3）

オーストリア労働所法
宮原三男　法律論叢　31—6（'58—4）

ベルギー刑法における緊急避難論　<上，下>
森下　忠　法律のひろば　11—12（'58—12）; 12—1（'59—1）

ロバート・C. ウイリアムスン「南アフリカにおける犯罪——その原因と処遇の状況」【紹介】
西山富夫　名城法学　8—2（'58—10）

民　事　手　続　法

民事手続法一般

学界回顧　1958年——民事訴訟法
伊東　乾　法律時報　30—12（'58—12）

学界回顧　1959年——民事訴訟法
江藤价泰　法律時報　31—13（'59—12）

兼子一著「実体法と訴訟法」【書評】
染野義信　法律時報　30—3（'58—3）

権利保護の必要
石川　明　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

現行法から見た民事訴訟（狭義）の構造について
中沢　徳　金沢大学法文学部論集法経篇　5（'58—2）

国際民事訴訟法学の発展とその展望——エルウィン・リーツラァ教授の生涯と業績を中心として
中村　武　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

裁判過程（Judicial process）に関する比較法学的研究
中村宗雄　早稲田大学比較法研究所紀要　2（'58）

裁判所が判決できる事項
斎藤秀夫　法学セミナー　25（'58—4）

私法・訴訟法並びに裁判
木川統一郎　綜合法学　1—2（'58—7）

実体法，訴訟法並びに裁判の理論
中村宗雄　綜合法学　1—3（'58—8）

勝訴判決を得るための要件
染野義信　法学セミナー　27（'58—6）

信用取引の停滞と訴訟の促進
内藤義人　金融法務事情　209（'59—6）

新件部の設置
古関敏正　法曹時報　11—9（'59—9）

新件部を設けて
古関敏正　自由と正義　10—7（'59—7）

訴訟観と訴権学説の推移
中村宗雄　綜合法学　2—7（'59—7）

訴訟の過程
野間　繁　綜合法学　1—3（'58—8）

訴訟の実務と理論
村松俊夫　書斉の窓　53（'58—2）

フランソワ・ゴルフ「判決——裁判心理学的研究」
染野義信　民事訴訟雑誌　5（'58—10）

三ケ月章著「民事訴訟法」【紹介】
小山　昇　法学協会雑誌　76—2（'59—12）

三ケ月章「民事訴訟法」【書評】
小室直人　法学雑誌　5—4（'59—3）

民事訴訟法における訴訟指揮
畔上英治　ジュリスト　156（'58—6）

民事訴訟における非能率——第一審を中心として　<1, 2>
畔上英治　法曹時報　11—1, 2（'59—1, 2）

民事訴訟の在り方について　<1, 2完>　【座談会】
宗宮信次，中村宗雄，山下朝一，毛利野富治郎，畔上英治，飯村義美，江川六兵衛，若林　清　自由と正義　10—2, 3（'59—2, 3）

民事訴訟の機能的考察と現象的考察——兼子一著「実体法と訴訟法」の立場をめぐつて
三ケ月　章　法学協会雑誌　75—2（'58—8）

民事訴訟法一部改正に関する意見書
天津　博　自由と正義　12—4（'59—4）

民事訴訟法に対する一考察
江藤价泰　人文学報　18（'58—3）

民事訴訟法について（なにを読むべきか）
ジュリスト　154（'58—5）

民事訴訟法の効用
染野義信　法学セミナー　31（'58—10）

民事訴訟をみる角度
畔上英治　法律時報　30—11（'58—11）

民事判決書簡易化の論理と実際——第一審を中心として
畔上英治　民事訴訟雑誌　5（'58—10）

手　形　訴　訟

為替訴訟制度について
横田正俊　商事法務研究　131（'59—3）

為替訴訟制度の現実的基礎と法的性格
染野義信　日本法学　25—3/5（'59—10）

手形小切手訴訟について——旧制度の紹介と復活の是非
村松俊夫　金融法務事情　209（'59—6）

手形小切手における権利実現の促進——為替訴訟制度復活論を中心として
升本喜兵衛　金融法務事情　209（'59—6）

手形訴訟制度について——為替訴訟の復活
松田二郎　ジュリスト　179（'59—6）

手形の流通過程の主張の仕方
坂井芳雄　判例タイムズ　10—2（'59—2）

民　事　訴　訟　法

民事訟訴法一般

1月3日は休日か——民事訴訟にいわゆる一般の休日
川添利起　ジュリスト　157（'58—7）

過去の法律関係と確認訴訟
石川　明　法学研究　31—12（'58—12）

確認と給付の訴の序列　<1, 2>
抜山　勇　法学　22—3（'58—10）; 23—1（'59—3）

形成権理論の濫用
中村宗雄　綜合法学　1—7（'58—12）

口頭主義の反省
近藤完爾　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
公訴権理論の一考察——民事訴訟法学に於ける考察態度を基盤として
内田武吉　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—2)
裁判——訴権論の基礎として
速水　正　三重法経　3 ('55—1)
準備手続制度の構造
染野義信　綜合法学　15 ('59—10)
所有権訴訟における二，三の問題　<1, 2>
花田政道，小中信幸　判例タイムズ　9—12 ('58—12)；10—3 ('59—3)
弁論主義
村松俊夫　法学セミナー　40 ('59—7)
民事訴訟記録について
村松俊夫　法律時報　30—7 ('58—7)
民事訴訟における具体的正義についての疑問
池田浩一　司法研修所創立10周年記念論文集　上 ('585)
民事訴訟における訴訟行為概念について——Baumgärtel理論に関する一覚書
上村明広　法経学会雑誌　29 ('59—4)
民事訴訟の動的構造
磯村義利　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
民訴156条2項の「一般の休日」について
田中京助　判例タイムズ　10—3 ('59—3)
無効乃至無効確認訴訟についての一考察
中沢　徳　金沢法学　5—2 ('59—12)

当　事　者

形式的当事者概念と既判力の主観的範囲の理念
上田徹一郎　法と政治　10—1 ('59—3)
正当な当事者
斎藤秀夫　法学セミナー　37 ('59—4)
選定当事者と給付判決
村松俊夫　法律時報　30—5 ('58—5)
訴訟主体としての当事者
染野義信　綜合法学　1—6 ('58—11)
訴訟遂行権について
中村英郎　早稲田法学　35—3/4 ('59—8)
訴訟における当事者権——訴訟と非訟の手続構造の差異に関する一考察
山木戸克己　民商法雑誌　39—4/6 ('59—4)
他人の名義を冒用した訴訟
伊東　乾　法学セミナー　26 ('58—5)
第三者の訴訟追行権に関する諸問題
中村　武　中央大学70周年記念論文集　('55—11)
当事者参加について
森　静雄　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
当事者の変更
高島義郎　法学論集　8—6 ('59—3)
任意的当事者変更理論の系譜
鈴木重勝　早稲田法学　35—3/4 ('59—8)
紛争に関する当事者の処分権
木川統一郎　法学セミナー　32 ('58—11)
理論上の合一確定訴訟
河本喜与之　日本法学　24—3 ('58—10)
労働組合の訴訟当事者適格について——判例を中心として
吉井正明　同志社法学　10—6 ('59—3)

訴・訴訟手続一般

訴の主観的予備的併合の許否
中田淳一　法学論叢　64—2 ('58—2)
訴の取下と控訴の取下との競合
糟谷忠男　判例タイムズ　9—9 ('58—9)
訴の変更
染野義信　法学セミナー　44 ('59—11)
訴の変更許さずとする裁判について
三好　達　判例タイムズ　9—3 ('58—3)
裁判上の和解
吉川大二郎　法学セミナー　41 ('59—8)
釈明権について　<1>
安井光雄　法学　23—3 ('59—10)
訴訟資料の蒐集
菊井維大　法学セミナー　29 ('58—8)
訴訟と権利の行使
山木戸克己　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)
併合事件についての若干の問題
村松俊夫　法律時報　30—8 ('58—8)
弁論の更新と調書
千種達夫　判例時報　172 ('59—1)
民事訴訟法第138条の陳述擬制
高野耕一　判例タイムズ　9—2 ('58—2)

訴　訟　物

株主総会決議を対象（訴訟の目的）とする各訴についての訴訟法学的考察
中村宗雄　早稲田法学　33—1/2 ('58—3)
給付の訴における請求の構造についての若干の考察
田中正一　判例タイムズ　10—3 ('59—3)
形成訴訟の訴訟物——学説の整理
鈴木正裕　民事訴訟雑誌　5 ('58—10)
時効中断の範囲と訴訟物の範囲
伊東　乾　綜合法学　16 ('59—11)
実務からみた訴訟物概念の動き
村松俊夫　法律時報　30—12 ('58—12)
請求権の競合
川島武宜，三ケ月　章　私法　19 ('58—4)
請求について
小山　昇　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
請求補説——訴訟行為効力理論の適用例に及ぶ
伊東　乾　法学研究　31—11 ('58—11)
訴訟上の請求
伊東　乾　綜合法学　1—5 ('58—10)
訴訟上の請求について
村松俊夫　民事訴訟雑誌　5 ('58—10)

訴訟物
中野貞一郎　法学セミナー　39 ('59—6)
訴訟物たる実体法上の関係の承継
山木戸克己　法学セミナー　30 ('58—9)
訴訟物の再構成——給付の訴と確認の訴を手がかりとして　<1~3完>
新堂幸司　法学協会雑誌　75—1, 2 ('58—7, 8)；75—5 ('59—1)
訴訟物の動態的把握——新旧両説対立の止揚のために
伊東　乾　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部 ('58—11)
訴訟物論争の新展開　<1, 2完>
伊東　乾　法学研究　32—7, 8 ('59—7, 8)
訴訟物をめぐる戦後の判例の動向とその問題点
三ケ月　章　民事訴訟雑誌　5 ('58—10)
填補賠償請求訴訟の訴訟物について
小出　昇　我妻先生還暦記念論文集　中 ('58—11)

証　　拠

間接事実と間接証拠
村松俊夫　法律時報　30—6 ('58—6)
鑑定
岩野　徹　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
検証についての一考察——民事訴訟を中心として
秋山光明　司法研修所創立10周年記念論文集　上 ('58—5)
裁判所に顕著な事実
小室直人　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)
裁判上の自白をめぐる諸問題
池田浩一　綜合法学　1—4 ('58—9)
事実認定管見
小室直人　法学雑誌　4—3/4 ('58—3)
事実認定について
村松俊夫　法律時報　30—1 ('58—1)
証拠における弁論主義
村松俊夫　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)
訴訟上からみた対抗要件の意義
村松俊夫　中村宗雄教授還暦祝賀論集　('55—3)
疎明についての諸問題
尾形慶次郎　判例タイムズ　10—1 ('59—1)
独禁法における事実認定と証拠　<上，下>
川井克倭　公正取引　110, 111 ('59—11, 12)
文書の形式的証拠力——いわゆる「文書の成立の真正」ということの意義について
磯崎良誉　判例タイムズ　10—2 ('59—2)
抹消登記手続請求訴訟における挙証責任の分配
天島惣平　司法研修所報　22 ('58—12)
民事裁判における事実証明——通説に対する疑問と証明度に関するひとつの試論
石井良三　ジュリスト　150 ('58—3)
民事訴訟における事実証明
今井文雄　民事研修　19 ('58—11)
利害相反する共同訴訟人間の訴訟法律関係——証拠共通の原則との関係において
西村宏一　岩松裁判官還暦記念論文集　('56—7)

裁判・既判力

既判力の客観的範囲に関する一問題
上村明広　岡山大学創立10周年記念論文集　上 ('59—10)
形式的当事者概念と既判力の主観的範囲の理念
上田徹一郎　法と政治　10—1 ('59—3)
決定事件について
村松俊夫　法律時報　30—9 ('58—9)
原始取得と既判力の主観的範囲拡張の限界
上田徹一郎　法と政治　10—3 ('59—10)
訴訟における相殺
高根義三郎　綜合法学　1—7 ('58—12)
調書改ざん事件——口頭弁論を更新した旨を調書の完成後に加筆した場合における判決の違法
三淵乾太郎　ジュリスト　168 ('58—12)
判決と決定の変更
村松俊夫　法律時報　30—11 ('58—11)
判決の第三者に及ぼす影響——主として反射効の理論　<2>
木川統一郎　法学新報　65—1 ('58—1)
判決の第三者に対する効力　<1, 2完>
岡村玄治　民商法雑誌　37—6 ('58—9)；38—2 ('58—11)
判例にあらわれた権利確定の時の判定について
志賀美夫　財政　23—11 ('58—10)
保証人に対す判決と主債務者
中田淳一　法学セミナー　31 ('58—10)
法条競合論の訴訟法的評価——新訴訟物理論の立場よりの一考察
三ケ月　章　我妻先生還暦記念論文集　中 ('58—11)
民訴第199条第2項について
中野貞一郎　司法研修所創立10周年記念論文集　上('58—5)

上　　訴

訴の取下と控訴の取下との競合
糟谷忠男　判例タイムズ　9—9 ('58—9)
上訴要件の一考察——その不服について
小室直人　法学雑誌　6—1 ('59—7)
当事者主義の審理不尽に及ぼす影響
田上輝彦　判例タイムズ　9—7 ('58—7)
附帯控訴の本質
小室直人　民商法雑誌　39—1/3 ('59—3)

強制執行・保全訴訟法

違法執行による損害賠償
斎藤秀夫　我妻先生還暦記念論文集　中 ('58—11)
株券の引渡請求とその代償請求
村松俊夫　商事法務研究　131 ('59—3)
株式会社法と仮処分制度　<1, 2完>
鴻　常夫　商事法務研究　126, 127 ('59—1, 2)

仮差押，仮処分
吉川大二郎　法学セミナー　23（'58—2）

仮差押素描
島谷六郎　金融法務事情　211（'59—6）

仮執行をめぐる担保
村松俊夫　法律時報　30—3（'58—3）

仮処分の本案化
沢　栄三　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

仮処分命令における解放金——判例の綜合的研究
吉川大二郎　立命館法学　23（'58—1）

仮の地位の仮処分における保全目的　<2>
沢　栄三　法曹時報　10—1（'58—1）

既判力と建物買取請求権の行使
村松俊夫　法律時報　30—2（'58—2）

強制執行できる要件
小野木　常　法学セミナー　33（'58—12）

強制執行停止決定の担保
村松俊夫　法律時報　30—4（'58—4）

強制執行の過程
野間　繁　綜合法学　2—5（'59—5）

強制執行法の改正に寄せて
宮脇幸彦　金融法務事情　210（'59—6）

強制執行を免れるためになされた不動産の仮装譲渡
平賀健太　民事研修　9（'58—1）

金銭を目的として弁済供託された供託物（供託金）取戻請求権と差押転付命令
間中彦次　判例タイムズ　9—5（'58—5）

勤評をめぐる仮処分と執行停止
斎藤秀夫　法学　23—2（'59—7）

銀行取引と執行手続の研究——預金に対する強制執行　<1～11>　【座談会】
中田秀慧，佐久間仙司，山本実一，堀内仁，沢ノ井史朗，岩田準平，三浦正次，高井常太郎，水田耕一，土肥原光圀，安武政敏　金融法務事情　174, 175, 178～182, 184～186, 193（'58—7～12）

競落不動産引渡命令
秦　亘　法曹時報　11—12（'59—12）

裁判上の保証供託　<上，下>
吉野　衛　民事研修　27, 29（'59—7, 9）

債権の競合差押の場合に発せられた無効の転付命令，取立命令によつて弁済した第三債務者は重ねて弁済しなければならない（聯合部判決巡歴）
我妻　栄　ジュリスト　157（'58—7）

債務者以外の第三者所有の庭園設備に対する動産執行と競落人の所有権取得
長谷部茂吉　法律のひろば　11—3（'58—3）

執行関係の変動に就て　<3>
山本実一　判例時報　134（'58—1）

執行文付与をめぐる訴における実体的請求権についての主張
西山俊彦　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

処分禁止の仮処分前の処分行為に基づく仮処分後の登記の効力
三淵乾太郎　法律時報　30—7（'58—7）

相殺権
坂野英雄　法学セミナー　22（'58—1）

滞納処分と強制執行の競合——強制競売を中心として
菊井維大　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

滞納処分における差押制度の諸問題
堀内　仁　バンキング　121（'58—4）

抵当権とその目的物の保全処分
尾崎昭夫　判例タイムズ　9—1（'58—1）

抵当権をめぐる仮処分　<1>
宮脇幸彦　金融法務事情　222, 224（'59—10, 11）

点検という名の執行　<1, 2完>
三宅正雄　判例時報　189, 190（'59—7）

東京地方裁判所における保全訴訟事件の実態——異議・取消事件
三宅正雄　法曹時報　10—3（'58—3）

特殊保全処分と個別執行の停止
菊井維大　民事訴訟雑誌　5（'58—10）

取引停止処分を逸れるための仮処分　<1, 2完>
宮脇幸彦　金融法務事情　214, 221（'59—7, 10）

不動産引渡命令と請求異議の訴
尾形慶次郎　判例タイムズ　9—1（'58—1）

不動産引渡命令について
田倉　整　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

不動産引渡命令の性質
中野貞一郎　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

保全処分の保証と損害賠償
上代博紀　バンキング　124（'58—7）

保全訴訟の訴訟物——保全理由との関係において
石川　明　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

保全命令に対する異議と取消
吉川大二郎　法学セミナー　36（'59—3）

民訴法第518条第2項について
山口幾次郎　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

優先権の目的となつている金銭債権の転付命令の効力
荻　大輔　鹿児島大学社会科報告　5（'58—9）

人 事 訴 訟 法

慰藉料——決定から確保まで
下光軍二　法律時報　30—3（'58—3）

1万5千円の慰謝料
千種達夫　判例時報　141（'58—3）

乙類家事審判事項としての財産分与事件
林脇トシ子　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

親子関係存否確認の訴における訴訟物
石井敬二郎　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

親子双方死亡後の親子関係不存在確認訴訟
北村良一　ジュリスト　180（'59—6）

親子の鑑定　<1, 2完>
古畑種基　民事研修　15, 16（'58—7, 8）

家事乙類審判事件手続の展望
市村光一　家庭裁判月報　9—10（'58—10）

家事事件の保全処分
中村修三　判例タイムズ　10—1（'59—1）

家事資料研究会の誕生
我妻　栄　ジュリスト　178（'59—5）

家事審判制度の将来
河野　力　戸籍誌百号記念論文集　（'58—3）

家事審判と保全処分
山木戸克己　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）

家事審判の本質
市川四郎　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

家事調停における特別の審判
宮崎俊行　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）

家庭裁判所の医務室から
畑下一男　法律時報　30—3（'58—3）

協議離婚届書作成後の翻意と届出の効力
長利正己　ジュリスト　190（'59—11）

協議離婚無効確認調停事件の事後調査
青山道夫，飯野　勲　法政研究　25—1（'58—7）

戸籍上の親子がともに死亡している場合に実親から親子関係不存在確認の請求をすることができないか
三淵乾太郎　法律のひろば　12—7（'59—7）

死後における親子関係の不存在確認
鍛治良堅，小出廉二　綜合法学　17（'59—12）

昭和の天一坊
千種達夫　判例時報　146（'58—5）

審判による扶養料支払の始期
野田愛子　判例タイムズ　10—4（'59—4）

調停・審判における扶養の問題
西原道雄　法律時報　30—3（'58—3）

内縁の夫婦関係破棄による慰藉料の額　<上，下>
小出廉二　時の法令　282, 283（'58—6）

認知の訴における父子関係の証明
三淵乾太郎　法律時報　30—3（'58—3）

不治の精神病を原因とする離婚の訴とその方法
三淵乾太郎　法律時報　30—11（'58—11）

別居中の夫婦間の生活費請求
柳原嘉一　判例タイムズ　10—9（'59—9）

マリジ・カウンセリング
鮫島竜男　ジュリスト　179（'59—6）

身分関係不存在確認の訴
斎藤秀夫　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）

幼児マリアンヌ引渡訴訟
千種達夫　判例時報　156（'58—8）

履行の確保
河野　力　中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）

離婚訴訟の訴訟物
伊東　乾　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

離婚と裁判手段——最高裁の一判決を機縁として
我妻　栄　民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

非 訟 事 件 手 続 法

商業登記の有効要件
黒木　学　民事研修　20（'58—12）

商法の傾向と紛争の非訟化現象
大野実雄　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

登記官吏の審査権について
黒木　学　民事研修　9（'58—1）

取締役選任決議無効判決に基く登記上の二，三の問題点
黒木　学　民事研修　30（'59—10）

取締役の任期満了後の死亡又は解任の登記と任期満了退任の登記との関係
黒木　学　民事研修　14（'58—6）

非訟事件手続の対象——ハープシャイドの所説について
上村明広　法経学会雑誌　24（'58—3）

非訟事件の裁判及び訴訟上の和解の既判力
鈴木忠一　法曹時報　11—2（'59—2）

非訟事件の裁判の既判力
鈴木忠一　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

非訟事件の定型分類
石川　明　法学研究　31—4（'58—4）

類似商号の判定に関する若干の問題
味村　治　登記研究　140（'59—7）

行政事件訴訟特例法

〔行政法中「行政訴訟法」をも見よ〕

いわゆる事情判決をどう理解すべきか
今井敬彌　司法研修所報　22（'58—12）

違法宣言訴訟について
高木積夫　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

確定判決の効力——行政事件訴訟特例法第12条
須貝脩一　財政　22—5（'57—5）

関連請求の併合——行政事件訴訟特例法第6条
須貝脩一　財政　21—20（'56—10）

行政事件訴訟特例法による行政処分の執行停止——租税滞納処分に関する裁判例の回顧と諸問題　<上，下>
桃井直造，大森昌一　法律のひろば　11—9, 10（'58—9, 10）

行政事件訴訟特例法による行政処分の執行停止について　<上，下>
大森昌一　財政　21—9, 10（'56—9, 10）

行政処分の取消変更を求める訴の出訴期間
田中真次　法律時報　30—9（'58—9）

結果の排除を求める請求権
高根義三郎　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

公法関係の特質と抗告訴訟の対象
白石健三　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

抗告訴訟提起の要件
村上義弘　経済研究（大阪府大）　5（'57—12）

事情判決——行政事件訴訟特例法第11条
須貝脩一　財政　22—4（'57—4）

出訴期間——行政事件訴訟特例法第5条　<1, 2>
須貝脩一　財政　21—8, 9（'56—8, 9）

職権参加と職権証拠調——行政事件訴訟特例法第8条と第9条
須貝脩一　財政　21—12（'56—12）

選挙関係争訟論
林田和博　九州大学法学部創立30周年記念論文集　（'57—12）

訴願前置主義と行政訴訟
染野義信　判例評論　13（'58—7）

訴願前置と訴願法8条3項の宥恕
田中真次　法律時報　31—1（'59—1）

被告の変更——行政事件訴訟特例法第7条
須貝脩一　財政　21—11（'56—11）

特別手続法

破産法

株式会社の整理中禁止された相殺が破産に移行すれば許されるべきか
岡　井良　自由と正義　9—3（'58—3）

破産と事情変更の原則
斎藤秀夫　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）

否認権
斎藤秀夫　法学セミナー　24（'58—3）

競売法

競落による不動産上の負担の運命
小室直人　法学セミナー　34（'59—1）

担保権実行のための競売手続と配当要求
岡垣　学　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

抵当不動産の競落人の地位
寺沢俊雄　バンキング　124（'58—7）

各種調停法

家事審判及び家事調停の効力　<1>
宮脇幸彦　戸籍　131（'59—2）

家事審判官に何を望むか
沢井種雄　家庭裁判月報　11—3（'59—3）

家事調停委員の社会階層と思想
谷口知平　法律時報　30—3（'58—3）

家事調停私論——その理念と実情　<1, 2完>
村崎　満　法律時報　21—2, 3（'59—2, 3）

家事調停に関する一つの問題提起
潮見俊隆　法律時報　30—3（'58—3）

家事調停の実際——口絵解説
市川四郎　法律時報　30—3（'58—3）

家事調停の実情と科学化　【座談会】
市川四郎，大浜英子，中川善之助，日上泰輔，潮見俊隆
法律時報　30—3（'58—3）

家事調停の性格について
菰淵鋭夫　家庭裁判月報　10—1（'58—1）

家事調停論の工学的構成
宮崎俊行　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

最近における家事調停について
河野　力　法律時報　30—3（'58—3）

裁判と調停
高梨公之　法律時報　30—3（'58—3）

仲裁制度の発達を望む
阿川正道　ジュリスト　161（'58—9）

調停（裁判上の和解を含む）の瑕疵とその救済——実証的研究
今井道鑑　民商法雑誌　37—5（'58—8）

民事裁判制度における調停の使命
恒田文次　青山法学論集　1—1/2（'59—11）

外国民事手続法

諸国

英米型事実審理と大陸型事実審理——民事訴訟を中心として　<1〜4>
田辺公二　法曹時報　11—3, 4, 6, 7（'59—3, 4, 6, 7）

アメリカ

アメリカにおける単一訴訟方式
田中和夫　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

アメリカ民事訴訟における Pre-trial Conference について
川上　泉　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

英米法の調査における第一次的資料の重要性——米国海事手続における当事者である法人解散の場合の法則を例にとつて
田中和夫　法学研究（一橋）　2（'59—3）

推定の根拠と機能——モルガン教授の所説を学びて
楠本英隆　早稲田法学　33—3/4（'58—3）

ニュース・ソースに関する証言拒絶権の有無
塚本重頼　法律のひろば　12—10（'59—10）

米国における離婚事件の管轄について
鈴木秀雄　英米法学　9（'58—4）

米国のプリトライアル制度　<1〜5>
服部高顯　法曹時報　10—7, 9〜12（'58—7, 9〜12）

米国の民事訴訟の実際について
田辺公二　民事訴訟雑誌　5（'58—10）

米国民事訴訟における釈明
田辺公二　司法研修所報　23（'59—7）

マッコーミック著「証拠法提要」
楠本英隆　刑法雑誌　9—1（'58—5）

イギリス

イギリス民事訴訟規則改正委員会の報告
田中和夫　民事訴訟雑誌　5（'58—10）

英米民事訴訟における公判準備手続
古関敏正　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

家事事件の法的側面と人間関係調整の側面——イギリスの「峻別の原理」と日本の「融合の原理」
磯野富士子　法律時報　30—3（'58—3）

ドイツ

A. エンゲルマン著「民事訴訟法概史」訳　<4〜9>
小野木　常，中野貞一郎　阪大法学　26〜28（'58—2, 7, 10）；30〜32（'59—2, 7, 10）

為替訴訟制度の現実的基礎とその法的性格について——ドイツにおける現状を中心に
染野義信　金融法務事情　209（'59—6）

最近のドイツにおける訴訟行為論について
白川和雄　法学新報　69—11（'59—11）

最近のドイツにおける訴訟物理論の一断面
三ケ月　章　法学協会雑誌　74—5/6（'58—7）

最近のドイツにおける訴訟物理論の展開——シエバブ及びハープシヤイド理論についての覚書
上村明広　神戸法学雑誌　7—3（'57—12）

最近の西ドイツにおける訴訟物理論の動向
白川和雄　東洋法学　2—1（'58—5）

「訴訟の目的」概念の生成過程——1877年ドイツ旧民事訴訟法の成立に至るまで
中村英郎　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

ドイツにおける上告制限の問題
山田　晟　法律時報　30—12（'58—12）

ドイツ民事訴訟の実態そのほか——ハンブルグ報告【座談会】
近藤完爾，浅沼　武，入山　実，松尾　巖，内藤頼博，古山　宏，柳川真佐夫，新村義広　判例タイムズ　10—12（'59—11）

法規範的「訴訟の目的」概念の成立前史
中村宗雄　早稲田法学　35—3/4（'59—8）

フランス

フランスにおける形成判決の効力　<1>
江藤价泰　民商法雑誌　37—6（'58—9）

フランスにおける民事判例の理論
野田良之　法学協会雑誌　75—3（'58—10）

仏法における行政上の強制執行
広岡　隆　大阪学芸大学紀要人文科学　6（'58—3）

中国

新中国における離婚裁判の実態
荻山虎雄　自由と正義　10—12（'59—12）

刑事手続法

刑事手続法一般

外国軍隊に対する刑事裁判権
村重慶一　司法研修所報　21（'58—9）

学界回顧　1958年——刑事訴訟法
鴨　良弼　法律時報　30—12（'58—12）

学界回顧　1959年——刑事訴訟法
鴨　良弼　法律時報　31—13（'59—12）

刑事裁判官のいばらの道
新関勝芳　判例時報　139（'58—2）

刑事裁判雑感
鈴木忠五　時の法令　281（'58—6）

刑事裁判手続の七つの疑問
村本　晃　判例時報　143（'58—4）

刑事裁判における事実と証明
佐藤昌彦　法律のひろば　11—5（'58—5）

刑事裁判のゆるみ——フランク父子著「無罪」と清瀬博士著「拷問捜査」を読みて
正木　亮　法律時報　31—9（'59—8）

刑事裁判への反省
横川敏雄　ジュリスト　145（'58—1）

刑事裁判への一悲願——最高裁刑事法廷の窓外から
安平政吉　法律のひろば　11—11（'58—11）

刑事訴訟法改正の諸問題　<1>
笠松義資　刑法雑誌　9—1（'58—5）

刑事訴訟法改正の諸問題　<2>
和島岩吉　刑法雑誌　9—1（'58—5）

刑事訴訟の問題点
平野竜一　新聞研究　92（'59—3）

刑事手続と信義則
鴨　良弼　法学新報　66—5（'59—5）

刑事判決の性格についての一考察——民事判決との対比において
内田武吉　早稲田法学　35—3/4（'59—8）

刑事法廷への願いと私の信念
新関勝芳　判例時報　140（'58—3）

継続的犯罪の中間に確定判決の介入する場合について
石黒久晫　司法研修所報　21（'58—9）

刑法59条を誤つて適用した違法の判決に及ぼす影響
谷口知平　法律時報　31—2（'59—2）

検察官手持証拠書類等の事前閲覧問題
法律のひろば　12—12（'59—12）

検察官の被告人に有利な証拠の隠滅の問題及び右証拠の提出義務について
毛利与一　法律時報　31—1（'59—1）

公海における船舶衝突事件に関する刑事裁判管轄権——ロチュース号事件の判決と海洋法草案

佐藤和男 拓殖大学論集 16 ('58—4)

裁判を誤らせるもの
佐伯千仞 中央公論 74—17 ('59—12)

裁判に対する世上の物議と抗議行動
石橋 信 警察研究 30—10 ('59—10)

裁判の迅速と選挙違反
田上輝彦 ジュリスト 159 ('58—8)

裁判の正道たるもの
真野 毅 中央公論 74—13 ('59—9)

裁判の論理 【座談会】
大岡昇平, 久野 収, 中島健蔵, 真野 毅 中央公論 73—12 ('58—11)

佐伯千仞著「刑事裁判と人権」【書評】
戒能通孝 法律時報 30—4 ('58—4)

執行事務規程解説 <1〜22> (研修講座)
根本真儀 研修 117〜138 ('58—3〜'59—12)

集中審理と刑事弁護
岸 盛一 自由と正義 10—4 ('59—4)

証拠書類等閲覧問題についての裁判所の見解
平野竜一 ジュリスト 191 ('59—12)

証拠品事務規程解説 <1〜18> (研修講座)
河井貫司 研修 121〜138 ('58—7〜'59—12)

昭和33年の検察事務概況
高橋一郎 法曹時報 11—12 ('59—12)

初期における治安判事制度の展開
田村浩一 法学雑誌 6—1 ('59—7)

人権擁護に関する国連のアジア・セミナー
平野竜一 ジュリスト 154 ('58—5)

捜査・検察・裁判官の責任
家永三郎 中央公論 74—13 ('59—4)

直接審理と書面審理
伊達秋雄 判例時報 171 ('59—1)

日本における刑事訴訟法学の発展
小野清一郎 法学新報 66—5 ('59—5)

犯罪票事務取扱要領解説 <1, 2>
検察月報 113, 114 ('58—9, 10)

犯罪票事務取扱要領の実施について <上, 下>
鹿児島重治 地方自治 134, 135 ('59—2, 3)

法の被害者
阿部行蔵 法学セミナー 35 ('59—2)

量刑と執行猶予, 累犯加重, 未決通算との関係について
田上輝彦 ジュリスト 154 ('58—5)

判決前調査制度

売春防止法改正に伴う判決前調査制度設置問題——法務省の立場から
泉 政憲 ジュリスト 152 ('58—4)

刑事裁判における判決前調査について
江里口清雄 法の支配 2 ('59—11)

刑事事件における判決前の調査について
内藤文質 東洋法学 2—1 ('58—5)

審理前調査制度への疑問——裁判官と調査官の一心同体は必要か
宮崎 昇 ジュリスト 167 ('58—12)

判決前調査をめぐつて <上, 下>【座談会】
平野竜一, 佐藤 豁, 安倍治夫, 正田満三郎, 森田宗一
法律のひろば 11—5, 6 ('58—5, 6)

判決前調査をめぐる諸問題
安倍治夫 法律時報 30—11 ('58—11)

判決前調査制度
大島英一 自由と正義 10—4 ('59—4)

判決前調査制度に関する日弁連委員会の意見書案
自由と正義 10—12 ('59—12)

判決前調査制度について
江里口清雄 自由と正義 10—12 ('59—12)

判決前調査制度について
鈴木 勇 自由と正義 10—12 ('59—12)

判決前調査について
鴨 良弼 自由と正義 10—12 ('59—12)

判決前調査制度の問題点
高橋勝好 自由と正義 10—12 ('59—12)

判決前調査の必要性——福祉国家的刑事司法のために
江里口清雄 法律新聞 116 ('58—10)

判決前調査は必要か
Clèrc, F. 法律のひろば 11—5 ('58—5)

被告人の処遇方法のための判決前調査
Sheldon, G. 法律のひろば 11—5 ('58—5)

補導処分と判決前調査
江里口清雄 法律のひろば 11—5 ('58—5)

刑事裁判事件

松川事件

一にも真実二にも真実
阿部知二 世界 166 ('59—10)

刑事裁判の反省 【座談会】
青柳文雄, 岩田 誠, 岸 盛一, 横川敏雄, 平野竜一
ジュリスト 臨時増刊 ('59—9)

刑訴法からみた諏訪メモの役割
井上正治 法律時報 31—10付録 ('59—9)

最高裁と自由の任意性
平野竜一 法律時報 31—10付録 ('59—9)

最高裁の松川事件判決解説
竜岡資久 判例時報 194 ('59—8)

最高裁判所に対する一国民の要望
家永三郎 法学セミナー 43 ('59—10)

最高裁松川判決批判
佐伯千仞 法学セミナー 43 ('59—10)

最終段階をむかえた松川の闘い——私たちは今なにをなすべきか 【座談会】
岡林辰雄, 清水 明, 武田 久 労働法律旬報 320 ('58—9)

裁判官の思想と論理
松田道雄 法学セミナー 43 ('59—10)

裁判を誤らせたもの

後藤昌次郎 法律時報 31—10付録 ('59—9)

少数意見を批判する——今次判決を弁護人はどうみるか 【座談会】
岡林辰雄, 大塚一男, 後藤昌次郎, 上田誠吉, 中田直人
中央公論 74—13 ('59—9)

真犯人はこの中にいる？——松川判決読後感
向江璋悦 法律のひろば 12—10 ('59—10)

若干の感想
高田卓爾 ジュリスト 臨時増刊 ('59—9)

すべて刑事訴訟法の歪曲——松川事件第二審判決文批判
広津和郎 中央公論 73—3 ('58—3)

諏訪メモの発見されるまで
倉島 康 法学セミナー 43 ('59—10)

全人民は弾勃する——松川闘争勝利のために
春日庄次郎 前衛 150 ('59—1)

多数意見と少数意見
広津和郎 世界 166 ('59—10)

他人の自白で罪になるか 【座談会】
真野 毅, 森川金寿, 安平政吉, 広津和郎, 平野竜一, 戒能通孝 世界 153 ('58—9)

他人の自白と松川事件
広津和郎 世界 156 ('58—12)

反共確信は証拠にならない
戒能通孝 中央公論 74—13 ('59—9)

判決を読んで
植松 正 ジュリスト 臨時増刊 ('59—9)

判決のなかの重要問題 【座談会】
戒能通孝, 植松 正, 鵜飼信成, 家永三郎 法律時報 31—10付録 ('59—9)

広津評決の検討——広津和郎著「松川裁判」は真実を衝いているか
青柳文雄 ジュリスト 臨時増刊 ('59—9)

法廷外闘争について
森長英三郎 ジュリスト 臨時増刊 ('59—9)

松川裁判おかめ八目
野村正男 ジュリスト 臨時増刊 ('59—9)

松川裁判 (全)
広津和郎 中央公論 73—12 ('58—11)

松川裁判事件について
志賀義雄 前衛 150 ('59—1)

松川裁判と事実認定の問題
小松茂夫 世界 156 ('58—12)

松川裁判における事実認定について
大塚一男 自由と正義 9—10 ('58—10)

松川裁判における事実認定の理論
小松茂夫, 中村秀吉 思想 414 ('58—12)

松川裁判の10年とこれから
塩田庄兵衛 思想 423 ('59—9)

松川裁判の被告たち
佐藤 一 中央公論 74—14 ('59—10)

松川裁判補遺——被疑者と被疑者以外の者
広津和郎 中央公論 73—13 ('59—12)

松川事件の見かた——広津評決と青柳論文をめぐつて <1, 2> 【座談会】
野村正男, 戒能通孝, 平野竜一, 青柳文雄, 広津和郎
法律時報 31—12, 13 ('59—11, 12)

松川事件・網にかかつた魚
広津和郎 中央公論 73—5 ('58—5)

松川事件・運休貨物列車の連絡
広津和郎 中央公論 73—2 ('58—2)

松川事件最高裁判判決をめぐつて 【座談会】
我妻 栄, 宮沢俊義, 鈴木竹雄, 兼子 一, 平野竜一, 加藤一郎 ジュリスト 臨時増刊 ('59—9)

松川事件・時間も場所もわからない謀議
広津和郎 中央公論 73—1 ('58—1)

松川事件上告審判決を読んで
中武靖夫 判例時報 194 ('59—8)

松川事件上告審弁論集
岡林辰雄, 大塚一男, 後藤昌次郎, 小沢 茂, 植木敬夫, 石島 泰, 佐伯千仞, 上田誠吉, 風早八十二, 柴田睦夫, 池田輝孝, 竹沢哲夫, 岡崎一夫 前衛 159 ('59—1)

松川事件・スパナは規格品以外の軟鋼
広津和郎 中央公論 73—10 ('58—10)

松川事件——政治的傾向裁判にたいし民主主義をまもるたたかい
岡林辰雄 前衛 147 ('58—11)

松川事件・誰が悪なのか
広津和郎 中央公論 73—6 ('58—6)

松川事件とその裁判——最高裁における口頭弁論を前にして
鈴木正四, 古屋哲夫, 塩田庄兵衛, 山口啓二, 高橋碩一
歴史学研究 224 ('58—10)

松川事件と労働運動
清水 明 前衛 150 ('59—1)

松川事件・東芝側最後の謀議
広津和郎 中央公論 73—4 ('58—4)

松川事件における破棄判決の拘束力
井上正治 ジュリスト 臨時増刊 ('59—9)

松川事件の回顧
海野普吉 世界 166 ('59—10)

松川事件の最高裁判決について
青柳文雄 法律のひろば 12—10 ('59—10)

松川事件の法律問題——最高裁の口頭弁論を前にして
後藤昌次郎 労働法律旬報 320 ('58—9)

松川事件の法律問題
松川事件弁護人常任世話人会 法律時報 30—10 ('58—10)

松川事件の問題点
吉岡述直 警察学論集 12—9 ('59—9)

松川事件破棄差戻判決をめぐつて
木村亀二 法律時報 31—10付録 ('59—9)

松川事件・パールとスパナ <1〜3>
広津和郎 中央公論 73—7〜9 ('58—7〜9)

松川事件判決における問題点
大塚一男 判例時報 194 ('59—8)

松川10年の闘いから
岡林辰雄 前衛 159 ('59—10)

松川上告審判決と共謀問題
平場安治　ジュリスト　臨時増刊（'59—9）
松川の近況——現地を訪ねて
阿部知二　世界　163（'59—7）
松川判決をかえりみて【対談】
広津和郎，植松　正　綜合法学　15（'59—10）
松川判決を聴いて
日沖憲郎　時の法令　326（'59—9）
松川判決読後感——判例紹介にかえて
時の法令　328（'59—9）
松川判決とその問題点
後藤昌次郎　労働法律旬報　355（'59—9）
松川判決の意義
岡林辰雄　労働法律旬報　355（'59—9）
松川判決の解釈
平野竜一　判例評論　20（'59—9）

砂　川　事　件

違憲裁判の論理（判決の法律的問題点）
染野義信　法律時報　31—5（'59—4）
外国軍隊の駐留と憲法第9条（判決の法律的問題点）
有倉遼吉　法律時報　31—5（'59—4）
刑事特別法違憲の判決
我妻　栄　ジュリスト　177（'59—5）
刑事特別法違反により求刑する——論告要旨（注目すべき砂川裁判の全貌）
中央公論　74—6（'59—5）
刑特法の違憲性について（判決の法律的問題点）
田畑　忍　法律時報　31—5（'59—4）
刑特法の性格及び下級審の違憲審査（判決の法律的問題点）
宮原三男　法律時報　31—5（'59—4）
憲法解釈の方法について（判決の法律的問題点）
沼田稲次郎　法律時報　31—5（'59—4）
憲法・条約と裁判所の判断【座談会】
入江啓四郎，潮見俊隆，田中二郎，鵜飼信成，中村　哲
平野竜一　法律時報　31—5（'59—4）
憲法第9条と外国軍隊——砂川事件を批判す
大平善梧　警察学論集　12—5（'59—5）
憲法と国際法（判決の法律的問題点）
和田英夫　法律時報　31—5（'59—4）
憲法と裁判官（判決の法律的問題点）
斎藤秀夫　法律時報　31—5（'59—4）
公平な裁判所
毛利与一　世界　167（'59—11）
合法とは合憲の法のみをさす——弁論要旨（注目すべき砂川裁判の全貌）
中央公論　74—6（'59—5）
国際法と憲法（判決の法律的問題点）
伊藤不二男　法律時報　31—5（'59—4）
最高裁砂川判決について
東城守一　労働法律旬報　366（'59—12）
最高裁と砂川事件
内藤　功　労働法律旬報　348（'59—6）
時事放談——砂川事件を中心に【座談会】
末川　博，堀　経夫，田畑　忍，中谷敬寿　綜合法学　2—6（'59—6）
司法権の限界（判決の法律的問題点）
井上正治　法律時報　31—5（'59—4）
純粋で誠実な判決
恒藤　恭　法律時報　31—5（'59—4）
条約審査権・外国軍隊の駐留（判決の法律的問題点）
大西芳雄　法律時報　31—5（'59—4）
新聞論調にみる砂川判決
山田　要　法律時報　31—5（'59—4）
砂川公判を終つて
佐伯静治　法学セミナー　44（'59—11）
砂川裁判の法律的意義
木村亀二　法律時報　31—5（'59—4）
砂川裁判の論争点
大野正男　中央公論　74—14（'59—10）
砂川事件上告審口頭弁論の問題点　<1, 2完>
佐藤　功　ジュリスト　189, 190（'59—11）
砂川事件上告弁護人数制限に関する最高裁判所の決定と特別抗告申立書
法律時報　31—7（'59—6）
砂川事件の第一審と政治問題
安部治夫　判的時報　181（'59—4）
砂川事件の判決を読んで
宗宮信次　自由と正義　10—5（'59—5）
砂川事件判決を検討する【座談会】
向江璋悦，高野雄一，橋本公亘，伊達秋雄　法律のひろば　12—5（'59—5）
砂川事件判決をめぐる法律的問題点
潮見俊隆　思想　419（'59—5）
砂川事件漫筆
高木右門　民事研修　27（'59—7）
砂川判決と安保条約——学習のための考え方の整理とその意味
松岡三郎　労働経済旬報　13—401（'59—5）
砂川判決と憲法
青山五郎　前衛　155（'59—6）
砂川判決と日本国憲法
小林直樹　世界　162（'59—6）
砂川判決と法の解釈
渡辺洋三　法律時報　31—7（'59—6）
砂川判決に対する上告趣意書の検討
田畑　忍　綜合法学　15（'59—10）
砂川判決について
和田英夫　判例時報　182（'59—5）
砂川判決の意義とわれわれの闘い
佐伯静治　労働法律旬報　341（'59—4）
砂川判決の問題
吉川経夫　労働経済旬報　13—403（'59—5）
積極的意義はどこにあるか（判決の法律的問題点）
星野安三郎　法律時報　31—5（'59—4）
政治的裁判を排す
真野　毅　世界　168（'59—12）
第二次砂川事件判決に対する上告趣意書
法律時報　31—8（'59—7）
駐留軍は違憲か？——砂川判決をめぐつて【研究会】
芦部信喜，伊藤正己，鵜飼信成，雄川一郎，加藤一郎，鈴木竹雄，田中二郎，平野竜一，三ケ月　章，矢沢　惇
ジュリスト　177（'59—5）
はつきりさせたいこと（判決の法律的問題点）
長谷川正安　法律時報　31—5（'59—4）
判決の意義と適正内容条項（判決の法律的問題点）
荘子邦雄　法律時報　31—5（'59—4）
不当な圧力を排す（判決の法律的問題点）
宮内　裕　法律時報　31—5（'59—4）
米軍駐留および特別法違憲判決
鈴木安蔵　法律時報　31—5（'59—4）
米軍駐留は違憲である——判決文全文
中央公論　74—6（'59—5）
米駐留軍を違憲とした砂川判決について
戒能通孝　労働法律旬報　341（'59—4）
平和と人権の審判（砂川公判をめぐつて）
和田英夫　法学セミナー　44（'59—11）
弁護を終えて
海野普吉，毛利与一　法律時報　31—5（'59—4）
望蜀の感（判決の法律的問題点）
吉川経夫　法律時報　31—5（'59—4）
我々は何を主張するか
海野普吉　世界　167（'59—11）

菅　生　事　件

あぶなかつた菅生裁判
正木ひろし　判例時報　165（'58—11）
警察・検察・裁判所——菅生事件・ある記者の感想
原　登志雄　中央公論　73—8（'58—8）
菅生公判の一考察——東大鑑定の内部爆破説を中心に
菅生事件研究会　警察学論集　11—11（'58—11）
菅生事件を弁護して
正木ひろし　世界　152（'58—8）
菅生事件控訴審判決
井上正治　ジュリスト　158（'58—7）
菅生事件二審判決について
関原　勇　自由と正義　9—9（'58—9）
菅生事件に破棄，駐在所爆破は無罪
法律新聞　98（'58—6）
菅生事件の控訴審判決と鑑定
井上正治　法律のひろば　11—8（'58—8）
菅生事件の控訴審判決と間接証拠
井上正治　判例時報　154（'58—7）
菅生事件の法律問題　<1, 2>
井上正治　判例時報　148, 149（'58—6, 7）
菅生事件判決と戸高事件判決
宮内　裕　判例時報　159（'58—9）
戸高事件と期待可能性
佐伯千仞　法学セミナー　32（'58—11）

戸高事件判決をめぐつて
宮内　裕　判例評論　23（'59—12）
④点の行方
正木ひろし　時の法令　282（'58—6）

八　海　事　件

嵐の中の自由心証主義——八海事件判決を読んで
環　昌一　判例時報　201（'59—10）
重大な事実誤認
藤崎　晙　判例時報　201（'59—10）
事実認定の審査と最高裁——八海事件判決における
平野竜一　判例時報　134（'58—1）
八海事件最高裁判決に思う
原田香留夫　自由と正義　9—2（'58—2）
八海事件の七不思議
正木ひろし　世界　159（'59—3）
八海事件の判決を読んで
正木ひろし　判例時報　201（'59—10）
八海事件判決について
樫田忠美　判例時報　201（'59—10）
被告は訴える
矢田貴美雄　世界　160（'59—4）
無罪判決を聞いて
家永三郎　世界　167（'59—11）
割切りすぎた八海事件
井上正治　判例時報　201（'59—10）

駐留軍関係事件

曲法阿米のジラード裁判
原田好郎　自由と正義　9—1（'58—1）
ジラード裁判の功績
柳瀬　宏　自由と正義　9—3（'58—3）
三つの基地——その訴訟記録
潮見俊隆　世界　162（'59—6）
ロバート・L．キング事件——日米国際協力による国際麻薬犯人の検挙処罰の一事例　<1, 2>
長島　敦　法律のひろば　11—11, 12（'58—11, 12）

其の他の事件

「暁に祈る」事件の上告審判決
青柳文雄　ジュリスト　157（'58—7）
圧制にたいする人民の抵抗権について——枚方事件の最終弁論から
東中光雄　前衛　148（'58—12）
或る不思議な事件
森長英三郎　法学セミナー　32（'58—11）
ある名誉毀損事件——養老事件の一挿話
森長英三郎　法学セミナー　41（'59—8）
首なし事件の法廷
正木ひろし　判例時報　163（'58—10）
三・一五事件(1928年)当時押収された日本共産党関係資料
社会科学研究　9—6（'58—3）
チャタレイ裁判のネライ
正木ひろし　判例時報　164（'58—11）

播磨造船関係疑獄事件
山崎　薫　判例時報　199（'59—10）
二俣拷問事件余聞——山崎兵八提訴事件
津田謄三　自由と正義　9—11（'58—11）
メーデー事件冒頭陳述要旨
前衛　156（'59—7）
幸徳秋水事件判決書
法の支配　2（'59—12）

刑事訴訟法

刑事訴訟法一般

刑事訴訟手続の形式的性格
鴨　良弼　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）
刑事訴訟と応訴権
斎藤金作　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）
刑事訴訟における訴訟行為の違法とその効果　<1>
光藤景皎　法学志林　57—2（'59—9）
刑事訴訟法における当事者主義について
井戸田　侃　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）
刑事訴訟法講義　<16〜37完>（研修講座）
内堀美通彦　研修　115〜137（'58—1〜'59—11）
刑事弾圧事件における黙否権の本質
植木敬夫　労働法律旬報　304（'58—4）
刑罰の執行
斎藤金作　警察時報　13—11（'58—11）
刑法と刑事訴訟法における遡及の意義
柏木千秋　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）
現行刑事訴訟手続の短所とこれが改善的対策
樫田忠美　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）
憲法の諸原則からみた刑事手続の実際問題
本田正義　警察学論集　12—12（'59—12）
最近の刑事訴訟における当事者主義思想——その否定の根拠についての若干の考察
井戸田　侃　立命館法学　29/30（'59—9）
事実の真相の究明
斎藤朔郎　法曹時報　10—2（'58—2）
実体的真実主義
毛利与一　綜合法学　1—4（'58—9）
自動車事故の報告義務と黙秘権
田宮　裕　ジュリスト　189（'59—11）
当事者主義と職権主義
平場安治　法学セミナー　38（'59—5）
道路交通取締法施行令67条2項と黙秘権
藤木英雄　警察学論集　12—8（'59—8）
仏・米における刑事裁判手続の相違について
近藤綸二　法曹　110（'59—12）
弁論主義
中村英郎　綜合法学　2—3（'59—3）
黙秘権について
吉野辰雄　英米法学　9（'58—4）
やさしく分る刑事訴訟法　<1〜12完>
伊達秋雄　法学セミナー　25〜33（'58—4〜12）；34〜36（'59—1〜3）
労働運動と黙秘権——捜査段階における黙否権問題を中心に
西田公一　労働法律旬報　304（'58—4）

捜　査

違法な捜査押収により得られた証拠の許容性について
村瀬鎮雄　判例タイムズ　9—9（'58—9）
押収捜索許可状
青柳文雄　綜合法学　1—7（'58—12）
刑事捜査上の問題点
森川金寿　法律時報　31—6（'59—5）
公安事件捜査上の波紋
久礼田益喜　時の法令　287（'58—8）
合理捜査
小堀　旭　警察学論集　11—12（'58—12）
勾留に関する実務上の諸問題
浦辺　衛　法律のひろば　12—5（'59—5）
勾留の執行停止と病院移送
村瀬鎮雄　判例タイムズ　10—5（'59—5）
裁判所は捜査を妨害しているか
平野竜一　ジュリスト　159（'58—8）
捜査運営の刷新改善について
秦野　章　警察研究　29—2（'58—2）
捜査運営の適正化・合理化に対する一考察
家田光義　警察学論集　11—2（'58—2）
捜査押収令状の記載事項——日教組本部捜索事件の特別抗告
栗田　正　ジュリスト　162（'58—9）
捜索差押許可状の特定に関する二つの東京地裁決定
平場安治　判例評論　14（'58—9）
捜査手続における訴訟法上の諸問題
石川芳雄　警察学論集　12—12（'59—12）
捜査における当事者主義の限界
青柳文雄　警察学論集　12—4（'59—4）
賍物罪の捜査について
渡辺　稔　警察学論集　11—1（'58—1）
逮捕抑留中の被疑者——刑事訴訟法の当事者主義へのあゆみ
渋谷　亮　警察学論集　12—12（'59—12）
タクシー運転手強殺事件とＶＬ捜査
長谷川　瀏　警察学論集　12—9（'59—9）
売春捜査今昔
山岸長嚮　判例時報　152（'58—7）
売春犯の捜査について
重森幸雄　警察学論集　11—4（'58—4）
犯罪捜査についての若干の問題——被疑者側の立場からみた二，三の感想
笹内純一　警察学論集　12—3（'59—3）
被疑者の取調
松尾浩也　警察学論集　12—12（'59—12）

賄賂罪捜査について論ず
黒柳喜八郎　警察学論集　11—3（'58—3）

証人尋問・鑑定・証拠

医師の秘密遵守義務と証言拒絶権
植松　正　日本法学　24—1（'58—6）
違法収集の証拠
平場安治　法学セミナー　29（'58—8）
鑑定
荒川正三郎　判例時報　202（'59—11）
鑑定人心理
植松　正　ジュリスト　163（'58—10）
供述に対する暗示の影響力
植松　正　法学新報　66—5（'59—5）
刑事訴訟における挙証責任
松尾浩也　上智法学論集　1—1（'57—12）
刑事手続における証拠
佐々波与佐次郎　青山法学論集　1—1/2（'59—11）
刑事訴訟における証拠の開示
佐伯千仭　立命館法学　29/30（'59—9）
刑事判決の証拠説明
大竹武七郎　自由と正義　9—10（'58—10）
検察官の手持資料の閲覧
藤野　豊　法律のひろば　12—11（'59—11）
交互尋問
松尾浩也　法学セミナー　31（'58—10）
交互尋問に関する実務上の問題
吉良慎平　法律のひろば　11—4（'58—4）
交互尋問の法則
中武靖夫　法の支配　1（'59—6）
交互尋問の法則　<1〜3完>
中武靖夫　阪大法学　28，29（'58—10，12）；30（'59—2）
こどもの証言の信憑力　<1〜3>
平出　禾　判例時報　151〜153（'58—6，7）
裁判上の証明概念について——附・犯罪の成立を妨げる理由となる事実の証明
田村　豊　法経論集（佐賀）　5—2（'58—5）
殺意の立証の合理化について——殺意の実在的構造に関する一考察
安倍治夫　警察研究　29—4（'58—4）
事実認定と裁判官
戒能通孝　自由と正義　9—9（'58—9）
情況証拠について
平場安治　法律時報　30—6（'58—6）
証言の信頼度
千種達夫　判例時報　168（'58—12）
証拠書類と証拠物たる書面
横井大三　法学セミナー　30（'58—9）
書類証拠物の閲覧
平野竜一　法曹時報　11—6（'59—6）
証拠書類の閲覧謄写
本田正義　法律のひろば　12—11（'59—11）
証拠法における推定の法則——刑事関係を中心として
田村　豊　法学論叢（福岡）　2—2（'58—1）
証拠法についての反省
鴨　良弼　法律時報　30—11（'58—11）
証拠法の理論と現実
青柳文雄　警察学論集　12—12（'59—12）
捜査官と証拠法　【座談会】
横井大三，岡本常太郎，佐藤健一，鎌倉　節，木村　治　辻　辰三郎，新田　勇　法律時報　31—9（'59—8）
伝聞法則における証拠能力と証明力
青柳文雄　法学研究　31—5（'58—5）
問いの暗示性と供述の信頼度——裁判官についての一考察
植村　正　ジュリスト　160（'58—8）
誘導尋問
宗宮信次　日本法学　25—2（'59—6）
立証責任と立証程度の分析——刑事訴訟の段階構造から見た立証形態を中心として
田村　豊　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）

自　白

共犯者の自白
井上正治　法学セミナー　43（'59—10）
共犯者の自白と共謀の認定——松川上告審判決と関係して
平場安治　法律時報　31—10付録（'59—9）
共犯者の自白と憲法第38条第3項
伊達秋雄　法律のひろば　12—2（'59—2）
共犯の自白——最近の大法廷の判決を通じて
横井大三　警察研究　29—8（'58—8）
共犯容疑者の自白だけで他人を罰してはならぬ——練馬事件大法廷判決の違憲性について
青柳盛雄　労働法律旬報　317（'58—8）
共謀共同正犯，共犯者の自白の証拠能力
滝川春雄　判例評論　14（'58—9）
共謀共同正犯の要件および共犯者の自白と憲法第38条第3項——練馬事件の上告審判決
岩田　誠　ジュリスト　160（'58—8）
刑事訴訟法319条2項にいう自白の意義
沢登佳人，沢登俊雄　法政論集　11（'58—3）
自供調書をめぐる法廷の争い
新関勝芳　判例時報　141（'58—3）
自白とその判断——二つの汚職事件の経験から
大竹武七郎　法律時報　31—9（'59—8）
自白に関する諸問題
宮原三男　綜合法学　1—1（'58—6）
自白の真実性
鴨　良弼　法律時報　31—9（'59—8）
自白の心理
佐藤昌彦　警察学論集　12—11（'59—11）
自白の心理的背景
下山田行雄　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）
自白の補強証拠の問題点
吉野辰雄　英米法学　10（'59—4）
贈収賄事件の自白の任意性

本田正義　法律時報　31—9（'59—8）
特権意識と自白の任意性
田上輝彦　判例タイムズ　9—10（'58—10）
補助事実の自白——特に書証の認否について
仙田富士夫　司法研修所報　23（'59—7）
本人の自白
吉田常次郎　法学セミナー　41（'59—8）
量刑理由としての自白と否認
佐伯千仞　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）

公訴・告訴・公判

一事不再理の効力
伊達秋雄　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）
既判力の範囲
高田卓爾　法学セミナー　36（'59—3）
刑事既判力の客観的範囲
青柳文雄　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）
刑事訴訟法における一事不再理の効力　<1〜3完>
田宮　裕　法学協会雑誌　75—3, 4（'58—10, 12）; 76—1（'59—7）
公訴権の理論
鴨　良弼　法学セミナー　25（'58—4）
公訴権理論の反省
高田卓爾　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）
裁判形式としての決定と命令——刑事訴訟法における
高田卓爾　法学雑誌　4—3/4（'58—3）
裁判における事実認定の考え方
小林俊三　自由と正義　9—10（'58—10）
事実認定管見
小室直人　法学雑誌　4—3/4（'58—3）
事実認定ことはじめ
池田浩一　自由と正義　9—9（'58—9）
事実認定の蓋然性　<上, 下>
青木英五郎　警察学論集　12—8, 9（'59—8, 9）
事実認定の研究の将来
田辺公二　自由と正義　9—9（'58—9）
事実認定論——誤判の根源
正木ひろし　自由と正義　6—10（'58—10）
集中審理の基本問題
刑事裁判実務研究会　判例タイムズ　9—6（'58—6）
集中審理の諸問題　<1〜10>
刑事裁判実務研究会　判例タイムズ　9—7, 8, 10（'58—7, 8, 10）; 10—1, 2, 4, 5, 7〜9（'59—1, 2, 4, 5, 7〜9）
準起訴
千種達夫　判例時報　134（'58—1）
選挙違反罪の公訴時効
大竹武七郎　選挙　12—8（'59—8）
訴訟の発展と訴訟条件——訴訟条件の考察　<1>
光藤景皎　法学志林　56—1（'58—7）
法定代理人による告訴とその性質——継母の行つた告訴の効力
高橋勝好　警察学論集　12—6（'59—6）
判決訂正の制度と米法の Rehearing
時国康夫　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）
無罪の推定と有罪の推定
吉村徳重　法政研究　25—2/4（'59—3）
無罪の推定の法理についての一考察
柳原嘉藤　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）
免訴
平野竜一　法学セミナー　35（'59—2）
免訴の判決についての試論
小野慶二　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）

訴　　因

公訴事実の単一性と同一性
平野竜一　法学セミナー　41（'59—8）
公訴事実の同一性
井上正治　法学セミナー　27（'58—6）
訴因と公訴事実
栗本一夫　法学セミナー　28（'58—7）
訴因に関する考察
青木清相　日本法学　25—3/5（'59—10）
訴因の変更
高田卓爾　法学セミナー　39（'59—6）
訴因の変更と判例
斎藤金作　綜合法学　2—6（'59—6）
訴因変更命令
岸　盛一　法曹時報　11—8（'59—8）

上　　訴

あてにした恩赦に浴さなかつた場合取下げた上訴権の回復請求ができるか
荒川省三　ジュリスト　18（'59—6）
刑事上訴審の職権調査義務について
平出　禾　ジュリスト　147（'58—2）
刑訴411条3号による破棄判決　<1〜3完>
青柳文雄　判例時報　198〜200（'59—10）
控訴審における事実の取調
中武靖夫　法学セミナー　35（'59—2）
控訴理由
吉田常次郎　綜合法学　2—7（'59—7）
最高裁判所と事実審理
鍛治利一　自由と正義　10—4（'59—4）
事後審の自判の限界
横井大三　綜合法学　2—2（'59—2）
事実誤認の疑
高田義文　法律時報　30—4（'58—4）
上告審
高田義文　法学セミナー　22（'58—1）
上訴審における原判決の破棄事由としての事実誤認
真野英一　警察学論集　12—12（'59—12）
審理不尽
横川敏雄　法学セミナー　33（'58—12）

破棄事由としての大赦
高田義文　法律時報　30—12（'58—12）
量刑の不当
高田義文　法律時報　30—8（'58—8）

再審・非常上告

刑事再審手続における事実の取調等について
藤野英一　判例タイムズ　10—11（'59—11）
刑事再審の請求権者について
藤野英一　判例タイムズ　9—9（'58—9）
刑事再審の請求手続について
藤野英一　判例タイムズ　10—4（'59—4）
刑事再審の管轄について
藤野英一　判例タイムズ　9—5（'58—5）
刑事再審の請求理由について
藤野英一　判例タイムズ　9—8（'58—8）
非常上告
平出　禾　法学セミナー　24（'58—3）
非常上告の本質とその理由
櫛淵　理　司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）

陪　　審　　法

刑事裁判と陪審制の是非
横川敏雄　自由と正義　9—6（'58—6）
陪審制度小史——民衆が裁判に関与する意味
菊地　博　法律時報　31—12（'59—11）
陪審制度について
三堀　博　自由と正義　9—6（'58—6）
陪審制度の効用——12 Angry Men を観て
長谷川正安　法学セミナー　42（'59—9）

少　　年　　法

〔刑事法中「少年問題・犯罪」をも見よ〕

警察と少年補導
町田　充　警察学論集　12—7（'59—7）
少年事件調査審判の反省——法意識を中心として
櫛淵　理　家庭裁判月報　11—6（'59—6）
少年審判手続における秘密性——とくに氏名等の記事掲載禁止について
森田宗一　ジュリスト　165（'58—11）
少年審判の機能と構成
森田宗一　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）
少年の非行と家庭裁判所
市川四郎　自由と正義　10—10（'59—10）
少年犯罪者の氏名，写真の扱い
前田雄二　新聞研究　91（'59—2）
少年法改正に先き立つて——少年法改正の方向と方法
宮崎　昇　ジュリスト　187（'59—10）
少年法改正の方向と問題点　<上, 下>
佐藤佐治右衛門　時の法令　335, 337（'59—12）
少年法改正の要点
福原忠男　自由と正義　10—10（'59—10）
少年法規の問題点
岩松　茂　刑政　70—1（'59—1）
少年法第20条の運用をめぐつて
中川　衛　警察学論集　12—7（'59—7）
少年法適用年令改正可否の問題点
鈴村金一　更生保護　9—11（'58—11）
少年法とその運用——とくに第61条に関連して
森田宗一　新聞研究　92（'59—3）
少年法に関する諸問題
佐藤佐治右衛門　ジュリスト　187（'59—10）
少年法の改正に関する二，三の知見
市川秀雄　綜合法学　16（'59—11）
少年法の改正について
宮原三男　綜合法学　15（'59—10）
少年法の改正に寄せて
市川秀雄　季刊刑政　7—4（'59—12）
少年法の改正は必要か
木村亀二　法律時報　31—10（'59—9）
少年法の基本問題
森田宗一　警察学論集　12—7（'59—7）
少年法の基本問題
森田宗一　家庭裁判月報　11—8（'59—8）
少年法の刑事学的考察
波多野二三彦　季刊刑政　6—4（'58—12）
少年法の抗告審における審判
伊藤政吉　ジュリスト　152（'58—4）
少年法のできるまで
柏木千秋　刑政　70—1（'59—1）
少年法の立法政策管見
植松　正　自由と正義　10—10（'59—10）
少年保護事件の抗告
伊藤政吉　家庭裁判月報　10—3（'58—3）
新少年法10年の運営をかえりみて
市村光一　刑政　70—1（'59—1）
青少年犯罪と少年法の問題点——少年法改正の是非　【座談会】
中川　衛，垣鍔　繁，　鰭崎　轍，江上フジ，平尾東策　乗本正名，小野清一郎，大竹武七郎　自由と正義　10—10（'59—10）
第5回国際少年裁判官会議ついて
菰淵鋭夫　家庭裁判月報　10—9（'58—9）
非行少年とその裁判機構
宮原三男　木村博士還暦祝賀記念論文集　下（'58—7）
非行少年と売春婦の問題
宮原三男　時の法令　296（'58—11）
非行少年の人権——少年裁判所の手続に対する一つの評価
Diana, L.　家庭裁判月報　11—11（'59—11）
保護処分について——特に少年法におけるそれと関連して
市川秀雄　刑政　70—5（'59—5）

補導委託契約試論
松本一郎　司法研修所創立10周年記念論文集　上　('58—5)

刑 事 補 償 法

刑事補償——法の沿革と運用の問題点
横山晃一郎　法律時報　31—12 ('59—11)
証人等の被害についての給付に関する法律の解説
臼井滋夫，前田　宏　法曹時報　10—5 ('58—5)
被疑者補償の諸問題　<1, 2>
鈴木義男　警察研究　29—1, 2 ('58—1, 2)

外 国 刑 事 手 続 法

諸　　国

欧州諸国における非行少年の取扱の発達
宮原三男　明治大学法制研究所紀要　2 ('59—9)

ア メ リ カ

アメリカ陪審裁判の実証的考察
桜田勝義　法律時報　30—6 ('58—6)
違法に収集された証拠の証拠能力
塚本重頼　法律のひろば　11—2 ('58—2)
裁判所侮辱の即決処罰権
ジュリスト　174 ('59—3)
実質証拠としての自己矛盾供述——アメリカにおける証拠法近代化の一断面
安倍治夫　司法研修所創立10周年記念論文集　下　('58—3)
自白の補強証拠——アメリカ合衆国ユタ州最高裁判所判決の紹介
塚本重頼　法学新報　66—3 ('59—3)
出火原因調査手続と弁護人の立会権
塚本重頼　法律のひろば　12—11 ('59—11)
少年裁判所の一つの悩み——1954年米国少年専門裁判所基準を通して
近藤綸二　家庭裁判月報　11—1 ('59—1)
新聞の善意の報道と裁判所侮辱の成立
塚本重頼　法学新報　65—9 ('58—9)
尋問・自白の法による制約
Inbau, F. E.　警察研究　29—8 ('58—8)
盗聴規制に関する一考察　<1, 2>
田中館照橘，和田英夫　警察研究　30—11, 12('59—11, 12)
米国共産党公判傍聴の記　<14, 15>
天野武一　法律新聞　86, 88 ('58—1, 2)
米国における少年非行と警察　<中, 下>
枡谷　広　警察学論集　11—2, 5 ('58—2, 5)
米国における青年非行者の審判について
宮原三男　法律論叢　33—2 ('59—9)
米国の青年裁判所について
宮原三男　法学新報　66—6 ('59—6)
弁護人を依頼する権利の抛棄
塚本重頼　法律のひろば　12—9 ('59—9)
弁護人選任の希望の拒否と正当手続条項
塚本重頼　判例時報　197 ('59—9)
ミネソタ青少年矯正法
中村晄兆，宮原三男　明治大学法制研究所紀要　2 ('59—9)
連邦青少年矯正法
中村晄兆，宮原三男　明治大学法制研究所紀要　2 ('59—9)
Wire tapping によつて入手した証拠の証拠能力
塚本重頼　法律のひろば　12—2 ('59—2)

イ ギ リ ス

イギリスにおける当事者主義の確立
渥美東洋　法学新報　66—2 ('59—2)
英国陪審制度——特に刑事裁判における
英米法学　9 ('58—4)
英米法における起訴状
高窪貞人　英米法学　9 ('58—4)
英米法における推定　<1>
吉村徳重　九大法学　2 ('57)
事実と訴因——英国の刑事裁判におけるカウンツの機能
佐藤昌彦　木村博士還暦祝賀記念論文集　下 ('58—7)
自白に関する英米法上の諸原則　<1〜5完>
安倍治夫　警察研究　29—8, 10, 11 ('58—8, 10, 11); 30—1, 6 ('59—1, 6)

イ タ リ ア

1934年のイタリヤ少年法
宮原三男　法律論叢　31—4 ('58—1)

ソ ヴ ェ ト

ソヴェト刑事訴訟法における被告人の防禦権
中山研一　法学論叢　64—3 ('58—8)
ソヴェト刑事訴訟における自白
宮崎　昇　警察研究　29—8 ('58—8)
ソヴェト刑事訴訟法の諸問題
宮崎　昇　季刊法律学　27 ('59—7)

中　　国

台湾の少年法草案について
宮坂　宏　刑政　70—1 ('59—1)
北京のスリ——中国の刑事裁判の話
長野国助　綜合法学　16 ('59—11)

ド　イ　ツ

スラファニー・ブルグマン事件——西ベルリンの毒菓子事件
福田　平　判例時報　169 ('58—12)
西独の青少年保護育成法律
石井成就　市政　7—9 ('58—9)

西ドイツにおける参審制度の運用について　<1, 2>
武安将光　研修　126 ('58—12); 127 ('59—1)
西ドイツにおける青少年保護育成に関する法律制度の紹介
石井成就　青少年問題　6—1 ('59—1)

フ ラ ン ス

フランス刑事訴訟法改正草案　<1, 2完>
青柳文雄，宮沢浩一　法学研究　31—9, 10 ('58—9, 10)
仏・米における刑事裁判手続の相違について
近藤綸一　法曹　110 ('59—12)

経 済 産 業 法

経 済 産 業 法 一 般

価格法をめぐつて——あるカルテル形態について
吉永栄助　経済法　1 ('58—10)
割賦販売における法律問題
田中　実　ジュリスト　191 ('59—12)
割賦販売の現状とその規制【座談会】
加藤一郎，小西清治，藤田正次，三浦正義，吉田清貫　ジュリスト　191 ('59—12)
割賦販売の現状とその法律問題
高橋勝好　財経詳報　282 ('59—12)
企業をめぐる制度法の形成
清水兼男　民商法雑誌　37—4 ('58—7)
経済団体における経済法規をめぐる活動の記録
商事法務研究　124 ('59—1)
経済法（学）の独自性——「統制」概念による経済法の統一的体系化の試み
丹宗昭信　経済法　1 ('58—10)
経済法とは何か
吉永栄助　商事法務研究　118 ('58—11)
経済法における法と政治
吉永栄助　ジュリスト　169 ('59—1)
経済法の自主性について——経済法の特色　<1〜3>
笹井昭夫　甲南論集　6—2〜4 ('58—6, 11)
経済法の重点およびこれと運送に関する諸業法との関係
田中誠二　経済法　2 ('59—10)
コンツェルン法について
中村　武　綜合法学　2—4 ('59—4)
港湾運送事業法の改正について
見坊力男　港湾　36—5 ('59—5)
国際経済政策の発展と国際経済法
金田近二　国際法外交雑誌　56—6 ('58—3)
国際経済法の概念に関する若干の見解
金沢良雄　横田先生還暦祝賀記念論文集　('58—4)
国際物品売買に関する統一法草案——1957年草案の商学的試案訳
上坂酉三　早稲田商学　137 ('58—11)
財政経済判例の回顧と展望
高橋勝好　財経詳報　152, 153, 155 ('58—3)
諸法律の計量単位をメートル法に——土地建物，税法等については延期
北山昌寛　時の法令　278 ('58—8)
昭和33年の立法の回顧と若干の展望
吉国一郎，荒井　勇　財経詳報　210 ('58—12)
商法より経済法への推移
吉田諒吉　法政論叢　7 ('57—11)
中央卸売市場の改革
山崎厳夫　時の法令　267 ('58—1)
電気料金制度調査会
時の法令　266 ('58—1)
独占の形成と法——いわゆる経済法の概念把握のために
染野義信　商事法務研究　127 ('59—2)
不正競争概念の再構成
染野義信　法律時報　31—2 ('59—2)
不正競争と権利保護手段——不法行為法の理論中を心として
四宮和夫　法律時報　31—2 ('59—2)
不正競争法序説　<1, 2>
山崎晴一　東洋法学　2—2 ('58—11); 3—2 ('59—12)
メートル法の実施について
香川保一　民事月報　13—5 ('58—5)
わが国における割賦販売の現状と諸問題
藤田正治　ジュリスト　191 ('59—12)
Unfair Competition
中村与助　法学論叢（福岡）　3—2 ('58—7)

原 子 力 関 係 法

エネルギー資源の開発と特許権
江崎光好　勝本正晃先生還暦記念論文集　下 ('59—5)
原子力関係の新法令
菊池勇夫　法政研究　24—4 ('58—3)
原子力の平和利用における法律問題
金沢良雄　外交季刊　3—1 ('58—　)
原子力平和利用と労働問題
菊池勇夫　労働法　14 ('59—10)
原子力法学の展望
菊池勇夫　九州大学法学部創立30周年記念論文集 ('57—12)
ノンネンマツヘル著「原子力法」1956【紹介】
菅原菊志　法学志林　56—2 ('58—11)

下請代金支払遅延等防止法

親企業からみた下請代金遅払の態様——金融引締後の下請法の運用より
辻　吉彦　財経詳報　170（'58—6）

下請代金支払遅延の実態——下請法施行3周年に際して
辻　吉彦　財政経済弘報　769（'59—8）

下請取引の実態と問題点——下請法施行2年間を顧みて　<1, 2完>
辻　吉彦　公正取引　93, 94（'58—6, 7）

盲点からみた外注管理——下請法はザル法か
辻　吉彦　公正取引　100（'59—1）

独　占　禁　止　法

新しい局面を迎えた独禁法——審議会答申のもつ意味と問題点
商事法務研究　90（'58—2）

新たな独占形成への志向と法——経済的従属性と経済法
峯村光郎　法律時報　31—2（'59—2）

卸売人の競合と独禁法
内田徳右衛門，金子　実　財経詳報　210（'58—12）

カルテルの要件緩和，公取委の権限強化へ
法律新聞　90（'58—2）

会社合併の独禁法上の取扱について
江夏美千穂　財経詳報　194（'58—10）

各国の反独占立法とわが国の独占禁止法　<1, 2>
阿久津　実　中央経済　8—2, 3（'59—2, 3）

株の買占めと独禁法
吉野秀雄　財経詳報　181（'58—8）

企業集中と独占禁止法
儀我壮一郎　公正取引　92（'58—5）

企業集中の現段階と独占禁止法——中小企業の立場を中心として
儀我壮一郎　公正取引　111（'59—12）

岐路に立つ独占禁止法
法律公論　8—74（'59—1）

警職法と独禁法——その改正に現われた民主主義の危機【対談】
相原　茂，勝間田清一　社会主義　88（'58—12）

現段階における独禁法改正問題について
小林貞雄　財経詳報　188（'58—9）

こうして独禁法は骨抜かれた
エコノミスト　36—43（'58—10）

公正取引委員会その風雪の10年——独禁法改正をめぐつて
野口雄一郎　中央公論　73—13（'58—12）

公正取引規約と公取委の処分に対する不服申立制度——独禁法改正法案新設制度の解説　<1, 2完>
石井幸一　財政経済弘報　722, 724（'58—11）

公正取引規約について——独占禁止法改正案の説明
小林貞雄　東商　141（'59—3）

国際契約と独禁法——特許実施許諾契約を中心として
内田徳右衛門　公正取引　102（'59—3）

国際独禁法会議より帰りて
浅沼　武　法律時報　30—5（'58—5）

最近における企業集中の進展と独禁法
向山　巌　武蔵大学論集　6—1（'58—5）

シカゴ国際独禁会議——国際会議の記録
浅沼　武　商事法務研究　124（'59—1）

私的独占の成立要件と排除措置——野田醤油事件独禁法判例解説
石井幸一　財政経済弘報　674（'58—1）

自主調整と独占禁止法改正の課題
坂根哲夫　商事法務研究　140（'59—5）

自主調整と独禁法の改正
坂根哲夫　財経詳報　200（'58—11）

出版物の再販売価格維持に関する独禁法違反事件について——商標品の一般的特質と独禁法との関係
江上　勲　公正取引　102（'59—3）

消費者運動と公正取引——消費者のための独禁法序説
伊従　寛　財経詳報　187（'58—9）

新聞値上事件の問題点——独占禁止法違反の成否をめぐつて
石井幸一　財政経済弘報　780（'59—11）

独占および寡占の規制政策
斎藤芳治　公正取引　111（'59—12）

独占および独占禁止法をめぐる諸問題　<1, 2>
大野省治　月刊総評　13, 17（'58—2, 5）

独占禁止法違反行為に対する救済措置について
柏木　駿　九大法学　1（'57—1）

独占禁止法および輸出入取引法の改正について——学者はどうみるか
公正取引　101（'59—2）

独占禁止法改正案の概要
小林貞雄　公正取引　97（'58—10）

独占禁止法改正について
矢沢　惇　経済法　1（'58—10）

独占禁止法改正の意味するもの
正田　彬　法律時報　31—2（'59—2）

独占禁止法改正の問題点
吉田仁風　経済人　11—11（'57—11）

独占禁止法改正の論理
今村成和　法律時報　30—5（'58—5）

独占禁止法改正法案の問題点　<1〜4完>
正田　彬　財経詳報　194, 195, 198, 203（'58—10, 11）

独占禁止法改正問題について
高宮　晋　一橋論叢　40—1（'58—7）

独占禁止法改正論について　<1, 2完>
正田　彬　公正取引　94, 95（'58—7, 8）

独占禁止法（主要立法動向）
坂根哲夫　商事法務研究　124（'59—1）

独占禁止法制定の性格に関する一考察
正田　彬　経済理論　53（'59—9）

独占禁止法制の概観
小林貞雄　時の法令　300（'58—12）

独占禁止法適用除外法の概観とその分析　<上, 下>
後藤英輔，長谷川　古，伊従　寛　財経詳報　142, 146（'58—1, 2）

独占禁止法と公共の利益
入江一郎　社会思想研究　11—4（'59—4）

独占禁止法と中央卸売市場
内田徳右衛門　財政経済弘報　776（'59—10）

独占禁止法と中小企業団体法の今後の動向——その理念と運用について
中神太郎　愛知学芸大学研究報告社会科学　8（'59—2）

独占禁止法に関する意見
商事法務研究　87（'58—1）

独占禁止法に対する批判を批判する
廬野　弘　公正取引　95（'58—8）

独占禁止法の改正
横田正俊　公正取引　88（'58—1）

独占禁止法の改正と今後の課題
坂根哲夫　公正取引　97（'58—10）

独占禁止法の改正方向と銀行取引
小林貞雄　金融法務事情　188（'58—10）

独占禁止法の改正方向にふれて——主としてカルテル緩和の方向をめぐつて
坂根哲夫　公正取引　94（'58—7）

独占禁止法の改正問題——とくにカルテル規則について
金沢良雄　財経詳報　143（'58—1）

独占禁止法の損害賠償請求訴訟　<1, 2完>
有賀美智子　財政経済弘報　732, 734（'59—1）

独占禁止法の動態と改正問題
レファレンス　87（'58—4）

独占禁止法の方向について
小林貞雄　ジュリスト　162（'58—9）

独禁法改正と日本経済
木村禧八郎　法律時報　30—5（'58—5）

独禁法改正について
金井滋直　経団連月報　6—2（'58—2）

独禁法改正の方向
塚谷晃弘　公正取引　91（'58—4）

独禁法改正の方向と独占の諸問題
横田正俊　アナリスト　3—10（'57—10）

独禁法改正の問題点
エコノミスト　36—41（'58—10）

独禁法改正法案について
植村甲午郎　経団連月報　6—10（'58—10）

独禁法改訂の問題点
稲葉秀三　財経詳報　148（'58—2）

独禁法（経済関係法の主要動向）
坂根哲夫　商事法務研究　86（'58—1）

独禁法重要判例の問題点を検討する——独禁法の解釈に資するため　<1〜10完>【シムポジウム】
石川幸一，猪俣幸一，赤木　暁，有賀美智子　財政経済弘報　700〜710（'58—7, 8）

独禁法審議会答申を検討する【研究会】
鈴木竹雄，芦野　弘，金沢良雄，矢沢　惇　ジュリスト　150（'58—3）

独禁法第2条第5項における支配の概念——野田醤油事件における東京高裁の判決について
入江一郎　商事法務研究　89（'58—2）

独禁法における事実認定と証拠　<上, 下>
川井克倭　公正取引　110, 111（'59—11, 12）

独禁法の回顧と展望【座談会】
福良俊之，横田正俊，工藤昭四郎，島本　融，入江一郎
坂根哲夫　公正取引　106（'59—7）

独禁法の改正はどうなる？——忘れられているカルテル論争
長州雅芳　財経詳報　141（'58—1）

独禁法の立場からみた問題点
長谷川　古　経営者　12—11（'58—11）

特許権濫用と独占禁止法——独占禁止法第100条削除案について
正田　彬　財経詳報　228（'59—3）

特許と独占独止法
有賀美智子　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）

日本における独占禁止法制の性格
正田　彬　山之内先生追悼論文集　（'59—10）

日本の独占禁止政策についての印象
Edwards, C. D.　商事法務研究　147（'59—8）

反トラスト関係諸法年表
公正取引　104（'59—5）

反独占政策の最近の動向
坂根哲夫　一橋論叢　40—1（'58—7）

フリードマンの反独占法制の基本問題
長谷川　古　公正取引　91（'58—4）

不況，合理化カルテルの改正について——独占禁止法改正案
小林貞雄　東商　140（'59—2）

踏みにじられるか独禁法——雪印とクローバー合併をめぐつて
エコノミスト　36—32（'58—8）

二つの反独占法——独占の規制方法の問題
長谷川　古　公正取引　104（'59—5）

企　業　法

鉱業関係企業法

いわゆる廃鉱の法律的性質——判例を中心として
徳本　鎮　法政研究　25—1（'58—7）

鉱害賠償責任の一考察
徳本　鎮　九州大学法学部創立30周年記念論文集　（'57—12）

鉱害賠償の具体的発展について
伊藤律男　法文論叢　11（'59—11）

鉱害賠償法の指向的傾向——責任の分散担保の発展を中心として
徳本　鎮　法政研究　25—2/4（'59—3）

鉱業権の法律的性質
舟橋諄一　九州大学法学部創立30周年記念論文集　（'57—12）

処分した場合の損害賠償
宗宮信次　日本法学　24—6（'59—6）

工業関係企業法

技術士法の制定について　<1>
科学技術庁　パテント　11—3（'58—3）

技術統計の法的特質
高田源清　経済法　2（'59—10）

技術に対する法的統制
高田源清　法政研究　25—2/4（'59—3）

工業用水道事業法制定の意義
川原英之　財政経済弘報　697（'58—6）

工業用水道事業法の成立——産業立地施策の一歩前進
左近友三郎　財経詳報　168（'58—5）

工場立地調査法案について
川原英之　経団連月報　7—3（'59—3）

工場立地の調査等に関する法律
川原英之　時の法令　313（'59—4）

工場立地の調査等に関する法律解説
平松守彦　財政経済弘報　749（'59—4）

航空機工業振興法の一部を改正する法律案
別府正夫　時の法令　306（'59—2）

航空機工業振興法の成立と国会審議の問題点
門馬　驍　経団連月報　6—6（'58—6）

繊維工業の不況に対処するもの——繊維工業設備臨時措置法
青木慎三　時の法令　295（'58—10）

中小企業関係法

小売商業調整特別措置法の解説
小林健夫　財経詳報　234（'59—4）

小売商，消費生活協同組合購買会の関係——小売商業調整特別措置法をめぐつて
正田　彬　財経詳報　241（'59—5）

小売商振興法案をめぐる諸問題
高橋重一　通商産業研究　6—11（'58—11）

小売商の事業活動の機会を確保——小売商業特別措置法案
服部典徳　時の法令　310（'58—12）

最近における企業関係法の動向
金沢良雄　法律時報　30—5（'58—5）

中小企業関係法（主要立法動向）
熊谷典文　商事法務研究　124（'59—1）

中小企業団体組織法運用上の諸問題
堀合道三　商事法務研究　88（'58—1）

中小企業団体組織法実施の実態と問題点
金沢良雄　法律時報　31—2（'59—2）

中小企業団体組織法——その運用上の諸問題　<上，下>
吉原利昭　公正取引　91，93（'58—4，6）

中小企業団体組織法第９条批判——商業組合を中心として
竹林庄太郎　同志社商学　10—1（'58—5）

中小企業団体組織法に関する一考察
堀合道三　経済法　1（'58—10）

中小企業団体組織法の概要と基本問題
中小企業庁　法律時報　30—5（'58—5）

中小企業団体組織法の成立と今後の問題
賀集益蔵　経団連月報　5—12（'57—12）

中小企業団体組織法の成立にあたつて
石田謙一郎　東商　129（'58—8）

中小企業団体組織法の問題点
金沢良雄　経済法　1（'58—10）

中小企業団体組織法の問題点
金沢良雄　商事法務研究　88（'58—1）

中小企業団体組織法の立法過程——立法研究の一資料として
小林直樹　東京大学教養学部社会科学紀要　7（'58—3）

中小企業団体の組織に関する法律施行令等について
谷村昭一　財経詳報　157（'58—4）

中小企業団体の組織に関する法律の問題点
谷村昭一　相互銀行　8—4（'58—4）

中小企業団体法施行に伴う諸問題——調整組合の商工組合への移行を中心として
山田辰男　商事法務研究　96（'58—4）

中小企業団体法成立す
世界　145（'58—1）

中小企業団体法における不況事態の判定
坂根哲夫　商事法務研究　99（'58—5）

中小企業団体法について
滝　鼐　林野時報　6—1（'58—1）

中小企業団体法についての二，三の考察
粟野長七郎　公正取引　100（'59—1）

中小企業団体法の施行について
今井善衛　経団連月報　6—4（'58—4）

中小企業団体法の施行について
今井善衛　経団連月報　6—4（'58—4）

中小企業団体法の施行について
堀合道三　財政経済弘報　687（'58—4）

中小企業団体法のもたらすもの
小谷啓二　コリア評論　2—1（'58—1）

中小企業団体法をめぐる問題点
末松玄六　通商産業研究　6—2（'58—2）

中小企業等協同組合法施行令等の解説
谷村昭一　財経詳報　159（'58—4）

中小企業の組織化と中小企業団体組織法
今井善衛　通商産業研究　6—2（'58—2）

独占禁止法と中小企業団体法の今後の動向——その理念と運用について
中神太郎　愛知学芸大学研究報告社会科学　8（'59—2）

貿易関係企業法

軽機械の輸出振興を図る——軽機械の輸出の振興に関する法律案
乙竹虔三　時の法令　301（'58—12）

軽機械の輸出の振興に関する法律の解説
勝谷　保　財経詳報　238（'59—5）

独占禁止法および輸出入取引法の改正について——学者はどうみるか
公正取引　101（'59—2）

プラント類輸出促進臨時措置法の概要
今村　昇　財政経済弘報　751（'59—5）

輸出検査法の施行と運用　<1，2完>
式田　敬　財政経済弘報　681，682（'58—3）

輸出における過当競争の防止対策——輸出入取引法の一部を改正する法律案
諸口昭一　時の法令　302（'59—1）

輸出入取引における過当競争の規制
坂井清志　法律時報　31—2（'59—2）

輸出入取引法改正案について
金沢良雄　財経詳報　203（'58—11）

輸出入取引法改正の経緯とその問題点
梅河内良雄　公正取引　98（'58—11）

輸出入取引法改正法案の問題点　<1，2完>
正田　彬　財経詳報　223，225（'59—3）

金 融 関 係 法

いわゆる職場預金とその問題点
高橋勝好　商事法務研究　130（'59—2）

いわゆる納金ストと預金者に対するリベートの支払
高橋勝好　財経詳報　204（'58—12）

外国人を相手方とする銀行取引上の法律問題　<1〜3完>
高橋勝好　金融法務事情　213，214，218（'59—7，9）

割賦販売代金保険（分割払売買代金保険）について
南出　弘　ジュリスト　179（'59—6）

金融取締法規の変遷
山本勝明　レファレンス　9—104（'59—9）

銀行貸出約定書の性格についての一考察　<上，下>
鈴木正和　金融法務事情　187，189（'58—10）

銀行取引セミナー　<1〜6>
鈴木竹雄，加藤一郎，竹内昭夫，堀内　仁　ジュリスト　187〜192（'59—10〜12）

経済基盤強化のための資金及び特別の法人の基金に関する法律について
小熊孝次　財政経済弘報　704（'58—7）

原子力保険について
安田火災原子力保険研究会　ジュリスト　158（'58—7）

詐害行為取消権と銀行取引
岡野哲二　バンキング　139（'59—10）

信用金庫基本通達の性格について
橋口　収　金融法務事情　217（'59—8）

第三者による当座入金の法律的性質
村岡二郎　金融法務事情　226（'59—12）

代理受領（銀行の実務）
堀内　仁　ジュリスト　154（'58—5）

担保偶感（銀行の実務）
安武政敏　ジュリスト　150（'58—3）

チケットを利用するサラリーマン金融の法律問題
幾代　通　ジュリスト　191（'59—12）

中小企業信用保険公庫制度の創設
豊島　格　時の法令　284（'58—7）

中小企業信用保険公庫の業務について
豊島　格　財経詳報　185（'58—5）

中小企業信用保険公庫の新設
本多俊夫　財政経済弘報　692（'58—3）

中小企業信用保険公庫法逐条説明
伊藤二郎　財経詳報　165（'58—5）

調整勘定の一斉閉鎖について
関根一郎　財経詳報　181（'58—8）

手形債権と預金債権との相殺の効力
佐藤良輔　経済法律時報　6—2（'58—10）

手形割引実務における法律問題　【座談会】
鈴木竹雄，小山省三，安武政敏，岩田準平，増田謙一，正村芳三，村田伊久雄　手形研究　2—3（'58—3）

手形割引と相殺
三浦正次　経済法律時報　6—2（'58—10）

手形割引の性質に関する学説・判例の推移
大橋光雄　経済法律時報　6—2（'58—10）

定期積金取引に関する一考察——その法律的性質及び預金等との比較について
村岡二郎　金融法務事情　213（'59—7）

電信送金契約の性質
中平健吉　商事法務研究　90（'58—2）

電信送金契約の法律上の性格——新判例の紹介と批判　<4>
高橋勝好　財経詳報　151（'58—3）

電信送金契約の法律的性質
長谷部茂吉　金融法務事情　162（'58—1）

電信送金事件の判決を顧みて
水野淳二　バンキング　139（'59—10）

電信送金取引の性質
岡野哲二　バンキング　138（'59—9）

当面する金融法務上の課題　<1〜3完>　【座談会】
岩田準平，堀内　仁，安武政敏，藤沢正雄，蓮見儀昭　金融法務事情　194〜196（'59—1）

導入預金
星川長七　綜合法学　16（'59—11）

納得できない発券制度改正
板倉薫一　東洋経済新報　2884（'59—5）

物的担保と人的担保の併用
金融法務事情　206（'59—5）

保険審議会の設置について
松本十郎　財経詳報　234（'59—4）

無記名定期預金および架空名義預金の帰属——附合契約と取引慣習をめぐつて
亀井辰夫　金融法務事情　180（'58—7）

明治９年国立銀行条例改正の意義
岡田俊平　経済研究　7（'57—12）

約定書改正の問題点——銀行取引の法律的体系化の時期
金融法務事情　172（'58—5）

約定書に関する覚書——金融機関における約定書改正作業への二，三の助言　<1>
水田耕一　金融法務事情　227（'59—12）

郵便為替法および郵便振替貯金法の一部改正について
内田善雄　財政経済弘報　689（'58—4）

郵便貯金の金利引上げ——その背景と問題点を紹介
吉灘　中　時の法令　266（'58—1）

預金者保護立法について
金融法務事情　199（'59—2）

臨時金利調整法の解釈上の諸問題　<1，2>
辻　和三郎　金融法務事情　191，192（'58—11，12）

日 本 銀 行 法

強調された日銀の中立性——発券制度は結論に至らず
近藤清彦 東洋経済新報 2884 ('59—5)

中央銀行制度改正私見——改正問題の考え方 <1, 2完>
内山徳治 財政経済弘報 714, 715 ('58—9, 10)

中央銀行制度の在り方
青葉翰於 財経詳報 144 ('58—1)

中央銀行の中立性について——日銀法改正の諸問題 <2>
【共同研究】
柿沼幸一郎，近藤清彦，佐藤徳太郎，塚越則夫，松原淳文，亀井敬之 財経詳報 145 ('58—2)

中立性確保の三条件（日銀法改正の方向と問題点）
中村孝士 東洋経済新報 2884 ('59—5)

日銀法改正試案の主要論点について
山本勝明 レファレンス 9—106 ('59—11)

日銀法改正試案を批判する 【座談会】
有沢広己，堀越禎三，青葉翰於，稲葉秀三 エコノミスト 37—37 ('59—9)

日銀法改正の基本問題
森 七郎 財政経済弘報 752 ('59—5)

日銀法改正問題点
関根太郎 東商 145 ('59—7)

日銀法改正問題の主要論点について
石渡慎五郎 財政経済弘報 754 ('59—5)

日銀法改正問題の焦点
岡田健一 財経詳報 261 ('59—9)

日銀法改正論議の盲点
谷村 裕 財経詳報 258 ('59—8)

日銀法改正をめぐつて——なやめる日本銀行
木崎徹也 中央公論 74—1 ('59—1)

日銀法について
青木得二 綜合法学 17 ('59—12)

日本銀行条例の制定過程
吉野俊彦 バンキング 132 ('59—3)

日本銀行制度要綱試案について
柿沼幸一郎 財経詳報 259 ('59—8)

日本銀行制度要綱試案の問題点——全銀協の意見書と比較して <1, 2>
北原道貫 財政経済弘報 770, 771 ('59—9)

日本銀行はどうあるべきか
近藤清彦 時の法令 330 ('59—10)

日本銀行法改正と貨幣高権
小山省三 金融財政事情 9—35 ('58—9)

日本銀行法改正の方向と課題
小山省三 金融財政事情 9—28 ('58—7)

日本銀行法改正の問題点 【座談会】
小笠原光雄，他 経団連月報 7—7 ('59—7)

日本銀行法改正をめぐる問題点
肥後和夫 政治経済論叢 8—3 ('59—3)

日本銀行法の改正——憲法・行政法の観点から
近藤 功 ジユリスト 181 ('59—7)

日本銀行法の改正について
酒井杏之助 経団連月報 7—5 ('59—5)

日本銀行法の改正をめぐる法律上の諸問題
田中二郎 経済法 2 ('59—10)

論理に一貫性を欠く（日銀法改正の方向と問題点）
樋口午郎 東洋経済新報 2884 ('59—5)

外国為替管理法

外国為替及び外国貿易管理法の一部改正等について
村西淳一 財経詳報 169 ('58—6)

外国為替及び外国貿易管理法の根本的改正の方向について
尾崎英二 財経詳報 243 ('59—6)

外国為替及び外国貿易管理法の根本的改正問題
尾崎英二 財政経済弘報 742 ('59—3)

外国為替貿易管理法令をめぐる諸問題
末常泰男 商事法務研究 94 ('58—3)

外 国 経 済 産 業 法

諸 国

欧米各国の中央銀行法について
吉野俊彦 経済法 2 ('59—10)

欧米における月賦販売制度と法律上の問題点
小西清治 ジュリスト 191 ('59—12)

公正取引委員会編「世界独禁法全集」【書評】
浅沼 武 法律時報 31—2 ('59—2)

米国・英国・西独における金融制度改革の進捗状況
柿沼幸一郎 財経詳報 239 ('59—5)

ア メ リ カ

アメリカ憲法の州際通商条項と企業統制 <1, 2完>
中島陽子 法学新報 65—5, 6 ('58—5, 6)

アメリカにおける競争規制
田中和夫 法律時報 31—2 ('59—2)

アメリカにおける独占禁止政策
小原敬士 一橋論叢 40—1 ('58—7)

改正ダンピング防止法の解説
有賀美智子 公正取引 100 ('59—1)

最近におけるアメリカ独禁政策の動向——その各界見聞を通じて <1〜3完>
浅沼 武 財政経済弘報 713〜715 ('58—9, 10)

シャーマン法の運用上における変遷 <1>
平畑博敏 六甲台論集 4—3 ('57—10)

日本輸出取引とアメリカ独禁法——アメリカ独禁法の国際的適用
田中，William H. ジュリスト 157 ('58—7)

不正競争防止の分野におけるアメリカ行政部の活躍
Braucher, R. 比較法研究 19 ('59—10)

ベツレヘム・スティールとヤングスタウンの合併違法判決
有賀美智子 商事法務研究 135 ('59—4)

米国国際反トラスト法事件における管轄権の問題
有賀美智子 公正取引 92 ('58—5)

米国連邦取引委員会の機能
山田弘之助 上智法学論集 3—1 ('59—4)

イ ギ リ ス

イギリスにおける月賦販売事情
中島宗一 レファレンス 9—99 ('59—4)

イギリスにおける独占——その企業結合と集中の実態
玉置正美 公正取引 101 ('59—2)

イギリスの月賦販売法
中島宗一 レファレンス 9—101 ('59—6)

イギリスの不正競業法
有泉 亨 比較法研究 19 ('59—10)

英国新電気法とその成立の経緯
木村彌蔵 電力経済所報 7 ('58—3)

英米に於ける投資者保護制度について
仙元隆一郎 経済理論 45 ('58—9)

営業制限契約について
増本一彦 英米法学 9 ('58—4)

ド イ ツ

西独の競争制限禁止法の施行に際して
横田正俊 財経詳報 140 ('58—1)

西独の対外経済法案について
沖田 守 経団連月報 5—11 ('59—11)

西独反カルテル法批判——政策の混乱と行政機関所管の危険
加藤良雄 経済人 12—3 ('58—3)

ドイツ経済法の発展——カルテル規則の法を中心として
丹宗昭信 法政研究 25—2/4 ('59—3)

ドイツのカルテル登録規則
加藤慶治 商事法務研究 119 ('58—11)

ドイツの不正競業法
豊崎光衛 比較法研究 19 ('59—10)

西ドイツ競争制限禁止法の立法事情
斎藤芳治 公正取引 101 ('59—2)

西ドイツの競争制限禁止法
中内通明 法律時報 31—2 ('59—2)

西ドイツの競争制限禁止法
中内通明 レファレンス 8—95 ('58—12)

フ ラ ン ス

フランスにおける銀行秘密制度 <上, 下>
梶山 純 金融法務事情 206, 207 ('59—5)

フランスにおける反独占諸法とその運用
植木邦之 公正取引 110 ('59—11)

フランスの不正競業法
染野義信 比較法研究 19 ('59—10)

其 の 他

カナダ独占禁止法の構造
柏木 駿 九大法学 5 ('59)

ソ連貿易機構の史的沿革と現代貿易公団の法的解明
平竹伝三 早稲田商学 132 ('58—1)

無 体 財 産 権

無体財産権一般

権利侵害に対する救済
加藤一郎 ジュリスト 174 ('59—3)

無体財産権の強制実施許諾について
谷口知平 勝本正晃先生還暦記念論文集 下 ('59—5)

無体財権産の性質について——ギールケとコーラの所説を中心として
谷口知平 法学雑誌 4—3/4 ('58—3)

工 業 所 有 権 法

工業所有権法一般

生まれかわつた工業所有権法 <1, 2>
織田季明 時の法令 317, 318 ('59—6)

改正工業所有権法の産業界に及ぼす影響について
井上一男 商事法務研究 133 ('59—3)

工業所有権関係諸法の改正について <1>
検察月報 126 ('59—11)

工業所有権四法改正の主要点
井上尚一 法律時報 31—2 ('59—2)

工業所有権条約改正会議の成果——リスボン会議に出席して
井上尚一 時の法令 303 ('59—1)

工業所有権制度（主要立法動向）
織田季明 商事法務研究 124 ('59—1)

工業所有権制度の動き
井上尚一 経済人 13—1 ('59—1)

工業所有権制度の改正について
井上尚一 経団連月報 7—2 ('59—2)

工業所有権の改正について
永田菊四郎 綜合法学 2—7 ('59—7)

工業所有権保護同盟条約改正会議
荒玉義人 法律時報 31—2 ('59—2)

工業所有権保護同盟条約国際会議の記録
吉岡 格 商事法務研究 124 ('59—1)

工業所有権法改正案に対する私見
和久井宗次 パテント 11—11 ('58—11)

工業所有権法改正のいきさつ
荒玉義人 商事法務研究 138 ('59—5)

工業所有権法改正法案について
原 増司 自由と正義 10—4 ('59—4)

工業所有権法改正を貫くもの
兼子　一　ジュリスト　174（'59—3）

工業所有権法（経済関係法の主要動向）
織田季明　商事法務研究　86（'58—1）

新工業所有権関係諸法の罰則　<1～4>
臼井滋夫　警察研究　30—8, 9, 11, 12（'59—8, 9, 11, 12）

新法案における工業所有権の保護
豊崎光衛　ジュリスト　174（'59—3）

特　許　法

エネルギー資源の開発と特許権
江崎光好　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）

化学物質等の特許性
杉林信義　日本法学　25—3/5（'59—10）

改正特許法（外三法）の問題点　<1, 2>
中島信一　パテント　12—5, 6（'59—5, 6）

現段階における技術と特許法の改正
染野義信　ジュリスト　174（'59—3）

権利侵害について
織田季明　商事法務研究　138（'59—5）

工業所有権の抵触について
内田　修　岩崎教授在職35周年記念論文集　（'58—2）

国際契約と独禁——特許実施許諾契約を中心として
内田徳右衛門　公正取引　102（'59—3）

実務から見た優先権主張手続の諸問題　<1～3>
大矢睦夫　パテント　12—3～5（'59—3～5）

審決の司法審査
兼子　一　岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）

特許権と其裏付の価値
日向浅松　パテント　11—6（'58—6）

特許権についての省察　<1～4>
蓼　優美　パテント　12—2～4, 6（'59—2～4, 6）

特許権の現状
松隈秀盛　学術月報　11—12（'59—3）

特許権の効力規定について
内田　修　法学論集　7—5（'58—3）

許権濫用と独占禁止法——独占禁止法第100条削除案について
正田　彬　財経詳報　228（'59—3）

特許制度の基本問題と新特許法
伊藤繁樹　財政経済弘報　749（'59—4）

特許と独占禁止法
有賀美智子　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5

特許法改正点の若干の紹介
加藤嘉苗　レファレンス　9—99（'59—4）

特許法改正の内容とその意味するも
田原　昭　経団連月報　5—11（'57—11）

特許法等改正の概要
荒玉義人　財経詳報　221（'59—2）

特許法の改正について
永田菊四郎　綜合法学　2—2（'59—2）

許要件について
田原　昭　商事法務研究　138（'59—5）

実用新案・意匠・商標法

意匠盗用の法令的条件と類似判断の基準
高田　忠　商事法務研究　131（'59—3）

意匠法の改正について
高田　忠　電機　119（'58—5）

市民と商標
中島治康　警察学論集　12—1（'59—1）

実用新案・意匠・商標制度の基本問題と新法　<1, 2>
伊藤繁樹　財政経済弘報　753, 754（'59—5）

実用新案法意匠法案への疑問
大条正義　ジュリスト　174（'59—3）

商標権と営業との分離
堀部靖雄　法経論集（佐賀）　7—1/2（'59—12）

商標権と営業との分離
矢沢　惇　ジュリスト　174（'59—3）

商標権の自由譲渡及び商標の使用許諾制度について
新井市彦　商事法務研究　138（'59—5）

商標権の自由譲渡性と担保の取得について
吉野　衛　金融法務事情　223（'59—11）

商標法改正の概要
荒玉義人　財経詳報　227（'59—3）

デザイン模倣防止と輸出品デザイン法
新井真一　財政経済弘報　748（'59—4）

美術と意匠の法的限界
杉林信義　日本法学　24—4（'58—11）

防護標章制度について
荒尾保一　商事法務研究　138（'59—5）

模倣デザインの貨物は輸出できない——輸出品デザイン法案
斎藤英雄　時の法令　309（'59—3）

輸出品デザイン法の解説
新井真一　財経詳報　230（'59—4）

著　作　権　法

いわゆるビーム問題について——日本著作権協議会の立場
中島健蔵　ジュリスト　179（'59—6）

海賊版の防止について——著作権法の一部改正
東　季彦　綜合法学　1—2（'58—7）

著作権制度の目的とわが国著作権法の性格
染野義信　ジュリスト　179（'59—6）

著作権の基礎構造——序説
阿部浩二　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）

著作権法前史　<1, 2完>
阿部浩二　法経学会雑誌　28, 31（'59—3, 12）

著作物使用権をめぐる国際私法上の二，三の問題
沢木敬郎　ジュリスト　179（'59—6）

万国著作権条約の成立——国語政策と翻訳権制度
法貴次郎　勝本正晃先生還暦記念論集文集　下（'59—5）

ビーム紛争の概要と若干の法律的問題点
松井正道　ジュリスト　179（'59—6）

外国無体財産権

アメリカ合衆国商標法と普通法
堀部靖雄　法経論集（佐賀）　5—1（'58—1）

農　業・漁　業　法

農　業　法　一　般

狩猟法の一部改正について
高橋俊見　林野時報　6—7（'58—9）

大正期における小作立法事業の推移　<2>
広中俊雄　法学　22—3（'58—10）

溜池水利権の考察
竹山増次郎　大阪府立大学紀要人文社会科学　6（'58—3）

農業基本法研究の動向
山口哲夫　農業と経済　24—12（'58—12）

農業基本法と農民運動
村田　太　社会主義　92（'59—4）

農業基本法の発想とその背景
井出一太郎　農業と経済　25—1（'59—1）

農業災害補償における市町村行政　<1～3>
松浦　昭　自治研究　34—1, 3, 9（'58—1, 3, 9）

農業災害補償法の一部を改正する法律
田中康民　時の法令　311（'59—4）

米価審議会（制度紹介）
時の法令　285（'58—7）

北海道寒冷地畑作営農改善資金融通臨時措置法案
中野和仁　時の法令　308（'59—3）

矢部川をめぐる水利権　<4, 5完>
高松卯喜路　産業経済研究　10（'57—12）; 11（'58—3）

酪農振興法の一部を改正する法律案
池田正範　時の法令　312（'59—4）

農　業　法　人

観念的であつてはならぬ農業経営法人化論
山口哲夫　農業と経済　25—4（'59—4）

農業の商化現象
大野実雄　綜合法学　16（'59—11）

農業法人化の問題点
大内　力　ジュリスト　180（'59—6）

農業法人化の問題について——農政・法律の観点から
北原金司　高崎経済大学論集　1—1（'59—3）

農業法人化をめぐる国会の動き
真下孝雄　教育　9—6（'59—6）

農業法人と家族制度——市民法秩序と国家権力　<4>
渡辺洋三　ジュリスト　177（'59—5）

農業法人と有限会社制度
裏　得郎　青山法学論集　1—1/2（'59—11）

農業法人について——税務上の見地から
嶋崎　均　ジュリスト　180（'59—6）

農業法人のムード
石川英夫　ジュリスト　180（'59—6）

農業法人の問題について——農業団体の立場から
茂木信平　ジュリスト　180（'59—6）

農業法人の問題をめぐつて
橘　武夫　財経詳報　261（'59—9）

農業法人法案の要綱と若干の問題
東　季彦　時の法令　336（'59—12）

農業法人をめぐる諸問題
小川浩八郎　綜合法学　2—5（'59—5）

農業法と農業法人の問題
小倉武一　ジュリスト　180（'59—6）

農地の生産性向上と農業法人化の問題
森　和男　農業と経済　25—4（'59—4）

百姓会社はひろがりひろまる
石川英夫　中央公論　74—17（'59—12）

農業関係団体法

協同組合の事業範囲とその員外者利用——主として農業協同組合を中心として
村橋時郎　民商法雑誌　41—1（'59—10）

農協法・整特法改正の要点
月本道彦　農業協同組合　4—5（'58—5）

農業協同組合法上の団体協約
来米速水　農業法研究　1（'58—9）

農　地　法

戦後農地法の変遷と問題点
加藤正男　同志社法学　10—4（'59—2）

土地所有権の強制的移転論
佐々木金三　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—2）

独占資本主義段階における農地賃貸借法の性格
水本　浩　商経法論叢　10—1（'59—6）

農地改革対価問題批判
野間海造　上智法学論集　2—1/2（'58—12）
農地転用をめぐる諸問題
桜井秀美　農業と経済　25—4（'59—4）
農地法運営における諸問題
木林靖二　農業法研究　1（'58—9）

森　林　法

公有林野官行造林法の改正——官行造林事業の質的拡大
吉原平二郎　林野時報　4—3（'56—3）
国有林の法律問題
潮見俊隆　社会科学研究　10—2/3（'58—11）
森林開発公団法について
福田貞三　林野時報　4—4（'56—4）
村有林と地方自治
西岡久鞆，岡本　宏　法経論集（佐賀）　7—1/2（'59—12）
部落有林野に関する若干の法律問題
林野時報　7—6（'59—6）
部落有林野の形成
福島正夫　東洋文化研究所紀要　10（'56—11）
分収造林促進法の概想
新井昭一　林野時報　6—2（'58—2）
分収造林特別措置法について
関口　尚　林野時報　6—7（'58—7）
法人型体をとる部落有林野について——部落有林野の存在形態に関する一つの覚書
石村善助　人文学報　18（'58—3）

漁　業　法

漁業権の物権的性質——わが国における漁業権の法律的構成　<2>
吉原節夫　富大経済論集　5—2（'59—11）
漁業権の本質——わが国における漁業権の法律的構成　<1>
吉原節夫　富山大学紀要経済学部論集　13（'58—3）
現行漁業法の限界について
矢代嘉春　水産時報　10—118（'58—12）
日本の漁業制度　【鼎談】
潮見俊隆，浅野長光，高橋泰彦　法律時報　30—8（'58—8）

外　国　農　業　法

ソ　ヴ　ェ　ト

コルホーズ法の基本問題
柳　春生　農業法研究　1（'58—9）
コルホーズ法の基本問題
柳　春生，生野一路　産業労働研究所報　16（'58—11）
コルホーズ法の発生
柳　春生　九州大学法学部創立30周年記念論文集　（'57—12）

中　　国

中華人民共和国土地改革法と「富農経済」保存政策
平野絢子　三田学会雑誌　51—5（'58—4）
中国の土地問題にかんする「五・四」指示についての覚書
野間　清　法経論集（愛知）　23/24（'58—11）

ド　イ　ツ

西ドイツの農業法
後藤康夫　農業協同組合　4—11（'58—11）
農場の不可分承継と補償
佐々木金三　勝本正晃先生還暦記念論文集　上（'59—4）
わが国農業立法の一つの方向——西ドイツ農業法を中心として
三津田松吉　レファレンス　9—106（'59—11）

其　の　他

エジプトにおける民族資本の発達と農地改革
平田　良　法経論集（静岡）　8（'59—11）
社会的紛争と村落の組織化——イギリス土地法史研究への序説
畑　穣　早稲田法学　35—1/2（'59—6）

労　働　法

労　働　法　一　般

意に反する苦役の禁止と労働者の権利——強制労働禁止の法理　<1>
片岡　昇　季刊労働法　9—3（'59—9）
家父長制労働関係の法社会学的考察　<1～3>
内山尚三　法学志林　55—4（'58—3）；56—2（'58—11）；57—1（'59—7）
解決のない労働白書
江幡　清　労働問題　4（'58—9）
学界回顧　1958年——労働法
片岡　昇　法律時報　30—12（'58—12）
学界回顧　1959年——労働法
片岡　昇　法律時報　31—13（'59—12）
企業の移転と被傭者の地位
田村茂夫　法政研究　26—1（'59—7）

企業の譲渡と労働関係
中村　武　労働法　14（'59—10）
企業をめぐる制度法の形成
清水兼男　民商法雑誌　37—4（'58—7）
岸内閣と労働組合と労働法
松岡三郎　時の法令　286（'58—7）
共同決定権に関する一考察——主とし労働重役の役割について
内田信男　労働法　12（'58—10）
経営権と労働基本権
石井照久　季刊労働法　9—3（'59—10）
警察官と使用者
野村平爾　法律時報　31—9（'59—8）
原子力平和利用と労働法問題
菊池勇夫　労働法　14（'59—10）
現行労働法の再検討について
石井照久　日労研究資料　11—6（'58—3）
工場法の改正
内海義夫　労働経済旬報　12—384（'58—11）
雇傭の安定について
石崎政一郎　労働法　14（'59—10）
国際社会法大会における労働法の諸問題
石崎政一郎　比較法雑誌　4—3/4（'59—5）
最近の労働政策を批判する　【座談会】
磯田　進，江幡　清，大友福夫，野村平爾，松岡三郎　季刊労働法　8—3（'58—9）
市民法と労働法
磯田　進　法律時報　30—4（'58—4）
女子労働者の問題を考えるのに必要なこと
藤田若雄　労働法律旬報　338/339（'59—3）
書記組合の矛盾をめぐつて
佐々木守雄　労働法律旬報　327（'58—11）
職業訓練法の逐条解説
労務行政研究所　労政時報　1471（'58—5）
職業訓練法の立法経緯とその解説
渋谷直蔵　労働法令通信　11—16（'58—5）
戦後わが国における労働立法の推移——争議権規制の一断面
喜多　実　レファレンス　100（'59—5）
団体交渉権は基本的人権——沖縄で初の労働争議事件の判決全文
法律時報　31—13（'59—12）
団体的自治とその原理
高島良一　判例タイムズ　9—1（'58—5）
中小企業近代化と労働法
山中篤太郎　労働時報　11—5（'58—5）
中小企業における労働政策と労働運動　【座談会】
磯田　進，伊東岱吉，倉持米一，松岡三郎，季刊労働法　9—2（'59—6）
中小企業の労使関係——東京都労委の窓を通して
三段崎俊吾　中央労働時報　341（'59—7）
中小企業労働問題の経済的背景
氏原正治郎　季刊労働法　9—4（'59—12）
倒産をめぐる法律関係と労働者のたたかい
山本　博　労働法律旬報　318（'58—8）
2・1ストまでの労働運動——戦後の労働立法とその背景　【座談会】
今井一男，賀来才二郎，長谷武麿，渡辺年之助　日本労働協会雑誌　2（'59—5）
2・1ストからレッド・パージまで——戦後の労働立法とその背景　<1, 2>　【座談会】
柳本美雄，細谷松太，村上寛治，加藤閲男，宝樹文彦，和田春生　日本労働協会雑誌　6, 7（'59—9, 10）
日本国憲法における労働者像について
沼田稲次郎　山之内先生追悼論文集　（'59—10）
日本労働協会法
中島　正　労働法　12（'58—10）
野村平爾著「労働法ノート」を読む　【書評】
菊池勇夫　法律時報　30—11（'58—11）
ヒュック「経営慣行の法的意義」　【書評】
後藤　清　経済理論　47（'59—1）
不況下の労務対策と労働法
松岡三郎　時の法令　295（'58—10）
布令145号「労働組合の認定手続」について
幸地成憲　琉大法学　2（'59—7）
婦人労働者の法律問題
野村平爾　月刊総評　14（'58—3）
松川事件と労働運動
清水　明　前衛　150（'59—1）
両罰規定と使用者の責任
津曲蔵之丞　労働法　14（'59—10）
労使関係の基本的課題——労働法的側面からの一考察
林　信雄　横浜大学論叢　10—1（'58—11）
労使関係の基本問題
石井照久　日本労働協会雑誌　1（'59—4）
労使協議制——労使関係近代化の手法として
慶谷淑夫　ジュリスト　189（'59—11）
労調法・労基法制定のいきさつ——戦後の労働立法とその背景　【座談会】
鮎沢　巖，富樫総一，菊池勇夫　日本労働協会雑誌　3（'59—6）
労働運動と労働政策
沼田稲次郎　労働問題　3（'58—8）
労働基本権　<1, 2>
片岡　昇　労働問題　1, 2（'58—6, 7）
労働基本権と労働法の解釈
峯村光郎　労働法学研究会報　9—36（'58—10）
労働基本権の問題
峯村光郎　世界の労働　8—4（'58—4）
労働組合法制定の前後——戦後の労働法とその背景　【座談会】
大蔵公望，鮎沢　巖，桂　　皋，菊池勇夫　日本労働協会雑誌　1（'59—4）
労働者経営参加の性格
池田直視　労働法　14（'59—10）
労働者の生活保護と法律
吾妻光俊　経済セミナー　14（'58—3）

労働法改正（昭和24年）の前後——戦後の労働立法とその背景 【座談会】
加来才二郎，中西たま子，松崎芳伸，神山欣治，井上縫三郎　日本労働協会雑誌　8, 9（'59—11, 12）

労働法改正への提言
吾妻光俊　財経詳報　255（'59—8）

労働法学会の回顧と展望——労働運動との関連で
近藤正三　労働法律旬報　331/332（'59—1）

労働法学会の動向——労働運動の実践的要請と関連させて
労働法律旬報　295（'58—1）

労働法学者から経済学への注文
松岡三郎　経済評論　7—4（'58—4）

労働法学者の責任
野村平爾　季刊労働法　8—4（'58—12）

労働法規と民主主義（沖縄における法と自由）
幸地成憲　法律時報　31—11（'59—10）

労働法教室　<1〜16>
野村平爾　労働問題　1〜19（'58—6〜'59—12）

労働法と労働運動
沼田稲次郎　月刊総評　13（'58—2）

労働法における集合法と個人法
中村　武　法学新報　65—6（'58—6）

労働法における通説の形成（通説の法社会学的考察）
野村平爾　法律時報　31—8（'59—7）

労働法における理論と実際——労働関係法研究会の発足によせて
峯村光郎　季刊労働法　9—4（'59—12）

労働法入門　<1〜4完>
磯田　進　労働問題　2〜5（'58—7〜10）

労働法の課題
有泉　亨　季刊労働法　9—1（'59—3）

労働法の解釈について
浅井清信　立命館法学　29/30（'59—9）

労働法の基本概念
石井照久　中央労働時報　324（'58—3）

労働法の任務と性格
石川吉右衛門　官公労働　12—7（'58—7）

労働法理論の再検討
北岡寿逸　官公労働　12—7（'58—7）

労働問題と法律
石川吉右衛門　社会思想研究　10—2（'58—2）

労働問題における経済と法
氏原正治郎　経済評論　7—4（'58—4）

労働問題，労働政策に対する法社会学的把握の仕方について
松岡三郎　綜合法学　1—1（'58—6）

労働立法への学者の協力
沼田稲次郎　季刊労働法　9—2（'59—6）

国際労働条約（ＩＬＯ）

〔特殊労働法中「公労法とＩＬＯ条約」をも見よ〕

ＩＬＯ条約第87号とわが国の労使関係
辻　英雄　労働経済判例速報　10—12（'59—4）

ＩＬＯ条約第87号批准をめぐる問題
佐藤　進　労働法　13（'59—4）

ＩＬＯ条約とその批准問題
多賀谷真稔　法律のひろば　12—3（'59—3）

ＩＬＯ条約と日本の立場
外尾健一　法律時報　30—9（'58—9）

ＩＬＯ条約87号と現行労働法 【座談会】
慶谷淑夫，他　官公労働　13—1（'59—1）

ＩＬＯ条約87号批准の条件
労働問題　11（'59—4）

ＩＬＯ条約批准と全逓をめぐる論調
山脇伍郎　官公労働　13—6（'59—6）

ＩＬＯ条約批准の諸問題
角田　豊　産業と科学　3（'58— ）

ＩＬＯ条約批准の問題点 【座談会】
樋口弘其，他　官公労働　13—6（'59—6）

ＩＬＯ条約批准問題をめぐつて
石川俊雄　官公労働　13—2（'59—2）

ＩＬＯ第87号条約と現行労働法との関係
慶谷淑夫　ジュリスト　167（'58—12）

ＩＬＯ団結権条約をめぐつて——国内法との関係を中心に 【座談会】
吾妻光俊，石井照久，石川吉右衛門，野村平爾，峯村光郎　ジュリスト　175（'59—4）

ＩＬＯと消極的団結権　<1, 2>
花見　忠　日本労働協会雑誌　1—3, 4（'59—6, 7）

ＩＬＯ87号条約をめぐつて
石井照久　日本労働協会雑誌　1—2（'59—5）

ＩＬＯ批准と二つの条件——幹部の交迭とストに対する処罰
松岡三郎　労働経済旬報　13—395（'59—2）

強制労働禁止条約と国内法
三島宗彦　労働問題　7（'58—12）

国際条約における強制労働の禁止——強制労働禁止の法理　<2>
片岡　昇　季刊労働法　9—4（'59—12）

国際労働基準の社会・経済的意義
藤本　武　労働問題　18（'59—11）

国際労働条約の批准状況
桜井安右衛門　法律時報　30—9（'58—9）

国際労働法と国内法との懸隔
三島宗彦　社会主義　87（'58—11）

国際労働法における争議権問題の一考察——ＩＬＯ理事会自由委員会所見事例を中心として
佐藤　進　金沢法学　5—2（'59—12）

国際労働法における労働基本権の一考察——ＩＬＯ条約ならびにＩＬＯ結社自由委員会の所見を中心として
佐藤　進　季刊労働法　8—3（'58—9）

団結権の意義と労働関係法規——ＩＬＯ第87号条約と関連して
野村平爾　早稲田法学　35—3/4（'59—8）

87号条約の批准とその問題点
高橋　武　世界の労働　9—3（'59—3）

不当労働行為とＩＬＯ条約
野村平爾　世界　160（'59—4）

労使関係法再検討の原則について——ＩＬＯ条約の批准問題を契機として
慶谷淑夫　官公労働　13—5（'59—5）

労働者保護の条約化
長尾賢三　法学論叢　64—5（'58—12）

労　働　基　準　法

労働基準法一般

国際労働法と労働基準法
松岡三郎　労働問題　18（'59—11）

車掌の過不足金の法律問題
森長英三郎　労働法律旬報　333（'59—1）

中小企業と労働基準法
津曲蔵之丞　労働基準　9—11（'57—11）

停年制度について
稲垣正明　日本法学　25—3/5（'59—10）

民法414条第1項但書と労働基準法第5条との関係
津曲蔵之丞　法学　23—2（'59—7）

労基法解釈例規の改正と解説
労働法令通信　11—14（'58—4）

労基法における過半数労働者の行う協定
三浦恵司　横浜大学論叢　9—4（'58—3）

労働基準法違反と中小企業の実態
中村　正　工業経営　9—1（'59—3）

労働基準法解釈例規の改正——逐条解説
杉本珍己　日労研資料　11—17（'58—7）

労働基準法解釈例規の再検討
原　敏治　労働法学研究会報　9—19（'58—6）

労働基準法と労働者——中小企業労働者のために　<1〜3>
松本善明　労働経済旬報　12—361, 365, 372（'58—3, 4, 7）

労働基準法における基本原理の比較法的研究
中村　正　工業経営　8—1（'58—3）

労働契約と労働関係　<1, 2完>
片岡　昇　民商法雑誌　38—5, 6（'59—2, 3）

労働契約論序説
藤堂　裕　法学研究　32—7（'59—7）

懲戒・解雇

会社の体面を汚す不名誉な行為について——鋼管川鉄懲戒解雇事件の提起している問題についての覚書
沼田稲次郎　労働法律旬報　307（'58—5）

解雇自由の限界
鰍沢健三　民事研修　24（'59—4）

解雇と正当事由
柳川真佐夫　労働問題　2（'58—7）

解雇と不当労働行為
高橋長蔵　秋田大学学芸学部研究紀要社会科学　7（'57—3）

解雇をめぐる問題点——労基法・労働協約に関連して
峯村光郎　日労研資料　11—17（'58—7）

整理解雇の法律問題
三藤　正　労働法学研究会報　9—5（'58—2）

懲戒解雇　<1〜3>
恒藤武二　労働問題　14〜16（'59—7〜9）

懲戒解雇における使用者の裁量権
中野善敦　日労研資料　11—13（'58—5）

懲戒解雇の法的根拠とその限界
慶谷淑夫　労働基準　9—12（'57—12）

判例からみた懲戒の考え方　<1〜8>
近藤富士雄　経営者　12—8〜12（'58—8〜12）；13—1〜4（'59—1〜4）

労働基準法における解雇制限・解雇予告について
杉本珍己　労働法学研究会報　9—35（'58—10）

労働基準法の解雇規定
松岡三郎　日労研資料　11—17（'58—7）

労働者の刑事事件と懲戒処分——砂川事件についての川鉄の不当処分問題に関連して
熊倉　武　労働法律旬報　307（'58—5）

賃　　金

いわゆる賃金カットについて
関　道雄　時の法令　295（'58—10）

家族手当についての一考察
稲垣正明　法学紀要　1（'59—5）

解説・最低賃金法案
佐竹一郎　労働問題　1（'58—6）

危険負担における帰責事由の一考察——民法第536条第2項と労働基準法第26条に関連して
島田信義　早稲田法学　33—1/2（'58—3）

虚偽事由の休暇を理由とする解雇の効力と賃金請求権——東亜紡織事件について
松岡三郎　民商法雑誌　37—4（'58—7）

最近の「最賃」論議をめぐつて
花見　忠　ジュリスト　157（'58—7）

最賃論議とその焦点
角田　豊　労働問題　1（'58—6）

最低賃金制獲得闘争と統一労働戦線
藤田若雄　労働問題　1（'58—6）

最低賃金制と最低賃金法案
黒川俊雄　労働問題　1（'58—6）

最低賃金制の法制化へ前進
大竹政男　時の法令　269（'58—2）

最低賃金法
大竹政男　ジュリスト　178（'59—5）

最低賃金法案解説
佐竹一郎　世界の労働　8—12（'58—12）

最低賃金法案解説
堀　秀夫　日労研資料　11—23（'58—9）

最低賃金法案について
岩崎隆造　職業研究　12—12（'58—12）

最低賃金法案について
大竹政男　財経詳報　156（'58—3）

最低賃金法案についての批判
片岡　昇　ジュリスト　151（'58—4）

最低賃金法雑感
氏原正治郎　季刊労働法　8—2（'58—6）
最低賃金法施行と中小企業経営者の心構え
山中篤太郎　経営者　13—6（'59—6）
最低賃金法成立までの経緯
労働省　給与月報　13—5（'59—5）
最低賃金法と施行規則の逐条解説　<上, 中, 下>
大竹政男　日労研資料　12—23〜25（'59—9）
最低賃金法について
岩崎隆造　法律のひろば　12—6（'59—6）
最低賃金法について
大竹政男　財経詳報　235（'59—4）
最低賃金法について
大竹政男　労働経済判例速報　10—16（'59—6）
最低賃金法案の課題——中小企業対策をめぐつて
吾妻光俊　労働問題　1（'58—6）
最低賃金法の解説
大竹政男　財政経済弘報　751（'59—5）
最低賃金法の解説
月刊中小企業　11—6（'59—6）
最低賃金法の行政上の運営とその法解釈について
堀　秀夫, 他　労働法学研究会報　10—17（'59—5）
最低賃金法の現実的側面
稲葉秀三　ジュリスト　151（'58—4）
最低賃金法の成立に際して
大竹政男　給与月報　13—5（'59—5）
最低賃金法の制定・実施
角田　豊　労働法　14（'59—10）
最低賃金法の逐条説明
労働省　給与月報　13—5（'59—5）
最低賃金法のなりたち
大竹政男　共済時報　7—6（'59—6）
最低賃金法の立案
松岡三郎　時の法令　269（'58—2）
最低賃金法要綱を批判する——主とし労基法28条との関連において
森長英三郎　法律新聞　89（'58—2）
新宮地区の最低賃金制
若林芳樹　ジュリスト　183（'59—8）
政府の最低賃金法案について
水島密之亮　法学雑誌　4—3/4（'58—3）
政府の最低賃金法案要綱にたいする総評の批判
加藤万吉　労働法律旬報　299（'58—2）
退職金をめぐる法律問題　<1>
山本　博　労働法律旬報　354（'59—8）
中小企業と最低賃金
稲葉秀三　日本労働協会雑誌　6（'59—9）
賃金カットの法律的解明
角　恒三　関西経協　12—3（'58—3）
賃金・退職金・賞与をめぐる最近の法律問題
松岡三郎　労働法学研究会報　9—18（'58—6）
日の目を見た最賃金法と中小企業
東洋経済新報　2882（'59—4）
労基法26条の解釈について——最近のドイツの一判例を契機として
浅井清信　民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
労働基準法における賃金の法律問題
岩崎隆造　労働法学研究会報　10—20（'59—5）
労働者の立場からみた最低賃金法案——主として全労会議案と比較しながら
間宮重一郎　労働法律旬報　299（'58—2）

労働時間・休暇

自治体職員の宿日直の法律問題
鈴木紀男　労働法律旬報　305（'58—4）
年次有給休暇請求権の問題点
後藤　清　ジュリスト　148（'58—2）
年次有給休暇について——東亜紡織事件を中心として
長島安治　労働経済判例速報　9—29（'58—10）
有給休暇請求権をめぐる法律問題
吾妻光俊　労働法学研究会報　10—21（'59—6）
有給休暇をめぐる法律問題
吾妻光俊　季刊労働法　9—2（'59—6）
労働基準法における労働時間・時間外協定の解釈
松岡三郎　労働法学研究会報　9—33（'58—10）
労働基準法よりみた帰休制度
鈴木健二　経営者　12—3（'58—3）

就　業　規　則

就業規則の規範性
宮島尚史　法律時報　31—3（'59—3）
就業規則の法源性についての一管見
宮脇辰雄　司法研修所創立10周年記念論文集　上　（'58—5）
就業規則の問題点とその対策——判例理論の動向とその批判
本多淳亮　季刊労働法　9—1（'59—3）
就業規則論——その法的性格
越智俊夫　松山商大論集　10—3（'59—12）
争議時における就業規則の適用と解釈
萩沢清彦　労働法学研究会報　9—8（'58—3）

臨　時　工

下請制の発展と社外工制度——鋼造船業を中心として
大山吉雄　労働法　12（'58—10）
社外工について
森長英三郎　労働法　12（'58—10）
社外工の法律上の問題点
松岡三郎　労働問題　2（'58—7）
社外工をめぐる法律問題
島田信義　労働経済旬報　421（'59—11）
ピケツト権と就労権——日本カーボン富山工場争議における臨時工の実態調査を機縁として
島田信義　労働法律旬報　317（'58—8）
臨時工・社外工の法律問題
後藤　清　労働法学研究会報　9—13（'58—4）
臨時工・社外工の労働条件と扱い方
平林新八　日労研資料　408（'58—5）
臨時工とその労働法上の保護
高橋長蔵　秋田大学学芸学部研究紀要社会科学　9（'59—2）
臨時工に関する法律上の諸問題
清水兼男　金沢大学法文学部論集法経篇　5（'58—2）
臨時工の解雇について
本多淳亮　法学雑誌　4—3/4（'58—3）
臨時工の諸問題
青木宗也　労働経済旬報　421（'59—11）
臨時工の取扱いにおける法律問題
窪田隼人　関西経協　12—3（'58—3）
臨時工をめぐる法律問題
峯村光郎　労働基準　10—7（'58—7）

労働関係団体法

労働委員会

中小企業労使関係と労働委員会制度
荒木誠之　季刊労働法　9—4（'59—12）
労使関係の展開の一齣——地労委10年と私と世の動き
林　信雄　横浜大学論叢　11—1（'59—10）
労働委員会制度について
中山伊知郎　日本労働協会雑誌　1（'59—4）

労　働　組　合

いわゆる労働組合の訴訟当事者適格法案について
柳川真佐夫　労働法律旬報　343（'59—4）
幹部責任論の再検討
深山喜一郎　法経論集（佐賀）　6—1/2（'59—3）
偽装解散
宮島尚史　ジュリスト　183（'59—8）
緊急命令制度について
玉置　保　労働法　12（'58—10）
緊急命令をめぐる諸問題
玉置　保　民商法雑誌　37—4（'58—7）
組合自主法と団結権
沼田稲次郎　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—3）
組合の組織変更と協約の締結能力
外尾健一　労働法律旬報　342（'59—4）
現行民訴法と労働事件との架橋——労組の訴訟当事者適格法案
峯村光郎　労働法律旬報　343（'59—4）
合同労組の必然性と構造的特質——合同労働組合の法理　<1>
林　信雄　日本法学　25—2（'59—6）
職場活動（闘争）をめぐる法律問題
片岡　昇　法学論叢　66—3（'59—12）
団体行動権論
菊池勇夫　労働問題　1（'58—6）
中間議決機関論——労働組合運営上の問題点
萩沢清彦　ジュリスト　182（'59—7）
中小企業における組合運動
倉持米一　ジュリスト　183（'59—8）
二, 三の感想——労組の訴訟当事者適格法案について
森長英三郎　労働法律旬報　343（'59—4）
反組合的意図と処分の正当事由
籾井常喜　季刊労働法　8—4（'58—12）
反組合的意図とその立証責任——労組法第7条第1号における不当行為の立証責任をめぐつて
籾井常喜　労働法　11（'58—3）
非組合員の範囲
窪田準人　労働法　12（'58—10）
非組合員の範囲
野村平爾　法律時報　30—5（'58—5）
本法案（労働組合の訴訟当事者適格法案）が成立すれば
間宮重一郎　労働法律旬報　343（'59—4）
労組法第18条の理念
吾妻光俊　中央労働時報　331（'58—10）
労組法における「正当」の概念について
吾妻光俊　法曹時報　11—11（'59—11）
労働関係訴訟における労働組合の当事者適格に関する法律について
間宮重一郎　法律のひろば　12—8（'59—8）
労働組合の型と関係とについて
石崎政一郎　勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）
労働組合の社団性の特異性と法人格の取得について
本田尊正　東洋法学　2—2（'58—11）
労働組合の政治活動——その労働運動と法律上の問題点　【座談会】
吾妻光俊, 塩田庄兵衛, 樋口弘其, 松岡三郎　季刊労働法　9—4（'59—12）
労働組合の訴訟当事者適格
三原次郎　季刊労働法　9—2（'59—6）
労働組合の訴訟当事者適格について——判例を中心として
吉井正明　同志社法学　10—6（'59—3）
労働組合の訴訟当事者適格法案逐条解説
間宮重一郎　労働法律旬報　343（'59—4）
労働組合の当事者適格
中島一郎　法律のひろば　12—8（'59—8）
労働組合の統制力と組合員の政治的自由——統制力の限界の一側面
石川吉右衛門　法学協会雑誌　76—1（'59—7）
労働組合の内部運営にともなう法的問題についての試論
恒藤武二　季刊労働法　9—2（'59—6）
労働組合の法的性質——社団理論についての一つの覚書
日外喜八郎　岡山大学創立10周年記念論文集　上　（'59—10）

団結権・団体交渉権

結社の自由と団結権をめぐつて　【座談会】
石井照久, 他　世界の労働　9—1（'59—1）
消極的団結権の反省
花見　忠　労働問題　13（'59—6）
職場団交の若干の問題

林　迪広　九州大学法学部創立30周年記念論文集　('57—12)

団結承認のための闘争について
沼田稲次郎　民商法雑誌　39—4/6 ('59—4)

団結権侵害とその救済
本多淳亮　法学雑誌　5—3 ('59—1)

団結権の法理についての一考察
杉江栄一　三重法経　6 ('57—3)

団体交渉と労使協議制
北村久寿雄　関西経協　12—3 ('58—3)

団体交渉のあり方と最低賃金　【座談会】
松崎正躬，北村久寿雄，三藤　正，近藤富士雄　労働経済判例速報　9—10/11 ('58—4)

団体交渉の仕方と問題点
近藤富士雄　関西経協　12—4 ('58—4)

不当労働行為

解雇と不当労働行為について
北岡寿逸　日労研資料　11—17 ('58—7)

解雇と不当労働行為の認定
柳川真佐夫　法律のひろば　12—7 ('59—7)

組合にかわる社員会——附・親睦団体による不当労働行為の事例
森長英三郎　労働法律旬報　310 ('58—6)

言論の自由と不当労働行為
窪田隼人　民商法雑誌　39—4/6 ('59—4)

合同労組員に対する不当労働行為
野村平爾　法律時報　31—2 ('59—2)

国鉄労組新潟地本における不当労働行為の実情と問題点　【座談会】
野村平爾，沼田稲次郎，相田一男，磯崎　洋，池田光利　労働法律旬報　325 ('58—11)

第三者の不当労働行為——山恵木材不当労働行為事件について
三藤　正　中央労働時報　341 ('59—7)

団結権と不当労働行為
石川吉右衛門　法学セミナー　40 ('59—7)

中小企業における不当労働行為
横井芳弘　労働問題　9 ('59—2)

配置転換と不当労働行為　【座談会】
沼田稲次郎，野村平彌，峯村光郎　季刊労働法　8—2 ('58—6)

配転と不当労働行為
中山和久　労働法律旬報　324 ('58—10)

不当労働行為制度上の諸問題　<上，下>
三藤　正　中央労働時報　338, 339 ('59—4, 5)

不当労働行為制度とその運営をめぐる諸問題　【座談会】
萩沢清彦，松崎正躬，松崎芳伸　中央労働時報　345 ('59—10)

不当労働行為制度における使用者の地位
荒木誠之　労働法　12 ('58—10)

不当労働行為とその立証
熊谷尚之　司法研修所創立10周年記念論文集　上　('58—5)

不当労働行為における不干渉の原則　<1, 2>
三藤　正　法律時報　30—3, 4 ('58—3, 4)

不当労働行為に関する若干の問題
清水金二郎　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—3)

不当労働行為認定論——1号事件の研究
大風重夫　労働経済判例速報　9—31/32 ('58—11)

不当労働行為はいかにして成立するか
三藤　正　労働研究　125 ('58—7)

保安解雇と不当労働行為
岩崎博司　中央労働時報　327 ('58—6)

レツド・パージと任意退職
定塚道雄　労働経済判例速報　10—9 ('59—3)

労　働　協　約

解雇同意（協議）事項における同意と協議　<1, 2>
横井芳弘　労働法律旬報　334, 346 ('59—2, 6)

海上における労働協約の地域的な一般的拘束力の問題
川口義明　労働研究　118 ('57—12)

組合保障条項と組合の分裂
西川達雄　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—3)

経営者権と労働者権の対立と調和——労働協約から見た愛知県に於ける労使関係秩序の実態調査研究
中浜虎一　石田文次郎先生還暦記念論文集　('55—3)

経歴と詐称
石崎政一郎　綜合法学　16 ('59—11)

最近の協約闘争を進めてゆく上での問題——債務的諸条項の再検討
山本　博　労働法律旬報　334 ('59—2)

最近の労働協約における労使協議機関条項の分析　<1, 2>
日本生産性本部　労働週報　21—887, 888 ('58—10)

試用期間にかんする判例
後藤　清　判例評論　11 ('58—1)

チェックオフをめぐる問題点
矢野範二　労働経済判例速報　9—24 ('58—8)

中小企業における労働協約の問題——中小企業における労働協約締結実態と当面の問題
佐藤　進　季刊労働法　9—1 ('59—3)

懲戒規定と解雇協議約款
沼田稲次郎　日労研資料　11—17 ('58—7)

平和義務条項の実態からみたその理論の諸系譜
松岡三郎　労働法　12 ('58—10)

平和義務と組合の内部統制に違反する争議行為の正当性
西川美数　労働問題　6 ('58—11)

平和義務の法的性質——特にその成立根拠について
清水一行　法政研究　26—1 ('59—7)

ユニオン・ショップ協定について
恒藤武二　綜合法学　1—4 ('58—9)

ユニオン・ショップについて
石井照久　日労研資料　424 ('58—11)

ユニオン・ショップの三面構造論序説——ショップ条項分析の一視角
宮島尚史　労働法　11 ('58—3)

労働協約と就業規則
沼田稲次郎　法学セミナー　44 ('59—11)

労働協約と争議行為——平和義務について
正田　彬　関西経協　12—3 ('58—3)

労働協約におけるショップ制の検討
吾妻光俊　労働法学研究会報　9—34 ('58—10)

労働協約における平和義務——その法的根拠と平和義務争議の法効果
恒藤武二　労働法学研究会報　10—14 ('59—4)

労働協約の実情と分析　<1〜3>
労働省　労働週報　21—862〜864 ('58—4)

労働協約の性格　<1, 2>
窪田隼人　労働問題　5, 6 ('58—10, 11)

労働協約の性格
西川達雄　彦根論叢　50 ('58—11)

労働協約の平和義務
稲垣陽一　学大法学　4 ('58—3)

労働協約の平和義務——その法的根拠についての疑問
横井芳弘　季刊労働法　8—4 ('58—12)

労働協約の法理
吾妻光俊　経済セミナー　11 ('58—1)

労働組合における除名の法理
阿久沢亀夫　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部 ('58—11)

労働時間と時間外協定の解釈
松岡三郎　季刊労働法　8—4 ('58—12)

H．ジンツハイマーの協約理論について一考察
下井隆史　六甲台論集　4—4 ('57—12)

労　働　争　議

違法争議行為と懲戒
川口　実　季刊労働法　9—2 ('59—6)

違法争議行為と懲戒処分
峯村光郎，他　労働法学研究会報　10—23 ('59—6)

いわゆる「納金スト」と預金者に対するリベートの支払
高橋勝好　財経詳報　204 ('58—12)

官憲と労働組合
沼田稲次郎　労働法律旬報　336 ('59—2)

業務命令と組合指令——その争議中の交錯
三藤　正　関西経協　12—3 ('58—3)

協約闘争ということについて
磯田　進　季刊労働法　8—2 ('58—6)

警職ストの労働法上の意味
松岡三郎　労働経済旬報　12—385 ('58—11)

警職法反対のストライキの正当性　【対談】
沼田稲次郎，山本　博　労働法律旬報　324 ('58—10)

権利闘争の問題点と当面の課題　【座談会】
太田　薫，野村平爾，沼田稲次郎，細井宗一，海野幸隆　労働法律旬報　365 ('59—12)

工場占拠（シットダウン・ストライキ）の正当性について
小島成一　労働法律旬報　319 ('58—9)

合同労組の争議行為
渡辺　修　関西経協　11—11 ('57—11)

最近の協約闘争をめぐる特徴と鉄鋼労働者の闘い
芹沢寿良　労働法律旬報　315 ('58—7)

集団デモと表現の自由
平賀健太　商事法務研究　161 ('59—12)

主婦と生活社争議と官憲
横井芳弘　法律時報　31—7 ('59—6)

主婦と生活社の争議
青木宗也　労働法　14 ('59—10)

遵法闘争
片岡　昇　労働法律旬報　359 ('59—10)

順法闘争について
林　迪広　法政研究　25—2/4 ('59—3)

スト投票についての調査
秋田成就　労働法　12 ('58—10)

ストによる業務妨害と刑法の適用
神山欣治　日労研資料　12—19 ('59—7)

政治ストをめぐる諸学説——安保反対闘争に関連して
古西信夫　労働経済旬報　13—416 ('59—10)

政治ストをめぐる法解釈について
三藤　正，他　労働法学研究会報　9—43 ('58—12)

政治ストについて　【シムポジウム】
有泉　亨，他　労働法　14 ('59—10)

政治ストの構造と法律関係
蓼沼謙一　労働問題　12 ('59—5)

政治ストの合法性——安保改訂阻止闘争の正当性について
山本　博　労働法律旬報　356 ('59—9)

正当争議行為のいわゆる免責，とくに民事免責の意味について——従来の学説の検討を中心として
蓼沼謙一　季刊労働法　8—2 ('58—6)

全造船・造船総連の協約闘争と実態　【座談会】
松岡三郎　労働経済旬報　13—391 ('59—1)

争議権の性格
片岡　昇　労働法　11 ('58—3)

争議行為
野村平爾　法学セミナー　45 ('59—12)

争議行為と業務妨害罪
神山欣治　官公労働　13—10 ('59—10)

争議行為と第三者
馬場東作　関西経協　11—11 ('57—11)

争議行為と民事責任
本多淳亮　労働法律旬報　363 ('59—11)

争議行為のいわゆる民事免責の法構造
蓼沼謙一　一橋論叢　40—2 ('58—8)

争議行為の正当性と社会的相当性の観念——いわゆる刑事免責の構成に関連して
佐藤昭夫　早稲田法学　35—1/2 ('59—6)

争議時に於ける若干の問題点
稲垣正明　日本法学　24—6 ('59—6)

中小企業争議の断面——高村建材争議の調査ノートから
戸塚秀夫　季刊労働法　9—4 ('59—12)

中小企業における解雇争議の記録——最近5ケ年間の都労委取扱事件から　<1〜3>
労働週報　22—906〜908 ('59—4)

中小企業における労働争議と暴力行使
石川吉右衛門　ジュリスト　183（'59—8）
中小企業の協約闘争
佐藤　進　労働問題　8（'59—1）
中小企業の争議——その実態と法理【座談会】
小島成一，沼田稲次郎，松本善明，横井芳弘　労働問題　12（'59—5）
中小企業の労働争議【座談会】
石井照久，石川吉右衛門，小沼良太郎，三段崎俊吾，細谷松太　ジュリスト　183（'59—8）
同情ストについて
近藤正三　労働法律旬報　309（'58—5）
同情ストの違法性について
常井　善　法律のひろば　11—1（'58—1）
同情ストの法理
片岡　昇　季刊労働法　8—2（'58—6）
同盟罷業と強要罪又は恐喝罪
神山欣治　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）
日米における労働組合のピケッティング
Gellhorn, W.　法律時報　30—7（'58—7）
判例にあらはれたピケット論——その発展をかえりみて
佐藤昭夫　労働法　11（'58—3）
ピケッティング　<1, 2>
正田　彬　労働問題　9, 10（'59—2, 3）
ピケッティング覚書
久保敬治　神戸法学雑誌　8—4（'59—3）
ピケッティングの限界
中村幸逸　関西経協　11—11（'57—11）
ピケッティングの正当性の限界
伊達秋雄　民事研修　21（'59—1）
ピケッティングの正当性の限界
千種達夫　木村博士還暦祝賀記念論文集　上（'58—7）
ピケッテイングの分析
渡部吉隆　東北法学会雑誌　9（'59—11）
ピケと威力業務妨害
吾妻光俊　ジュリスト　157（'58—7）
ピケットラインをめぐる問題点——新判例を中心として
峯村光郎　中央労働時報　328（'58—7）
不当な争議行為の責任について
西川美数　関西経協　11—11（'57—11）
部分ストをめぐる法律問題　<1, 2>
労働週報　21—856, 858（'58—2, 3）
部分ストをめぐる法律問題——部分スト部門に対するスト破りとその対策　<1, 2>
合化労働組織部　労働法律旬報　299, 301（'58—2, 3）
平和義務違反の争議行為について
恒藤武二　労働法　13（'59—4）
暴力を伴う争議行為とその対策
北岡寿逸　労働経済判例速報　10—35（'59—12）
労働協約組合規約違反の争議行為について
慶谷淑夫　関西経協　11—11（'57—11）
労働協約闘争——組織・労働条件・生産性向上運動【座談会】
松岡三郎，津脇喜代男，竹内静雄，村松正一　労働経済旬報　12—355（'58—1）
労働協約闘争の現状と問題点——最近の全国炭産の統一労働協約対策を中心に
佐藤　進　労働法律旬報　354（'59—8）
労働組合と政治スト——安保改定阻止闘争の合法性
浅井清信　労働経済旬報　13—416（'59—10）
労働争議と仮処分【討論】
野村平爾，西川美数，馬場東作，柳川真佐夫，山本　博　労働問題　18（'59—11）
労働争議と警察——主婦と生活社の争議の場合
横井芳弘，小田成光　思想　420（'59—6）
労働争議と刑事的規制【鼎談】
平野竜一，沼田稲次郎，峯村光郎　労働問題　6（'58—11）
労働争議と職場占拠
千種達夫　判例時報　196（'59—9）
労働争議と労働契約——債務不履行責任を中心として
外尾健一　法学　23—2（'59—7）
労働争議と市民法
戒能通孝　労働問題　6（'58—11）
労働争議における違法な実力行使について
常井　善　自由と正義　10—5（'59—5）
労働争議における機関責任について
西川達雄　彦根論叢　48/49（'58—10）
労働争議における実力行使の諸問題　<1>
小林直人　自由と正義　10—5（'59—5）
労働争議における民事免責について
西川達雄　彦根論叢　39（'57—9）
労働争議における目的と動機——刑事免責に関連して
秋田成就　季刊労働法　9—1（'59—3）
労働争議発生の社会的基盤
羽倉一雄　大分大学経済論集　10—2（'58—11）
ロック・アウトと賃金債権
園田　格　経営と経済　38—1（'58—6）
ロック・アウトの実態と法理
本田尊正　東洋法学　3—1（'59—6）
ロック・アウトの法理
深山喜一郎　法経論集（佐賀）　7—1/2（'59—12）
ロック・アウトの法理
和田良一　関西経協　11—11（'57—11）
わが国における政治ストの法律問題
蓼沼謙一　労働法　14（'59—10）
わが国における争議権の発展　<1, 2>
片岡　昇　法学論叢　64—4, 5（'58—10, 12）

労働者災害補償

けい肺等特別保護法の改正に関する労使の意見
労働週報　22—919（'59—8）
けい肺法改正に関する意見
能見　修　福祉対策資料　109（'58—9）
けい肺療養臨時措置法の運用と手続
労政時報　1475（'58—6）

災害補償・社会保険給付と損害賠償の関係について　<1, 2>
慶谷淑夫　判例タイムズ　9—7, 8（'58—7, 8）
災害補償と損害賠償
窪田隼人　季刊労働法　8—1（'58—3）
災害補償の対象について——社会保障法の立場からみて
長西英三　司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）
災害補償理論の展開
荒木誠之　季刊労働法　8—1（'58—3）
炭鉱の災害防止はどうしたらよいか——相次ぐ炭鉱災害の現情とその対策について
大阪保雄　時の法令　290（'58—8）
取締役などの労災補償と扱い方
中西弘文　日労研資料　441（'59—5）
労災保険法による休業補償費と健康保険法による傷病手当金の併給について
菊井康郎　健康保険　12—8（'58—8）
労働災害補償の法理
安屋和人　労働法　13（'59—4）
労働者災害補償保険法の解釈について
法務省訟務局　訟務月報　4—7（'58—7）

失　業　補　償

改正失業保険法の施行について
小川　平　月刊社会保障　12—143（'58—11）
確立された中小企業退職金制度
坂本一衛　時の法令　319（'59—6）
失業保険法一部改正の解説
労政時報　1471（'58—5）
失業保険法違反事件と期待可能性の理論
下村康正　ジュリスト　161（'58—9）
失業保険法違反事件の最高裁判決
清水金二郎　ジュリスト　161（'58—9）
失業保険法の一部改正
沖田俊夫　予算　9—8（'58—11）
失業保険法の一部改正について
和久利康一　財経詳報　167（'58—5）
失業保険法の改正
西川省吾　月刊社会保障　12—138（'58—6）
失業保険法の改正について
阿部泰二　職業研究　12—7（'58—7）
退職積立金及退職手当法成立史論——日本労働保護立法の一研究
内藤則邦　立教経済学研究　12—4（'59—3）
中小企業退職金共済法
後藤　清　労働問題　11（'59—4）
中小企業退職金共済法案それにともなう労働問題
永山武夫　労働経済旬報　13—393（'59—2）
中小企業退職金共済法解説
大野雄二郎　財経詳報　236（'59—5）
中小企業退職金共済法について
石田謙一郎　ジュリスト　183（'59—8）
中小企業退職金共済法に基く本制度の特色と内容
労政時報　1517（'59—5）
中小企業退職金共済法の解説　<1, 2>
坂本一衛　財政経済弘報　756, 757（'59—6）
中小企業退職金共済法の内容と特色
渡辺乗康　労働法学研究会報　10—20（'59—5）
中小企業退職金共済法と今後の問題点
平田富太郎　日本労働協会雑誌　6（'59—9）
中小企業にも退職共済制度を
大野雄二郎　時の法令　297（'58—11）

特　殊　労　働　法

安保条約と基地労働者
及川　陽　法律時報　31—1（'59—1）
改集札ストの法律問題
窪田隼人，片岡　昇　労働法律旬報　326（'58—11）
官公労における権利闘争の断面——時間内職場大会と団体交渉
沼田稲次郎　季刊労働法　8—3（'58—9）
官公労に対する弾圧とその反対闘争について——法律実務家からみた総括
内藤　功　労働法律旬報　331/332（'59—1）
激化する裁判所浄書拒否闘争——最高裁へ警官隊出動
法律新聞　95（'58—5）
公益事業における争議行為
峯村光郎　労働問題　12（'59—5）
公共企業体等の職員の労働組合の争議行為等についての閣議了解
藤野　豊　法律のひろば　11—1（'58—1）
公務員組合の登録と団結権
野村平爾　法律時報　31—7（'59—6）
公務員の政治的中立と労働権
角田　豊　都市問題　49—3（'58—3）
公務員の労働法上の地位
慶谷淑夫　教育委員会月報　10—3（'58—6）
公務員法制と組合専従制度
重松　蕃　労働経済旬報　13—411（'59—8）
公労員労働組合の登録問題
中山和久　労働法　14（'59—10）
公労法をめぐる諸問題
津曲蔵之丞　関西経協　11—11（'57—11）
公労法改正上の問題点
斎藤邦吉　官公労働　13—9（'59—9）
公労法改正の問題点
多賀谷真稔　官公労働　13—8（'59—8）
公労法の一部を改正する法律案提案趣旨説明——衆参両院本会議において
八木一男　労働法律旬報　308（'58—5）
公労法の再検討——果して公労法は必要か
峯村光郎　労働問題　4（'58—9）
公労法第18条による被解雇者の受益権

阿具根　登　季刊労働法　8—3（'58—9）

公労法の問題点
峯村光郎　労働法律旬報　308（'58—5）

国際労働法からみた官公労の労働基本権
佐藤進，中山和久，三島宗彦　労働問題　18（'59—11）

国鉄労働者の団結権，ストライキ権の意識——国鉄労働者の権利意識調査により
海野幸隆　労働法律旬報　315（'58—7）

最高裁判所の労働争議判例について——最近の停電スト，電源ストに関する判例を契機として【座談会】
浅井清信，片岡　昇，後藤　清，浪江源治，本多淳亮　季刊労働法　9—1（'59—3）

就労拒否と公労法第17条——千代田丸事件を中心として
阿久沢亀夫　法律のひろば　12—7（'59—7）

時間外労働についての二，三の疑問——非現業国家公務員の場合
山本吉人　茨城大学文理学部紀要社会科学　9（'59—2）

全司法「奉仕労働反上」闘争の法律上の問題点
上田誠吉，佐藤義彌　労働法律旬報　311（'58—6）

全逓戦場大会事件
宮島尚史　労働法　12（'58—10）

全逓，日教組をめぐる警察力介入の問題【座談会】
松岡三郎，重松　蕃，内藤　功，宝樹文彦　労働経済旬報　12—371（'58—6）

全電通千代田丸事件をめぐる問題【座談会】
野村平爾，他　労働法律旬報　345（'59—5）

全電通に対するふたつの不当性について
土生邦保　労働問題　4（'58—9）

全農林事件
横井芳弘　労働法　14（'59—10）

争議行為と争議権——特に公共企業体労働者の争議をめぐつて
杉江栄一　三重法経　7（'58—3）

争議行為と郵便法第78条
宮内　裕　労働問題　3（'58—8）

団結権保障と公労法第4条第3項
高田　章　明治学院論叢　50—2（'58—10）

地方公営企業における労働法上の諸問題
後藤　清　都市問題研究　10—7（'58—7）

地方公営企業における労働法上の諸問題
今井一男　都市問題研究　10—7（'58—7）

地方公営企業労働関係法再検討の諸問題について
山口博恭　都市問題研究　10—7（'58—7）

地方公務員の当面する法律問題——給与労働条件，労働基本権，政治活動，公務員制度の改革【研究会】
松岡三郎，小沢辰男，鈴木紀男，鐘形寛之，芦田浩志，山本伊三郎，渡辺勇二，和田静雄　労働法律旬報　305（'58—4）

地方公務員法上の臨時職員
鈴木紀男　労働経済旬報　13—421（'59—11）

賃金カット・昇給延伸の法律問題——官公労組合を中心にして
青木宗也　労働経済旬報　13—409（'59—7）

停電・電源ストと最高裁判例
後藤　清　ジュリスト　172（'59—2）

鉄道公安職員と労働組合運動
野村平爾　法律時報　31—1（'59—1）

電源スト・停電ストとピケッティングの正当性について——電源スト・停電ストの最高裁判例
神山欣治　法律のひろば　12—2（'59—2）

被解雇者の役員選任と団交拒否の問題点
正田　彬　労働問題　4（'58—9）

被解職者を含む職員団体の法的地位——和歌山地裁専従事件判決について
重松　蕃　労働法律旬報　361（'59—11）

不当解雇と組合の内部対立——全電通千代田丸事件を中心として
谷加部勝美　法律のひろば　12—7（'59—7）

米軍直用労務者の労働紛争の解決に日米調停委員会を設立
坂本一衛　時の法令　274（'58—3）

郵便物遅配の責任
野村平爾　法律時報　30—11（'58—11）

郵便法第79条と労働運動との関係について
中島二郎　警察学論集　11—11（'58—11）

郵便法と労働運動
松岡三郎　労働法律旬報　312（'58—6）

公労法とＩＬＯ条約

ＩＬＯ第87号条約の批准と公労法
峯村光郎　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

ＩＬＯ条約第87号と公務員の団結権
桜井安右衛門　労働問題　4（'58—9）

ＩＬＯ条約87号と団結権
野村平爾　法律時報　30—7（'58—7）

ＩＬＯ条約87号批准をめぐる問題——その後の発展
中山和久　労働法　14（'59—10）

閣議決定——ＩＬＯ条約の条件付批准（公労法改悪，公務員法除外）といかに闘うか
労働法律旬報　337（'59—3）

公務員法とＩＬＯ条約適用の限界——公務員の解釈と改正の研究のための一つの資料として
松岡三郎　労働経済旬報　13—398（'59—4）

公労法4条3項とＩＬＯ条約
辻　英雄，石川俊雄　日本労働協会雑誌　7（'59—10）

公労法4条3項とＩＬＯ98号条約
花見　忠　ジュリスト　184（'59—8）

公労法4条3項とＩＬＯの新勧告をめぐつて——組合資格の否認，被解雇役員の選出制限は団結権の侵害【座談会】
野村平爾，東城守一，宝樹文彦　労働法律旬報　328（'58—12）

公労法4条3項とＩＬＯ87号条約——ＩＬＯ理事会結社自由委員会の179号事件（日本）に対する結論について
中山和久　季刊労働法　9—1（'59—3）

日教組問題

神奈川方式と勤評問題
勝田守一　世界　159（'59—3）

教育委員会の行つた専従不承認処分の効力
花見　忠　ジュリスト　189（'59—11）

教育行政における勤評の問題点——全国都道府県教育長協議会試案批判
持田栄一　労働法律旬報　303（'58—3）

教育公務員の行政（懲戒）処分をめぐる問題——勤評闘争に関連させてその法的吟味を中心に【座談会】
青木宗也，岩村滝夫，芦田浩志，新井　章，重松　蕃　労働法律旬報　329（'58—11）

教育公務員の勤務をめぐる労働法上の諸問題
青木宗也　季刊労働法　9—1（'59—3）

教育公務員の権利意識と権利闘争
宮島　尭　労働法　13（'59—4）

教育公務員の権利闘争
本多淳亮　労働法律旬報　303（'58—3）

教員の休暇闘争の合法性——都教組の闘争の実態と法理
宮島尚史　季刊労働法　8—3（'58—9）

教師の勤務評定——教育学の見地から
宗像誠也　季刊労働法　8—1（'58—3）

教師の勤務評定の検討——勤務評定問題第一次検討
日本教育学会　季刊労働法　8—1（'58—3）

教職員の勤務評定
清水成之　自治研究　34—1（'58—1）

教職員の勤務評定の法的性格
三好新次　労働法律旬報　346（'59—6）

勤務評定をめぐる法律問題
芦田浩志　法律時報　30—10（'58—10）

勤務評定と日教組——どう反対闘争をつづけているか
三上正良　労働問題　10（'59—3）

勤務評定の意義と限界——アメリカにおける反省にふれつつ
阿利莫二　季刊労働法　8—1（'58—3）

勤務評定の困難性
伊吹山太郎　季刊労働法　8—1（'58—3）

勤務評定の実施権の所在——とくに特別区教育委員会について
唄　孝一　ジュリスト　164（'58—10）

勤務評定問題をめぐつて【座談会】
田中二郎，辻　清明，内藤誉三郎，宗像誠也　ジュリスト　164（'58—10）

日教組の専従制限の問題
瀬元美知男　ジュリスト　186（'59—9）

法治国家とは何か——勤務評定の法律問題
渡辺洋三　世界　156（'58—12）

法律からみたいわゆる勤評問題
亀岡康夫　時の法令　297（'58—11）

法律的にみた日教組弾圧
芦田浩志，沼田稲次郎　労働経済旬報　12—376（'58—6）

船　員　法

海上労働における予備員制度の性格
阿久沢亀夫　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

船員法改正の動きと若干の本質的な問題点
笹木　弘　季刊労働法　9—4（'59—12）

船舶職員法の改正
別所成紀　神戸商船大学紀要文科論集　6（'58—2）

船員法の紀律について
笹木　弘　海上労働　11—11（'58—11）

船員法の構造と特異性　<1>
住田正二　海事研究　37（'59—4）

労働裁判問題

1年間の労働判例の傾向について
新井　章，山本　博，中田直人，六川常夫　労働法律旬報　384（'59—6）

仮差押仮処分の実務上の問題点
柳川真佐夫　法律のひろば　12—2（'59—2）

仮処分事件の審理促進
中野善敦　労働法律旬報　298（'58—2）

刑事事件からみた最近の労働事件の傾向
江里口清雄　労働経済判例速報　9—4（'58—2）

勤評闘争にあらわれた処分の功罪
斎藤秀夫　判例評論　17（'59—3）

最近における労働法上の問題点と裁判制度のあり方
西川美数　労働法学研究会報　9—11（'58—4）

最近の労働刑事事件——その特徴と法律問題
大野正男　法律時報　30—9（'58—9）

最高裁争議判例をめぐつて【座談会】
野村平爾　労働法律旬報　342（'59—4）

最高裁判決に示された争議権の内容について
近藤富士雄　労働経済判例速報　9—10/11（'58—4）

裁判所に現われた不当労働行為事件
西川美数　中央労働時報　327（'58—6）

除名と裁判所の審査権——裁判例を中心とした一考察
常葉陸郎　労働経済旬報　12—357（'58—1）

争議行為の態様仮処分の必要性——布施交通大阪地裁判決の問題点
中村幸逸　労働経済判例速報　10—4（'59—2）

争議差止の仮処分——旭化成事件を中心として
吉川大二郎　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）

地位保全処分の迅速な処理について
松本善明　労働法律旬報　298（'58—2）

納金スト判決とその影響
藤野　豊　法律のひろば　11—11（'58—11）

能否と適否——労働判決への苦言
三藤　正　判例時報　140（'58—3）

ピケとレッド・パージに関する最近の二つの最高裁判例
浅井清信　労働問題　3（'58—8）

レッド・パージ　<1, 2>
本多淳亮　労働問題　3, 4（'58—8, 9）

レッド・パージをめぐる法律問題の動向
杉江栄一　三重法経　5（'58—1）

レッド・パージ訴訟について
恒藤武二　判例評論　19（'59—7）

レッド・パージと解雇無効確認訴訟の問題点
慶谷淑夫　官公労働　13—10（'59—10）

レッド・パージの復職闘争と最近の判例について
鎌田英次　労働経済判例速報　9—35（'58—12）

労働仮処分事件の審理促進について
中島一郎　労働法律旬報　298（'58—2）

労働組合に当事者同格を与えよ——組合が組合員のために訴訟を起せるように【座談会】
吾妻光俊，森長英三郎，滝内礼作，間宮重一郎　労働法律旬報　296（'58—1）

労働裁判所制度と労働訴訟
久保敬治　民商法雑誌　41—2（'59—11）

労働裁判のあり方【座談会】
野村平爾，佐伯静治，千種達夫，西川美数，柳川真佐夫　法律時報　30—9（'58—9）

労働裁判の審理促進について
東条守一　労働法律旬報　298（'58—2）

労働事件と労働弁護士・労働組合と労働弁護士【座談会】
沼田稲次郎，上田誠吉，東城守一，芦田浩志，大野正男
松本善明　労働法律旬報　366（'59—12）

労働事件の審理　<1〜3>
西川美数　判例時報　160〜162（'58—9, 10）

労働事件の審理促進について
西川美数　労働法律旬報　298（'58—2）

労働者の権利擁護斗争における若干の問題——弁護士の立場から弁護士の活動と関係させて
内藤　功　労働法律旬報　295（'58—1）

労働訴訟雑感
柳川真佐夫　労働経済判例速報　9—30（'58—10）

労働訴訟の促進について
佐伯静治　労働法律旬報　298（'58—2）

ロック・アウト　<1, 2>（総合労働判例研究）
島田信義　労働問題　7（'58—12）; 8（'59—1）

外国労働法

諸　国

各国の最低賃金法制——その沿革と現状を見る
岩崎隆造　時の法令　292（'58—9）

アメリカ

アメリカ憲法とワグナー法
松岡三郎　法律論叢　31—6（'58—4）

アメリカにおける「企業別組合」の形式と崩壊
神代和欣　季刊労働法　8—1（'58—3）

アメリカにおける最近の平和条項について——タ・ハ法のもとにおける
米田清貴　関西経協　12—4（'58—4）

アメリカにおけるショップ制思想の変遷
広政順一　季刊労働法　8—3（'58—9）

アメリカにおける平和義務の法理
田辺公二　労働問題　6（'58—11）

アメリカにおけるロック・アウトの法理
慶谷淑夫　判例タイムズ　9—6（'58—6）

アメリカの鉄鋼ストとタフト・ハートレー法
慶谷淑夫　時の法令　332（'59—11）

アメリカ労働法の改正
労働問題　18（'59—11）

外国の勤務評定——主としてアメリカを中心に
深山正光　労働法律旬報　303（'58—3）

協約期間中のストライキとタ・ハ法の冷却期間他
近藤享一　労働問題　1（'58—6）

黒人客排斥の経営方針に対する労働組合の反対と共謀の不成立
塚本重頼　判例時報　187（'59—6）

重点ストに対するロック・アウトの合法性——米国最高裁の判決
山崎一郎　労働経済判例速報　9—26（'58—9）

団体交渉義務の範囲
塚本重頼　判例時報　205（'59—12）

賃金増額要求を拒否する使用者はこれを裏付ける資料を提出する義務がある
塚本重頼　法律のひろば　11—8（'58—8）

定年退職者は失業手当を受ける資格があるか
塚本重頼　法律のひろば　12—7（'59—7）

日米における労働組合のピケッティング
Gellhorn, W.　法律時報　30—7（'58—7）

ニューヨーク州最低賃金法の運用と効果
レファレンス　8—90（'58—7）

フウィップソー・ストとロックアウト——米国連邦最高裁の一判決
蓼沼謙一　労働問題　2（'58—7）

米国新労働法のねらい
斎藤和男　世界週報　40—43（'59—10）

米国における協約交渉の構造
広政順一　労働経済判例速報　9—22（'58—8）

米国における労使紛争処理の実情——労働問題と裁判所
田辺公二　中央労働時報　337（'59—3）

米国の新労働立法——1959年労使報告公開法
中島勝郎　レファレンス　9—106（'59—11）

米国不当労働行為制度運営の概観
中央労働時報　341（'59—7）

リクリエーションの際の死亡は労災補償の対象となるか—インデイアナ最高裁判所判決の紹介
塚本重頼　判例時報　174（'59—2）

レッド・パージは解雇の正当事由に該当するか
塚本重頼　法律のひろば　11—4（'58—4）

労働協約及タフト・ハートレー法のスト禁止条項の限界
塚本重頼　季刊労働法　8—1（'58—3）

労働争議の仲裁人は差止命令を発する権限を有するか
塚本重頼　判例時報　191（'59—8）

イギリス

イギリス賃労働成立史論序説
大原　慧　政経論叢（国学院）　5—3（'57—2）

イギリスにおける強制仲裁制度の廃止
労働問題　12（'59—5）

イギリスにおけるクローズド・シヨップ権の展開　<1>
松岡三郎　法律論叢　33—1（'59—7）

イギリスにおける政治ストの法的効果について
秋田成就　労働法　14（'59—10）

イギリスにおける争議権のひろがりとその周辺
有泉　亨　労働問題　12（'59—5）

イギリスの労働組合は法をどう見るか
有泉　亨　季刊労働法　8—4（'58—12）

イギリス労働法における平和義務
有泉　亨　労働問題　6（'58—11）

英国公務員の労働関係　<上, 下>
岩本三司　レファレンス　8—84, 85（'58—1, 2）

英国労働組合の類型　<2>
樫原信一　甲南論集　6—2（'58—　）

組合員除名に関する法的規制——イギリスにおける法理とその変遷
大野雅子　季刊労働法　9—2（'59—6）

不当な除名に対して組合を相手とする損害賠償請求は認められるか
秋田成就　労働問題　7（'58—12）

Fellow Servant Rule の形成と Shaw 判事について——Commonwealth 事件との対比
山本吉人　茨城大学文理学部紀要社会科学　8（'58—2）

スイス

スイスの組合保障制度——アメリカ Agency Shop との対比において
花見　忠　労働問題　19（'59—12）

ソヴエト

ゲ・エヌ・ペチェーリン「ソ同盟労働組合組織の権限の拡大」
中村賢二郎　経済論叢（香川）　32—2（'59—7）

初期のソヴエト労働協約——戦時共産主義期まで
中村賢二郎　経済論叢（香川）　32—1（'59—5）

労働紛議審理手続にかんする規則
中村賢二郎　経済論叢（香川）　31—5（'59—1）

中　国

中国国営企業における労働管理
小嶋正巳　山口経済学雑誌　9—2（'58—8）

なぜ中国には労働協約がないか
野村平爾　季刊労働法　9—4（'59—12）

ドイツ

一般的拘束力宣言の法的性格——ドイツにおける学説を中心に
加藤俊平　産業と科学　2（'58—3）

各国公務員の労働権——西ドイツ
山田庫之助　人事院月報　9—1（'58—1）

西独における解雇制限の法理——解雇制限法を中心にして
近藤正三　労働法　12（'58—10）

争議行為と平和義務
喜多　実　労働問題　4（'58—9）

ドイツ協約賃金の性格
久保敬造　季刊労働法　9—1（'59—3）

ドイツにおける政治ストの法理
久保敬造　労働法　14（'59—10）

ドイツにおける労働協約上の平和義務
後藤　清　労働問題　6（'58—11）

ドイツ労働協約の一研究
久保敬治　神戸法学雑誌　7—3（'57—12）

ドイツ労働協約法における有利の原則（Günstigkeitsprinzip）について
川口　実　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

西ドイツ経営参加法序説　<1, 2>
綱野　誠　日本法学　24—5（'58—12）; 24—6（'59—6）

西ドイツの戦後最大のストと連邦判決
林　修　労働問題　8（'59—1）

ピケッティングと平和説得
久保敬治　労働問題　10（'59—3）

平和条項違反のストライキと損害賠償
久保敬治　労働問題　16（'59—9）

労働協約の余後効——ワイマールドイツにおける労働協約の余後効論についての考察
清水一行　九大法学　1（'57—1）

労働者共同決定権史——1920年経営協議会の成立とその背景
門田信男　東洋法学　3—1（'59—6）

労働重役の職能——共同決定権所有権の関連性を考慮して　<2>
門田信男　東洋法学　2—1（'58—5）

ワイマール期の労働協約の一般的拘束力制度の一考察
小椋利夫　法律論叢　33—4（'59—12）

フランス

組合活動を理由とする解雇——フランス破棄院の判決
外尾健一　労働問題　3（'58—8）

経営難による企業閉鎖と使用者の責任
外尾健一　労働問題　5（'58—10）

ストライキと市民的規範意識——フランスのストライキをみてきて
青木宗也　労働法律旬報　319（'58—9）

ドゴール政権とフランス労働組合
青木宗也　労働問題　4（'58—9）

フランスにおける協約の平和義務——その実態と効果
外尾健一　労働問題　6（'58—11）

フランスにおける経営委員会制度の現状とその性格
青木宗也　季刊労働法　8—2（'58—6）

フランスにおける政治ストの法理
青木宗也　労働法　14（'59—10）

フランスにおける争議権の構造
阿久沢亀夫　法学研究　31—2/3（'58—3）

フランスに於ける労働協約の一般的拘束力　<2, 3完>
外尾健一　法学　21—4（'58—2）; 22—1（'58—4）

フランスにおけるロック・アウトにかんする法理論
中山和久　早稲田法学　35—1/2（'59—6）

フランスのショップ制
外尾健一　季刊労働法　9—1（'59—3）

ロック・アウトと賃金請求権
中山和久　労働問題　6（'58—11）

社会厚生法

社会厚生法一般

古典学派経済理論における賃金とその法的規制について
加藤一雄　日本法学　25—3/5（'59—10）

社会法の構造と理念
宮川　澄　立教経済学研究　13—3（'59—12）

戦争犠牲者の援護をさらに強化——いわゆる準軍属およびその遺族の処遇も改善
安福信雄　時の法令　285（'58—7）

法を支える基盤——職業安定法第44条違反事件を素材として
後藤　清　石田文次郎先生還暦記念論文集　（'55—3）

未帰還者に戦時死亡宣告——未帰還者に関する特別措置法
渡辺光太郎　時の法令　312（'59—4）

P．ラロック教授と社会法——人と思想
菊池勇夫　労働問題　10（'59—3）

売春問題

〔刑事法中「売春防止法」をも見よ〕

人身売買及び他人の売春による搾取に関する報告
法律時報　30—2（'58—2）

中世から近代へ
神近市子　法律時報　30—2（'58—2）

日本における人身売買と売春による搾取——犯罪防止，犯罪者処遇に関する国連アジア会議における日本政府のナショナル・ステートメント
法律時報　30—2（'58—2）

売春禁止途上の日本——犯罪防止及び犯罪者の処遇に関する国連アジア会議における報告
神田多恵子　法律時報　30—2（'58—2）

売春の防止　【座談会】
正木　亮，神田多恵子，野村正男，鈴木才蔵　法律時報　30—2（'58—2）

社会福祉法

改正された社会保障関係法の解説
健康保険組合連合会　健康保険　12—6（'58—6）

国の生存権保障と家族制度——特に生活保護法と国民年金法について
小川政亮　労働問題　15（'59—8）

国際基準からみたわが国の社会保障
高橋　武　労働問題　18（'59—11）

社会保障についての一考察
稲垣正明　日本法学　24—1（'58—6）

新生活保護法の特質との成立の背景
岸　勇　日本福祉大学研究紀要　2（'58—12）

生活保護行政を進めるために——その隘路と労働組合の役わり
小川政亮　労働問題　8（'59—1）

法主体としての社会保障制度被保護者
北村圭文　九大法学　1（'57—1）

民生委員法改正の問題点
佐伯藤之助　厚生　14—7（'59—7）

労働者生活と社会保障
近藤文二　日本労働協会雑誌　6（'59—9）

公衆衛生法

環営法をめぐる論義
山田辰男　公正取引　99（'58—12）

環境衛生営業法をめぐる最近の諸問題について
三浦英夫　月刊中小企業　10—7（'58—7）

環境衛生営業法をめぐるその動き——施行1周年を迎えてその後の状況を見る
河角泰助　時の法令　291（'58—9）

環境衛生関係営業の運営の適正化に関する法律の概要
幸　康一　教育と医学　6—8（'58—8）

環境衛生施設整備促進に特別法
聖成　稔　時の法令　297（'58—11）

社会保険法

医療の社会化——病院の公営と医師の公務員化の提唱
高田源清　法政研究　25—1（'58—7）

各種年金制度の現状と問題点　【座談会】
岡本和夫，加藤威二，真田秀夫，田中二郎，中嶋忠次，穂刈誠一，山口敏之　ジュリスト　192（'59—12）

厚生年金保険法改正に関する問題
清水金二郎　法政研究　25—2/4（'59—3）

国民健康保険法案について
藤森昭一　自治時報　11—7（'58—7）

国民健康保険法改正の重点とその進路
本城　亨　都市問題　49—11（'58—11）

国民健康保険法の改正
木代一男　地方自治　132（'58—12）

国民健康保険法の改正と医療費
藤本捨吉　社会保険旬報　544（'58—7）

国民健康保険法の改正に対する日本医師会の見解
蓮田　茂　都市問題　49—11（'58—11）

国民健康保険法の全面改正について
木代一男　市政　7—10（'58—10）

国民年金委員とその意見——社会保障制度審議会の答申に対処する「国民年金制度構想上の問題点」について
岡本和夫　時の法令　291（'58—9）

社会保険医療費の改訂をめぐつて——点数表の全診療項目についての点数の再評価
吉村　仁　時の法令　289（'58—8）

社会保障制度審議会と国民年金の答申
時の法令　289（'58—8）

日本社会保険立法史
清水金二郎　九州大学法学部創立30周年記念論文集（'57—12）

農林漁業団体職員の年金制度
尾中　悟　時の法令　280（'58—5）

労災保険法による休業補償費と健康保険法による傷病手当金の併給について
菊井康郎　健康保険　12—8（'58—8）

国民年金

恩給制度と国民年金制度　<1, 2>
青谷和夫　法律公論　7—68, 69（'58—5, 6）

国民年金制度をめぐつて
田中和巳　財経詳報　227（'59—3）

国民年金制度に関する基本方策について——社会保障制度審議会答申
時の法令　289（'58—8）

国民年金制度について
岡本和夫　自治研究　35—9（'59—9）

国民年金制度の実施と長期経済計画検討の必要
真島毅夫　財政経済弘報　692（'58—5）

国民年金法
高橋三男　ジュリスト　178（'59—5）

国民年金法制定の意義と今後の問題
岡本和夫　財政経済弘報　754（'59—5）

戦後社会保障の歩み——国民年金制度成立過程を中心に
原　徹郎　レファレンス　9—100（'59—5）

ようやく成つた国民年金制度
岡本和夫　時の法令　316（'59—5）

外国社会厚生法

諸国

世界の廃娼制度
Félice, Th. de　鈴木寿一訳　法律時報　30—2('58—2)

イギリス

イギリス絶対主義と救貧法
中村幸太郎　社会福祉評論　16（'58—11）

英国救貧法の成立過程
小山路男　横浜大学論叢　11—1（'59—10）

英国の老人福祉制度の沿革現状
清水金二郎　産業労働研究所報　18（'59—3）

1834年救貧法改正の意義に関する考察——救貧法委員会（1834〜47）の検討を中心に
高島　進　日本福祉大学研究紀要　2（'58—12）

1834年の救貧法改正
古田哲一　歴史教育　6—12（'58—12）

マルサスと救貧法
杉山俊治　アカデミア　23（'58—9）

中国

北京でみた婦女更生・売春防止法の実施を前にして
戒能通孝　法律時報　30—2（'58—2）

ドイツ

西独における年金制度　<1〜3>
曾根田郁夫　時の法令　275〜277（'58—4）

G．エルトマン「ドイツ社会立法の発展」1957　【書評】
島崎晴哉　経商論纂　81（'58—9）

フランス

近代フランス家族生活の基礎——社会保険法の家族法との重畳的規制についての一研究
松本暉男　法学論集　8—2（'58—10）

奴隷としての女——パリの売春婦たち
椎名其二　法律時報　30—2（'58—2）

フランスの社会保障
Larogue, P.　レファレンス　9—98（'59—3）

文化法

文化法一般

ボーツ振興法案の構想
金田智成　時の法令　301（'58—12）

宗教法

宗教法と国家の法について——特に仏教とキリスト教における宗教法概念の一考察

鈴木敏和　法学研究（愛知）　1（'58—10）

教育関係法

越境入学後の法律問題
川西　誠　時の法令　314（'59—5）
改正社会教育法の機能（文化統制の新局面）
山本敏夫　法律時報　31—8（'59—7）
学生の懲戒処分
川西　誠　時の法令　304（'59—1）
義務教育と保護者の就学させる義務
時の法令　292（'58—9）
教育委員会の行つた専従不承認処分の効力
花見　忠　ジュリスト　189（'59—11）
教育管理概念の再吟味
持田栄一　労働法律旬報　346（'59—6）
教育行政組織論
森田　孝　法学研究（愛知）　1（'58—10）
教育における私的経営
日比行一　政治経済論叢　9—2（'59—7）
公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律について
佐藤三樹太郎　地方自治　126（'58—6）
最近の教育の諸問題　<1>
伊藤恒夫　松山商大論集　9—4（'58—12）
社会科教科書と統制（文化統制の新局面）
上田　薫　法律時報　31—8（'59—7）
社会教育法等の一部改正
宮地　茂　自治研究　35—4（'59—4）
社会教育法の改正
高橋貞三　綜合法学　15（'59—10）
私立大学への国庫助成論
時子山常三郎　綜合法学　1—2（'58—7）
日本学校安全会を設立——日本学校安全会法案
渋谷敬三　時の法令　308（'59—3）

新聞・映画・放送関係法

自由世界における新聞の自由の動向——近年の新聞制限立法を中心に
秋山憲夫　新聞研究　95（'59—6）
新聞・映画における自主的統制
稲葉三千男　法律時報　31—8（'59—7）
新聞表現と法律的規制
長谷川　了　日本法学　24—3（'58—10）
電波に乗る問題，乗らぬ問題(放送メデイアにおける統制)
高橋広居　法律時報　31—8（'59—7）
放送番組の向上適正を図る——放送法の一部を改正する法律案
石川義憲　時の法令　296（'58—11）
放送法令における諸問題　<1, 2>
永田一郎　法学志林　57—1, 2（'59—7, 9）
輸入映画の検閲
有倉遼吉　警察時報　14—6（'59—6）

外国文化法

アメリカ

アメリカにおける映画検閲制——現代における表現の自由の一考察　<1, 2>
奥平康弘　社会科学研究　10—5, 6（'59—3）
アメリカにおける教育テレビの法的諸問題——Yale Law Journal 誌所掲論文の紹介として
三和一博　東洋法学　3—1（'59—6）
アメリカの国防教育法訳　<上, 下>
三谷　弘，深沢京子　レファレンス　9—99, 101（'59—4, 6）
黒人分離教育の合憲性をめぐる変遷について
塚本重頼　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）
黒人分離教育問題について
Gellhorn, W.　ジュリスト　182（'59—7）

其の他

英国教会の法的性格
蒲生俊二　神道宗教　16（'58—4）
オーストラリアにおける教師の勤務評定
Sissons, D.　ジュリスト　166（'58—11）
韓国教育法訳
新田隆信　富山大学紀要経済学部論集　13（'58—3）
ワイマール共和国におけるラジオ放送の政治的中立性
山口　定　立命館法学　29/30（'59—9）

国　際　法

国際公法一般

〔憲法中「憲法と条約問題」をも見よ〕

違憲条約の効力
経塚作太郎　法学新報　66—9（'59—9）
学界回顧　1958年——国際公法
皆川　洸　法律時報　30—12（'58—12）
学界回顧　1959年——国際公法
宮崎繁樹　法律時報　31—13（'59—12）
グローチウス戦争と平和の法
一又正雄　法学セミナー　25（'58—4）

ケースメソッドと国際法
大平善梧　法学研究（一橋）　2（'59—3）
現下の国際的法律問題——国際法協会ニューヨーク総会を中心として【座談会】
江川英文，一又正雄，大平善梧，金沢良雄，栗山　茂，高野雄一，矢沢　惇　ジュリスト　159（'58—8）
憲法と条約
恒藤　恭　法学セミナー　26（'58—5）
国際公法における空法の基礎的研究　<1>
名島　芳　経営と経済　38—3（'59—2）
国際責任における過失の問題
田畑茂二郎　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
国際平和法えの接近
渡辺幸生　福岡大学創立25周年記念論文集法学編　（'59—10）
国際法確立についての要件
森　健臣　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）
国際法秩序とその構造
大淵仁右衛門　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
国際法と国内法との「合致の推定」の問題
深津栄一　日本法学　24—1（'58—6）
国際法と国内法の関係についての諸学説の相違点とその意味
今井　威　阪大法学　26（'58—2）
国際法と国内法の効力関係
経塚作太郎　綜合法学　16（'59—11）
国際法における権利濫用
入江啓四郎　法律時報　30—10（'58—10）
国際法における権利濫用の考察に関する前提的序説
名島　芳　経営と経済　38—2（'58—10）
国際法の魔術——国際法学者の一反省
大平善梧　時の法令　281（'58—6）
条約と国会——比較法的考察
土橋友四郎　上智法学論集　3—1（'59—4）
条約の締結と国会の承認権
芦部信喜　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
世界平和の基本的諸条件
田中耕太郎　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
多数国間条約に対する留保
一又正雄　中村宗雄教授還暦祝賀論集　（'55—3）
多辺条約における留保　<1>
小川芳彦　法学論叢　66—2（'59—11）
日本国憲法と国際法
今井　威　阪大法学　28（'58—10）
人間の権利と国際法　<3>
大沢　章　学習院大学政経学部研究年報　5（'58—3）
フランス国際法年鑑　第1, 2巻
桑原輝路　一橋論叢　40—3（'58—9）
法の一般原則と国際法の淵源
川上敬逸　岩崎教授在職35周年記念論文集　（'58—2）
横田先生還暦祝賀「現代国際法の課題」【紹介】
伊藤不二男　国際法外交雑誌　57—6（'59—3）
Disengagement の沿革と本質
内山正熊　国際法外交雑誌　58—3（'59—7）
William H. Vatcher, Jr., Panmunjom【紹介】
神谷不二　国際法外交雑誌　57—6（'59—3）

平時国際法

アグレマン拒否問題に関する若干の考察
海妻玄彦　国際法外交雑誌　57—5（'58—12）
外国にある私有財産権の相互保護の為の国際協定
矢ケ崎武勝　法学協会雑誌　75—5（'59—1）
韓国併合をめぐる国際関係——韓国独立運動史序説
植田捷雄　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
共存五原則と国際法
桑原輝路　一橋論叢　41—3（'59—3）
共同防衛条約の防衛条項について
別府節彌　レファレンス　9—96（'59—1）
原子力と国際法
山下康雄　外交季刊　3—1（'58—1）
国旗掲揚の権利
時の法令　278（'58—5）
国旗問題私見
一又正雄　綜合法学　1—3（'58—8）
国家及び政府承認の法構造——デ・フアクト承認の法理を中心として　<1, 2完>
広瀬善男　国際法外交雑誌　57—4（'58—9）
国際的原子力操作による不法行為賠償責任と賠償資力の保障に関する問題
成富信夫　自由と正義　9—5（'58—5）
国際法と国家主権
祖川武夫　法学セミナー　24（'58—3）
世界連邦都市と国際法
吉原正八郎　ジュリスト　160（'58—8）
政治的亡命の法規——庇護権をめぐつて
大平善梧　国防　8—1（'59—10）
中華人民共和国政府の国際的地位
川崎一郎　国際政経事情　25（'58—　）
中東紛争と国際法
入江啓四郎　綜合法学　1—5（'58—10）
通商条約における通商自由の原則——日米通商航海条約を中心として
桑原輝路　商学討究　9—1（'58—7）
南極条約成る——初の非武装地帯出現
世界週報　11—8（'59—8）
米国互恵通商協定法の延長をめぐる諸情勢
吉良秀通　経団連月報　6—2（'58—2）
平和共存の法理論的検討
一又正雄　外交時報　7（'59—2）
北鮮帰国問題
高野雄一　法律時報　31—3（'59—3）
満文ネルチンスク条約の研究
野見山　温　福岡大学創立25周年記念論文集法学編（'59—10）

公海・領海・大陸棚

海洋国際法の新発展 <1>——領海の幅と基線
横田喜三郎　外交時報　10（'59—5）

海洋国際法の新発展 <2>——湾と無害航行
中村　洸　外交時報　11（'59—6）

海洋国際法の新発展 <3>——接続水域と継続追跡権
前原光雄　外交時報　13（'59—8）

海洋国際法の新発展 <4>——大陸棚と国際法
入江啓四郎　外交時報　14（'59—9）

海洋国際法の新発展 <5>——公海
高野雄一　外交時報　16（'59—11）

海洋法案に対する水産学的考察
中沢　晃　日本法学　23—6（'58—2）

海洋法案の一つの問題——自発的抑止の乱用，逆用の危険
曾根　徹　水産界　879（'58—3）

海洋法国際会議をふりかえつて　<1, 2>
賀陽治憲　時の法令　284, 285（'58—7）

海洋法国際会議をふりかえつて <3, 4>——公海における漁業及び生物資源の保存に関する条約
鈴木文彦　時の法令　286, 287（'58—7, 8）

海洋法国際会議とその成果
大平善梧　国連評論　37—5（'58—5）

海洋法国際会議と日本——わが代表の発言を中心に
世界週報　39—16（'58—4）

海洋法国際会議に関する条約決議（英文）
国際法外交雑誌　58—1/2（'59—5）

海洋法国際会議について
池田文雄　法律のひろば　11—4（'58—4）

海洋法国際会議の審議——領海，公海一般両委員会を中心に
世界週報　39—20（'58—5）

海洋法国際会議の第五委員会の審議経過について
関　道雄　国際法外交雑誌　58—1/2（'59—5）

海洋法と海運
住田俊一　海運　366（'58—3）

海洋法に関する条約の諸問題
寺沢　一　法律時報　30—8（'58—8）

海洋法に関する諸条約
寺沢　一　国家学会雑誌　72—7（'58—7）

公海における船舶衝突事件に関する刑事裁判管轄権——ロチュース号事件の判決と海洋法草案
佐藤和男　拓殖大学論集　16（'58—4）

公海に関する条約
高林秀雄　国際法外交雑誌　58—1/2（'59—5）

公海に関する条約と便宜国籍船対策の関係
星野　瑛　海事研究　34（'58—7）

公海に関する条約について
賀陽治憲　外交季刊　3—4（'58—10）

公海に関する条約について
十代田勇平　海事研究　36（'59—1）

国家領域の限界劃定に関する諸問題
深津栄一　法学紀要　1（'59—5）

国際海洋会議　<1〜4>
小田　滋　ジュリスト　155〜158（'58—6, 7）

国際海洋法会議と日本
入江啓四郎　世界週報　39—7（'58—2）

国際河川について——国際法の観点から
岩本昭夫　河川　（'57—11）

国際法委員会による海洋法案の内容とその諸問題点
名島　芳　海法会誌　6（'58—7）

国連海洋法における沿岸国の優位制と大陸棚条約
中沢　晃　総合海洋科学　1（'59—3）

国連の国際法委員会が採択した海洋法とはどんなものか <上, 下>
鈴木文彦，安田謙二　時の法令　268, 269（'58—1, 2）

ジュネーヴ海洋法会議の成果
入江啓四郎　法律時報　30—6（'58—6）

ジュネーブ海洋法国際会議の報告
寺沢　一　水産時報　10—113（'58—7）

ソヴェトの海洋法理論
内田久司　法律時報　30—8（'58—8）

大陸棚に関する条約
小田　滋　国際法外交雑誌　58—1/2（'59—5）

大陸棚に関する条約
鈴木文彦　外交季刊　3—4（'58—10）

ピョートル大帝湾についてソ連政府決定は国際法に合致
Nikolaev, A.　世界週報　39—11（'58—3）

北京政府の領海拡張宣言
入江啓四郎　外交季刊　3—4（'58—10）

問題点をはらむ海洋法案
水産界　875（'57—11）

領海および接続水域に関する条約
小田　滋　ジュリスト　159（'58—8）

領海及び接続水域に関する条約
中村　洸　国際法外交雑誌　58—1/2（'59—5）

領海及び接続水域に関する条約について
十代田勇平　海事研究　35（'58—10）

領海制度と地理学上の問題
川上健三　地理　2—11（'57—11）

領海制度の成立　<1〜3完>
高林秀雄　法学（近大）　6—4（'58—3）; 7—1, 2/4（'58—2）

領海制度法典化の現段階——国際連合の活動を中心として
田村幸策　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

領海の幅と国際法
横田喜三郎　国際法外交雑誌　58—1/2（'59—5）

領海の範囲に関する法
深津栄一　総合海洋科学　1（'59—3）

領海の問題
横田喜三郎　外交季刊　3—4（'58—10）

李ラインをめぐる国際法上の問題
入江啓四郎　自由と正義　10—7（'59—7）

李ラインと日本漁船
島田武夫　自由と正義　10—7（'59—7）

李ライン問題をどう解決するか
田畑茂二郎　自由と正義　10—7（'59—7）

歴史的湾の制度・その法典化への構想——歴史的湾に関する覚書に関連して
中村　洸　法学研究　32—9（'59—9）

領　空

宇宙空間の法的地位
池田文雄　国際法外交雑誌　58—4（'59—9）

宇宙空間の法理
池田文雄　法律のひろば　12—2（'59—2）

宇宙国際法の基本問題
池田文雄　専修大学論集　21（'59—10）

国際公法における空法の基礎的研究　<1>
名島　芳　経営と経済　38—3（'59—2）

大気圏外の地位とその平和利用
高野雄一　国際法外交雑誌　58—4（'59—9）

大気圏外法と国際連合
横田喜三郎　国連評論　38—2（'59—2）

超高空の法律問題に関する資料及び文献
落合淳隆　空法　3（'58—4）

超高空の法理論
城戸正彦　外交時報　8（'59—3）

領空侵犯と国際法
池田文雄　法律のひろば　12—4（'59—4）

領空について
前原光雄　綜合法学　2—4（'59—4）

条　約　機　構

ANZUS と SEATO
吉村健蔵　国際政治　（'59—10）

北大西洋条約機構（NATO）の発展
木戸　蓊　国際政治　（'59—10）

コロンボ・プラン
郡司喜一　青山法学論集　1—1/2（'59—11）

バグダッド条約
岡田富美也　国際政治　（'59—10）

ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の創立に関する条約——解説と訳文
佐藤和男　国際法外交雑誌　57—2（'58—6）

ワルシャワ条約機構
尾上正男　国際政治　（'59—10）

安保条約・行政協定

〔憲法中「憲法裁判」をも見よ〕

ある奇妙な外交交渉
中野好夫　世界　160（'59—4）

安全保障と自衛権
横田喜三郎　時の法令　329（'59—10）

安全保障の概念と日米安保条約
横田喜三郎　外交時報　9（'59—4）

安保改定交渉の史的批判
鈴木正四　中央公論　74—11（'59—8）

安保改定と憲法
大内兵衛　世界　165（'59—9）

安保改定とその周辺
佐藤達郎　ジュリスト　188（'59—10）

安保改定問題と私
亀井勝一郎　168（'59—12）

安保改定問題の究明 【研究会】
宮沢俊義，田中二郎，鵜飼信成，高野雄一，高橋通敏　ジュリスト　188（'59—10）

安保体制を打破する闘いのために
山田　昭　労働法律旬報　335（'59—2）

安保体制との新たな対決——自民党・政府の合憲論をつく
風早八十二　前衛　156（'59—7）

安保条約改正の意味するもの
エコノミスト　36—43（'58—10）

安保条約改訂交渉の方向と問題点
祖川武夫　法律時報　31—1（'59—1）

安保条約改定と共同防衛地域（沖縄における法と自由）
新城利彦　法律時報　31—11（'59—10）

安保条約の改定と憲法の抵抗権——安保改定阻止闘争の法理
沼田稲次郎　労働法律旬報　351（'59—7）

安保条約改定と憲法擁護運動
不破哲二　思想　420（'59—6）

安保条約改定と自衛権——安保改定自民党小委員会案を検討する
田畑茂二郎　法律時報　31—7（'59—6）

安保条約改定と労働組合
平野義太郎　労働法律旬報　335（'59—2）

安保条約改定について
西沢富夫　前衛　148（'58—12）

安保条約改訂の方向と条件
田尻愛義　外交時報　8（'59—3）

安保条約改定の問題
田中直吉　日本及日本人　96（'59—1）

安保条約改定の問題点
鵜沢義行　時の法令　325（'59—8）

安保条約改定の問題点
田畑茂二郎　国連評論　38—9（'59—9）

安保条約改定への藤山構想——安保条約改定について
藤山一郎　世界週報　40—25（'59—6）

安保条約改定問題——回顧から解決へ
西村熊雄　世界週報　39—47（'58—11）

安保条約交渉の経過と問題点
磯部洋一郎　国連評論　38—9（'59—9）

安保条約に関する資料
神谷竜男　政経論叢（国学院）　8—2（'59—11）

安保条約の改定問答
大平善梧　国連評論　38—9（'59—9）

安保条約の解消論と改定論
入江啓四郎　中央公論　73—13（'58—12）

安保条約の基本問題について
賀屋興宣　損害保険研究　21—1（'59—2）

安保条約問題と中ソの主張
入江啓四郎　法律のひろば　12—2（'59—2）

安保条約問題の焦点 【座談会】

入江啓四郎，中村　哲，高野雄一　法律時報　31—1（'59—1）
沖縄から見た安保条約改定問題
霜多正次　新日本文学　14—3（'59—3）
改訂の条件とその意義
桜内義雄　外交時報　5（'58—12）
合衆国軍隊の日本駐留は憲法の平和立場と矛盾する
芦田浩志　前衛　160（'59—11）
岸構想のなかの安保条約——国民を忘れた改定交渉
黒田寿男　世界　156（'58—12）
基地問題の概要
三谷　弘　レファレンス　8—86（'58—3）
行政協定の一考察——駐留軍労務者の問題をめぐり
宮崎日出雄　調査時報（調達庁）　26（'59—9）
軍事的見地から見た改定問題
新名丈夫　法律時報　31—1（'59—1）
現行安保条約の性格
西村熊雄　外交時報　5（'58—12）
現実における二つの道——安保条約改定をめぐつて
戒能通孝　世界　161（'59—5）
国際状勢の転換と安保条約改定の意味
野々村一雄　労働経済旬報　13—416（'59—10）
国連憲章からみた安保条約改定
高野雄一　国連評論　38—9（'59—9）
姑息な条約改定を排す——藤山外相の招きを辞するの書
家永三郎　世界　158（'59—2）
災厄をもたらす安保条約
入江啓四郎　世界　155（'58—11）
自民党「安保条約改定ＰＲ資料」批判
寺沢　一　法学セミナー　43（'59—10）
集団安全保障と軍事同盟
上田誠吉　前衛　160（'59—11）
集団安全保障と日米安保条約
田中直吉　外交時報　5（'58—12）
新安全保障条約の検討
田中直吉　外交時報　15（'59—10）
新安保条約草案の逐条解説——安保改定阻止闘争の前進のために
青年法律家協会　労働法律旬報　362（'59—11）
新日米安全保障条約の構想
田中直吉　国際政治　（'59—10）
地域的取極と集団的自衛権との関係を論じ日米安全保障条約の改訂に及ぶ
田村幸策　法学新報　66—1（'59—1）
中立と安保条約と中国承認
加藤周一　世界　160（'59—4）
二者選一のとき——偽りのジレンマに抗して
福田歓一　世界　163（'59—7）
日米安全保障条約改定の問題点
山野明夫　労働法律旬報　335（'59—2）
日米安全保障条約の改定
宮崎繁樹　時の法令　298（'58—11）
日米安全保障条約の検討
入江啓四郎　国際政治　（'59—10）
日米安全保障条約の７年
寺沢　一　法律時報　31—1（'59—1）
日米安保条約案の問題点
石本泰雄　ジュリスト　188（'59—10）
日米安保条約改悪の危険
入江啓四郎　社会主義　87（'58—11）
日米安保条約の改定
務台理作　思想　414（'58—12）
日米安保条約の改定——双務性と極東全体と
世界週報　39—42（'58—10）
日米安保条約の改訂問題
高野雄一　自由と正義　10—4（'59—4）
日米安保条約の改定——良識は憂える【座談会】
芦部信喜，入江啓四郎，小林直樹，斎藤　真，篠原　一，新名丈夫，寺沢　一，宮沢俊義　ジュリスト　182（'59—7）
日米行政協定はどう改定する——過去の苦渋が教える解決方式
西村熊雄　世界週報　40—15（'59—4）
日本の安全保障
高野雄一　国連評論　37—7（'58—7）
廃棄の方向への改定を
末川　博　世界　160（'59—4）
藤山構想を批判する
田畑茂二郎　世界　160（'59—4）
米駐留軍・自衛隊とその基地は何を目標にどう強化されているか
山田　昭　労働法律旬報　341（'59—4）
防衛協定と機密保持
入江啓四郎　法律時報　臨時増刊（'58—12）

漁　業　問　題

韓国における抑留漁民の弁護について
萩山虎雄　自由と正義　10—7（'59—7）
漁業および公海生物資源保存に関する条約——その効果と限界
小田　滋　国際法外交雑誌　58—1/2（'59—5）
全世界の法律家に訴える——日本漁民の不法抑留
日本弁護士連合会　自由と正義　10—7（'59—7）
日中漁業問題
桑原輝路　国際法外交雑誌　57—6（'59—3）
日ソ漁業の国際法史的概観
大平善梧　国際法外交雑誌　57—3（'58—8）
排他的漁業権概念の歴史的展開　<1, 2完>
山本草二　国際法外交雑誌　58—3, 4（'59—7, 9）

国際紛争処理法

インドネシヤに対する第三繁栄丸抑留損害賠償事件の覚書
小川保男　ジュリスト　153（'58—5）
国際司法裁判所と仮保全措置
佐藤和男　一橋論叢　41—3（'59—3）

国際司法裁判所の強制管轄の受諾によせて
一又正雄　国連評論　37—8/9（'58—9）
国際法における個人の出訴権と請願権
山下康雄　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
国際法の淵源と国際司法裁判所規定第38条
川上敬逸　綜合法学　1—3（'58—8）
コルフ海峡事件と無害航行権に関する今日的考察
名島　芳　経営と経済　38—1（'58—6）
選択条項における reciprocity と受諾宣言の廃棄——C. H. M. Waldock 教授の説について
皆川　洸　一橋論叢　41—3（'59—3）
選択条項の過去と現在——大戦後の平和主義と国際法の任務
田岡良一　法学論叢　63—6（'58—2）
日本の選択条項受諾——国際司法裁判所の管轄権受諾宣言
田岡良一　外交時報　5（'58—12）
日本の選択条項受諾宣言
皆川　洸　ジュリスト　167（'58—12）
紛争の義務的解決に関する選択署名議定書と各条約の最終条項
皆川　洸　国際法外交雑誌　58—1/2（'59—5）
法の一般原則の意義および性質
川上敬逸　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）

戦時国際法

戦ノ際ニ於ケル戦場ニ存在スル公私財産ノ地位ト占領地ニ存在スル私財産ノ地位ニ就テノ比較考察
山名寿二　日本法学　25—3/5（'59—10）
いわゆる「事実上の戦争」について
石本泰雄　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
核武装の法的判断
Peters, K.　法律時報　31—9（'59—8）
核兵器と国際法——原水爆禁止第４回世界大会法律家会議の決議および問題点
平野義太郎　法学セミナー　31（'58—10）
河川における捕獲
前原光雄　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
現在の時点における中立の意義
前芝確三　立命館法学　29/30（'59—9）
サンタ・フェ号事件に関する捕獲審検再審査委員会の決定
時の法令　327（'59—9）
サンタ・フェ号捕獲事件の再審査決定書
国際法外交雑誌　58—5（'59—11）
シュヴァルツェンバーガー「核兵器の合法性」【紹介】
山手治之　立命館法学　28（'59—3）
戦争状態終結に関する若干の問題
杉山茂雄　法学志林　56—1（'58—7）
ソ連の日本中立化政策
一又正雄　綜合法学　2—7（'59—7）
第二次大戦及び戦後の国際法学説における軍事目標主義
城戸正彦　国際法外交雑誌　57—5（'58—12）
中立の法律的基礎
石本泰雄　中央公論　74—9（'59—7）
ナゲンドラ・シン著「核兵器と国際法」1958【紹介】
池田文雄　法学志林　56—2（'58—11）
陸上における捕獲
前原光雄　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）
ＩＬＡにおける中立に関する討論について
石本泰雄　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

第二次大戦

奄美群島の復帰（南方諸島の法的地位）
山下康雄　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
いゆわる戦犯に関する三人調査会
時の法令　269（'58—2）
小笠原問題の沿革と特性（南方諸島の法的地位）
川上健三　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
外交保護権（南方諸島の法的地位）
小谷鶴次　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
サイプラス島（南方諸島の法的地位）
中村　洸　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
ザールランド（南方諸島の法的地位）
宮崎繁樹　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
ザールランドの法的地位　<1, 2>
宮崎繁樹　法律論叢　32—2（'58—10）; 33—3（'59—11）
占領軍の法令の効力
山手治之　立命館法学　29/30（'59—9）
中国の租借地（南方諸島の法的地位）
植田捷雄　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
西ベルリンの国際法上および国内法上の地位
Jahn, W.　レファレンス　9—101（'59—6）
日本国際連合加入と南方諸島（南方諸島の法的地位）
皆川　洸　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
日本占領法令の効力
山手治之　立命館法学　31（'59—12）
賠償と日本国民の立場
都留重人　世界　164（'59—8）
平和条約第３項を廃棄せよ
瀬長亀次郎　世界　157（'59—1）
わが国の賠償体系をみる
伊達宗起　時の法令　334（'59—11）

沖　縄　問　題

〔刑事法中「沖縄刑法」をも見よ〕
沖縄軍用地問題（南方諸島の法的地位）
加藤一郎　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
沖縄・自由・人権【インタヴュー】
潮見俊隆，大竹武七郎，ボールドウィン　法律時報　31—11（'59—10）
沖縄住民の地位（南方諸島の法的地位）
桑田三郎　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
沖縄沈船の地位（南方諸島の法的地位）
入江啓四郎　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
沖縄と日本
戒能通孝　法律時報　30—1（'58—1）

沖縄統治をめぐる基本問題
一又正雄　綜合法学　1—2（'58—7）
沖縄統治の機構と機能
新城利彦　琉大法学　1（'58—6）
沖縄統治の機構と機能（南方諸島の法的地位）
新城利彦　国際法外交雑誌　56—4/5（'58—2）
沖縄における講和前補償の問題
桑田三郎　ジュリスト　160（'58—8）
沖縄の法的地位——安保条約改訂と関連して
杉山茂雄　外交時報　5（'58—12）
沖縄——「法の支配」の真空地帯
潮見俊隆，大野正男　世界　161（'59—5）
行政主席の選任方法
琉球大学法政研究会　琉大法学　2（'59—1）
軍事占領下における自活組織（沖縄における法と自由）
島袋　邦　法律時報　31—11（'59—10）
住民に対する損害の賠償（沖縄における法と自由）
砂川恵伸　法律時報　31—11（'59—10）
砂川・新島・百里ケ原そして沖縄
藤島宇内，丸山邦男，村上兵衛　中央公論　74—6（'59—5）
潜在主権
時の法令　311（'59—4）
米国連邦裁判所の観た沖縄の地位
砂川恵伸　琉大法学　1（'58—6）
立法の制定と民政府の関与（沖縄における法と自由）
赤嶺義信　法律時報　31—11（'59—10）
琉球統治基本法　<1>
赤嶺義信　琉大法学　2（'59—7）

国　際　犯　罪

国際平和に対する犯罪
佐瀬昌三　法学新報　66—5（'59—5）

国　際　連　合

ヴァンデンバーグ決議
鵜飼信成　法律時報　31—13（'59—12）
間接侵略と集団的自衛——中東動乱の教訓
宮崎繁樹　時の法令　290（'58—8）
基本的人権と国際法
穂積万亀子　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
基本的人権の国際的保障
宮崎繁樹　綜合法学　1—6（'58—11）
緊急国際連合軍の法的性格
関野正一　レファレンス　8—88（'58—5）
軍縮と国際法
大平善梧　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
憲章第6章に関する若干の考察
神谷竜男　政経論叢（国学院）　7—3（'59—2）
国際公務員の特権
川崎一郎　国際法外交雑誌　57—1（'58—4）
国際的人権保障とアメリカ法
伊藤正己　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
国際連合加盟の容認と権利濫用の観点よりする問題点
名島　芳　経営と経済　37—4（'58—　）
国際連合憲章と干渉
小谷鶴次　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
国際連合における経済社会的協力について
渡辺幸生　法学論叢（福岡）　3—2（'58—7）
国際連合における地域的安全保障の構造
神谷竜男　政経論叢（国学院）　6—2（'57—12）
国際連合の基本的性格
田畑茂二郎　国連評論　36—7（'57—9）
国際連合の集団的措置と全米相互援助条約
北条俊朗　政経論叢（国学院）　8—1（'59—8）
国際連合の集団保障の下における地域的取極の機能——日米安全保障条約の検討の一つの手がかりとして
高野雄一　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
国際連盟と集団的安全保障——そのユートピア性と現実性
高坂正堯　国際政治　（'59—10）
国連憲章第6章の解説　<1>
外務省　国連時報　5（'58—7）
国連憲章による安全保障——その機能的考察
高橋通敏　国際政治　（'59—10）
国連の国際法委員会——構成および活動状況
堂ノ脇光朗　時の法令　327（'59—9）
国連平和軍の創設
吉原正八郎　ジュリスト　180（'59—6）
集団安全保障とその現実
大野正男　世界　168（'59—12）
集団安全保障の原理
田村幸策　国連評論　37—1（'58—1）
集団安全保障の古典的足跡
入江啓四郎　横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
集団安全保障の本質
大平善梧　国際政治　（'59—10）
西南アフリカの国際的地位——国際司法裁判所勧告的意見研究
太寿堂　鼎　法学論叢　64—1（'58—4）
占領下における旧連合国軍の不法行為による損害の補償問題について
藤井謙一　調査時報（調達庁）　26（'59—9）
米州平和機構の展開と国際連合
賀川俊彦　法学研究　32—5（'59—5）
平和的変更再論
一又正雄　早稲田法学　33—3/4（'58—3）
ヨーロッパ統合の法的諸問題
Wiebringhaus, H.　法律論叢　32—1（'58—6）
ロカルノ条約——安全保障問題を中心に
松隈徳仁　国際政治　（'59—10）

国　際　私　法

イギリス国際私法における離婚裁判管轄権の決定
山本敬三　政経論叢（広島）　8—1（'58—6）
英国国際私法における契約の準拠法——Cheshire, International Contracts 1948の紹介
鳥居淳子　法政論集　12（'59—3）
英米法の遺産管理に関する抵触法上の一考察　<2, 3完>
矢ケ崎武勝　国際法外交雑誌　56—6（'58—3）；57—1（'58—4）
外国人享有禁止財産の相続について
高野竹三郎　早稲田法学　34—3/4（'59—3）
外国人追放における権利濫用の考察——主権的任意裁量権に適法性の限界は存在するか
名島　芳　経営と経済　37—3（'58—3）
外国嫡出子の相続権——外国国際私法判例の紹介と研究　<6>
本浪章市　法学論集　9—1（'59—9）
外国離婚判決の承認に関する英国国際私法規則
本浪章市　岩崎教授在職35周年記念論文集　（'58—2）
学界回顧　1958年——国際私法
山田鐐一　法律時報　30—12（'58—12）
学界回顧　1959年——国際私法
溜池良夫　法律時報　31—13（'59—12）
各国比較国際婚姻法および離婚法に関する研究
中村　武　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）
隔地的法律行為の方式の準拠法——並びに法例第8条の位置について
久保岩太郎　青山法学論集　1—1/2（'59—11）
国際契約をめぐる諸問題　<2>
内田徳右衛門，小久保孝美　商事法務研究　87（'58—1）
国際私法規定の在り方——「有体動産の国際的性質を有する売買」に関する国際私法統一条約案をめぐつて
林脇トシ子　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）
国際私法典改正の出発点
川上太郎　国民経済雑誌　100—5（'59—11）
国際私法と両性平等
溜池良夫　民商法雑誌　37—2（'58—5）
国際私法に於ける適応問題序説
三浦正人　島根大学論集社会科学　4（'58—2）
国際私法における外国抵触規定の効力　<1, 2完>
桑田三郎　法学新報　65—8, 9（'58—8, 9）
国際私法における最近の既得権説について
西　賢　国際法外交雑誌　57—5（'58—12）
国際私法におけるスペシァリザシオンの問題
三浦正人　国際法外交雑誌　57—4（'58—9）
国際私法における能力
西　賢　神戸法学雑誌　7—4（'58—3）
国際私法における部分問題の理論
桑田三郎　民商法雑誌　40—3（'59—6）
国際身分法
江川英文　法学セミナー　24（'58—3）
国際離婚裁判管轄権の決定基準——イギリス法における Domicil と Residence について
山本敬三　政経論叢（広島）　8—3（'58—12）
国際離婚訴訟に関する研究
中村　武　民事訴訟雑誌　5（'58—10）
国際離婚の裁判権
越川純吉　法経論集（愛知）　21/22（'58—3）
在日朝鮮人の法的地位——出入国管理令の迷子を救う為めに
鈴木　一　親和　51（'58—1）
里帰り婦人の国籍問題について
横山　実　民事研修　16（'58—8）
渉外事件における裁判管轄権に関する一考察
沢木敬郎　国際法外交雑誌　58—3（'59—7）
渉外離婚と扶養命令——外国国際私法判例の紹介と研究　<3>
本浪章市　法学論集　8—1（'58—9）
条約による外国法人の認許
山田鐐一　国際法外交雑誌　57—2（'58—6）
スイス・ギリシヤ・エジプト・シリヤの国際私法規定と国際民法に関するモンテヴィデオ条約
川上太郎　神戸法学雑誌　8—4（'59—3）
属人法
山田鐐一　綜合法学　2—6（'59—6）
朝鮮人の本国法として適用すべき法律——北鮮法の適用問題を中心にして
溜池良夫　民商法雑誌　40—4（'59—7）
妻と居住地国判決——外国国際私法判例の紹介と研究　<1>
本浪章一　法学論集　7—5（'58—3）
抵触法統一の方法——統一法と国際条約
Nadelmann, K. H.　国際法外交雑誌　57—3（'58—8）
日米国際嫡出親子問題の先例点描
久保岩太郎　小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）
日本渉外民事訴訟法の樹立
越川純吉　法経論集（愛知）　28（'59—10）
未亡人の住所——外国国際私法判例の紹介と研究　<2>
本浪章市　法学論集　7—6（'58—3）
幼児マリアンヌ引渡訴訟
千種達夫　判例時報　156（'58—8）

国　籍　法

沖縄在住者による日本帰化の問題
桑田三郎　ジュリスト　171（'59—2）
沖縄に在住する外国人の日本国への帰化について
鈴木常治　民事月報　13—1（'58—1）
沖縄に在住する外国人の日本国への帰化について
鈴木常治　民事研修　9（'58—1）
樺太帰国者の国籍問題について
横山　実　民事月報　13—3（'58—3）
樺太帰国者の国籍問題について
横山　実　民事研修　12（'58—4）

帰化条件としての原国籍の喪失——国籍法第4条5号にたいする疑問
溜池良夫　法学論叢　65—4（'59—7）
「国籍」よりみた外国人に対する法的関係
松原正晃　中央大学70周年記念論文集　（'55—11）
在日朝鮮人の帰化申請に関連する二，三の問題
横山　実　民事研修　29（'59—9）
千島と戸籍
池川良正　民事月報　13—5（'58—5）
朝鮮の独立とその国際
池川良正　民事研修　13（'58—5）
平和条約発効前朝鮮人男と婚姻した内地人女の国籍について
横山　実　民事月報　13—11（'58—11）

政　治

政　治　学

圧力団体の概念について
上林良一　法学論集　8—4（'58—12）
アメリカにおける政党政治改革論
中島昭三　法学新報　65—12（'58—12）
エリートの循環　<1, 2>
小松春雄　法学新報　65—12（'58—12）；66—4（'59—4）
原始社会の政治について
戸沢鉄彦　法学研究（愛知）　1（'58—10）
現代政治における軍および軍人の役割
福島新吾　専修大学論集　20（'59—5）
権力と国家
中山政夫　日本法学　25—3/5（'59—10）
社会集団の構造と政治機能　<1, 2完>
大原光憲　法学新報　66—9, 10（'59—9, 10）
進歩の理念について——政治哲学的考察
勝田吉太郎　法学論叢　63—6（'58—2）
人民大衆の創造的役割と国家——国家論における弁証法に寄せて
Polak, K.　菊井礼次訳　法経学会雑誌　31（'59—12）
自治の概念
北岡　勲　政経論叢（国学院）　6—2（'57—12）
政策決定をめぐる政治
河中二講　経済評論　7—4（'58—4）
政治概念論争に対する一反省
水飼幸之助　三重法経　7（'58—3）
政治学における理論と実践
福田歓一　国家学会雑誌　73—2（'59—7）
政治学論　<1>
柴田高好　法経論集（静岡）　6（'57—12）
政治権力の論理序説
吉富重夫　法学雑誌　4—3/4（'58—3）
政治的思惟の全体構造
原田　鋼　法学新報　65—1（'58—1）
政治的神話
佐々木斐夫　政治経済論叢　9—2（'59—7）
政治的世界の形成原理としての自愛について　<8〜13完>
今井仙一　同志社法学　9—5, 6（'58—1, 3）；10—1〜3（'58—5, 8, 10）；10—5（'59—2）
政治哲学への道
南原　繁　国家学会雑誌　73—2（'59—7）
政治における理論と実践の統一
今中次麿　法経論集（佐賀）　7—1/2（'59—12）
政治の国民性・市民性・大衆性
岩崎卯一　綜合法学　15（'59—10）
戦後政治・経済・社会史年表
レファレンス　9—100附録（'59—5）
大衆と階級——政治的指導と被指導をめぐつて　<1>
清水慶三　立命館法学　24（'58—3）
大衆と政治　<3>
小松堅太郎　同志社法学　9—5（'58—1）
町田実秀「多数決原理の研究」【紹介】
尾形典男　国家学会雑誌　72—12（'58—12）
松下圭一「市民政治理論の形成」【紹介】
山崎時彦　法学雑誌　6—1（'59—7）

政　治　思　想

アテーナ人ソローン——その思想と政治的実践
石井良博　法学研究　32—10（'59—10）
アラブ・ナショナリズムのイデオロギーについて——エジプト革命のイデオロギー
前田慶穂　金沢法学　5—2（'59—12）
イーストンにおける政治的権威の考察
霜田美樹雄　名城法学　8—1（'58—6）
今中次麿著「政治権力の歴史的構造」【書評】
嶋崎　譲　法政研究　24—4（'58—3）
いわゆる全体主義国家体制とイデオロギー
柳原太郎　法学論叢　64—1（'58—4）
ヴィクトリア朝期の政治思想
北岡　勲　綜合法学　1—5（'58—10）
易経政治哲学
村瀬武比古　法学研究（愛知）　1（'58—10）
核時代における国家と道徳
大熊信行　理想　302（'58—7）
合衆国における現代政治法学の形成——アーサー・F・ベントレイの政治学　<2>
田口富久治　国家学会雑誌　72—8（'58—8）

寡頭支配の鉄則について——ロベルト・ミフールス「政党社会学」一考察
小松春雄　法学新報　65—5（'58—5）
カール・シュミットの主権論とその批判
岩崎卯一　法学論集　7—6（'58—3）
北岡勲著「イギリス政治哲学の生成と展開」【紹介】
樋口謹一　同志社法学　10—3（'58—10）
ギリシヤ政治思想史　<1>
水飼幸之助　三重法経　5（'56—1）
キリスト教と国家
赤岩　栄　理想　302（'58—7）
近代ナショナリズムの理解の試み
桑原武夫　思想　421（'59—7）
ゲルツエンの社会主義論における自由と国家の問題について　<上, 下>
中村義和　政経論叢（広島）　9—1, 2（'59—6, 9）
ゲルツエンの政治思想——その歴史哲学を中心として
勝田吉太郎　法学論叢　65—6（'59—9）
ケルロイターの主権論とその批判
岩崎卯一　法学論集　8—3（'58—11）
現代イギリスの政治における保守意識の役割
石上良平　政治経済論叢　7—3（'58—1）
現代政治とイデオロギー——組織論のための序説
永井陽之助　思想　406（'58—4）
現代政治とキリスト教　<1〜3>
宮田光雄　思想　412（'58—10）；416, 421（'59—2, 7）
現段階における革命　<上, 下>
中西　功　思想　406, 407（'58—4, 5）
皇太子ブームと天皇制　【座談会】
中村　哲，稲葉三千男，芝田進午，梶谷善久　経済評論　8—5（'59—5）
国家悪と人間悪
信太正三　理想　302（'58—7）
国家論についての一考察——特にトライチュケに関して
藤井新一　三重法経　7（'58—3）
コミンテルの統一戦線論
嶋崎　譲　法政研究　25—2/4（'59—3）
佐藤功「君主制の研究」1957【紹介】
中村　哲　国家学会雑誌　71—12（'57—12）
自愛の問題と人間学の諸類型
今井仙一　同志社法学　10—4（'59—2）
シドニー・ウエッブ（政治思想史の人々）
関　嘉彦　法学セミナー　22（'58—1）
社会主義と権力集中制——ソヴェト連邦のばあい
稲子恒夫　山之内先生還暦記念論文集　（'58—9）
社会的正義のユートピア——ウイルフルム・ワイトリングの共産社会　<1>
森田　勉　法政論集　12（'59—3）
ジャック・マリタンの国家観と主権否認論
水波　朗　法政研究　24—4（'58—3）
主権の象徴としての国王
池田　栄　法学論集　8—4（'58—12）
主権は絶対的か
原　英次　綜合法学　2—3（'59—3）
自由と鉄鎖
今井仙一　同志社法学　11—2（'59—9）
自由の意味と文化現象との関係
高木友三郎　日本法学　23—6（'58—2）
ジョルジュ・ソレルにおける神話の理論について　<1>
大石明夫　法政論集　11（'58—3）
ジョン・ロックの自由論研究——自由権および法治国家論の内在的前提
酒井吉栄　法経論集（愛知）　28（'59—10）
ジョン・ロックの所有権理論と市民的租税思想の構造
大淵利男　日本法学　24—2（'58—7）
ジョン・ロック立憲主義の理論
森　順次　彦根論叢　46/47（'58—9）
新民主主義革命論の対立と発展
池上貞一　法経論集（愛知）　28（'59—10）
スピノザの国家論
立石竜彦　法律論叢　31—6（'58—4）
政治権力のダイナミックス
中山政夫　法学紀要　1（'59—5）
政治権力のダイナミックス——C. W. ミルス政治理論の一考察
大原光憲　法学新報　65—11（'58—11）
政治と宗教——信教自由の一考察　<1>
相沢　久　上智法学論集　3—1（'59—4）
全体主義イデオロギーの発生——庶民の没落について
森口美都男　思想　406（'58—4）
全体主義的独裁の一般的特徴について
奈良和重　法学研究　31—2/3（'58—3）
ソヴェト・デモクラシーの構造的論理——序論的考察　<1>
井田輝敏　九大法学　3（'58）
ドイツ史学と国家の問題——F. マイネッケ，G. リッター等をめぐる試論
多田真鋤　法学研究　31—8（'58—8）
独裁の概念
猪木正道　法学論叢　64—1（'58—4）
独裁の政治思想
猪木正道　法学論叢　65—3（'59—6）
トマス・モアー（社会思想史の人々）
縫田清二　法学セミナー　26（'58—5）
ドルヴィク著「アメリカデモクラシー」研究の現状——諸条件の平等化を中心として
小川晃一　国家学会雑誌　72—1（'58—1）
中江兆民の思想における済民と解脱
河原　宏　政治経済論叢　7—3（'58—1）
バクーニンとマルクス
大沢正道　理想　302（'58—7）
ハロルド・ラスウェル（政治思想史の人々）
永井陽之助　法学セミナー　24（'58—3）
ハロルド・ラスキ（政治思想史の人々）
尾形典男　法学セミナー　23（'58—2）

反国家思想の系譜
長谷川　進　理想　302（'58—7）

比較政治思想史上の一問題
佐竹　寛　法学新報　66—1（'59—1）

比較政治制度序説
野村敬造　金沢大学法文学部論集法経篇　6（'59—3）

孵化期におけるベンタムの政治思想——フランス人権宣言の批判を中心として
岩佐幹三　金沢大学法文学部論集法経篇　6（'59—3）

フランス啓蒙思想における「奢侈」の解釈
松平斎光　人文学報　18（'58—3）

ヘーゲル主権論とその批判
岩崎卯一　法学論集　8—1（'58—9）

ヘルマン・ヘラーの「社会的法治国家」
河原　宏　理想　302（'58—7）

ボースンキット研究　<1, 2完>
北岡　勲　法と政治　9—2, 3（'58—6, 9）

ボーダンの同時代人たち——絶対主義形成期のフランス神権論
毛織大順　法文論叢　11（'59—11）

ボリシェヴイズム研究における内容分析と精神分析の方法——N. ライツの研究を中心として　<1, 2完>
奈良和重　法学研究　32—8, 9（'59—8, 9）

マルクス主義国家論研究
柳　春生　山之内先生還暦記念論文集　（'58—9）

ルソー研究序説——彼の政治的人間像をめぐつて
小川晃一　法学会論集　9—1（'58—9）

ローマ共和政期の政治思想
水飼幸之助　三重法経　3（'55—1）

ローマ帝政期の政治思想
水飼幸之助　三重法経　4（'55—3）

Georg Gottfried Gervinus の政治観
多田真鋤　法学研究　32—12（'59—12）

H. スペンサー「人間対国家」
北岡　勲　法と政治　9—4（'58—12）

I. シアブラ「部落社会の政治とその組織」1956【紹介】
中村　哲　法学志林　55—4（'58—3）

J. J. ルソー（社会思想史の人々）
恒藤武二　法学セミナー　27（'58—6）

M. A. バクーニン
勝田吉太郎　法学セミナー　33（'58—12）

政治史・政治事情

日　本

いわゆる日韓併合——強古前における日本帝国主義による朝鮮植民地化の基礎的諸指標
李　在茂　社会科学研究　9—6（'58—3）

大山郁夫の政治思想——大正期におけるその言論および研究活動を中心として
松本三之助　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

漢城政変——北清事変にいたる日本帝国外交の一側面
前島省三　立命館法学　29/30（'59—9）

皇室と国民——皇太子ブームと万世一系の天皇
井上　清　中央公論　74—6（'59—5）

国家・秩序・議会
荒瀬　豊　中央公論　73—13（'58—12）

持続天皇論——日本古代政治史のための断章　<2>
北山茂夫　立命館法学　23（'58—1）

昭和の軍事ファシズム
内田繁隆　早稲田政治経済学雑誌　157（'59—6）

鈴木文治と大正労働運動——友愛会結成前後を中心として　<上, 下>
中村勝範　法学研究　32—1, 6（'59—1, 6）

戦後における琉球政治の変遷　<1>
島袋　邦　琉大法学　2（'59—7）

第42議会への普選案の上程と各党の態度
兼近輝雄　早稲田政治経済学雑誌　156（'59—4）

大正8年における友愛会の闘争主義への転換の経緯　<1>
川口　浩　政治経済論叢　8—4（'59—3）

大政奉還と後藤象二郎の公議政治論
浅井　清　慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

第二次松方内閣と「戦後経営」
増田　毅　神戸法学雑誌　7—4（'58—3）

田中義一内閣の水野文相優諚問題
石上良平　政治経済論叢　9—2（'59—7）

田中内閣の対華外交　<1, 2完>
中村菊男　法学研究　31—4, 9（'58—4, 9）

地租増徴法をめぐる階級対立　<1, 2完>
前島省三　立命館法学　26, 27（'58—9, 12）

直接行動論の抬頭——幸徳秋水の理論をめぐつて
中村勝範　法学研究　31—10（'58—10）

天皇機関の系譜
中村吉三郎　社会科学討究　2—3（'58—11）

内務省の成立
佐藤　竺　政治経済論叢　9—2（'59—7）

二・二六事件
鵜沢義行　日本法学　25—3/5（'59—10）

二十一箇条要求に関する若干の考察　<2完>
堀川武夫　国際法外交雑誌　56—6（'58—3）

20年前——人民戦線事件回顧【座談会】
大内兵衛，有沢広己，脇村義太郎，美濃部亮吉，高橋正雄　世界　148（'58—4）

日本政治史の時期区分——明治統一国家の成立より「八・一五」まで
岡本　宏　法経論集（佐賀）　6—1/2（'59—3）

日本政党史論序論　<1〜6>
升味準之輔　思想　410〜412, 414（'58—8〜10, 12）；415, 418（'59—1, 4）

日本における政治家の行動と心理
鵜沢義行　法学紀要　1（'59—5）

日本の資料から見た日露戦争前の満州シベリヤ問題　<1, 2完>
曾村保信　国際法外交雑誌　57—1, 2（'58—4, 6）

農業協同組合の組織論的考察——わが国圧力団体の特質究明のために
石田　雄　社会科学研究　10—2/3（'58—11）

農商務省設置と前田正名の「興業意見」について
藤村　通　政経学会雑誌　4（'58—6）

「不正者の天国」長官への公開状——行政管理庁長官に与う
高田茂登男　中央公論　73—5（'58—5）

平民社とその財政事情
中村勝範　法学研究　32—12（'59—12）

ベラー「徳川時代の宗教」1959【紹介】
丸山真男　国家学会雑誌　72—4（'58—4）

民権運動昂揚期の政治情勢について——三新法をめぐる一考察　<1, 2>
大江志乃夫　歴史学研究　216, 217（'58—2, 3）

明治維新と公議輿論政治
長谷川　了　日本法学　25—3/5（'59—10）

明治官僚の教育箝制令
尾形裕康　社会科学研究　4—3（'59—7）

明治時代に於ける社会主義政党運動　<1>
伊藤　勲　上智法学論集　3—1（'59—4）

明治14年の政治情勢——静岡県を中心として　<1>
原口　清　法経論集（静岡）　7（'58—12）

明治初期の海外留学制成立過程
尾形裕康　社会科学討究　2—3（'57—11）

立憲改進党員の地方分布——附・立憲改進党員名簿
林　　茂　社会科学研究　9—4/5（'58—2）

若い学究の立場から——現在の政治経済的危機の状況【座談会】
北川隆吉，福島新吾，長谷川一二，藤原弘達　中央公論　73—13（'58—12）

ア　メ　リ　カ

アメリカ農村政治の実態
阿利莫二　法学志林　56—3（'59—1）

アメリカ「門戸開放」政策形成の史的要因　<2, 3完>
菊井礼次　法経学会雑誌　24, 25（'58—3, 6）

現代米国の地域政治と政党政治
小林丈児　法学新報　66—7（'59—7）

1936年アメリカ大統領選挙の政治的性格
徳本正彦　法政研究　25—2/4（'59—3）

イ　ギ　リ　ス

イギリス革命水平派の政治思想——生成期におけるその側面
山崎時彦　法学雑誌　4—3/4（'58—3）

イギリス議会政治と労働党——労働党の政治指導形成を中心として
十亀昭雄　法学会論集　9—3, 4（'59—1, 3）

イギリス国家構造と帝国主義——第2次選挙法改革によせて
河合秀和　歴史学研究　234（'59—10）

イギリス労働党の発展とその選挙区の構造
西川知一　国民経済雑誌　100—5（'59—11）

ヴィクトリア宣言とインド・ナショナリズム
毛利敬彦　法政研究　26—2（'59—12）

ウイリアム三世，アン女王治下におけるイギリスの内閣制
福田三郎　早稲田政治経済学雑誌　156（'59—4）

政治家・文士・暴民——18世紀初頭におけるイギリス政治の特性について
神川彦松　人文学報　18（'58—3）

ジョセフ・チェムバレンの新急進主義　<1〜3完>
池田　清　法学雑誌　5—1（'58—7）；5—4（'59—3）；6—2（'59—11）

庶民院への「大抗議」より人民への「アピール」へ——水平派成長期の政治思想
山崎時彦　法学雑誌　5—1（'58—9）

1918年におけるイギリス労働党の改造　<1>
北西　允　政経論叢（広島）　8—1（'58—6）

第一次世界戦争におけるイギリス外交政策形成の諸問題—「戦争目的」明確化の歴史的背景　<1, 2>
吉川　宏　法学会論集　9—1, 2（'58—9, 11）

デイズレーリの帝国主義とその史的背景——帝国と民衆　<1>
坂井秀夫　国際法外交雑誌　58—5（'59—11）

ハーヴェイ・ホイーラー「保守的な危機——1931年におけるイギリスの難局」1956年【紹介】
神川信彦　国家学会雑誌　72—10（'58—10）

パーネルの妨害戦術——反対党の研究　<続>
板倉卓造　法学研究　32—1（'59—1）

バトニイ論争をめぐるレベラー活動と自然権思想
山崎時彦　法学雑誌　5—3（'59—1）

ソ　ヴ　エ　ト

10月革命時における憲法制定会議とボリシェヴイキの戦術
阪野　亘　阪大法学　29（'58—12）

19世紀ロシアの思想的伝統とプレハーノフのイデオロギー的転回　<上, 下>
中村義和　政経論叢（広島）　7—3（'58—2）；8—1（'58—6）

1917年ハルビン革命——ハルビン・ソヴエト樹立をめぐる国際政治学的考察　<1, 2>
関　寛治　国際法外交雑誌　57—3, 4（'58—8, 9）

第18回党大会とスターリンの平和と戦争の政策
尾上正男　神戸法学雑誌　7—4（'58—3）

中　　国

広東における革命と反動——国民党改組の諸前提
池田　誠　立命館法学　29/30（'59—9）

京漢鉄道罷業と陳独秀
石川忠雄　法学研究　31—12（'58—12）

江西ソヴエト期における抗日反帝統一戦線の諸問題
石川忠雄，徳田教子　法学研究　31—7（'58—7）

清末公羊学派の形成と康有為学の歴史的意義——「持続の帝国」の没落　<2, 3完>
野村浩一　国家学会雑誌　72—1, 3（'58—1, 3）

ド　イ　ツ

イエツインガーのヒトラー伝を中心に——新資料と訂正
村瀬興雄　政治経済論叢　9—2（'59—7）

ザールランド統治の変遷
宮崎繁樹　法律論叢　31—4（'58—1）

ドイツ人民戦線運動の理論的背景
菊井礼次　法経学会雑誌　29（'59—4）

ワイマール共和国における議会主義政治体制——その構造的不安定に関する序論的考察　<1, 2>
山口　定　立命館法学　24, 25（'58—3, 6）

フランス

フイヤン三頭派と革命戦争
野口名隆　法学論叢　65—4（'59—7）

フランス「第五共和国」へ
世界週報　39—42（'58—10）

フランスの空想的社会主義のロシアへの流入とペトラシェフスキーのサークル　<上, 下>
中村義和　政経論叢（広島）　8—2, 3（'58—9, 12）

リュテイ著「フランスの時差」【書評】
小川晃一　法学会論集　9—4（'59—3）

ロベスピエール演説選——1787年９月王の拒否権にたいする反対演説　<1>
樋口謹一　同志社法学　9—6（'58—3）

其の他の諸国

アラブ連盟の成立とその分裂
吉村健蔵　早稲田政治経済学雑誌　158（'59—8）

海洋国家マダカスカル——その他政治学的条件とナショナリズムの特異性
百々巳之助　日本法学　25—3/5（'59—10）

スーダンのナショナリズム
百々巳之助　法学紀要　1（'59—5）

世界政治と中東政治
柳沢英二郎　法政論集　12（'59—3）

ソマリーのナショナリズム——その他政治学的性格と社会的・制度的発展
百々巳之助　日本法学　25—2（'59—6）

東南アジアの民族主義と共産主義
板垣与一　一橋論叢　41—6（'59—6）

政党・選挙

政党

圧力団体序論　<1, 2>
中島昭三　政経論叢（国学院）　6—3（'58—3）; 7—1（'58—7）

圧力団体と現代政治
篠原　一　世界　150（'58—6）

圧力団体の政治集団性
上林良一　法学論集　8—6（'59—3）

圧力団体の研究——その実態調査を中心に
吉富重夫　法学雑誌　6—2（'59—11）

圧力団体のテクニック
松本修二郎　法学紀要　1（'59—5）

イギリスにおける政党と圧力団体の研究の現状について
十亀昭雄　法学会論集　9—1（'58—9）

イギリス保守党の派閥
西川知一　神戸法学雑誌　8—4（'59—3）

イギリス労働党における院外統制の諸問題
渡辺　一　立命館法学　29/30（'59—9）

階級と政党　<1〜4>
小松堅太郎　同志社法学　10—2, 3（'58—8, 10）; 10—5, 6（'59—2, 3）

政治組織の諸型態と政党の分立
円藤真一　経済論叢　31—5（'59—1）

政党・総裁・公選
田畑　忍　綜合法学　2—3（'59—3）

政党——日本の運命を握るもの　【座談会】
石上良平, 久野収, 藤原弘達　法律時報　31—1（'59—1）

政党の候補者選定について
渡辺伊助　自治研究　35—11（'59—11）

政党の構成員——デュヴェルジェ説を介して　<1, 2>
小松堅太郎　同志社法学　9—6（'58—3）; 10—1（'58—5）

選挙，政党および圧力団体
吉村　正　綜合法学　1—1（'58—6）

大正末期に於ける立憲政友会の変貌　<4>
石上良平　政治経済論叢　8—4（'59—3）

中間階級と諸政党
小松堅太郎　同志社法学　10—4（'59—2）

ドイツ諸政党の社会学
小山博也　社会科学研究　9—3（'57—11）

二大政党制の理論と実態
永井陽之助　法律時報　31—1（'59—1）

日本政党史における地方政治の諸問題　<1>
升味準之輔　国家学会雑誌　73—4（'59—12）

わが国におけるプレシュア・グループスの特質
石田　雄　経済評論　8—8（'59—7）

R. T. マッケンジー「政党・圧力団体・イギリス政治過程」【紹介】
上林良一　法学論集　8—1（'58—9）

選挙

現行選挙制度の矛盾をつく
清水馨八郎　中央公論　74—3（'59—3）

33年５月総選挙の概要
自治庁　自治研究　34—8（'58—8）

社会構造の変動と権力移動の形態——三重県鳥羽市小浜町における実態調査　<1>
中村菊男, 堀江　湛　法学研究　31—10（'58—10）

政治意識と投票行為（投票決定の諸要因）——三重県鳥羽市小浜町における実態調査　<2>
中村菊男, 堀江　湛　法学研究　31—11（'58—11）

政党のいわゆる「憲法的融合」について
小林昭三　早稲田政治経済学雑誌　153（'58—10）

選挙制度概論　<1〜5完>
土屋正三　自治研究　35—6〜10（'59—6〜10）

選挙制度略史
宮田　豊　選挙　12—11（'59—11）

選挙のモラル　<1, 2>
土屋正三　自治研究　35—11, 12（'59—11, 12）

総選挙と二大政党
兼子秀夫　自治研究　34—8（'58—8）

総選挙の争点と選挙人の反応——三重県鳥羽市小浜町における実態調査　<3完>
中村菊男, 堀江　湛　法学研究　32—7（'59—7）

投票行動の研究——昭和33年５月総選挙の実態調査
社会科学討究　4—1/2（'59—3）

フランスの選挙社会学について
西川知一　神戸法学雑誌　8—1（'58—7）

焼野ガ原人口と選挙権
清水馨八郎　文芸春秋　37—5（'59—5）

議会

イギリスの議会制度
水木惣太郎　日本法学　25—1（'59—5）

議会制度の起源
水木惣太郎　法学紀要　1（'59—5）

ベンサムの議会制度改革案とその階級的性格
西口　進　法文論叢　11（'59—11）

民主政治と議会
辻　清明　法学セミナー　22（'58—1）

行政

アメリカ行政学の動向
阿利莫二　山之内先生追悼論文集　（'59—10）

アメリカ行政学の特質と限界
手島　孝　法政研究　26—2（'59—12）

英国公務員行政クラスの選抜方法
重田保夫　人事院月報　9—1（'58—1）

行政科学の再評価と課題——戦後ドイツにおけるその問題状況　<1, 2>
和田英夫　法律論叢　31—5（'58—2）; 32—1（'58—6）

行政監察12年の歩み
柳下昌男　時の法令　333（'59—11）

行政における組織管理
三宅太郎　自治研究　34—12（'58—12）

行政の原理とその求め方——行政学の現状とその将来　【座談会】
小林与三次, 岸　昌, 河中二講　自治研究　34—12（'58—12）

行政の目的性格と能率——アメリカ行政思想における新傾向に注目しつつ
浜地　馨　三重法経　6（'57—3）

近代官僚制の本質
小松堅太郎　社会科学討究　4—3（'59—7）

現代行政における管理の役割　<1>
浜地　馨　三重法経　7（'58—3）

公務員の人事管理における勤務評定　<1〜3>
足立忠夫　法と政治　9—3, 4（'58—9, 12）; 10—1（'59—3）

テーラリズムの行政学的評価
三宅太郎　自治研究　35—9（'59—9）

日本官僚制史序説
中村吉三郎　社会科学討究　4—3（'59—7）

日本官僚制の再編成
三宅太郎　社会科学討究　4—3（'59—7）

日本における官僚と独占資本
岡本清一　社会科学討究　4—3（'59—7）

日本の官僚制の政治機能
河中二講　経済評論　8—8（'59—7）

マークス編「行政学の諸問題」<5〜9>【紹介】
足立忠夫, 山川雄己, 君村　昌, 喜多靖郎, 大森芳弘, 加藤一明, 真砂泰輔, 播　里枝, 西山郁男, 北田　久
法と政治　9—1, 3, 4（'58—3, 9, 12）; 10—1, 2（'59—3, 6）

D. ワルド「行政に対するパースペクティヴ」1956年【紹介】
渡辺保男　国家学会雑誌　72—9（'58—9）

地方行政

国の政治と地方の政治
辻　清明　世界　161（'59—5）

現代イギリス地方自治制における区域の問題と諸改訂案　<1, 2>
後藤一郎　早稲田政治経済学雑誌　158, 160（'59—8, 12）

広域行政
杉山逸男　法学紀要　1（'59—5）

坂千秋氏を偲びて——昭和地方制度の歩み　【座談会】
挟間　茂, 古井喜実, 三好重夫, 入江誠一郎, 郡　祐一, 荻田　保, 長谷川　勉, 武岡憲一, 鈴木俊一, 小林与三次　自治研究　35—7（'59—7）

市町村の選挙と農民
福武　直　世界　161（'59—5）

新市町村建設　<1, 2>　【座談会】
小林与三次, 内山鉄男, 山本壮一郎, 阿利莫二, 岸　昌, 河中二講　自治研究　35—10, 11（'59—10, 11）

大都市制度論
原　竜之助　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　（'56—7）

第五次地方制度調査会の活動始まる——首都制度と来年度地方税財政の二問題に直面
降矢敬義　時の法令　293（'58—10）

地域計画と地方行政
岸　昌　自治研究　34—12（'58—12）

地方行政運営論の可能性——地方行政運営論　<2, 3>
藤井貞夫　自治研究　34—2, 3（'58—2, 3）

地方行政運営論の後進性とその進展の好機
藤井貞夫　自治研究　34—6（'58—6）

地方行政と中央統制——文献紹介　<2〜6完>
大村襄治　自治研究　34—2〜6（'58—2〜6）

地方行政の出発点——地方行政の展開過程　<2〜8>

岸　昌　自治研究　34—1, 3〜7, 9 ('58—1, 3〜7, 9)

地方公共団体汚職雑感
小林与三次　自治研究　35—4 ('59—4)

地方公務員退職給与制度改正の問題点　<1〜4完>
今枝信雄　自治研究　35—7〜10 ('59—7〜10)

地方自治行政の本質と構造
鵜飼信成　自治春秋　9—5 ('59—5)

地方自治体の相貌
和田英夫　経済評論　8—8 ('59—7)

地方自治と広域行政
長浜政寿　自治春秋　9—5 ('59—5)

地方自治の停滞と前進
佐藤　竺　世界　161 ('59—5)

地方自治の発展　<1>
小林与三次　自治研究　34—1 ('58—1)

「地方自治の本旨」と地方制度の改革
相内俊雄　金沢大学法文学部論集法経篇　5 ('58—2)

地方自治の類型的特質　<1, 2>
吉富重夫　法学雑誌　5—3, 4 ('59—1, 3)

地方制度調査会の答申——地方税財政に関する当面の措置についての答申
降矢敬義　自治研究　35—1 ('59—1)

「地方」制の区域と組織——地方制度調査会答申の批判　<1>
岡崎長一郎, 高木鉦作　立命館法学　28 ('59—3)

「地方」制の構想
汐見三郎　財政経済弘報　672 ('58—1)

地方選挙と地域社会
島　恭彦　世界　161 ('59—5)

地方選挙における「党か人か」
辻　清明　法律時報　31—6 ('59—5)

町村合併と農村——その形式的側面からの一考察
川口　浩　政治経済論叢　7—4 ('58—3)

デモクラシーと地方自治
吉富重夫　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　('56—7)

定年退職の強要について
津軽芳三郎　自治研究　35—9 ('59—9)

都市行政学の一考察
長浜政寿　渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　('56—7)

農村における町村合併問題の展開過程——神奈川県金目村について　<1, 2>
横山桂次, 小林丈児, 木暮正義　自治研究　35—2, 3 ('59—2, 3)

府県制度改革談義
和田英夫　時の法令　270 ('58—2)

国際政治・外交史

アジア・アラブの積極的中立主義
谷川栄彦　法政研究　24—4 ('58—3)

アルジェリア問題
西野照太郎　国際政治　1958秋季 ('59—1)

新しい質の平和運動——原水爆禁止運動をめぐつて
遠山茂樹　世界　164 ('59—8)

イスブランツェンの抗争
入江啓四郎　政治経済論叢　9—2 ('59—7)

ウイーン会議とヨーロッパ　<1, 2完>
高坂正堯　法学論叢　65—1, 2 ('59—4, 5)

ヴェトナム戦争
土生長穂　国際政治　1958秋季 ('59—1)

干渉の概念
高橋　悠　同志社法学　10—5 ('59—2)

ゲンティリスにおける戦争の質料因
伊藤不二男　法政研究　25—2/4 ('59—3)

講和条約後の日本の外交
大森喜八郎　レファレンス　9—100 ('59—5)

国際慣例から見た中国問題
入江啓四郎　中央公論　73—8 ('58—8)

国際政治学における中心概念に就いての一考察
伊手健一　政経論叢（国学院）　7—2 ('58—11)

国際政治における国家と国民
芳川俊憲　法経学会雑誌　27 ('58—12)

国際政治における国家の資源
芳川俊憲　法経学会雑誌　25 ('58—6)

国際政治における国家の政治的経済的組織　<1>
芳川俊憲　法経学会雑誌　30 ('59—9)

国際政治における国家の地理
芳川俊憲　法経学会雑誌　24 ('58—3)

国際政治における大衆の登場
具島兼三郎　法政研究　25—2/4 ('59—3)

国際政治における中立主義
内山正熊　中央公論　74—3 ('59—3)

国際政治における反革命思想——その類型としてのエドマンド・バーク
坂本義和　国家学会雑誌　72—6 ('58—6)

国際政治の発展における能動的諸要因
前芝確三　立命館法学　26 ('58—9)

人工衛星の国際政治——戦争と平和の問題を中心として
小幡　操　思想　405 ('58—3)

スエズ事件
柳沢英二郎, 前田慶穂　国際政治　1958秋季 ('59—1)

ストーン「侵略と世界秩序」
土屋茂樹　法学論叢　65—2 ('59—5)

セント・ローレンス・シーウェイの軍事的意義
高梨正夫　国際法外交雑誌　58—5 ('59—11)

政治意識の構造的分析の一つの試論——政治思想史研究方法によせて
竹原良文　法政研究　25—2/4 ('59—3)

1933年独ソ関係の一考察
平井友義　法学志林　56—3 ('59—1)

1939年春からの英ソ交渉　<1, 2>
尾上正男　神戸法学雑誌　8—1, 2 ('58—7, 10)

1939年春からの独ソ交渉　<1>
尾上正男　神戸法学雑誌　8—3 ('58—12)

対華21箇条問題と列国の態度
石田栄雄　国際法外交雑誌　58—4 ('59—9)

第三次日英同盟更新問題——ワシントン会議開催提議に関連して
大畑篤四郎　早稲田法学　35—1/2 ('59—6)

第二次欧州大戦の勃発とヒットラーの外交
河崎平一郎　法学論集　8—5 ('59—2)

第二次世界大戦後の国際紛争
具島兼三郎　国際政治　1958秋季 ('59—1)

朝鮮戦争前史
神谷不二　法学雑誌　4—3/4 ('58—3)

朝鮮戦争
大浦敏弘　国際政治　1958秋季 ('59—1)

中近東事件
甲斐静馬　国際政治　1958秋季 ('59—1)

中東派兵・国連・日本
入江啓四郎　世界　153 ('58—9)

中東問題と国際連合
神谷静男　政経論叢（国学院）　7—2 ('58—11)

中立日本の防衛構想——安保体制に代るもの
坂本義和　世界　164 ('59—8)

地域的協定としてのロカルノ諸条約
北条俊朗　政経論叢（国学院）　5—4 ('57—3)

ハンガリー事件
村上公敏　国際政治　1958秋季 ('59—1)

ハンガリー事件報告に関する若干の疑問
角田　順　国際政治　1958秋季 ('59—1)

ハンガリーにおけるソ連軍事行動の分析
完倉寿郎　国際政治　1958秋季 ('59—1)

平和的共存の理論と現実
前芝確三　立命館法学　25 ('58—6)

平和的共有論に関する考察
校条善夫　法政論集　11 ('58—3)

米国外交政策の一考察
富樫周太郎　東洋法学　2—1 ('58—5)

松岡外相と日米交渉（英文）
春木　猛　青山経済論集　10—4 ('59—3)

ラッパロ条約前におけるドイツ支配階級内の対ソ接近の動向
松隈徳仁　九大法学　3 ('58)

リトビノフの解任とソヴェト外交政策の転回点
尾上正男　国民経済雑誌　100—5 ('59—11)

旅順をめぐる一世紀
Kublin, H.　植田捷雄　国際法外交雑誌　56—6 ('58—3)

ルーズヴェルトの極東政策批判
内山正熊　法学研究　31—9 ('58—9)

執筆者別索引

執筆者別索引目次

【ア】

日外喜八郎…… 177
安倍治夫…… 177
安部浜男…… 177
安部弘…… 177
安部義信…… 177
足立忠夫…… 177
吾妻光俊…… 177
阿川清道…… 177
阿久沢亀夫…… 177
阿久津実…… 177
阿具根登…… 177
阿多実秋…… 177
阿南成一…… 177
阿比留兼吉…… 177
阿部浩二…… 177
阿部純二…… 178
阿部泰二…… 178
阿部知二…… 178
阿部行蔵…… 178
阿利莫二…… 178
会田範治…… 178
相内俊雄…… 178
相沢久…… 178
相原茂…… 178
相原東孝…… 178
青木英五郎…… 178
青木修…… 178
青木均一…… 178
青木定行…… 178
青木慎三…… 178
青木清相…… 178
青木宗也…… 178
青木得三…… 178
青木義治…… 178
青葉翰於…… 178
青谷和夫…… 178
青柳文雄…… 178
青柳盛雄…… 179
青山五郎…… 179
青山道夫…… 179
碧海純一…… 179
赤井節…… 179
赤岩栄…… 179
赤木須留喜…… 179
赤嶺義信…… 179
赤塔政夫…… 179
明石三郎…… 179
明山和夫…… 179
秋田成就…… 179
秋元君元…… 179
秋山光明…… 179
秋山哲治…… 179
秋山憲夫…… 179
秋吉稔弘…… 179
渥美東洋…… 179
浅井清…… 179
浅井清信…… 179
浅井井敦…… 180
浅沼武…… 180
浅見公子…… 180
朝川伸夫…… 180
朝倉京一…… 180
朝山豊三…… 180
芦田浩志…… 180
芦部信喜…… 180
蘆野弘…… 180
東邦彦…… 180
東孝行…… 180
東季彦…… 180
畔上英治…… 180
天島惣平…… 180
天津博…… 180
天野和夫…… 180
天野利武…… 180
天野武一…… 180
網野誠…… 180
荒正人…… 180
荒井勇…… 180
荒井貢次郎…… 180
荒尾保一…… 180
荒川正三郎…… 180
荒川省三…… 180
荒木政之丞…… 180
荒木誠之…… 181
荒瀬豊…… 181
荒玉義人…… 181
新井章…… 181
新井市彦…… 181
新井昭一…… 181
新井真一…… 181
新井藤作…… 181
新井正男…… 181
新井益太郎…… 181
新井裕…… 181
新井隆一…… 181
有泉亨…… 181
有賀美智子…… 181
有倉遼吉…… 181
有田喜十郎…… 181
有地亨…… 181
有松昇…… 181
粟野長七郎…… 181
安西信之…… 181
庵治川良雄…… 181

【イ】

五十嵐清…… 182
五百籏頭真次郎…… 182
井ケ田良治…… 182
井田恵子…… 182
井田輝敏…… 182
井手成三…… 182
井出一太郎…… 182
井部勇一…… 182
井戸田侃…… 182
井口牧郎…… 182
井上勇…… 182
井上一男…… 182
井上和夫…… 182
井上勝馬…… 182
井上清…… 182
井上健一…… 182
井上茂…… 182
井上尚一…… 182
井上弘…… 182
井上正治…… 182
井上正泰宏…… 182
井上孚暦…… 183
井上哲夫…… 183
井上祐司…… 183
井尾孝宏…… 183
伊沢孝平…… 183
伊沢実…… 183
伊手健一…… 183
伊東乾…… 183
伊東すみ子…… 183
伊東多三郎…… 183
伊藤勲…… 183
伊藤幸吉…… 183
伊藤茂男…… 183
伊藤繁樹…… 183
伊藤二郎…… 183
伊藤恒夫…… 183
伊藤利夫…… 183
伊藤甫…… 183
伊藤不二男…… 183
伊藤正一…… 183
伊藤正己…… 183
伊藤政吉…… 184
伊藤道保…… 184
伊藤満…… 184
伊藤寧…… 184
伊藤義彰…… 184
伊藤律男…… 184
伊従寛…… 184
伊庭武男…… 184
伊能幹一…… 184
伊吹山太郎…… 184
位野木益雄…… 184
猪野謙二…… 184
猪木正道…… 184
猪瀬節雄…… 184
猪俣浩二…… 184
飯坂良明…… 184
飯島要…… 184
飯沼考雄…… 184
飯野勲…… 184
飯野定吉…… 184
飯村義美…… 184
家田光義…… 184
家崎宏…… 184
家永三郎…… 184
生野代一路…… 184
幾池垣定太郎…… 184
池上努…… 184
池上貞一…… 184
池川良正…… 184
池口尚史…… 185
池島宏幸…… 185
池中弘…… 185
池田清…… 185
池田浩一…… 185
池田栄…… 185
池田直視…… 185
池田文雄…… 185
池田誠…… 185
池田政章…… 185
池田正範…… 185
池田実…… 185
石井敬二郎…… 185
石井幸一…… 185
石井成就…… 185
石井照久…… 185
石井利秋…… 185
石井良博…… 185
石井芳光…… 185
石井良助…… 185
石井良三…… 186
石尾芳久…… 186
石外克喜…… 186
石神兼文…… 186
石上良平…… 186
石川昭夫…… 186
石川明…… 186
石川吉右衛門…… 186
石川武…… 186
石川忠雄…… 186
石川利夫…… 186
石川俊雄…… 186
石川成就…… 186
石川英夫…… 186
石川義憲…… 186
石川芳雄…… 186
石黒善一…… 186
石黒久暲…… 186
石崎政一郎…… 186
石島泰…… 187
石田喜久夫…… 187
石田謙一郎…… 187
石田貞夫…… 187
石田雄…… 187

石田富平…… 187
石田寅雄…… 187
石田栄雄…… 187
石津連…… 187
石塚英夫…… 187
石塚昇…… 187
石塚豊…… 187
石塚陸…… 187
石橋昭明…… 187
石橋湛山…… 187
石橋信…… 187
石部雅亮…… 187
石丸俊彦…… 187
石村善治…… 187
石村善助…… 187
石母田正…… 187
石本雅男…… 187
石本泰雄…… 187
石山豊太郎…… 188
石渡慎五郎…… 188
泉政憲…… 188
泉久雄…… 188
磯崎辰五郎…… 188
磯崎良誉…… 188
磯田進…… 188
磯野誠一…… 188
磯野富士子…… 188
磯部洋一郎…… 188
磯村英一…… 188
磯村哲…… 188
磯村義利…… 188
板垣与一…… 188
板倉卓造…… 188
板倉宏…… 188
板倉董一…… 188
板橋菊松…… 188
一円一億…… 188
一ノ瀬長治…… 188
一又正雄…… 188
一柳俊夫…… 188
市川四郎…… 188
市川秀雄…… 188
市原正七…… 189
市丸吉左衛門…… 189
市村光一…… 189
市村潤…… 189
出射義夫…… 189
稲垣清…… 189
稲垣富士男…… 189
稲垣正明…… 189
稲垣陽一…… 189
稲垣良典…… 189
稲子恒夫…… 189
稲子宣子…… 189
稲田正次…… 189
稲葉秀三…… 189
稲葉三千男…… 189
乾昭三…… 189
今井一男…… 189
今井威…… 189
今井敬弥…… 189
今井仙一…… 189
今井善衛…… 189
今井道鑑…… 190
今井直重…… 190
今井宏…… 190
今井文雄…… 190
今枝信雄…… 190
今泉孝太郎…… 190
今泉正隆…… 190
今中武夫…… 190
今中次麿…… 190
今村成和…… 190
今村昇…… 190
今村有…… 190
今村義正…… 190
入江一郎…… 190
入江啓四郎…… 190
入江俊郎…… 190
入江雅昭…… 190
入山実…… 190
岩井万亀…… 190
岩佐幹三…… 190
岩佐節郎…… 190
岩崎卯一…… 190
岩崎二郎…… 190
岩崎博司…… 191
岩崎光次…… 191
岩崎隆造…… 191
岩崎稜…… 191
岩田健次…… 191
岩田荘治…… 191
岩田誠…… 191
岩田正彦…… 191
岩立勲…… 191
岩垂肇…… 191
岩野徹…… 191
岩松繁男…… 191
岩松茂…… 191
岩本昭夫…… 191
岩本慧…… 191
岩本三司…… 191

【ウ】

右田紀久恵…… 191
宇佐美勝…… 191
宇都宮静男…… 191
宇野栄一郎…… 191
鵜飼信成…… 191
鵜沢義行…… 192
鵜沢晋…… 192
上坂酉三…… 192
上田明信…… 192
上田薫…… 192
上田啓次…… 192
上田誠吉…… 192
上田徹一郎…… 192
上田宏…… 192
上谷清…… 192
上野正吉…… 192
上野襄治…… 192
上野宏…… 192
上野裕久…… 192
上野雅和…… 192
上原専禄…… 192
上村明広…… 192
上柳克郎…… 192
上山安敏…… 192
植木邦之…… 192
植木敬夫…… 192
植田一弥…… 192
植田捷雄…… 192
植田重正…… 193
植林弘…… 193
植松宗雄…… 193
植松正…… 193
植村甲午郎…… 193
植村啓次郎…… 193
潮見俊隆…… 193
氏原正治郎…… 193
臼井滋夫…… 193
碓井隆次…… 193
薄根正男…… 193
歌川貞忠…… 193
内池慶四郎…… 193
内田新…… 194
内田修…… 194
内田源兵衛…… 194
内田繁隆…… 194
内田徳右衛門…… 194
内田智雄…… 194
内田信男…… 194
内田久司…… 194
内田武吉…… 194
内田文昭…… 194
内田善雄…… 194
内田力蔵…… 194
内野茂樹…… 194
内堀美通彦…… 194
内山慶之進…… 194
内山尚二…… 194
内山徳治…… 194
内山鉄男…… 194
内山正熊…… 194
内海一…… 194
内海義夫…… 194
内海倫…… 194
打田畯一…… 194
畝村方直吉…… 194
馬瀬文夫…… 194
海原裕昭…… 194
海原文雄…… 195
梅河内良雄…… 195
浦辺衛…… 195
上横手雅敬…… 195
海野普吉…… 195
海野幸隆…… 195
裏得郎…… 195

【エ】

円藤真一…… 195
江上勲…… 195
江川英文…… 195
江口平治…… 195
江崎光好…… 195
江藤价泰…… 195
江夏美千穂…… 195
江幡清…… 195
江村元…… 195
江守五夫…… 195
江里口清雄…… 195
榎本宗次…… 195
遠藤厚之助…… 195
遠藤湘吉…… 195
遠藤辰雄…… 195
遠藤浩…… 195
遠藤誠…… 195

【オ】

小川晃一…… 196
小川浩八郎…… 196
小川清太郎…… 196
小川善吉…… 196
小川太郎…… 196
小川平…… 196
小川政亮…… 196
小川政浩…… 196
小川保男…… 196
小川芳彦…… 196
小木貞一…… 196
小熊孝次…… 196
小倉武一…… 196
小椋利夫…… 196
小栗忠七…… 196
小栗宏…… 196
小沢文雄…… 196
小田嘉一郎…… 196
小田滋…… 196
小田成光…… 196
小田寛…… 196
小田垣光之輔…… 196
小野慶二…… 196
小野清一郎…… 196
小野哲…… 196
小野木常…… 197
小野村資文…… 197
小畑秀男…… 197
小畑雄治郎…… 197
小幡操…… 197
小原敬士…… 197
小山田正春…… 197
尾形慶次郎…… 197
尾形典男…… 197
尾形裕康…… 197
尾上正男…… 197
尾上実…… 197
尾崎昭夫…… 197
尾崎英二…… 197
尾崎良康…… 197
尾高都茂子…… 197
尾中悟…… 197
尾中俊彦…… 197
於保不二雄…… 197
雄川一郎…… 197
越智伝夫…… 197
及川伸…… 197
及川陽…… 198
近江三郎…… 198
大窪亮…… 198
大井民雄…… 198
大井久…… 198
大石明夫…… 198
大石慎三郎…… 198
大石直正…… 198
大石宏…… 198
大植金平…… 198
大内力…… 198
大内兵衛…… 198
大浦敏弘…… 198
大江志乃夫…… 198
大条正義…… 198
大風重夫…… 198
大城勇一…… 198
大久保忠利…… 198
大熊信行…… 198
大倉和夫…… 198
大阪保男…… 198
大阪谷公雄…… 198
大沢章…… 198
大沢功…… 198
大沢正道…… 198
大島英一…… 198
大島太郎…… 198
大島竹治…… 198
大住達雄…… 198
大隅健一郎…… 199
大関隆夫…… 199
大関嘉道…… 199
大竹秀男…… 199
大竹武七郎…… 199
大竹政男…… 199
大谷英一…… 199
大津皓一…… 199
大津英男…… 199
大津正雄…… 199
大塚一男…… 199
大塚嘉一郎…… 199
大塚仁…… 199
大坪稔…… 199
大西邦敏…… 199
大西芳雄…… 199
大野栄三…… 199
大野実雄…… 199
大野省治…… 199
大野真義…… 199
大野平吉…… 199
大野正男…… 200
大野雅子…… 200
大野盛直…… 200
大野雄二郎…… 200
大野木克彦…… 200
大橋薫…… 200
大橋忠太郎…… 200
大橋智之輔…… 200
大橋光雄…… 200
大畑篤四郎…… 200
大浜英子…… 200
大林正平…… 200
大原栄一…… 200
大原慧…… 200
大原光憲…… 200
大原長和…… 200
大平善悟…… 200
大淵利男…… 200
大淵仁右衛門…… 200
大宮武郎…… 200
大村襄治…… 200
大森喜八郎…… 200
大森昌一…… 200
大森忠夫…… 200
大矢陸夫…… 200
大宅壮一…… 201
大藪寿一…… 201
大山孝夫…… 201
大山正武…… 201
大山吉雄…… 201
大輪盛登…… 201
太田武男…… 201
太田知行…… 201
太田博…… 201
鴻常夫…… 201
岡弁良…… 201
岡垣学…… 201
岡崎長一郎…… 201
岡島吉昭…… 201
岡田健一…… 201
岡田俊平…… 201
岡田釉…… 201
岡田富美也…… 201
岡野哲二…… 201
岡林辰男…… 201
岡原昌男…… 201
岡部史郎…… 201
岡村玄治…… 201
岡村正人…… 201
岡村益…… 201
岡本和夫…… 201
岡本清一…… 201
岡本善八…… 201
岡本宏…… 202
岡本元夫…… 202
岡本鐳輔…… 202
沖田幸佑…… 202
沖田俊夫…… 202
沖田守…… 202
沖原豊…… 202
荻山虎雄…… 202
奥田昌道…… 202
奥野健一…… 202
奥野誠亮…… 202
奥野彦六…… 202
奥平康弘…… 202
落合淳隆…… 202
乙竹虔三…… 202
織田季明…… 202

【カ】

加藤一郎…… 202
加藤一明…… 202
加藤一永…… 202
加藤一雄…… 202
加藤勝郎…… 202
加藤嘉苗…… 203
加藤行吉…… 203
加藤清…… 203
加藤慶治…… 203
加藤子明…… 203
加藤周一…… 203
加藤俊平…… 203
加藤新平…… 203
加藤東治郎…… 203
加藤正男…… 203
加藤万吉…… 203
加藤泰守…… 203
加藤泰平…… 203
加藤良雄…… 203
加藤由作…… 203
加藤舎章…… 203
甲斐静馬…… 203
甲斐道太郎…… 203
香内三郎…… 203
香川達夫…… 203
香川保一…… 203
賀川俊彦…… 204
賀集益蔵…… 204
賀屋興宣…… 204
賀陽治憲…… 204
鹿子木昭介…… 204
鹿児島重治…… 204
鍛治千鶴子…… 204
鍛治利一…… 204
鍛治良堅…… 204
海妻玄彦…… 204
戒能通孝…… 204
柿沼幸一郎…… 204
鍵山三郎…… 204
覚道豊治…… 204
笠松義資…… 204
風早八十二…… 204
風間鶴寿…… 205
樫田忠美…… 205
樫原信一…… 205
鰍沢健三…… 205
柏木駿…… 205
柏木千秋…… 205
春日庄次郎…… 205
糟谷忠男…… 205
梶哲雄…… 205
梶山純…… 205
片岡昇…… 205
片山金章…… 205
勝田守一…… 205
勝田吉太郎…… 205
勝間田清一…… 205
勝本正晃…… 205
勝谷保…… 205
金井滋直…… 205
金沢文雄…… 205
金沢理…… 205
金沢良雄…… 205
金丸三郎…… 206
金森徳次郎…… 206
金子佐一郎…… 206
金子順三…… 206
金子太郎…… 206
金子宏…… 206
金子正信…… 206
金子実…… 206
金子芳雄…… 206
金指正三…… 206
金城秀三…… 206
金田近二…… 206
金田智成…… 206
金田原光蔵…… 206
兼子一…… 206
兼子秀夫…… 206
兼子仁…… 206
兼近輝雄…… 206
蒲生俊二…… 206
鎌田浩…… 206
鎌田英次…… 206
鎌田要人…… 206
上林良一…… 206
神川彦松…… 206
神川信彦…… 206
神川代和欣…… 206
神近市子…… 207
神谷昭…… 207
神谷笑子…… 207
神谷義郎…… 207
神谷尚男…… 207
神谷竜男…… 207
神谷力…… 207
神谷不二…… 207
神田多恵子…… 207
神田博司…… 207
神崎清…… 207
亀井勝一郎…… 207
亀井辰夫…… 207
亀岡康夫…… 207
亀川清…… 207

亀田隆之…… 207
鴨良弼…… 207
榧野敏雄…… 207
川内源吾…… 207
川井克倭…… 207
川井英良…… 207
川上悍…… 207
川上泉…… 207
川上勝己…… 207
川上敬逸…… 207
川上健三…… 208
川上太郎…… 208
川北洋太郎…… 208
川口浩…… 208
川口光太郎…… 208
川口実…… 208
川口是…… 208
川口義明…… 208
川口頼好…… 208
川久保悌郎…… 208
川崎一郎…… 208
川崎武夫…… 208
川崎秀司…… 208
川島一郎…… 208
川島茂樹…… 208
川瀬光世…… 208
川添利起…… 208
川島武宜…… 208
川西誠…… 208
川原次吉郎…… 208
川原英之…… 208
川辺為雄…… 209
川村泰啓…… 209
河合秀和…… 209
河井貫司…… 209
河井信太郎…… 209
河崎平一郎…… 209
河崎角泰助…… 209
河瀬敏雄…… 209
河田広…… 209
河中二講…… 209
河原畯一郎…… 209
河原宏…… 209
河本一郎…… 209
河本喜与之…… 209
苅屋田義弘…… 209
完倉部寿郎…… 209
掃部実…… 209

【キ】

木川統一郎…… 209
木崎徹也…… 209
木代修一男…… 209
木田純一…… 210
木谷忠義…… 210
木戸蓊…… 210
木野晴夫…… 210
木林靖二…… 210
木宮高彦…… 210
木村暎…… 210
木村栄一…… 210
木村英世…… 210
木村亀二…… 210
木村禧八郎…… 210
木村健助…… 210
木村五郎…… 210
木村三郎…… 210
木村静子…… 210
木村慎造…… 210
木村増三…… 210
木村弥蔵…… 210
木下明…… 210
木下薫…… 210
木下広居…… 210
吉良秀通…… 210
吉良実…… 210
吉良慎平…… 210
城戸茂夫…… 210
城戸正彦…… 210
紀井一…… 211
喜田新六…… 211
喜多実…… 211
喜多了祐…… 211
喜多川篤典…… 211
亀卦川浩…… 211
儀我壮一郎…… 211
菊井維大…… 211
菊井康郎…… 211
菊井礼次…… 211
菊池勇夫…… 211
菊池省三…… 211
菊地博…… 211
菊本治男…… 211
岸勇…… 211
岸盛一…… 211
岸昌…… 211
岸幸喜…… 211
岸本晋…… 211
吉川大二郎…… 211
吉川経夫…… 211
吉川義弘…… 212
北岡勲…… 212
北岡寿逸…… 212
北川一松…… 212
北川隆吉…… 212
北沢正啓…… 212
北島忠男…… 212
北島正元…… 212
北西允…… 212
北野筍一郎…… 212
北野弘久…… 212
北原金司…… 212
北原道貫…… 212
北村久寿雄…… 212
北村圭文…… 212
北村良達…… 212
北山茂夫…… 212
北山昌寛…… 212
君村昌…… 212
清岡雅雄…… 212
清永敬次…… 212
清野信弘…… 212
清宮竜…… 212
清宮四郎…… 212
経塚作太郎…… 212

【ク】

久我弘…… 212
久貝良順…… 213
久貴忠彦…… 213
久世公堯…… 213
久保岩太郎…… 213
久保欣哉…… 213
久保敬治…… 213
久保孝一郎…… 213
久保正幡…… 213
久保田きぬ子…… 213
久保田一信…… 213
久手堅憲次…… 213
久布白オチミ…… 213
久礼田益喜…… 213
公文彪…… 213
具島兼三郎…… 213
日下晃…… 213
日下部与市…… 213
櫛淵理…… 213
楠富士太郎…… 213
楠正純…… 213
楠本英隆…… 213
忽那隆治…… 213
窪田精…… 213
窪田隼人…… 213
窪田宏…… 214
熊谷開作…… 214
熊谷直之助…… 214
熊谷典文…… 214
熊谷尚之…… 214
熊谷弘…… 214
熊谷林作…… 214
熊倉武…… 214
隈崎渡…… 214
倉島康…… 214
倉田寛吉…… 214
倉地圭二…… 214
倉見慶記…… 214
倉持米一…… 214
栗城寿夫…… 214
栗田正…… 214
栗谷啓三…… 214
栗原敏夫…… 214
栗原東洋…… 214
栗本一夫…… 214
栗山茂…… 214
来米速水…… 214
来栖三郎…… 214
黒川俊雄…… 214
黒木三郎…… 214
黒木学…… 214
黒住忠行…… 215
黒田重雄…… 215
黒田覚…… 215
黒田寿男…… 215
黒田了一…… 215
黒柳喜八郎…… 215
畔柳桑太郎…… 215
桑田三郎…… 215
桑原武夫…… 215
桑原輝路…… 215
郡司喜一…… 215

【ケ】

慶谷淑夫…… 215
見坊力男…… 215

【コ】

小池隆一…… 215
小石寿夫…… 215
小泉昇平…… 215
小出廉二…… 215
小岩井浄…… 216
小久保孝美…… 216
小島和司…… 216
小島成一…… 216
小島孝…… 216
小島土三男…… 216
小嶋正巳…… 216
小菅芳太郎…… 216
小谷鶴次…… 216
小高剛…… 216
小寺広幸…… 216
小中信幸…… 216
小西清治…… 216
小西美典…… 216
小橋一郎…… 216
小塙潤…… 216
小林栄二郎…… 216
小林孝輔…… 216
小林貞雄…… 216
小林茂実…… 216
小林淳宏…… 216
小林昭三…… 216
小林健夫…… 216
小林丈児…… 216
小林俊三…… 217
小林忠雄…… 217
小林珍雄…… 217
小林直樹…… 217
小林直人…… 217
小林昇…… 217
小林規威…… 217
小林春男…… 217
小林朴…… 217
小林三衛…… 217
小林幸雄…… 217
小林与三次…… 217
小堀旭…… 217
小堀憲助…… 217
小町谷操三…… 217
小松堅太郎…… 217
小松茂夫…… 217
小松春雄…… 217
小松芳明…… 217
小宮保…… 217
小室直人…… 217
小山省三…… 218
小山昇…… 218
小山博也…… 218
小山路男…… 218
小和田元彦…… 218
木暮正義…… 218
古賀哲夫…… 218
古関敏正…… 218
古瀬村邦夫…… 218
児玉正勝…… 218
後藤一郎…… 218
後藤英三…… 218
後藤英輔…… 218
後藤清…… 218
後藤昌次郎…… 218
後藤正弘…… 218
後藤実…… 218
後藤康夫…… 218
後藤米夫…… 218
後藤家義男…… 218
合田悖一…… 218
高坂正堯…… 219
高坂直之…… 219
河野力…… 219
河野通博…… 219
幸康一…… 219
幸地成憲…… 219
神山欣治…… 219
郡祐一…… 219
越川純吉…… 219
菰淵鋭夫…… 219
近藤和義…… 219
近藤完爾…… 219
近藤清彦…… 219
近藤享一…… 219
近藤正三…… 219
近藤昭三…… 219
近藤哲生…… 219
近藤晴彦…… 219
近藤英明…… 219
近藤文二…… 219
近藤富士雄…… 219
近藤正義…… 219
近藤綸二…… 219
紺野純一…… 219

【サ】

三段崎俊吾…… 219
左近友三郎…… 219
佐上武弘…… 220
佐久間曜…… 220
佐々木斐夫…… 220
佐々木一珍…… 220
佐々木金三…… 220
佐々木史朗…… 220
佐々木信…… 220
佐々木惣一…… 220
佐々木哲蔵…… 220
佐々木富二…… 220
佐々木宏…… 220
佐々木学…… 220
佐々木守雄…… 220
佐々木良吉…… 220
佐々波与佐次郎…… 220
佐瀬昌三…… 220
佐瀬六郎…… 220
佐竹一郎…… 220
佐竹晴記…… 220
佐竹寛…… 220
佐藤昭夫…… 220
佐藤功…… 220
佐藤庸…… 220
佐藤勇…… 220
佐藤和男…… 221
佐藤佐治右衛門…… 221
佐藤繁…… 221
佐藤順一…… 221
佐藤進…… 221
佐藤節子…… 221
佐藤隆夫…… 221
佐藤立夫…… 221
佐藤達夫…… 221
佐藤達郎…… 221
佐藤長八郎…… 221
佐藤鉄也…… 221
佐藤藤佐…… 221
佐藤利三郎…… 221
佐藤一…… 221
佐藤春亥…… 221
佐藤秀雄…… 221
佐藤豁…… 221
佐藤昌彦…… 221
佐藤三樹太郎…… 222
佐藤良雄…… 222
佐藤義弥…… 222
佐藤良輔…… 222
佐藤令一…… 222
佐藤竺…… 222
佐野泰彦…… 222
佐伯静治…… 222
佐伯千仞…… 222
佐伯信男…… 222
佐伯藤之助…… 222
斎藤一郎…… 222
斎藤巌…… 222
斎藤和男…… 222
斎藤邦吉…… 222
斎藤金作…… 222
斎藤朔郎…… 222
斎藤純一…… 222
斎藤敏…… 222
斎藤秀夫…… 222
斎藤英雄…… 223
斎藤政夫…… 223
斎藤正人…… 223
斎藤芳治…… 223
坂井清志…… 223
坂井時忠…… 223
坂井秀夫…… 223
坂井芳雄…… 223
坂口実雄…… 223
坂口重正…… 223
坂野常和…… 223
坂根哲夫…… 223
坂本一衛…… 223
坂本太郎…… 223
坂本武志…… 223
坂本英雄…… 223
坂本雄三…… 223
坂本義和…… 223
阪野亘…… 223
酒井杏之助…… 223
酒井吉栄…… 223
境一郎…… 223
榊原美文…… 223
相良惟一…… 223
向坂逸郎…… 223
崎直次…… 223
桜井孝一…… 223
桜井四郎…… 223
桜井正三郎…… 224
桜井直造…… 224
桜井秀美…… 224
桜井丸雄…… 224
桜井安右衛門…… 224
桜内義雄…… 224
桜木澄和…… 224
桜木沢東兵衛…… 224
桜田勝義…… 224
桜田誉…… 224
笹井昭夫…… 224
笹内純一…… 224
笹木田弘…… 224
真田秀夫…… 224
真田芳憲…… 224
真方謙二…… 224
鮫島真男…… 224
鮫島竜男…… 224
沢栄三…… 224
沢雄次…… 224
沢井種雄…… 224
沢井木敬裕…… 224
沢口登成郎…… 224
沢登俊利…… 224
沢野佳雄…… 224
三人…… 225
亮…… 225

【シ】

四宮和夫…… 225
司波実…… 225
志賀美夫…… 225
志賀義雄…… 225
志津田氏治…… 225
志場喜徳郎…… 225
滋賀秀三…… 225
椎名其二…… 225
塩崎潤…… 225
塩田庄兵衛…… 225
塩田親文…… 225
塩原高雄…… 225
汐見三郎…… 225
式田倉敬…… 225
重田松蕃…… 225
重森幸雄…… 225
宍戸基男…… 225
下森定…… 225
品川滋子…… 225
品川登…… 225
篠原一…… 225
篠原幹雄…… 225
篠岡塚博…… 225
柴田田昭次…… 226
柴田谷進一…… 226
柴谷敬高好…… 226
渋谷直亮…… 226
渋谷正三…… 226
渋島崎蔵…… 226
島田庄彦…… 226
島田親敬…… 226
島田原高雄…… 226
島田見三郎…… 226
島田倉敬…… 226
島田田祐…… 226
島田田保夫…… 226
島田松蕃…… 226
島森幸雄…… 226
島戸基男…… 226
島森定…… 226
島川滋子…… 226
島川登…… 226
島原幹雄…… 226
島崎博次…… 226
島崎昭三郎…… 226
島崎進一…… 226
島崎高好…… 226
島谷敬直正…… 226
島谷恭彦…… 226
島谷晴次…… 226
島田善武信…… 226
島田田倉正…… 226
島田田谷津…… 226
島田谷津袋…… 226
島村本武英…… 226
嶋崎譲…… 226
嶋崎均…… 226
清水明…… 226
清水水新…… 226
清水水一行…… 226
清水水兼男…… 227
清水水金二郎…… 227
清水水敬次…… 227
清水水慶三…… 227
清水水馨八郎…… 227
清水水成之…… 227
清水虎雄…… 227

清水　望…… 227
清水平吉…… 227
清水　誠…… 227
清水　睦…… 227
下井隆史…… 227
下牧　武…… 227
下村康正…… 227
下光軍二…… 227
下山伊三郎…… 227
下山瑛二…… 227
下山俊次…… 227
下山田行雄…… 227
霜多正次…… 227
霜田美樹雄…… 227
首藤祝生…… 227
寿福　博…… 227
庄司俊夫…… 227
荘子邦雄…… 228
東海林庄助…… 228
正田　彬…… 228
正田満三郎…… 228
上代博紀…… 228
定塚道雄…… 228
白石健三…… 228
白川和雄…… 228
白崎浅吉…… 228
白羽裕三…… 228
城下利雄…… 228
新城利彦…… 228
新堂幸司…… 228
新名丈夫…… 228
新見吉治…… 228

【ス】

周藤吉之…… 228
須貝一二…… 228
須貝脩一…… 228
須永　醇…… 229
諏訪源四郎…… 229
末包留三良…… 229
末川　博…… 229
末常泰男…… 229
末延三次…… 229
末松玄六…… 229
菅野勘六…… 229
菅原勝伴…… 229
菅原菊志…… 229
菅原　裕…… 229
杉江栄一…… 229
杉浦貫一…… 229
杉田憲治…… 229
杉田昌久…… 229
杉谷　昭…… 229
杉之原舜一…… 229
杉林信義…… 229
杉原　方…… 229
杉原泰雄…… 229
杉村章三郎…… 229
杉村敏正…… 229
杉本珍己…… 230
杉本幹夫…… 230
杉本良吉…… 230
杉山逸男…… 230
杉山恵一郎…… 230
杉山茂顕…… 230
杉山茂雄…… 230
杉山俊治…… 230
杉山晴康…… 230
鈴木享子…… 230
鈴木　勇…… 230
鈴木　潔…… 230
鈴木健二…… 230
鈴木才蔵…… 230
鈴木重勝…… 230
鈴木重武…… 230
鈴木昭一郎…… 230
鈴木俊一…… 230
鈴木信次郎…… 230
鈴木大助…… 230
鈴木忠一…… 230
鈴木忠五…… 230
鈴木常治…… 230
鈴木寿一…… 230
鈴木利雄…… 230
鈴木敏和…… 230
鈴木紀男…… 230
鈴木　一…… 230
鈴木ハツヨ…… 230
鈴木秀雄…… 230
鈴木　博…… 230
鈴木文彦…… 231
鈴木正和…… 231
鈴木正裕…… 231
鈴木正四…… 231
鈴木安蔵…… 231
鈴木義男…… 231
鈴木義男…… 231
鈴木禄弥…… 231
鈴村金一…… 231
鱸　正太郎…… 231
砂川恵伸…… 231
砂沢日出男…… 231
砂田卓士…… 231
角　恒三…… 231
角田　豊…… 231
住田正二…… 231
住田俊一…… 231
住田始男…… 231
住吉君彦…… 231

【セ】

世良晃志郎…… 232
瀬戸弥三次…… 232
瀬戸山登一…… 232
瀬長亀次郎…… 232
瀬元美知男…… 232
聖成　稔…… 232
関　晃…… 232
関　寛治…… 232
関　誠一…… 232
関　道雄…… 232
関　嘉彦…… 232
関口　晃…… 232
関口　尚…… 232
関沢正夫…… 232
関根一郎…… 232
関根太郎…… 232
関根得夫…… 232
関野正一…… 232
関原　勇…… 232
関谷嵐子…… 232
芹沢寿良…… 232
芹野陽一…… 232
仙元隆一郎…… 232
仙田富士夫…… 232

【ソ】

十亀昭雄…… 232
十代田勇平…… 232
祖川武夫…… 232
曾我　悟…… 232
曾我部静雄…… 232
曾根　徹…… 232
曾根田郁夫…… 233
曾村保信…… 233
宗宮信次…… 233
園田　格…… 233
園部　敏…… 233
染野義信…… 233
空井健三…… 233

【タ】

田尾桃二…… 233
田岡良一…… 233
田上穣治…… 233
田上輝彦…… 233
田口精一…… 233
田口富久治…… 233
田倉　整…… 233
田坂友男…… 233
田島郁子…… 233
田嶋昭夫…… 233
田尻愛義…… 233
田中　昭…… 233
田中和夫…… 234
田中和巳…… 234
田中勝次郎…… 234
田中吉備彦…… 234
田中京助…… 234
田中耕太郎…… 234
田中二郎…… 234
田中正一…… 234
田中正司…… 234
田中正巳…… 234
田中真次…… 234
田中誠二…… 234
田中精一…… 234
田中整爾…… 234
田中周友…… 234
田中直吉…… 234
田中八郎…… 234
田中英夫…… 234
田中政義…… 234
田中　実…… 234
田中康民…… 235
田中館照橘…… 235
田辺公二…… 235
田辺康平…… 235
田辺繁子…… 235
田辺　昇…… 235
田畑喜与英…… 235
田畑　忍…… 235
田畑茂二郎…… 235
田原　昭…… 235
田原義衛…… 235
田村五郎…… 235
田村浩一…… 235
田村幸策…… 235
田村健三…… 235
田村茂夫…… 236
田村精一…… 236
田村　豊…… 236
田村悦一…… 236
田宮　裕…… 236
多賀谷真稔…… 236
多田真鋤…… 236
太寿堂　鼎…… 236
大道安次郎…… 236
伊達秋雄…… 236
伊達宗起…… 236
平　良…… 236
高尾正男…… 236
高木右門…… 236
高木積夫…… 236
高木国博…… 236
高木鉦作…… 236
高木多喜男…… 236
高木　武…… 236
高木常七…… 236
高木　利…… 236
高木友三郎…… 236
高木寿雄…… 236
高木三好…… 236
高窪貞人…… 236
高窪利一…… 236
高島　進…… 237
高島平蔵…… 237
高島義郎…… 237
高島良一…… 237
高田　章…… 237
高田桂一…… 237
高田源清…… 237
高田賢造…… 237
高田卓爾…… 237
高田　敏…… 237
高田　忠…… 237

高田茂登男…… 237
高田義文…… 237
高辻正巳…… 237
高寺森雄…… 237
高鳥正夫…… 237
高梨正夫…… 237
高梨公之…… 237
高根義三郎…… 237
高野　晟…… 238
高野耕一…… 238
高野竹三郎…… 238
高野弦雄…… 238
高野雄一…… 238
高野真澄…… 238
高橋　明…… 238
高橋一郎…… 238
高橋勝好…… 238
高橋重一…… 238
高橋静男…… 238
高橋碵一…… 238
高橋　進…… 238
高橋　武…… 238
高橋忠雄…… 238
高橋長蔵…… 238
高橋忠次郎…… 239
高橋貞三…… 239
高橋統一…… 239
高橋敏雄…… 239
高橋俊見…… 239
高橋富雄…… 239
高橋寿男…… 239
高橋英雄…… 239
高橋広居…… 239
高橋正臣…… 239
高橋正己…… 239
高橋幹男…… 239
高橋三男…… 239
高橋通敏…… 239
高橋康之…… 239
高橋　悠…… 239
高橋勇治…… 239
高林秀雄…… 239
高松卯喜路…… 239
高見沢万吉…… 239
高宮　晋…… 239
高村　晋…… 239
高安重正…… 239
高柳賢三…… 239
高柳真三…… 239
高柳忠夫…… 239
滝　巌…… 239
滝　勇男…… 239
滝内礼作…… 239
滝川叡一…… 239
滝川春雄…… 239
滝川文雄…… 240
滝川政次郎…… 240
滝川幸辰…… 240
滝沢光三…… 240
竹内昭夫…… 240
竹内一雄…… 240
竹内　正…… 240
竹内敏夫…… 240
竹内治美…… 240
竹下重人…… 240
竹田直平…… 240
竹中龍雄…… 240
竹中正明…… 240
竹林庄太郎…… 240
竹原良文…… 240
竹村　寿…… 240
竹俣高敏…… 240
竹山増次郎…… 240
竹屋芳昭…… 240
武井正臣…… 240
武市春男…… 240
武田竜夫…… 240
武田昌輔…… 240
武村信義…… 241
武安将光…… 241
立石竜彦…… 241
立石芳枝…… 241
立川宗正…… 241
竜岡資久…… 241
竜田　節…… 241
蓼沼謙一…… 241
谷　育三…… 241
谷　藤助…… 241
谷川　雁…… 241
谷川　輝…… 241
谷川　久…… 241
谷川栄彦…… 241
谷口正孝…… 241
谷口知平…… 241
谷藤辰雄…… 242
谷村昭一…… 242
谷村　裕…… 242
種谷春洋…… 242
玉置　保…… 242
玉置正美…… 242
玉城　肇…… 242
玉田弘毅…… 242
玉生道経…… 242
環　昌一…… 242
溜池良夫…… 242
橘　武夫…… 242
俵　静夫…… 242
団藤重光…… 242
丹宗昭信…… 242

【チ】

千種達夫…… 242
千野国丸…… 243
千葉和郎…… 243
千葉正士…… 243
忠　佐市…… 243
長　穣…… 24

【ツ】

津軽芳三郎…… 243
津島一雄…… 243
津田騰三…… 243
津田正良…… 243
津田　実…… 243
津曲蔵之丞…… 243
都留重人…… 243
塚谷晃弘…… 243
塚本重頼…… 243
月本道彦…… 244
辻　清明…… 244
辻　辰三郎…… 244
辻　英雄…… 244
辻　吉彦…… 244
辻　和三郎…… 244
辻村輝雄…… 244
土田英雄…… 244
土屋喜平…… 244
土屋茂樹…… 244
土屋正三…… 244
土屋真千枝…… 245
土屋佳照…… 245
筒井信定…… 245
堤口康博…… 245
恒田文次…… 245
恒藤　恭…… 245
恒藤武二…… 245
常葉陸郎…… 245
角田　順…… 245
椿　寿夫…… 245
坪井孝幸…… 245
鶴見恒夫…… 245

【テ】

手島　孝…… 245
手塚　豊…… 245
寺尾正二…… 246
寺沢俊雄…… 246
寺沢　一…… 246
寺島市蔵…… 246
寺田熊蔵…… 246
寺田四郎…… 246
寺田洋三郎…… 246

【ト】

戸沢鉄彦…… 246
戸田修三…… 246
戸田章二…… 246
戸塚　登…… 246
戸塚秀夫…… 246
外岡茂十郎…… 246
土井多賀子…… 246
土井正徳…… 246
土井美弘…… 246
土岐　強…… 246
土橋友四郎…… 246
等々力茂富…… 246
東城守一…… 246
東中光雄…… 246
堂ノ脇光朗…… 247
遠田新一…… 247
遠間茂哉…… 247
遠峰四郎…… 247
遠山茂樹…… 247
藤堂　裕…… 247
藤間生大…… 247
時武英男…… 247
時国康夫…… 247
時子山常三郎…… 247
徳　武義…… 247
徳田教子…… 247
徳武敏夫…… 247
徳原正一…… 247
徳本　鎮…… 247
徳本正彦…… 247
常井　善…… 247
利谷信義…… 247
飛沢謙一…… 247
富岡　裕…… 247
富田竜彦…… 247
富桝周太郎…… 247
富谷彰介…… 247
富山康吉…… 247
知久重一…… 247
豊崎光衛…… 247
豊島　格…… 247
豊田悦夫…… 247
豊田悌助…… 247
豊水道祐…… 247
虎尾俊哉…… 248
鳥居淳子…… 248

【ナ】

名倉誠一…… 248
名島　芳…… 248
名和由起子…… 248
奈良和重…… 248
内藤　功…… 248
内藤乾吉…… 248
内藤義人…… 248
内藤　清…… 248
内藤　謙…… 248
内藤誓樹…… 248
内藤則邦…… 248
内藤文質…… 248
内藤頼博…… 248
直木孝次郎…… 248
中　義勝…… 248
中井省三…… 248
中井善夫…… 248
中内通明…… 248
中馬義直…… 248
中尾英俊…… 249
中尾庄一…… 249
中尾文策…… 249
中神太郎…… 249

中川一郎……249
中川衛……249
中川庫雄……249
中川淳……249
中川善之助……249
中川高男……250
中川良延……250
中沢晃……250
中沢徳……250
中沢寛美……250
中島一郎……250
中島勝郎……250
中島健一……250
中島健作……250
中島健蔵……250
中島信一……250
中島二郎……250
中島昭三……250
中島宗一……250
中島正……250
中島治康……250
中島陽子……250
中島九郎……250
中条政好……250
中曾根康弘……250
中田淳一……250
中田直人……250
中武靖夫……250
中館久平……250
中谷瑾子……251
中谷敬寿……251
中西功……251
中西弘文……251
中西正明……251
中野和二……251
中野五郎……251
中野大……251
中野次雄……251
中野貞一郎……251
中野善敦……251
中野好夫……251
中埜喜雄……251
中浜虎一……251
中平健吉……251
中村一彦……251
中村和夫……251
中村勝範……251
中村菊男……251
中村吉三郎……251
中村賢二郎……251
中村幸逸……252
中村幸太郎……252
中村洸……252
中村晄兆……252
中村治朗……252
中村修三……252
中村俊介……252
中村進……252
中村静治……252
中村孝士……252
中村武……252
中村正……252
中村恒矩……252
中村英郎……252
中村秀吉……252
中村平男……252
中村哲……252
中村真澄……252
中村満……252
中村宗雄……252
中村弥三次……253
中村泰男……253
中村与助……253
中村義和……253
中山伊知郎……253
中山和久……253
中山君雄……253
中山研一……253
中山幸一……253
中山健男……253
中山政夫……253
仲井間宗成……253
仲尾庄一……253
永井幹久……253
永井陽之助……253
永倉勲……253
永田一郎……253
永田菊四郎……253
永田忠哉……253
永野順造……253
永原慶二……253
永山武夫……253
長尾賢三……253
長尾治助……254
長尾久衛……254
長崎正造……254
長島敦……254
長島安治……254
長州雅芳……254
長田房子……254
長利正己……254
長西英三……254
長野潔……254
長野国助……254
長浜政寿……254
長村輝彦……254
夏目文雄……254
鍋田一……254
浪川正巳……254
並木俊守……254
成毛鉄二……254
成田頼明……254
成富信夫……254
南原繁……255
南波杢三郎……255

【ニ】

仁井田陞……255
丹羽友三郎……255
新関勝芳……255
新田英治……255
新田隆信……255
西賢……255
西迪雄……255
西井竜生……255
西尾昭……255
西岡久鞆……255
西岡正之……255
西川清次……255
西川省吾……255
西川達雄……255
西川知一……255
西川美数……255
西口進……255
西沢修……255
西沢富夫……255
西島梅治……256
西島弥太郎……256
西嶋定生……256
西嶋重忠……256
西田公一……256
西塚静子……256
西野照太郎……256
西原寛一……256
西原春夫……256
西原道雄……256
西平守盛……256
西村克彦……256
西村熊雄……256
西村宏一……256
西村信雄……256
西本頴……256
西本辰之助……256
西森稔……256
西山俊彦……256
西山富夫……257
庭山慶一郎……257

【ヌ】

縫田清二……257
抜山勇……257
布村一夫……257
布村勇二……257
布目潮渢……257
沼正也……257
沼尻芳孝……257
沼田市郎……257
沼田稲次郎……257

【ネ】

根岸富二郎……257
根本真儀……257

【ノ】

野上弥生子……257
野木新一……257
野口名隆……257
野口雄一郎……257
野田愛子……257
野田誠二郎……257
野田孝明……258
野田輝雄……258
野田正穂……258
野田良之……258
野津務……258
野原達二……258
野々村一雄……258
野間海造……258
野間清……258
野間繁……258
野見山温……258
野村克通……258
野村敬造……258
野村浩一……258
野村佐太男……258
野村平爾……258
野村正男……258
野本実……258
能仲英雄……259
能見修……259
信太正三……259
則武昌和……259

【ハ】

土生長穂……259
土生邦保……259
羽倉一雄……259
羽仁五郎……259
羽山忠弘……259
波多野弘……259
波多野二三彦……259
長谷川昭彦……259
長谷川憲治……259
長谷川了……259
長谷川進……259
長谷川昇……259
長谷川秀治……259
長谷川古……259
長谷川正安……259
長谷川元吉……259
長谷川喜博……259
長谷川瀏……259
長谷部茂吉……259
馬場東作……260
葉梨和典……260
唄孝一……260
萩大輔……260
萩沢清彦……260
萩原金美……260
萩原延寿……260
橋川渡……260
橋口収……260
橋本公亘……260
橋本辰夫……260
蓮井良憲……260
蓮田茂……260

畑博行……260
畑穣……260
畑郁夫……260
畑下一男……260
畑中和夫……260
秦一朗……260
秦亘……260
秦野章……260
服部栄三……260
服部定雄……261
服部典徳……261
服部高顕……261
服藤弘司……261
萼優美……261
花園一郎……261
花田政道……261
花見忠……261
塙浩……261
浜上則雄……261
浜田一男……261
浜田稔……261
浜中英二……261
浜谷源蔵……261
浜地馨……261
早川武夫……261
早川登……261
早瀬武……261
林修……261
林修三……261
林董一……262
林茂……262
林信一……262
林信三……262
林忠雄……262
林恒吉……262
林信雄……262
林寿二……262
林百郎……262
林道雄……262
林迪広……262
林実……262
林深山……262
林良平……262
林陸朗……262
林義雄……262
林田和博……262
林脇トシ子……262
速水正……262
原英次……262
原徹郎……262
原登志雄……262
原敏治……263
原増司……263
原竜之助……263
原口清……263
原島重義……263
原田香留夫……263
原田鋼……263
原田清司……263
原田敏丸……263
原田好郎……263
原山亮三……263
針生誠吉……263
春木猛……263
春原源太郎……263
半田剛……263
坂野英雄……263
阪埜光男……263
播磨重男……263

【ヒ】

日沖憲郎……263
日高六郎……263
日向浅松……263
日野原昌……263
日比行一……263
肥後和夫……263
枇杷田泰助……263
樋口謹一……263
樋口午郎……263
樋口幸吉……263
檜山武夫……264
菱田政宏……264
人見康子……264
姫岡勤……264
兵頭新太郎……264
平井友義……264
平出孝……264
平出禾……264
平野照夫……264
平賀健太……264
平沢清人……264
平田勝雅……264
平田富太郎……264
平田良……264
平竹伝三……264
平野義太郎……264
平野絢子……264
平野正作……264
平野竜一……264
平畑博敏……264
平林新八……265
平場安治……265
平松守彦……265
平松義郎……265
平峯隆……265
平山行三……265
昼間種……265
鰭崎轍……265
広岡隆……265
広瀬武文……265
広瀬善男……265
広津和郎……265
広中俊雄……265
広橋次郎……266
広政順一……266

【フ】

不破哲二……266
不破勝敏夫……266
布施弥平治……266
深草克巳……266
深沢京子……266
深津栄一……266
深見芳文……266
深谷松男……266
深山喜一郎……266
深山正光……266
福井喬……266
福井徹……266
福岡博之……266
福島四郎……266
福島新吾……266
福島徳寿郎……266
福島直喜……266
福島正夫……267
福島三好……267
福田歓一……267
福田光一……267
福田三郎……267
福田恒存……267
福田貞三……267
福田平……267
福田幸弘……267
福武直……267
福地俊雄……267
福原忠男……267
藤井昭治……267
藤井謙一……267
藤井幸……267
藤井貞夫……267
藤井新一……267
藤井俊雄……267
藤馬竜太郎……267
藤江忠二郎……267
藤尾彰……268
藤尾正人……268
藤掛一雄……268
藤木英雄……268
藤崎晙……268
藤崎文造……268
藤島宇内……268
藤田勇……268
藤田一郎……268
藤田国之助……268
藤田嗣雄……268
藤田武夫……268
藤田晴子……268
藤田正治……268
藤田若雄……268
藤田和海……268
藤野英一……268
藤野豊……268
藤村通……268
藤本幸太郎……268
藤本捨吉……268
藤本武……268
藤本英雄……268
藤森昭一……268
藤山愛一郎……268
双川喜文……269
舟橋諄一……269
船田享二……269
降矢敬義……269
古堅宗徳……269
古川家基……269
古田竜夫……269
古田哲一……269
古館清吾……269
古畑種基……269
古林稔……269
古林祐二……269
古林善祐……269
古屋哲夫……269

【ヘ】

別所成紀……269
別府節弥……269
別府正夫……269

【ホ】

北条俊朗……269
法貴次郎……269
保坂民雄……269
保住昭一……269
穂積忠夫……269
穂積万亀子……269
外尾健一……269
外間寛……270
星光……270
星川長七……270
星野瑛……270
星野英一……270
星野孝……270
星野辰雄……270
星野通……270
星野安三郎……270
細川亀市……270
細川隆元……270
細郷道一……270
細谷明……270
細野武男……270
細見卓……270
堀要……270
堀忠孝……270
堀敏夫……270
堀豊彦……270
堀秀夫……270
堀合道三……270
堀内仁……270
堀内節……270
堀江湛……271
堀川武夫……271
堀川正彦……271
堀部靖雄……271
本城武雄……271
本城亨……271

本田清一……271
本田忠尚……271
本田正義……271
本田尊正……271
本多淳亮……271
本多俊夫……271
本浪章市……271
本間輝雄……271

【マ】

真島毅夫……271
真下孝雄……271
真野英一……271
真野毅……271
馬渡俊光……271
間中彦次……271
間宮重一郎……271
間宮武……272
米谷隆三……272
前岡幹夫……272
前沢光一郎……272
前芝確三……272
前島省三……272
前田慶穂……272
前田栄……272
前田信二郎……272
前田俊郎……272
前田正治……272
前田宏……272
前田雄二……272
前田陽之助……272
前原光雄……272
牧英正……272
牧野英一……272
槇悌次……272
正木亮……272
正木ひろし……273
正村芳三……273
升味準之輔……273
升本喜兵衛……273
桝谷広……273
増田毅……273
増田福太郎……273
増淵竜夫……273
増本一彦……273
町田欣一……273
町田直……273
町田充……273
町中凡人……273
松井正道……273
松井直行……273
松浦昭……273
松浦功……273
松浦孝作……273
松浦栄……273
松尾敬一……273
松尾浩也……273
松岡熊三郎……273
松岡三郎……273
松岡登……274
松岡久人……274
松木太郎……274
松隈徳仁……274
松隈秀盛……274
松坂佐一……274
松崎憲司……274
松下輝雄……274
松下岩雄……274
松田二郎……274
松田道雄……274
松永勇……274
松波港三郎……274
松橋忠光……274
松原正晃……274
松平斎光……274
松宮衛……274
松宮隆……274
松村勝治郎……274
松元亘……274
松本一郎……274
松本顕一……274
松本三之助……274
松本十郎……274
松本修二郎……275
松本武子……275
松本暉男……275
松本正雄……275
松本善明……275
松本米治……275
丸目透……275
丸山邦男……275
丸山真男……275
円山雅也……275

【ミ】

三井明……275
三潴信吾……275
三浦恵司……275
三浦英夫……275
三浦正次……275
三浦正人……275
三上正良……275
三ヶ月章……275
三崎正男……275
三島宗彦……275
三田庸子……275
三谷弘……275
三谷博二……275
三津田松吉……275
三東三司……275
三戸岡道夫……275
三原次郎……276
三藤邦彦……276
三藤正……276
三淵乾太郎……276
三堀博……276
三宅多大……276
三宅太郎……276
三宅正雄……276
三代川潤四郎……276
三好達……276
三好重夫……276
三好新次……276
三好寛……276
三和一博……276
味村治……276
御手洗辰雄……277
水戸部正男……277
水飼幸之助……277
水木惣太郎……277
水島恵一……277
水島広雄……277
水島密之亮……277
水田耕一……277
水田義雄……277
水谷啓二……277
水波朗……277
水野淳二……277
水野東太郎……277
水野豊志……277
水本浩……277
道田信一郎……277
道正友……277
光藤景皎……277
皆川洸……277
皆川迪夫……278
南博方……278
南出弘……278
南谷文一……278
峯村光郎……278
宮内裕……278
宮内潤一……278
宮川茂夫……278
宮川澄……278
宮川本直……278
宮城栄昌……278
宮城俊治……278
宮城宏……278
宮崎市定……278
宮崎清文……278
宮崎孝次郎……278
宮崎繁樹……279
宮崎澄夫……279
宮崎犀一……279
宮崎俊行……279
宮崎昇……279
宮崎日出男……279
宮沢浩一……279
宮沢俊義……279
宮下孝吉……279
宮島堯……279
宮島尚史……279
宮田光雄……279
宮田豊……279
宮地貞顕……279
宮地茂……279
宮原三男……279
宮本栄三……280
宮本喜光……280
宮本利寿……280
宮脇辰雄……280
宮脇幸彦……280

【ム】

務台理作……280
武藤昭……280
武藤運十郎……280
武藤和夫……280
武藤智雄……280
向井健……280
向江璋悦……280
向山巌……280
宗像誠也……280
村教三……280
村井衡平……280
村井藤十郎……280
村井康彦……280
村岡二郎……281
村上公敏……281
村上惺……281
村上唯雄……281
村上兵衛……281
村上正男……281
村上三男……281
村上義弘……281
村上竜太郎……281
村崎精一……281
村崎満……281
村重慶一……281
村瀬興雄……281
村瀬鎮雄……281
村瀬武比古……281
村田啓一……281
村田治美……281
村田宏雄……281
村田太……281
村西淳一……281
村橋時郎……281
村松俊夫……281
村本晃……281
室井力……282

【メ】

校条善夫……

【モ】

毛利与一……282
毛利敏彦……282
毛織大順……282
茂木信平……282
茂手木茂夫……282
持田栄一……282
望月礼二郎……282
籾井常喜……282
籾井博子……282
桃井直造……282
百々巳之助……282

守屋善輝……282
森一衛……282
森一七……282
森和男……282
森清……282
森源一……282
森健臣……282
森三十郎……282
森七郎……282
森静雄……282
森順一……283
森順次……283
森鷹三……283
森達……283
森信輝……283
森美智雄……283
森泉章……283
森岡敞……283
森川金寿……283
森口美都男……283
森下忠……283
森下長平……283
森田宗一……283
森田孝……283
森田勉……283
森田松仁……283
森田芳夫……283
森田義之……283
森長英三郎……283
盛秀雄……283
諸口昭一……283
諸橋襄……283
門田信男……284
門馬驍……284

【ヤ】

八重津洋平……284
八木一男……284
八木国之……284
八木佐市……284
八木鉄男……284
八木弘……284
八木胖……284
矢ヶ崎武勝……284
矢沢惇……284
矢代嘉春……284
矢田一男……284
矢田貴美雄……284
矢頭敏也……284
矢部克己……284
矢部貞治……284
矢野勝久……284
矢野範二……284
谷加部勝美……284
薬師寺志光……284
安井誠……284
安井光雄……284
安沢喜一郎……284
安嶋弥……285
安田幹太……285
安田謙二……285
安田実……285
安武政敏……285
安平政吉……285
安福信雄……285
安屋和人……285
柳春生……285
柳川真佐夫……285
柳沢英二郎……285
柳沢義男……285
柳下昌男……285
柳原太郎……285
柳原嘉藤……285
柳原嘉一……285
柳瀬宏……285
柳瀬良幹……285
藪重夫……285
山内一夫……285
山之内一夫……285
山岡万之助……285
山岸長嘯……285
山岸幸雄……285
山木戸克己……285
山口幾次郎……285
山口久一……286
山口啓二……286
山口幸五郎……286
山口定……286
山口真弘……286
山口哲夫……286
山口享……286
山口透……286
山口博恭……286
山口林之助……286
山趣道三……286
山崎一郎……286
山崎厳夫……286
山崎薫……286
山崎賢一……286
山崎晴一……286
山崎武治……286
山崎時彦……286
山崎利男……286
山路昭二……286
山下健次……286
山下末人……286
山下太郎……286
山下琢二……286
山下豊久……286
山下博久……286
山下稔……286
山下康雄……286
山田昭……286
山田晟……287
山田要……287
山田欣吾……287
山田庫之助……287
山田弘之助……287
山田準次郎……287
山田辰男……287
山田建利……287
山田鐐一……287
山田幸男……287
山高竜昌……287
山手治之……287
山戸嘉一……287
山名寿二……287
山中篤太郎……287
山中永之佑……287
山中康雄……287
山主政幸……288
山根治……288
山根清道……288
山根正美……288
山野明夫……288
山畠正男……288
山本勝明……288
山本草二……288
山本桂一……288
山本敬三……288
山本茂雄……288
山本実一……288
山本正太郎……288
山本正憲……288
山本浩三……288
山本進一……288
山本達郎……289
山本忠平……289
山本徳栄……289
山本敏夫……289
山本友博……289
山本晴雄……289
山本弘……289
山本博……289
山本実……289
山本吉人……289
山脇伍郎……289

【ユ】

弓削達……289
由比宏忠……289
結城治……289
柚木馨……289

【ヨ】

依田精一……289
横井大三……289
横井芳弘……289
横川敏雄……290
横川博……290
横田喜三郎……290
横田正俊……290
横松宗……290
横山一郎……290
横山桂次……290
横山晃一郎……290
横山茂晴……290
横山長……290
横山藤雄……290
横山実……290
好美清光……290
吉井正明……290
吉岡格……290
吉岡孝行……290
吉岡二郎……290
吉岡述直……290
吉岡秀四郎……290
吉川宏……290
吉国一郎……290
吉国二郎……290
吉田次郎……291
吉田仁風……291
吉田昂……291
吉田常次郎……291
吉田昭雄……291
吉田久……291
吉田富士雄……291
吉田道也……291
吉田力雄……291
吉田諒吉……291
吉富重夫……291
吉永昭……291
吉永栄助……291
吉灘中……291
吉野衛……291
吉野悟……291
吉野辰雄……291
吉野俊彦……291
吉野秀雄……291
吉原正八郎……291
吉原節夫……291
吉原利昭……291
吉原平二郎……291
吉牟田勲……292
吉益脩夫……292
吉光久……292
吉村清……292
吉村健蔵……292
吉村仁……292
吉村正……292
吉村徳重……292
吉本英雄……292
芳川俊憲……292
米沢明……292
米田勇……292
米田清貴……292
米津昭子……292
米村昭二……292
米山鈞一……292

【リ】

李在茂……292
利光三津夫……292

【ロ】

蠟山政道……292

六川常夫…… 292

【ワ】

和久井宗次…… 292
和久利康一…… 292
和座一清…… 292
和島岩吉…… 292
和田鶴蔵…… 292
和田英夫…… 293
和田秀吉…… 293
和田良一…… 293
我妻栄…… 293
我妻洋…… 293
若林芳樹…… 293
脇屋寿夫…… 293
綿貫芳源…… 293
渡辺伊助…… 293
渡辺修…… 293
渡辺金一…… 293
渡辺五三九…… 293
渡辺光太郎…… 293
渡辺幸生…… 293
渡辺淳…… 293
渡辺善作…… 294
渡辺宗太郎…… 294
渡辺乗康…… 294
渡辺一…… 294
渡辺稔…… 294
渡辺安夫…… 294
渡辺保男…… 294
渡辺洋三…… 294
渡部英三郎…… 294
渡部善信…… 294
渡部吉隆…… 294

【外国人】

Banerjee, G. R. …… 294
Braucher, R. …… 294
Capitant, R. …… 294
Clagett. H. L. …… 294
Clèrc, F. …… 294
Diana, L. …… 294
Edwards, C. D. …… 294
Félice, Th. de …… 294
Frank, J. …… 294
Gellhorn, W. …… 294
Hart, H. L. A. …… 294
Inbau, F. E. …… 294
Jahn, W. …… 294
Kublin, H. …… 294
Larogue. P. …… 295
Nadelmann, K.H. …… 295
Nathanson, N. L. …… 295
Nikolaev, A. …… 295
Peters, K. …… 295
Polak, K. …… 295
Pound, R. …… 295
Röhl, W. …… 295
Schüssler, K. …… 295
Shehab, F. …… 295
Sheldon, G. …… 295
Sissons, D. …… 295
Stoljar, S. J. …… 295
田中, William H. …… 295
Tappe, F. …… 295
Warren, S. D. …… 295
Wiebringhaus, H. …… 295

【ア】

日外喜八郎（あぐい・きはちろう）
労働組合の法的性質——社団理論についての一つの覚書：岡山大学創立10周年記念論文集　上（'59—10）

安倍治夫
インドとセイロンの印象：法学セミナー　42（'59—9）
近代刑事学における追求統計方式の必要性<上>：法律のひろば　12—12（'59—12）
計量刑事学の発展のために——予測表研究の本質と使命：法律のひろば　12—3（'59—3）
殺意の立証の合理化について——殺意の実存的構造に関する一考察：警察研究　29—4（'58—4）
自白に関する英米法上の諸原則<1〜5完>：警察研究　29—8, 10, 11（'58—8, 10, 11）；30—1, 6（'59—1, 6）
実質証拠としての自己矛盾供述——アメリカにおける証拠法近代化の断面：司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）
砂川事件の第一審と政治問題：判例時報　181（'59—4）
セイロンにおける国連人権セミナーに出席して：法律時報　31—9（'59—8）
転換期に立つ少年犯罪対策——小松川高校生殺しの示唆するもの：ジュリスト　163（'58—10）
判決前調査をめぐる諸問題：法律時報　30—11（'58—11）
法務総合研究所設置について：刑政　70—4（'59—8）
予測表論争にまつわる七つの誤解——それでもグリュック理論は正しい：法律のひろば　12—11（'59—11）

安部浜男
平等について：渡辺宗太郎博士還暦記念論文集　（'56—7）

安部　弘
非嫡出母子関係について：文芸と思想　17（'59—2）

安部義信
法的平等について理論的考察：公法研究　18（'58—3）

足立忠夫
公務員制度の意義と発展：綜合法学　15（'59—12）
公務員の人事管理における勤務評定<1〜3>：法と政治　9—3, 4（'58—9, 12）；10—1（'59—3）
農村選挙実態調査報告——一部落における町会議員選挙：法と政治　10—3（'59—10）
マークス編「行政学の諸問題」<5〜9>【紹介】：法と政治　9—3, 4（'58—9, 12）；10—1, 2（'59—3, 6）

吾妻光俊
最低賃金法案の課題——中小企業対策をめぐつて：労働問題　1（'58—6）
ピケと威力業務妨害：ジュリスト　157（'58—7）
有給休暇請求権をめぐる法律問題：労働法学研究会報　10—21（'59—6）
有給休暇をめぐる法律問題：季刊労働法　9—2（'59—6）
労組法における「正当」の概念について：法曹時報　11—11（'59—11）
労働協約におけるショップ制の検討：労働法学研究会報　9—34（'58—10）
労働協約の法理：経済セミナー　11（'58—1）
労働者の生活保護と法律：経済セミナー　14（'58—3）
労働法改正への提言：財経詳報　255（'59—8）
労働法第18条の理念：中央労働時報　331（'58—10）

阿川清道
沖縄の戸籍と本土の戸籍との統一の問題について：戸籍　119（'58—10）
親子関係の存否に関する戸籍訂正について：岩松裁判官還暦記念論文集　（'56—7）
改氏・改名の手続と実例：時の法令　322（'59—7）
戸籍の届出：中川善之助教授還暦記念論文集　1（'59—8）
国際商事仲裁会議——国際会議の記録：商事法務研究　124（'59—1）
親権と後見：戸籍誌百号記念論文集　（'58—3）
親族法改正の問題点について　<1〜3>：戸籍　132〜134（'59—10〜12）
仲裁制度の発達を望む：ジュリスト　161（'58—9）
「渡航者の戸籍のしおり」について：戸籍　121（'58—12）
取締役の就任及び退任の登記<1, 2>：民事月報　13—1, 2（'58—1, 2）

阿久沢亀夫
海上労働における予備員制度の性格：小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）
就労拒否と公労法第17条——千代田丸事件を中心として：法律のひろば　12—7（'59—7）
フランスにおける争議権の構造：法学研究　31—2/3（'58—3）
労働組合における除名の法理：慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部　（'58—11）

阿久津　実
各国の反独占立法とわが国の独占禁止法　<1, 2>：中央経済　8—2, 3（'59—2, 3）

阿具根　登
公労法第18条による被解雇者の受益権：季刊労働法　8—3（'58—9）

阿多実秋
株主の権利と義務について：商大論叢　11（'58—10）
商法における白地規定（Blanko=gesetz）について　：商大論叢　10（'58—1）
法律における Estoppel の原理について——承前：商大論叢　9（'57—10）

阿南成一
イタリアの法思想——その歴史と特色：季刊法律学　25（'58—1）
教会婚姻法：比較法研究　18（'59—4）
ケルゼン「純粋法学」：法学セミナー　42（'59—9）
最近のイタリアにおける自然法論の動向：法哲学年報　1958年（'59—4）
自然法における「自然」の概念について：法学雑誌　4—3/4（'58—3）
フェヒナー「法哲学」【書評】：法学雑誌　5—1（'58—7）
法哲学（学界回顧 1958年）：法律時報　30—12（'58—12）

阿比留兼吉
企業担保法案要綱について：自由と正義　9—2（'58—2）

阿部浩二
H. グレッシング「養子縁組の要件」：法律時報　31—10（'59—9）

代襲相続覚書——特に衡平の原則をめぐつて<1>：民商法雑誌　37—1（'58—4）
著作権の基礎構造——序説：勝本正晃先生還暦記念論文集下（'59—5）
著作権法前史<1, 2完>：法経学会雑誌　28, 31（'59—3, 12）
未成年養子の許可の基準について：岡山大学創立10周年記念論文集　上（'59—10）
養親族関係の存否：中川善之助教授還暦記念論文集1（'59—8）

阿部純二

刑法における「義務の衝突」——違法性の問題を中心として<1, 2>　法学　22—2（'58—7）；22—4（'59—1）
財産罪における違法性の問題：東北法学会雑誌　9（'59—11）

阿部泰二

失業保険法の改正について：職業研究　12—7（'58—7）

阿部知二

一にも真実二にも真実：世界　166（'59—10）
松川の近況——現地を訪ねて：世界　163（'59—7）

阿部行蔵

法の被害者：法学セミナー　35（'59—2）

阿利莫二

アメリカ行政学の動向：山之内先生追悼論文集（'59—10）
アメリカ農村政治の実態：法学志林　56—3（'59—1）
勤務評定の意義と限界——アメリカにおける反省にふれつつ：季刊労働法　8—1（'58—3）

会田範治

三善清行の意見12条：綜合法学　1—7（'58—12）
周礼を中心として見た中国上代の訴訟制度：中村宗雄教授還暦祝賀論集（'55—3）

相内俊雄

地方自治の本旨と地方制度の改革：金沢大学法文学部論集法経篇　5（'58—2）

相沢　久

政治と宗教——信教自由の一考察<1>：上智法学論集　3—1（'59—4）
フェッヒナー「基本的人権の社会学的限界」上智法学論集　1—1（'57—12）

相原　茂

警職法と独禁法——その改正に現れわた民主主義の危機【対談】：社会主義　88（'58—12）

相原東孝

スイス民法邦訳——第2編，3編<2〜5>：名城法学　7—4（'58—3）；8—2, 3（'58—10, 12）；8—4（'59—3）

青木英五郎

事実認定の蓋然性<上，下>：警察学論集　12—8, 9（'59—8, 9）

青木　修

フランス専門会計士法について：名城商学　7—1('57—)

青木均一

警察法に関連して：関西経協　13—1（'59—1）

青木定行

企業所有権分解傾向に基く諸理論への反省：法学研究（愛知）1（'58—10）

青木慎三

繊維工業の不況に対処するもの——繊維工業設備臨時措置法：時の法令　295（'58—10）

青木清相

激増する交通事犯（法令昨今）：時の法令　318（'59—6）
自動車事故惹起者の報告義務と黙秘権（法令昨今）：時の法令　334（'59—11）
承継的共同正犯について：法学紀要　1（'59—5）
訴因に関する考察：日本法学　25—3/5（'59—10）
土地の不法占拠と窃盗罪（法令昨今）：時の法令　323（'59—8）
表現の自由と猥褻罪等の規定：東博士古稀記念論文集　2（'58—9）
暴力犯罪取締の実状(法令昨今)：時の法令　303（'59—1）
わいせつ罪と表現の自由(法令昨今)：時の法令　310（'59—3）

青木宗也

教育公務員の勤務をめぐる労働法上の諸問題：季刊労働法　9—1（'59—3）
主婦と生活社の争議：労働法　14（'59—10）
ストライキと市民的規範意識——フランスのストライキをみてきて：労働法律旬報　319（'58—9）
賃金カット・昇給延伸の法律問題——官公労組合を中心にして：労働経済旬報　13—409（'59—7）
ドゴール政策とフランス労働組合：労働問題　4（'58—9）
フランスにおける経営委員会制度の現状とその性格：季刊労働法：8—2（'58—6）
フランスにおける政治ストの法理：労働法　14（'59—10）
臨時工の諸問題：労働経済旬報　13—421（'59—11）

青木得三

日銀法について：綜合法学　17（'59—12）

青木義治

青少年の酩酊犯罪と問題：青少年問題　6—4（'59—4）

青葉翰於

中央銀行制度の在り方：財経詳報　144（'58—1）

青谷和夫

改正普通保険約款の不遡及性と遡及の必要性——横の衡平保持と縦の秩序維持のために：民商法雑誌　38—3（'58—12）
恩給制度と国民年金制度<1, 2>：法律公論　7—68, 69（'58—5, 6）
恩給法改正の内容を見る——戦没軍人遺族，戦傷病者および老齢退職公務員の処遇の改善に重点：時の法令　277（'58—4）
保険医・外務員の法律上の地位：法学新報　65—12（'58—12）
保険外務員の不法行為と保険会社の損害賠償責任：法学新報　66—8（'59—8）

青柳文雄

暁に祈る事件の上告審判決：ジュリスト　157（'58—7）
押収捜索許可状：綜合法学　1—7（'58—12）
期待可能性理論の実践的評価——不法監禁，暴力行為等処罰に関する法律違反被告事件の最高裁第3小法廷判決について：法律のひろば　12—1（'59—1）
刑事既判力の客観的範囲：岩松裁判官還暦記念論文集（'56—7）

刑訴411条3号による破棄判決　<1〜3完>：判例時報　198〜200（'59—10）
刑法の諸機能の具体的定立：法曹時報　11—3（'59—3）
証拠法の理論と現実：警察学論集　12—12（'59—12）
捜査における当事者主義の限界：警察学論集　12—4（'59—4）
伝聞法則における証拠能力と証明力：法学研究　31—5（'58—5）
広津評決の検討——広津和郎著「松川裁判」は真実を衝いているか：ジュリスト　臨時増刊（'59—9）
フランス刑事訴訟法改正草案　<1, 2完>：法学研究　31—9, 10（'58—9, 10）
不作為犯，過失犯における刑法の保障的機能：法学研究　32—6（'59—6）
法の支配について：自由と正義　10—11（'59—11）
松川事件の最高裁判決について：法律のひろば　12—10（'59—10）

青柳盛雄

共犯容疑者の自白だけで他人を罰してはならぬ——練馬事件大法廷判決の違憲性について：労働法律旬報　317（'58—8）

青山五郎

砂川判決と憲法：前衛　155（'59—6）

青山道夫

家族制度復活の問題：九州大学法学部創立30周年記念論文集（'57—12）
協議離婚について：法律時報　31—10（'59—9）
協議離婚無効確認調停事件の事後調査：法政研究　25—1（'58—7）
財産分与請求権の相続：民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
自由民権論者の家族論：法政研究　25—2/4（'59—3）
代諾縁組：法学セミナー　42（'59—9）
扶け合いの義務：法学セミナー　28（'58—7）
内縁の妻と外縁の妻：時の法令　323（'59—8）
日本社会と家族制度論争：小池隆一博士還暦記念論文集（'59—6）
法律婚主義と事実婚主義：中川善之助教授還暦記念論文集2（'59—6）
身分法における権利濫用：法律時報　30—10（'58—10）

碧海純一（あおみ・じゅんいち）

尾高朝雄著「法律の社会的構造」1956年【紹介】：国家学会雑誌　72—7（'58—7）

赤井　節

イスラエル共和国の法律制度：法と政治　9—4（'58—12）
タルムード法学に於ける追放刑に就いて：法学雑誌　5—2（'58—11）
ヘブライに於ける証拠法の一考察：法学雑誌　4—3/4（'58—3）
ヘブライ法に於ける追放刑存在の可能性をめぐつて——ヘブライ法研究方法に関する一試論として：法制史研究　8（'58—3）
ヘブライ法における同害報復の刑罰に就いて：法制史研究　5（'55—6）

赤岩　栄

キリスト教と国家：理想　302（'58—7）

赤木須留喜

1834年の救貧法の改正——イギリスにおける近代的地方制度成立に関する一考察　<3完>：国家学会雑誌　71—12（'57—12）

赤嶺義信

「立法」の制定と民政府の関与（沖縄における法と自由）：法律時報　31—11（'59—10）
琉球統治基本法　<1>：琉大法学　2（'59—7）

赤塔政夫（あかんど・まさお）

法学入門　<9〜21>　（通信講座）：民事研修　9〜31（'58—1〜'59—11）

明石三郎

古代ローマにおける自力救済制限の萌芽：岩崎教授在職35周年記念論文集（'58—2）
自力救済の普遍性：法学論集　7—5（'58—3）
占有権と自力救済：民商法雑誌　36—5（'58—2）

明山和夫

内縁の成立に関する一考察：家庭裁判月報　11—3（'59—3）

秋田成就

イギリスにおける政治ストの法的効果について：労働法　14（'59—10）
スト投票についての調査：労働法　12（'58—10）
不当な除名に対して組合を相手とする損害賠償請求は認められるか：労働問題　7（'58—12）
労働争議における目的と動機——刑事免責に関連して：季刊労働法　9—1（'59—3）

秋元君元

手形の双方代理について：手形研究　2—3（'58—3）

秋山光明

検証についての一考察——民事訴訟を中心として：司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

秋山哲治

壁の中の自由：綜合法学　1—6（'58—11）
刑法における業務の意義：綜合法学　2—6（'59—6）
情状と違法性に関する一考察：法学新報　66—5（'59—5）
犯罪における方法手段の刑法的意味：綜合法学　1—2('58—7）

秋山憲夫

自由世界における新聞の自由の動向——近年の新聞制限立法を中心に：新聞研究　95（'59—6）

秋吉稔弘

不法滞留の外国人と出入国管理令第50条の裁決：司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

渥美東洋（あつみ・とうよう）

イギリスにおける当事者主義の確立：法学新報　66—2（'59—2）

浅井　清

大政奉還と後藤象二郎の公議政治論：慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部（'58—11）

浅井清信

内縁と相続権：中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
ピケとレッドパージに関する最近の二つの最高裁判例：労働問題　3（'58—8）
労基法26条の解釈について——最近のドイツの一判例を契

機として：民商法雑誌　39—4/6（'59—4）
労働組合と政治スト——安保改定阻止闘争の合法性：労働経済旬報　13—416（'59—10）
労働法の解釈について：立命館法学　29/30（'59—9）

浅井　敦
中華人民共和国婚姻法及び婚姻登記弁法訳：国際政経事情　20（'56—3）

浅沼　武
公正取引委員会編「世界独禁法令集」【書評】：法律時報　31—2（'59—2）
国際独禁法会議より帰りて：法律時報　30—5（'58—5）
最近におけるアメリカ独禁政策の動向——その各界見聞を通じて　<1〜3完>：財政経済弘報　713〜715（'58—9, 10）
シカゴ国際独禁会議——国際会議の記録：商事法務研究　124（'59—1）

浅見公子
西ドイツにおける新法定夫婦財産制について：法学会論集　8—3/4（'58—3）

朝川伸夫
債権保全火災保険と更生担保権の関係：法学新報　65—5（'58—5）
商法における人間と行為：綜合法学　1—1（'58—6）
保険法における Prima facie Beweis　<1, 2>：法学新報　66—11, 12（'59—11, 12）
法感情の概念と本質——リーツレルの法心理学的考察の研究：中央大学70周年記念論文集　（'55—11）

朝倉京一
刑務作業運営の基本問題：刑政　70—7（'59—7）

朝山豊三
自己株式取得禁止の緩和——名義貸事件と立法的措置の必要：財経詳報　179（'58—7）

芦田浩志
合衆国軍隊の日本駐留は憲法の平和立場と矛盾する：前衛　160（'59—11）
勤務評定をめぐる法律問題：法律時報　30—10（'58—10）
法律的にみた日教組弾圧：労働経済旬報　12—376（'58—6）

芦部信喜
議会制度——議会政における政府と議会　（外国憲法の動向）：ジュリスト　154（'58—5）
黒田覚「国会法」，林田和博「選挙法」【紹介】：国家学会雑誌　73—1（'59—6）
条約の締結と国会の承認権：横田先生還暦祝賀記念論文集（'58—4）

蘆野　弘
独占禁止法に対する批判を批判する：　公正取引　95（'58—8）

東　邦彦
矯正の理念について：刑政　70—5（'59—5）

東　孝行
「所有権に基づく請求権と占有をなす権利」に関するルードウイッヒ・ライゼルの所説：　六甲台論集　4—4（'57—12）

東　季彦
海賊版の防止について——著作権法の一部改正：綜合法学　1—2（'58—7）
財産引受について：日本法学　25—3/5（'59—10）
出版契約の意義及び性質：勝本正晃先生還暦記念論文集下（'59—5）
農業法人法案の要綱と若干の問題：時の法令　336（'59—12）

畔上英治
民事訴訟をみる角度：法律時報　30—11（'58—11）
民事訴訟における訴訟指揮：ジュリスト　156（'58—6）
民事訴訟における非能率——第一審を中心として<1, 2>：法曹時報　11—1, 2（'59—1, 2）
民事判決書簡易化の論理と実際——第一審を中心として：民事訴訟雑誌　5（'58—10）

天島惣平
抹消登記手続請求訴訟における挙証責任の分配：司法研修所報　22（'58—12）

天津　博
民事訴訟法一部改正に関する意見書：自由と正義　12—4（'59—4）

天野和夫
マルクス主義法理論における法と道徳の問題：法哲学年報1957年（'58—3）

天野利武
青少年不良化の実態　<1, 2完>：児童心理　13—1, 2（'59—1, 2）

天野武一
米国共産党公判傍聴の記　<14, 15>：法律新聞　86, 88（'58—1, 2）

網野　誠
西ドイツ経営参加法序説　<1, 2>：日本法学　24—5（'58—12）；24—6（'59—6）

荒　正人
革命と死刑：法学セミナー　30（'58—9）

荒井　勇
国際行政学会の円卓会議に出席して——自治体に対する権限の委譲：時の法令　294（'58—10）
昭和33年の立法の回顧と若干の展望：財経詳報　210（'58—12）

荒井貢次郎
中世農民の身分的制約——中世イギリス身分法史の基礎構造分析：東洋法学　3—2（'59—12）

荒尾保一
防護標章制度について：商事法務研究　138（'59—5）

荒川正三郎
鑑定（法廷ノート）：判例時報　202（'59—11）

荒川省三
あてにした恩赦に浴さなかつた場合取下げた上訴権の回復請求ができるか：ジュリスト　180（'59—6）

荒木政之丞
企業担保法と国税徴収とについて：財政　23—8（'58—7）

荒木誠之
災害補償理論の展開：季刊労働法　8—1（'58—3）
中小企業労使関係と労働委員会制度：季刊労働法　9—4（'59—12）
不当労働行為制度における使用者の地位：労働法　12（'58—10）

荒瀬　豊
国家・秩序・議会：中央公論　73—13（'58—12）

荒玉義人
工業所有権保護同盟条約改正会議：法律時報　31—2（'59—2）
工業所有権法改正のいきさつ：商事法務研究　138（'59—5）
商標法改正の概要：財経詳報　227（'59—3）
特許法等改正の概要：財経詳報　221（'59—2）

新井　章
安保条約，行政協定，各種特別法は国民の人権をどのように侵害しているか：労働法律旬報　341（'59—4）
1年間の労働判例の傾向について——解雇：労働法律旬報　348（'59—6）
公安条例とその違憲性：労働法律旬報　350（'59—7）

新井市彦
商標権の自由譲渡及び商標の使用許諾制度について：商事法務研究　138（'59—5）

新井昭一
分収造林促進法の構想：林野時報　6—2（'58—2）

新井真一
デザイン模倣防止と輸出品デザイン法：財政経済弘報　748（'59—4）
輸出品デザイン法の解説：財経詳報　230（'59—4）

新井藤作
売春防止法とその実施について：綜合法学　1—1（'58—6）

新井正男
新中国の法律制度——思想の改造は刑罰を軽減する<6>：法律新聞　86（'58—1）
先例拘束性との Distinguishing 機能　<1>：法学新報　65—11（'58—11）

新井益太郎
アメリカ税法と減価償却規定：明治学院論叢　48—2（'58—2）
わが国法人課税の歴史的変遷　<上>：政治経済論叢　8—3（'59—3）

新井　裕
偉大と幸福——身上監督に関する意見：警察研究　29—1（'58—1）

新井隆一
租税債務履行遅滞と利子税の法的性格　<1, 2>：税法学　88, 90（'58—4, 6）
租税物納の法理：税法学　100（'59—5）
ドイツ財産税法の研究　<3〜7>：税法学　92, 94〜96（'58—8, 10〜12）；102（'59—6）

有泉　亨
イギリス人の法生活：社会科学研究　10—2/3（'58—11）
イギリスにおける争議権のひろがりとその周辺：労働問題　12（'59—5）
イギリスの不正競業法：比較法研究　19（'59—10）
イギリスの労働組合は法をどう見るか：季刊労働法　8—4（'58—12）
イギリス労働法における平和義務：労働問題　6（'58—11）
コートとトライビューナル：時の法令　288（'58—8）
公営住宅の使用関係：ジュリスト　178（'59—5）
労働災害における使用者責任法理の変遷——イギリスの場合：我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）
労働法の課題：季刊労働法　9—1（'59—3）

有賀美智子
改正ダンピング防止法の解説：公正取引　100（'59—1）
独占禁止法の損害賠償請求訴訟　<1, 2完>：財政経済弘報　732, 734（'59—1）
特許と独占禁止法：勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）
ベツレヘム・スティールとヤングスタウンの合併違法判決：商事法務研究　135（'59—4）
米国国際反トラスト法事件における管轄権の問題：公正取引　92（'58—5）

有倉遼吉
悪道路と国家賠償責任：警察時報　14—8（'59—8）
外国軍隊の駐留と憲法第9条：法律時報　31—5（'59—4）
行政法における訓示的規定：中村宗雄教授還暦祝賀論集（'55—3）
衆議院の解散：綜合法学　15（'59—10）
条例における理念と現実：法律時報　31—7（'59—6）
輸入映画の検閲：警察時報　14—6（'59—6）

有田喜十郎
倉荷証券の裏書と保管料支払債務の承継について：商学論究　22（'58—6）
国際海上物品運送法の制定とそれが港湾経済に及ぼす影響について：商学論究　19（'57—9）

有地　亨
近親婚：中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
特別受益者の持戻義務　<1, 2>：民商法雑誌　40—1, 3（'59—4, 6）
フランスにおける代襲相続権についての一考察　<2>：法政研究　24—4（'58—3）

有松　昇
国会の国政調査の概要：法学研究（愛知）　1（'58—10）

粟野長七郎
中小企業団体法についての二，三の考察：公正取引　100（'59—1）

安西信之
借地・借家法の改正に寄せる——国民の正しい理解と協力が必要：商事法務研究　89（'58—2）

庵治川良雄
司法行政の根本問題：自由と正義　10—6（'59—6）

【イ】

五十嵐　清
英法におけるフラストレイション法理について——事情変更の原則に関する比較法的研究　<1>：法学会論集　9—2（'58—11）
瑕疵担保と比較法　<1>：民商法雑誌　41—3（'59—12）
カール・エンギッシの「法学的思考入門」：法哲学年報　1958年（'59—4）
夫婦財産制：中川善之助教授還暦記念論文集　2（'59—6）
不動産賃借権の譲渡・転貸の自由性について——その比較法的考察　<2>：法学会論集　8—3/4（'58—3）
家族条項——家族の保護，男女同権，母子保護その他　<上，下>（外国憲法の動向）：ジュリスト　153, 155（'58—5, 6）

五百籏頭真次郎（いおきべ・しんじろう）
キリスト教教父たち所有権思想：国民経済雑誌　97—5（'58—5）

井ケ田良治
庄園制の崩壊過程——室町時代の東寺領太良庄：同志社法学　9—5（'58—1）

井田恵子
配偶者相続権の根拠と性格について：小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

井田輝敏
ソヴェト・デモクラシーの構造的論理——序論的考察　<1>：九大法学　3（'58—　）

井手成三
皇室典範立案当時の思い出：時の法令　303（'59—1）
信教の自由とその限界——宗教法人法改正の問題と関連して：法学研究（愛知）　1（'58—10）

井出一太郎
農業基本法の発想とその背景：農業と経済　25—1（'59—1）

井部勇一
水道水源を中心とした淀川における水利権について：都市問題研究　11—8（'59—8）

井戸田　侃
刑事訴訟における当事者主義について：司法研修所創立10周年記念論文集　下（'58—3）
最近の刑事訴訟における当事者主義思想——その否定の根拠についての若干の考察：立命館法学　29/30（'59—9）

井口牧郎
不法行為により傷害を受けた者の近親者の慰藉料請求権：ジュリスト　162（'58—9）

井上　勇
仏新憲法への期待——その運営如何が問題：世界週報　39—38（'58—9）

井上一男
改正工業所有権法の産業界に及ぼす影響について：商事法務研究　133（'59—3）

井上和夫
植木枝盛自筆の日本憲法：法制史研究　5（'55—6）

井上勝馬
手形行為独立の原則と約束手形の共同振出人の責任：バンキング　139（'59—10）
根担保取引における極度外利息に対する根抵当権の効力問題：バンキング　124（'58—7）

井上　清
皇室と国民——皇太子ブームと万世一系の天皇：中央公論　74—6（'59—5）

井上健一
自動車損害賠償保障制度の実施状況とその問題点：ジュリスト　172（'59—2）

井上　茂
憲法秩序と国際法秩序との関連における法と政治：ジュリスト　169（'59—1）
最高法規の思想——成文化への過程：法哲学年報　1957年（'58—3）
思考方法と法理論——思想史的考察：綜合法学　2—7（'59—7）
戦後の主権論争：法学セミナー　38（'59—5）
法律学における理論：ジュリスト　188（'59—10）

井上尚一
工業所有権四法改正の主要点：法律時報　31—2（'59—2）
工業所有権条約改正会議の成果——リスボン会議に出席して：時の法令　303（'59—1）
工業所有権制度の改正について：経団連月報　7—2（'59—2）
工業所有権制度の動き：経済人　13—1（'59—1）

井上　弘
港域法の一部を改正する法律：時の法令　312（'59—4）

井上正治
アメリカにおける国選弁護人制度：九州大学法学部創立30周年記念論文集　（'57—12）
過失犯の判例と批判　<11〜21完>：警察研究　29—1〜4, 6, 8, 〜12（'58—1〜4, 6, 8〜12）；30—1（'59—1）
過失犯と目的行為論：法律のひろば　12—8（'59—8）
共犯者の自白：法学セミナー　43（'59—10）
業務過失における業務の意義：法政研究　25—2/4（'59—3）
刑訴法からみた諏訪メモの役割：法律時報　31—10付録（'59—9）
公訴事実の同一性：法学セミナー　27（'58—6）
自動車事故の刑事学的研究：木村博士還暦記念論文集　下（'58—7）
司法権の限界（判決の法律的問題点）：法律時報　31—5（'59—4）
菅生事件控訴審判決：ジュリスト　158（'58—7）
菅生事件の控訴審判決と鑑定：法律のひろば　11—8（'58—8）
菅生事件の控訴審判決と間接証拠：判例時報　154（'58—7）
菅生事件の法律問題　<1, 2>：判例時報　148, 149（'58—6, 7）
道路交通取締法施行令第41条違反事件について——とくに判例の傾向に即しつつ：判例評論　18（'59—5）
判例の理解のしかた　<1, 2完>：法律時報　30—6, 8（'58—6, 8
松川事件における破棄判決の拘束力：ジュリスト　臨時増刊（'59—9）
割切りすぎた八海事件：判例時報　201（'59—10）

井上泰宏

情死考：法学セミナー　45（'59—12）

井上孚麿
憲法の名と実と：諸学紀要　1（'59—3）

井上哲夫
非行原因に関する実証的研究：社会事業　42—6（'59—6）

井上祐司
社会主義刑法における構成要件の概念と近代刑法学との比較：季刊法律学　27（'59—7）
ソヴェト刑法における過失：法政研究　25—2/4（'59—3）
V. G. マカンヴィリ「過失の刑事答責性」【紹介】：法政研究　26—1（'59—7）

伊尾　宏
刑法各論　<17, 18完>（研修講座）：研修　115, 116（'58—1, 2）

伊沢孝平
企業維持・取引の安全：綜合法学　1—2（'58—7）
商号：法学セミナー　37（'59—4）
責任保険の発展とその止揚——損害賠償の社会化：我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）
責任保険の発展と被害者の保護：法学　22—1（'58—4）
民事責任の社会化と責任保険の役割：綜合法学　2—2（'59—2）
無権限代署者の手形上の責任：民商法雑誌　39—1/3（'59—3）

伊沢　実
商法会計規定の改正問題——東京商工会議所商事法規委員会会計法小委員会の審議状況　<上，下>：財経詳報　190, 193（'58—9, 10）
不動産の不法占拠における早期取締り立法の必要性：時の法令　332（'59—11）

伊手健一
国際政治学における中心概念に就いての一考察：政経論叢（国学院）　7—2（'58—11）

伊東　乾
時効中断の範囲と訴訟物の範囲（判例をたずねて）：綜合法学　16（'59—11）
請求補説——訴訟行為効力理論の適用例に及ぶ：法学研究　31—11（'58—11）
訴訟上の請求：綜合法学　1—5（'58—10）
訴訟物の動態的把握——新旧両説対立の止揚のために：慶応義塾創立百年記念論文集法学部第一部　（'58—11）
訴訟物論争の新展開　<1, 2完>：法学研究　32—7, 8（'59—7, 8）
民訴法（学界回顧1958年）：法律時報　30—12（'58—12）
他人の名義を冒用した訴訟：法学セミナー　26（'58—5）
離婚訴訟の訴訟物：小池隆一博士還暦記念論文集　（'59—6）

伊東すみ子
奈良時代の婚姻についての一考察　<1, 2完>：国家学会雑誌　72—5（'58—5）；73—1（'59—6）

伊東多三郎
近世大名の家訓——藩法研究の一問題：歴史地理　89—1（'58—12）

伊藤　勲
代表制の比較研究：上智法学論集　1—1（'57—12）
明治時代に於ける社会主義政党運動　<1>：上智法学論集　3—1（'59—4）

伊藤幸吉
外国郵便物に対する税関検査とその問題点　<1, 2完>：財政経済弘報　675, 678（'58—2）

伊藤茂男
狭義の工場担当について：バンキング　124（'58—7）

伊藤繁樹
実用新案・意匠・商標制度の基本問題と新法　<1, 2>：財政経済弘報　753, 754（'59—5）
特許制度の基本問題と新特許法：財政経済弘報　749（'59—4）

伊藤二郎
中小企業信用保険公庫逐条説明：財経詳報　165（'58—5）

伊藤恒夫
最近の教育の諸問題　<1>：松山商大論集　9—4（'58—12）

伊藤利夫
未成熟子の扶養：日本法学　24—2（'58—7）

伊藤　甫
租税特別措置法の一部改正について：財政経済弘報　688（'58—4）

伊藤不二男
グラティアヌス「教会法」の国際法学説史上の意義：九州大学法学部創立30周年記念論文集　（'57—12）
グラティアヌス「教会法」における正当戦争論の特色——国際法学説史研究：法政研究　26—2（'59—12）
ゲンティリスにおける戦争の質料因：法政研究　25—2/4（'59—3）
国際法と憲法（判決の法律的問題点）：法律時報　31—5（'59—4）
横田先生還暦祝賀・現代国際法の課題【紹介】：国際法外交雑誌　57—6（'59—3）

伊藤正一
株式法改正試案と法定準備金：産業経理　19—5（'59—5）

伊藤正己
アラスカの憲法その他（海外法律時報）：法律時報　31—2（'59—2）
イギリスにおける社会法の理念——福祉国家の展開：法律時報　30—4（'58—4）
英法における因果関係の一考察：我妻先生還暦記念論文集　中（'58—11）
学界回顧　1958年——外国法：法律時報　30—12（'58—12）
学界回顧　1959年——外国法：法律時報　31—13（'59—12）
基本的人権：国家学会雑誌　72—5（'58—5）
近代国家における裁判所——砂川判決をめぐる雑感：法の支配　1（'59—6）
警職法改正案と法の支配：ジュリスト　166（'58—11）
国際的人権保障とアメリカ法：横田先生還暦祝賀記念論文集　（'58—4）
事前の抑制の理論　<1, 2完>：国家学会雑誌　72—1, 4（'58—1, 4）
使用者の求償権——イギリスの新しい判例の示唆するもの：法学協会雑誌　74—5/6（'58—7）
下山瑛二「国の不法行為責任の研究」【紹介】：国家学会

雑誌　73—3（'59—10）
条約の違憲審査：法律時報　31—5（'59—4）
ダイシー「法と世論」：法学セミナー　34（'59—1）
フランク報告書について(海外法律時報)：法律時報　30—6（'58—6）
法の下の平等——その解釈をめぐる若干の問題：公法研究　18（'58—3）

伊藤政吉
少年保護事件の抗告：家庭裁判月報　10—3（'58—3）
少年法の抗告審における審判：ジュリスト　152（'58—4）

伊藤道保
1955年フランス不動産登記制度の改正について：比較法研究　16（'58—4）

伊藤　満
憲法点検の試み<1>：政経論叢（広島）　9—2（'59—9）

伊藤　寧
共同正犯と従犯の区別に関する一考察：海上保安大学校研究報告　32年（'58—3）
取締犯（主として海上取締犯）の既遂時期：海上保安大学校研究報告　33年（'59—3）

伊藤義彰
仮出獄者の再犯をめぐる諸問題：保護月報　41（'59—3）

伊藤律男
鉱害賠償の具体的発展について：法文論叢　11（'59—11）

伊従　寛
消費者運動と公正取引——消費者のための独禁法序説：財経詳報　187（'58—9）
独占禁止法適用除外法の概観とその分析　<上，下>：財経詳報　142, 146（'58—1, 2）

伊庭武男
できあがつた首都圏整備の骨格——施行令の解説を中心とする整備の構想：時の法令　266（'58—1）

伊能幹一
三宅正太郎（日本の名裁判官）：法学セミナー　37（'59—4）

伊吹山太郎
勤務評定の困難性：季刊労働法　8—1（'58—3）

位野木益雄
非権利者の処分に対する権利者の同意の一場合：民事研修　22（'59—2）

猪野謙二
解釈学者の責任について：日本文学　7—12（'58—12）

猪木正道
独裁の概念：法学論叢　64—1（'58—4）
独裁の政治思想：法学論叢　65—3（'59—6）
法と政治——ワイマル憲法の場合：ジュリスト　169（'59—1）

猪瀬節雄
B．ギュツベル「税務上の償却制度」訳　<1〜6>　税法学　87〜90, 94, 95（'58—3〜6, 10, 11）

猪俣浩三
警職法改正案反対理由：自由と正義　10—2（'59—2）

飯坂良明
警察官職務執行法改正の背後にひそむもの：福音と世界　13—11（'58—11）

飯島　要
本籍の概念について：東京学芸大学研究報告　9（'58—3）
本籍の実証的研究　<上，中，下>：戸籍　124, 125, 128（'59—3, 4, 7）

飯沼考雄
工場排水法と今後の問題：都市問題研究　10—8（'59—8）

飯野　勲
協議離婚無効確認調停事件の事後調査：法政研究　25—1（'58—7）

飯野定吉
売春問題を中心とした風俗営業の現状について：警察学論集　12—2（'59—2）

飯村義美
法曹一元論と裁判の民主化：自由と正義　9—1（'58—1）

家田光義
捜査運営の適正化・合理化に対する一考察：警察学論集　11—2（'58—2）

家崎　宏
親族法の変遷と婚姻方式：中京大学論叢　5—3（'58— ）

家永三郎
姑息な条約改定を排す——藤山外相の招きを辞するの書：世界　158（'59—2）
最高裁判所に対する一国民の要望：法学セミナー　43('59—10)
捜査・検察・裁判官の責任：中央公論　74—13（'59—9）
日本的順法精神：法学セミナー　33（'58—12）
無罪判決を聞いて（八海事件）：世界　167（'59—11）
歴史の証言——裁判批判の抑制は何をもたらしたか？：法学セミナー　45（'59—12）

生野一路
コルホーズ法の基本問題：　産業労働研究所報　16（'58—11）

幾代　通
アメリカの裁判，裁判所など——見たり聞いたり　<1, 2>：判例時報　203, 204（'59—11）
チケットを利用するサラリーマン金融の法律問題：ジュリスト　191（'59—12）
債務者死亡による根抵当契約の存続問題——相続人に対する根抵当契約の同一性について：　金融法務事情　162（'58—1）
名誉毀損につき謝罪広告を命ずる判決：我妻先生還暦記念論文集　上（'57—12）

池垣定太郎
船荷証券：綜合法学　17（'59—12）

池上　努
わが国の出入国管理制度とその当面の課題：綜合法学　2—6（'59—6）

池上貞一
新民主主義革命論の成立と発展：法経論集（愛大）　28（'59—10）

池川良正
旧法戸籍の改製経過とその留意事項：戸籍　118（'58—9）
戸籍雑記——通達・回答：戸籍　116（'58—7）
戸籍雑記——明治戸籍の二，三の素描：戸籍　112（'58—4）
戸籍事務協議会　<2>：戸籍　111（'58—3）
戸籍の監督系統：民事月報　13—6（'58—6）
私法の三原則：民事研修　12（'58—4）
千島と戸籍：民事月報　13—5（'58—5）
朝鮮と独立とその国籍：民事研修　13（'58—5）

池口尚史
少年院の現状と展望：刑政　70—5（'59—5）

池島宏幸
イギリス会社法における近代的発展の傾向とその特徴：法経論集（静岡）　8（'59—11）

池中　弘
接収貴金属等の処理について：財政経済弘報　751（'59—5）

池田　清
ジョセフ・チエムバレンの新急進主義　<1〜3完>：法学雑誌　5—1（'58—7）；5—4（'59—3）；6—2（'59—11）

池田浩一
裁判上の自白をめぐる諸問題：綜合法学　1—4（'58—9）
事実認定ことはじめ：自由と正義　9—9（'58—9）
生成過程におけるイギリスの裁判権とその構造——アングロ・サクソン期から13世紀頃まで：法学志林　56—4（'59—3）
民事訴訟における具体的正義についての疑問：司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）

池田　栄
アイルランド古代法とキリスト教——マーグナ・カルタのインド＝アイルランド淵源に就ての一研究：法学論集　7—4（'58—2）
主権の象徴としての国王：法学論集　8—4（'58—12）
田中秀央訳マグナ・カルタ前書きと第12条に就て【紹介】：法学論集　8—1（'58—9）

池田直視
社宅使用の法律問題：富大経済論集　4—2（'59—3）
労働者経営参加の性格：労働法　14（'59—10）

池田文雄
エア・チャーターについて：勝本正晃先生還暦記念論文集　下（'59—5）
宇宙空間の法的地位：国際法外交雑誌　58—4（'59—9）
宇宙空間の法理：法律のひろば　12—2（'59—2）
宇宙国際法の基本問題：専修大学論集　21（'59—10）
海洋法国際会議について：法律のひろば　11—4（'58—4）
航空運送法と有限責任：専修大学論集　17（'58—5）
航空運送約款法の諸問題：法律時報　31—3（'59—3）
航空機の上空通過に伴う法律問題　<1>：空法　3（'58—4）
航空事故と賠償責任：綜合法学　1—7（'58—12）
ナゲンドラ・シン著「核兵器と国際法」1958【紹介】：法学志林　56—2（'58—11）
領空侵犯と国際法：法律のひろば　12—4（'59—4）

池田　誠
広東における革命と反動——国民党改組の諸前提：立命館法学　29/30（'59—9）

池田政章
戦前における治安立法の運用とその実態：法律時報　臨時増刊（'58—12）

池田正範
酪農振興法の一部を改正する法律案：時の法令　312（'59—4）

池田　実
マーグナ・カルタにおける英国教会の自由：法学論集　8—5（'59—2）

石井敬二郎
親子関係存否確認の訴における訴訟物：司法研修所創立10周年記念論文集　上（'58—5）
親族法　<6〜14>（通信講座）：民事研修　9〜29（'58—1〜'59—9）
相続法におけを養親子関係の問題点：戸籍誌百号記念論文集　('58—3)
未成年者と親権者との利益相反行為に関する若干の問題：金融法務事情　161（'58—1）

石井幸一
公正取引規約と公取委の処分に対する不服申立制度——独禁法改正法案新設制度の解説　<1, 2完>：財政経済弘報　722, 724（'58—11）
私的独占の成立要件と排除措置——野田醤油事件独禁法判例解説：財政経済弘報　674（'58—1）
新聞値上事件の問題点——独占禁止法違反の成否をめぐつて：財政経済弘報　780（'59—11）

石井成就
西独の青少年保護育成法律：市政　7—9（'58—9）
西ドイツにおける青少年保護育成に関する法律制度の紹介：青少年問題　6—1（'59—1）

石井照久
ＩＬＯ87号条約をめぐつて：日本労働協会雑誌　1—2('59—5)
会社の権利能力——目的による制限を中心として：法学協会雑誌　76—2（'59—12）
経営権と労働基本権：季刊労働法　9—3（'59—10）
現行労働法の再検討について：日労研資料　11—6（'58—3）
ユニオン・ショップについて：日労研資料　427（'58—11）
労使関係の基本問題：日本労働協会雑誌　1—1（'59—4）
労働法の基本概念：中央労働時報　324（'58—3）

石井利秋
戸籍改製後における戸籍届出事件の考察　<1〜3>：民事月報　13—5, 7, 8（'58—5, 7, 8）

石井良博
アテーナ人ソローン——その思想と政治的実践：法学研究　32—10（'59—10）

石井芳光
憲法第76条３項における裁判官の良心：英米法学　10('59—4)

石井良助
家質の研究：国家学会雑誌　73—3（'59—10）
江戸城の大奥（法史夜話）：法学セミナー　37（'59—4）
古法漫筆——江戸時代　<1〜14完>：時の法令　266〜279（'58—1〜5）